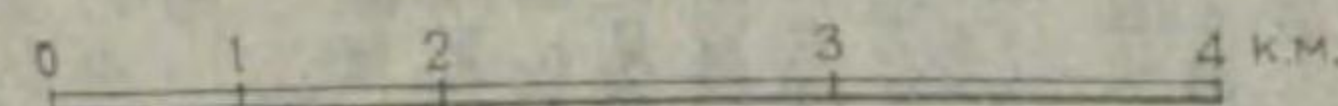


霧島國立公園及附近畧圖



▲湯の谷温泉▼ 前記栃木から約五軒、豊肥線赤木驛から六軒餘。岳の中腹七三〇米の高所にあり、脚下に島原、雲仙を臨んで風光がよきは含鐵明礬泉で八五度、貧血・リウマチス・萎黃病・婦人病・腫物等に効

▲旅館▼ 長生館(電河陽一〇番、室敷三)、宿料二圓乃至三圓半。

▲垂玉温泉▼ 前記高森線長陽驛から約五軒九、自動車五〇錢、所一日四往復、貸切二圓半。栃木から八軒。地獄登山道の中程にあり約行く。地は三方切立つ斷崖に圍まれ、西の一方開けて栃木、戸下を俯る。含鐵泉と硫黄泉とあり温度四〇度、皮膚病・胃腸病・貧血症に効

▲旅館▼ 山口館 電話河陽六、室二五、宿泊料二圓乃至四圓、外に四あり、室代二五錢一三〇錢、腰具料一七錢、米飲料一回五錢。



▲湯の谷温泉▼ 前記栃木から約五軒、豊肥線赤木驛から六軒餘。烏帽子岳の中腹七三〇米の高所にあり、脚下に島原、雲仙を臨んで風光がよい。温泉は含鐵明礬泉で八五度、貧血、リウマチス、萎黃病、婦人病、腫物等に効がある。

▲旅館▼ 長生館(電河陽一〇番、室敷三)、宿料二圓乃至三圓半。

▲垂玉温泉▼ 前記高森線長陽驛から約五軒九、自動車五〇錢、所要二五分一日四往復、貸切二圓半。栃木から八軒。地獄登山道の中程にあり約三時間で行く。地は三方切立つ斷崖に圍まれ、西の一方開けて栃木、戸下を俯瞰して居る。含鐵泉と硫黄泉とあり温度四〇度、皮膚病、胃腸病、貧血症に効がある。

〔旅館〕 山口館 電話河陽六、室二五、宿泊料二圓乃至四圓、外に自炊室四圓あり、室代二五錢—三〇錢、腰具料一七錢、米飲料一回五錢。

球磨川下り 球磨川下りは肥薩線人吉驛から約六〇〇米の人吉城下、大橋の下(自動車乗合一〇錢)から白石迄二四軒餘の舟遊を試みるのである。舟行半水時で約三時間。一二人乗貸切一艘一〇圓。五月から一〇月迄土・日曜に限り定期船の便がある。午前一〇時發、乗合一人八五錢。

▲球磨川は、源は遠く那須椎葉山五ヶ村邊から出て、球磨の人吉の城下を経て八代に至り、一六〇軒許り流れて肥後海に入る。九州第一、日本三急流の一つで沿岸奇勝に富み日本二十五勝の一に數へられてゐるところである。輕舟に身を託して急流に棹さし、渡、一勝地を過ぐれば舟は懸々急流に乗りて走り、船頭の難苦益々加はる、されど巧みな棹の操りにより何等の危殆なく球磨川下り中第一の呼物たる船倒の瀬を乗り切り、幾割瀬の奇勝を賞しつつ白石に着く。

○萬アール(二萬町歩)の地域で、昭和
○萬アール(二萬町歩)の地域で、昭和
○萬アール(二萬町歩)の地域で、昭和
○萬アール(二萬町歩)の地域で、昭和

た、め、等は腰に携へ給ふた種をとりて授
た、め、等は腰に携へ給ふた種をとりて授
た、め、等は腰に携へ給ふた種をとりて授

子彦火出見尊、御孫鶴養不合尊
子彦火出見尊、御孫鶴養不合尊
子彦火出見尊、御孫鶴養不合尊

休火山同様である。有名な馬の背越を経て、
休火山同様である。有名な馬の背越を経て、
休火山同様である。有名な馬の背越を経て、

鹿兒島市 鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島市
鹿兒島市 鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島市
鹿兒島市 鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島市

榮之尾温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村) 海拔八〇〇米の中津川溪谷、大池山山の南斜面に對する霧島四温泉の一つで、大
浪池の登山口に當り、展望の裕福、錦江の盆を望み、居ながらにして薩山隅水を脚下に收め、背後には大森林を擁し、又一貫の
清流がせららである。文久元年幕府公津津氏は此處に別荘を建て遊藝地とした。今尚其一部の建物を遺して旅舎に充て、ある。湯量
豊富で湯温がプールの快も添に出来殊に浴槽は廣々として其設計の妙と相俟つて氣持がよい。泉質は硫化酸素・鹽類・明礬等
り、温度七〇度乃至九〇度。
〔旅館〕 榮之尾温泉(電霧島温泉七、室一六、二四一四)。
明礬温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村) 硫黄谷温泉の上手約一〇〇米を上つた所にあり森々たる檜の原始林に包まれ幽邃の地
ある。數ヶ所の湯は安山岩の間隙に發し、泉質は弱酸性硫黄泉と中性含鐵鹽類及び明礬を含み、清澄・透明、プールの設けもある。
牧園からの自動車は九尾温泉を経て榮之尾谷の溪谷と硫黄谷溪谷の合する所に止る。夫から約半軒。霧島温泉の奥の院の形で何とな
く落付がある。此の温泉の裏山傳に高千穂登山口があり、大池山の東の登山口でもある。
〔旅館〕 高千穂温泉(電霧島温泉七、室一六、二四一四)。
▲九尾温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村) 霧島四温泉に至る沿道、牧園驛と神宮道路の分岐點にあり、四温泉の一軒七下手にある。
後方に森林を控へ前方はるか錦江の盆を望まれる。泉質はアルカリ性炭酸泉で旅館設備も氣持よく整ひ、前記の四温泉に次ぐ温
泉である。
▲神宮温泉 (鹿兒島縣始良郡東郷山) 霧島神宮から二〇〇米下手。縣道に沿ひ、二階建の温泉宿舎が新設されて居るが、風光
絶佳浴槽設備も野趣があつて面白い。神宮に近いだけ浴客も多く附近には五、六軒の旅館があり、茶店が賑ひ土産品も販賣して居る。
湯は泉温、泉質共に申分がない。神宮参拜だけで時間の餘裕のない人は、此處で一浴さる、がい。
▲栗野温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 栗野の西斜面、海拔七五〇米。俗に岳湯と稱せられ、肥薩線栗野驛から八軒、定
期自動車で四〇分、羊腸たる山道を踏んで登る。
▲湯池温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 大良一湯池の池地獄(二軒八)。湯池一軒(一軒餘)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。手洗一軒(一軒四)。

▲湯池温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 大良一湯池の池地獄(二軒八)。湯池一軒(一軒餘)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。

▲湯池温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 大良一湯池の池地獄(二軒八)。湯池一軒(一軒餘)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。

▲湯池温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 大良一湯池の池地獄(二軒八)。湯池一軒(一軒餘)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。

▲湯池温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 大良一湯池の池地獄(二軒八)。湯池一軒(一軒餘)。手洗一軒(一軒四)。
▲手洗温泉 (鹿兒島縣始良郡栗野村) 手洗一軒(一軒四)。

震慄を感じる。頂本書紀に「齊安之二年時間半乃至三時...」

〇米、海拔一四二... 湖畔の静寂をみ

泉量の豊富と高... 霧島神宮

異り、硫黄泉・明... 外に自炊宿舎が軒

櫻島を前に眺望... 容する大旅館の他

鹿兒島線 (阿蘇の諸泉・人吉温泉・球磨川下り・林温泉)

の地ではあるが交通不便のため知る人が少ない。山之城温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村)

白鳥温泉 (官崎縣西諸郡飯野村) 白鳥火山の北斜面、海拔八〇〇米、加久藤驛から山路傳ひに八軒餘、泉温九〇度内外。浴槽の底面には黄褐色の沈澱が出來、泉質は酸性、硫化水素分も相當に強く、酸味のあとに滋味が殘る。自炊用の宿舎のほかに、旅館が一棟建つてゐる。

岩風呂 (霧島山中) 四温泉行縣道の終點に近き硫黄谷、林田温泉の分岐點から約二〇〇米下手縣道に沿ふた鬱蒼たる森影に隠れて溪間に自然の浴場が出來てゐる。約一坪の巖窟は泉温恰も人浴に適した盡るなき出湯を滿々と湛へてゐるのは見るからに、すがすがしがる。一浴浴塵を洗へば清快の氣迫るものがある。

公園地外の諸温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村宿窪田) 湯壺の右に鹽の結晶が附着したので、鹽浸温泉と稱すると云ふが、泉質が土類炭酸泉で、溪流に沿ひ小品の風景を有し、夜半水のせ、らぎを聽いては河鹿の聲に詩趣を感じると云つた仙境である。旅館一軒、主として自炊向。嘉例川驛から約三軒、牧園驛から自動車二〇分を達する。

日之出温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村宿窪田) 櫻樹の納、瀾瀾の響、溪流風葉の風情は一人であるが、湯は百俵の懸崖に湧出し、鹽浸湯と安樂湯との中間に介在する。泉質は含鐵炭酸鹽類泉で、無色透明。単人驛から自動車も行く。旅館なきも自炊設備には缺くるところがない。

妙見温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村宿窪田) 當初田圃の中に湧出した無名湯であつたが浴槽を設け、共同湯を開始してから各段の設備整ひ、漸次外來者も多くなつた泉質は土類炭酸泉。一旅館と自炊宿舎がある。鹿兒島市から霧島四温泉への自動車沿線に當る。(単人驛から一〇軒、四〇錢) 神經痛、リウマチ等に特效あると云ふので湯治客が多い。

安樂温泉 (鹿兒島縣始良郡牧園村宿窪田) 安樂川の清流に沿ひ奇岩飛水の風景は捨て難い。泉質土類炭酸泉、無色透明、清涼甘味を有す。旅館二軒(安樂館、大徳館)、下宿屋數軒。牧園驛から七軒餘、単人驛から約一〇軒五、霧島四温泉へ向ふ沿道にあり、定期自動車がある、四〇錢、二〇往復。

日當山温泉 (鹿兒島縣始良郡日當山) 鹿兒島市から一時間、定期自動車の便あるため(単人驛から二軒、一五錢)、日曜祭日には日歸りの浴客多く、旅館の新築、浴場の改善など近來の發展は目醒ましい。東郷湯、元湯、丸湯などあり、大正館、加藤館に滿洒な内湯家族湯もある。無色透明のアルカリ泉。通話、交通至便、郵便局もある。

山之城温泉 (鹿兒島縣始良郡日當山) 日之出温泉と川を隔て、相對し宿舎自炊、貸間完備して浴客四時絶ゆることがない。砂蒸もあつて古くから評判の温泉である。(単人驛から一三軒、バス五五錢)

吉松温泉 (鹿兒島縣始良郡吉松村) 吉松温泉は吉都縣起黒肥薩線の中央である吉松驛から一軒餘、般若寺、竹田、村岡、坂口、前田、西田、雪松、日之出、中野等數ヶ所の温泉があり、前田、般若寺は旅館の設備があつて四時客が絶えない。

京町温泉 (官崎縣西諸郡飯野村) 京町温泉とは眞幸村、吉都縣京町驛の附近數ヶ所にある各温泉の總稱である。かみなり温泉、玉聖館温泉、眞砂子温泉等があり、又三軒を隔て、吉田温泉があつて吉都縣沿線での温泉郷である。山中各温泉自炊入湯料 一日一人二〇宿泊料及自炊料 九尾館、嶺南洲館、霧島神宮各旅館、一泊二食二圓乃至三圓。但特別期間に季節により多少の差違がある。

鹿兒島市

鹿兒島縣廳・鹿兒島本線及日豊本線の終點鹿兒島驛所在地。門司から鹿兒島本線經由急行列車で八時間五分(四〇〇軒)、三等四圓五七錢(運賃は肥薩線經由の三八五軒九の料程に依る)。

西北に城山を負ひ、前に櫻島を控へて鹿兒島灣に臨み風光絶佳の地である。市はもと島津氏七七萬石の城下で、いま人口一七〇、六〇〇(昭和九・八調)薩摩焼・薩摩餅・煙草・薩摩芋・錫器・竹器・櫻島大根等を産する。大根は櫻島の特産で直径約五〇厘に及ぶものがあり、甘味に富みその粕漬は薩摩漬と稱して好評を博し、年産額二〇萬圓に達すると云ふ。

〔旅館〕 岩崎谷莊(山下町八八、驛一軒、電二六一、和室一八、洋室三、一泊④六圓)、明治館(東千石町、驛から一軒四、電四一〇、室一七、④四圓)、薩摩屋本館(山下町、驛から一軒、電八五、室一六、④四圓)、薩摩屋別荘(電二〇一二、驛一軒、山下町、四圓一五圓)、滿洲館(山下町、電一三三四、一泊④四圓)、山城屋(電三二九、驛八〇〇米、築町、三圓一四圓、本千歳(山下町、驛八〇〇米、電四〇二、同上)。

〔市内見物〕 ▲淨光明寺内の西郷隆盛墓地 驛の西北一軒、城山の東麓にある、徒歩約二〇分。また淨光明寺岡にある堂宇内には東京上野公園内に建つ南洲銅像鑄造の際造られた原型の木像が安置されてゐる。墓地から右段を下つた所の淨光明寺址の地は城山攻撃の際山縣參軍の本陣を据ゑた地である。西郷終焉の地、城山の背後にある支谷たる岩崎谷の山峽にあり、南洲自及の場所には碑が建てられてゐる。▲城山の南北方にある、海拔一〇七米の小丘で、満山緑樹茂り自然の公園をなして居る。此處からは前面に鹿兒島灣の碧波を距て、櫻島と相對し、鹿兒島市の大部分を脚下に見晴し、薩摩大隅の兩半島も指呼の間に認める事が出来る。城山は西南の役に薩軍の死守すること二十餘日、明治十年役最後の古戰場として人の知る處である。▲別格官幣社照國神社 驛から二軒、市電天文

鹿兒島線 (鹿兒島・指宿)

鹿兒島市から約四軒、祭神は幕末諸侯中の傑物であつた舊薩摩藩主島津齊彬を祀る。例祭一〇月二八日。▲島津別邸(俗に濱邸と云ふ) 驛から海岸傳ひに約四軒、前に錦江灣を隔て、櫻島を眺め、邸内また林泉の美に富む。尚古集成館觀覽券持券者は參觀が出来る。▲尚古集成館 津津に隣接し、嘉永元年、島津齊彬公の創建した集成館の跡である。往時は兵器機械類の製造所であつたが、今は薩摩に關係ある史的資料を陳列一般に公開して居る。觀覽料一五錢。▲櫻島 驛から徒歩一軒の第二棧橋から渡船で約三分間、片道二〇錢前八時後四時迄一六往復貸切モーター船一〇人迄往復五圓。▲其他加治屋町にある南洲の誕生地、郊外武岡の藩にある舊邸、今日縣立病院となつて居る私學校跡などがある。〔名物〕 煙葉、櫻島大根。

▲電車市内六錢均一 ▲タクシー市内八〇錢 ▲乗合自動車(電車共通)六錢均一。イブス。

指宿温泉 鹿兒島縣指宿郡指宿村。▲鹿兒島驛から南四軒乃至四八軒、自動車二時間半、乗合片道一圓、(前七時後七時迄一時間毎に發)、貸切八圓。▲又は西鹿兒島から分岐する指宿線終點、指宿驛下車、鹿兒島一指宿間一時間半(四八軒九)、三等七七錢。

地は薩南半島の東端熱帯植物の生ひ茂るところ、鹿兒島灣を隔て、遙かに大隅の羣嶺を望む指宿の海岸約四軒餘の間に散在する大温泉郷で、柴立、二月田、彌次ヶ湯、村の湯、朝日、櫻ヶ濱、湯口、湊等の諸湯が連なる三軒、近きは一、二百米の間に湧出して居る。而も此の温泉の特長は温度の高温な事と湧出量の豊富なのを利用して或は温床を設けて蔬菜の促成栽培を営み、或は海水を引き温泉熱によつて鹽を製して居る事である。

▲湯口 海濱近くの白砂青松の美しい地にある。砂蒸湯が數ヶ所にある。泉質は鹽類泉で胃腸病・リウマチに効がある。〔旅館〕 海水園(電指宿一六、④三圓半)。

▲櫻ヶ濱 湯口から約四軒、此の温泉郷最南端に位した海濱にあり、泉量豊富で温度の高い事と湯の綺麗な事第一である。泉質鹽類泉で温泉五〇度内外、胃腸病・リウマチ等に効がある。〔旅館〕 倍楽園(④三圓半)。

日豊線に浴うて

皇祖發祥の靈地 日向高千穂 宮崎縣西臼杵郡高千穂町。

▲日豊線延岡駅から高千穂町三田井迄西北約五八軒九、自動車二時間半、乗合一圓(前七時)後六時半迄(二三回)貸切七人乗八圓。

▲高千穂線高千穂から南四三軒二、自動車一時間、乗合一圓六〇錢(一日一〇回)、六人乗貸切一圓。

▲熊本-高千穂町三田井間自動車三時間半、約一〇〇軒、乗合二圓六〇錢、一日一〇回、貸切三五圓。

阿蘇・二上の靈峯巍然と聳えて群山を壓し、僅かに五箇瀬川の溪流が日向に向つて走る所に位して山紫水明、そのうちに抱かれて靜かに眠るのが神都高千穂である。地は文化未だ普からざる僻陬の地であるが、商賈軒を並べて街衢をなし、人口九千餘を有する山中の一大聚落で物資豊かに天與の高原である。

天孫瓊杵々尊、天神の命を承けて大八洲を平定すべく、「天の盤座を離ち天の八重雲を稜威の道別きに別きて筑紫日向の高千穂の久志布流の峯に天降り給ひ」てより日月悠々と流れ、幾千歳、記紀これを傳へて既に千有餘年、高千穂が日向の國の何れの地であるか、いまだ定説を見ない。しかし、西臼杵郡の高千穂と、日・隅國境の霧島山とが最も有力な傳説地として學界に齎しく認められてゐるが近來西臼杵郡の高千穂をもつてこれに擬すの説が最も有力である。

日向高千穂は皇祖發祥の地として、神話の國、傳説の國であるばかりではなく、また五箇瀬川沿岸一帯數十軒に亘る七尺に達する。「(二上)」海抜約、一、〇〇〇米、山容秀絶、四邊の群峯を麗してゐる。「天岩戸」町から約五軒、自動車二〇分、乗合二〇錢、八回。岩戸川を距て、天岩戸神社がある。拜殿・寶殿・神樂殿の三つあり、拜殿から川を距て、天の岩戸を拜す。岩戸は斷崖の中腹にあり、緑樹兩岸を蔽ふて神祕を物語る。毎年二回例祭が行はれ、岩戸神樂の名は世に名高く、簡潔古雅昔を偲ぶものがある。

青島 官崎縣官崎郡青島村。

▲日豊本線大淀駅から分岐する官崎鐵道青島駅から半軒、大淀-青島線(獨汽車三五分(一二軒七)、四四錢)。



島は周圍約一軒半、面積四平方軒あり、全島檳榔樹其他熱帶植物を以て蔽はれ、夏季海水浴の適地として賑ふ。島内に彦火々出見命・豐玉姬を祀る青島神社がある。

る峽谷美は實に天下の絶景である。五箇瀬川は源を阿蘇火山の麓に發し祖母山麓をめぐつて東に流れ延岡町を貫流して日向灘に注いで居る。流程凡そ一〇〇餘軒、水郷延岡の町を發して西北へ約六〇軒、羊腸たる棧道は五箇瀬川の清流に沿うて高千穂へ通ずる。曾木を過ぐれば溪は愈迫り山は愈峻しく、清流奇石に激して斷崖に反響する。日鏡の瀨・草薙の瀧・高千穂風峽・蓬萊岩・御清水はその沿道の絶景である。御清水附近から道は岩戸川に沿うて走り、急角度に高原へ登り、高千穂に達する。

高千穂には高天原・櫛觸峯・天香久山・天真名井・四皇子峯・二上峯など神代の傳説の纏る神跡が頗る多い。

「高千穂町三田井の旅館」今岡電高千穂四九、室一〇、普通一泊二圓半、(二圓半)、(以下料理兼業、普通一泊一圓半)、田中屋(同四三)、松島屋(電一四)、伊豫屋(電一〇七)、上野屋(電二五)、大和屋(電一五)。

高天原 高千穂町三田井の町端れにある老松に剛まれた高丘で、眺望の豊かな地である。太古皇孫がこゝに宮居して、祖國高天原の名を移して住せ居られたところと傳へてゐる。「(四皇子峯) 高天原に連なる高丘で、鷓鴣草葎不合尊の御子五瀬命、稻氷命、御毛沼命、豐餘彦尊の四皇子御降臨の地であると云ふ。「(櫛觸神社) (タジフリジンジャ) 高天原の左方櫛觸峯の中腹、老松古杉を擁する幽邃の地で、天孫以下數神を奉祀してある。「(天香久山) 櫛觸峯の北方に聳ゆる秀峯で高天原から根こぎにして携へ來つた眞槲を植ゑた所と傳へられ、全山槲をもつて覆はれてゐる。「(天真名井) 櫛觸峯の北麓を走る小流、神代川左岸の千古の老榎の榎根下に洞穴をなし、天然の清泉をなしてゐるところ。井戸に乏しい此地方の飲料水の重要な供給所で、天孫の神水である。「(蓬初川) 櫛觸峯の東麓にあり、猿田彦尊と天鈿女命とが逢ひ初め給ふたと傳へられ、峯の背面には二神住居の址がある。「(高千穂神社) 町の西端にあり、垂仁朝の創建で御毛沼命を祀る。今の社殿は安永八年の造営で境内に老杉多し。富山重忠の手植と稱する杉は高さ二七間目通り二

泊四圓、日房(同一二番、二圓乃至三圓)、浮島(同九番、同上)、青島(同七番、同上)、彌生(同一四番、同上)、鬼來(同上)。

「青島の旅館」 廣瀬 (電話青島一〇番、宿泊料三圓半、四圓、①一泊四圓)、日房(同一二番、二圓乃至三圓)、浮島(同九番、同上)、青島(同七番、同上)、彌生(同一四番、同上)、鬼來(同上)。

「青島温泉」 官崎旅館 (島温泉駅から五〇米、電話青島一六番、宿泊料二圓一三圓)。

「觀戸神社」(官幣大社) 官崎縣南那珂郡觀戸村官浦。

前記官崎鐵道の終點内海駅から約二〇軒、吹毛井迄自動車一時間、六人乗貸切一圓、同乗合一圓(八時四〇分から後四時三〇分まで五回)又は官崎駅から乗合自動車にて二時間、乗合一圓一〇錢(午前六時半以後七時半迄一時間毎)貸切片道一〇圓、往復一三圓(四一軒六)。大淀から乗合一圓五〇錢(一日六回)、貸切片道一三圓、往復一七圓。

▲大淀-内海間 官崎鐵道一時間一〇分(二〇軒)、並等片道六九錢。

祭神は神武天皇の父尊、鷓鴣草葎不合尊を祀り、相殿には天照皇大神・天忍穗耳命・日子火瓊々杵命・日子火々出見命・日本磐餘彥命(神武天皇)の五柱を合せ祀り、觀戸六柱大權現と稱へる。例祭二月一日。

御社地は神代史に見ゆる祭神降臨の靈地で、所謂觀戸窟は海に臨んで東南に向ひ、その廣さ東西三七米八、南北二八米八、高さ五米四あり、社殿は即ちその窟中に鎮座してゐる。

神宮から二一三〇米登ると絶頂で、速目峯と稱し、地勢隆起して圓形をなす處二ヶ所あり、尊の御陵墓傳説地である。

官崎市 官崎縣廳・日豊本線官崎鐵道所在地。

門司から汽車約九時間三五一軒、三等四圓二七錢。

皇祖發祥の地で神武の昔から開けた地である。今人口六四四、二四五人、大淀川市街の中央を流れ、清武臺の丘陵其南、つて居る。

「旅館」 神田橋(川原町、驛一軒六、電話二一・六一、室二〇、一泊②五圓)、廣瀬(川原町、驛一軒六、電六四、室一五、一泊②五圓)、神都(川原町、電七三五、二圓一三圓)、藤之井(川原町、電三五、同上)。

「名所」 「官崎神社」(官幣大社) 官崎市神宮町にあり、官崎駅から北二軒二、自動車一〇錢(途中乗換を要する)、花ヶ島駅から三〇〇米、大淀駅から四軒七、自動車二〇分、乗合一〇錢、前七時以後一時迄五分毎に發。祭神は

神日本尊餘彥尊(神武天皇)及鸕鷀草不合尊、玉依媛命の三柱を祀る。神宮は阿蘇國造の祖建甕龍命(天皇の御曾孫)が神武天皇の皇居跡に社殿を建てられたもので、もと神武宮と稱した。今の社殿は明治四〇年九月の竣工で、範を併勢大廟にとつたものである。例祭一〇月二六日。

▲景清廟所 宮崎神宮から約一軒一、▲生目神社(縣社) 生目村にあり、宮崎縣から約六軒、省營バス一八號(九回)、一五分、大淀驛から西約四軒。惡七兵衛景清は頼朝を刺さんとして采さず、自ら兩眼を抉つて失明した。後此の地に流され、此處で世を終つたと傳へられてゐる。當社は即ちその兩眼を祀つた神社であると云はれ、眼病に靈驗ありとて景清廟所と共に參詣者が多い。

○遊覽バス 毎日八時半及一時半の二回、市内見物、官崎神宮、生目神社、青島見物約四時間、賃一圓二〇錢(鶴戶神宮見物の場合は約七時間、賃二圓二〇錢。婦人案内人附)。

西都原 西都原官崎縣兒湯郡妻町。

妻線(日豊本線廣嶺驛乗換) 妻線から西二軒二、自動車六人乗賃切往復一圓五〇錢。

日向は皇祖發祥の地、國內到る處に古蹟の散在する中にも最も多いのは西都原の高原一帯の地である。西都原は米良一帯の山嶽を背に穂北の平野を眼下に望む東西二軒七、南北四軒餘の高原で、昔は齊殿原と稱して古墳二四九基を有し、宛然古墳の都をなしてゐる。鬼の窟は當地唯一の有石塚古墳で、周圍に土壘を築らしてゐるのも珍らしい。

古墳中最大のもは、高原の中心にある男狹穂塚・女狹穂塚で、前者は瓊々杵尊、後者は木花陰姫尊の御陵墓と傳へられ、今官内省の管轄に屬してゐる。規模は餘りに大きく、外から見れば只一帯の松林としか思はれないが、中に八つて精査すれば外濠を有し、三つの階段を有する標式的な大鏡子塚である。

別府温泉 大分縣別府市。日豊本線別府驛所在地。

▲門司から汽車二時間四〇分以上(一三一新九)。三等一圓九三錢。▲大阪から大阪商船で一八時間二〇分(四一五新、三等六圓、二等一圓二二圓)一日一回。

別府市は温泉の上に浮ぶと稱せらるる程、湧出量豊富に南北八軒、東西八軒の間海岸に、沙汀に、丘上に、溪間に、田圃に行くとして温泉ならざるはなく、泉質も亦多種に亘り如何なる病者も最適の療養所を見出す事が出来る。特に砂湯は此地の最も誇りとする所である。

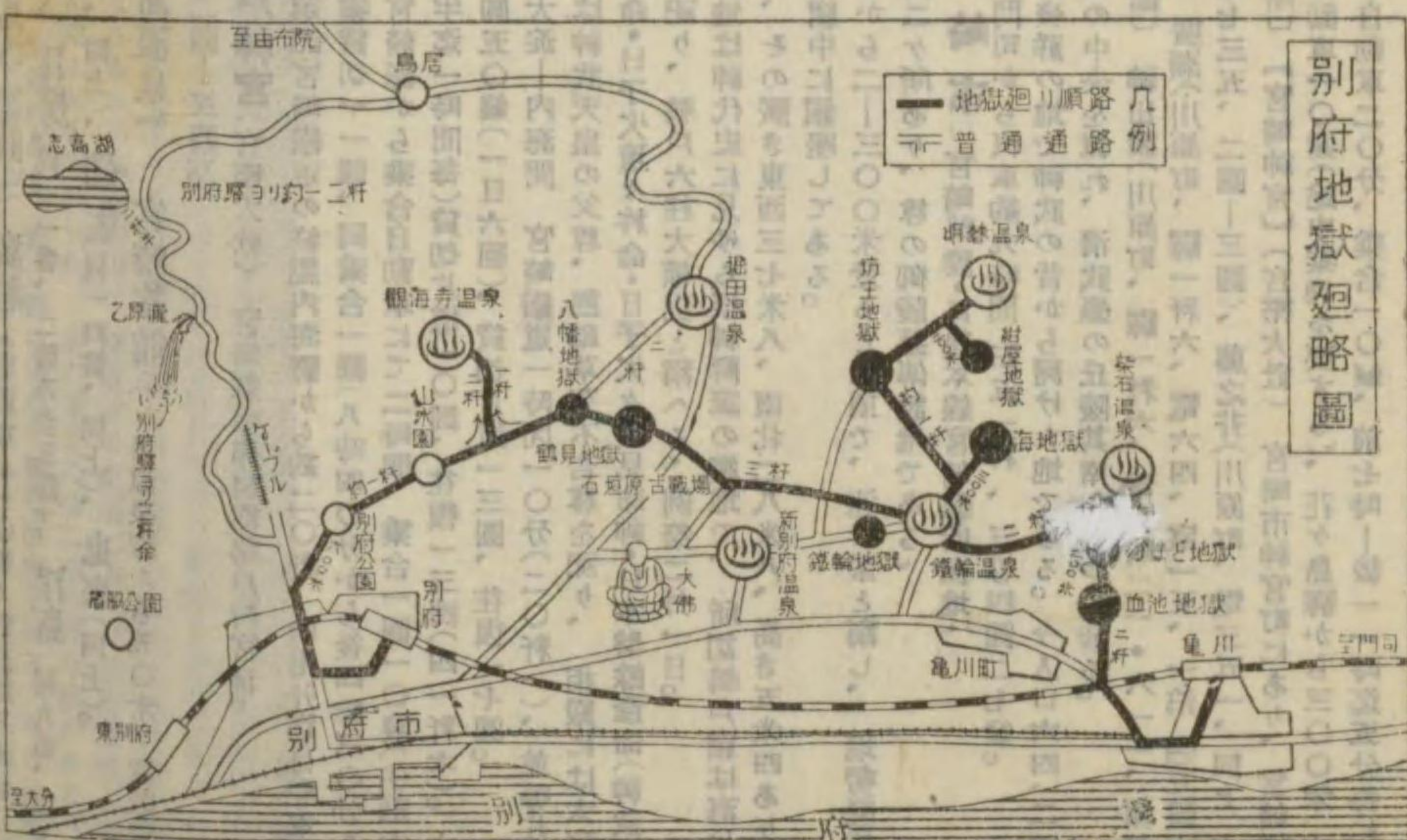
〔別府無料案内所〕 一、別府市役所温泉課(文書又は公務時間内は何時でも電話、口頭で質問に應ず、電話一三番、三六七番。二、別府旅館協會事務所別府驛前にあり、前者と同様文書、口頭、電話で照會し得。又青柳の案内人を驛及棧橋に出して無料で道案内又は手荷物世話をもして居る(電話四〇一番。三、右の外別府驛案内所(電二三六番)及大阪商船支店(電一一〇、一一二)でも質疑應答して居る。

〔地獄めぐり〕 別府市街―鶴見地獄―觀海寺から約半軒―八幡地獄(鶴見地獄の上にある)―鐵輪地獄―玖倍理地獄―鬼山地獄―十萬地獄―海地獄(朝日村鐵輪にあり、別府地獄の最大なもの)―鬼石坊主地獄(海地獄から約一〇〇米)―かまど地獄―血ノ池地獄(龜川から一軒八、柴石から五〇〇米、別府名産の地獄蒸を用す)―等遊覽自動車で二時間半乃至三時間、行程約一六軒、料金一圓(二五分毎)貸切四圓。各地獄見物料一ヶ所一五錢宛。但し共通券を求めれば前記一〇ヶ所の地獄見物料五〇錢。

〔自動車賃調〕

Table with fare information for various locations like 市内, 鶴見園迄, 鐵輪迄, etc.

別府地獄廻路圖



- 大分市迄 二圓
久住高原迄 二五圓
森町迄 一〇圓
阿蘇山往復 三〇圓
高千穂迄 三五圓
小半鐘乳洞往復 一五圓
風速鐘乳洞往復 一二圓
日田町迄 一八圓
熊本迄(阿蘇經由) 四〇圓

▲乗合 別府―日田(六〇哩、三時間半)料金二圓、一日二往復。同―由布院(二六軒一時間半)料金八〇錢、一日五往復。同―湯川(二二〇哩、一回發)料金五圓(別府發前七時半、由布院前九時、耶馬溪著正午、羅漢寺著後一時、宇佐八幡著後三時、別府歸著後六時)

〔遊覽人力車〕 別府市内各所遊覽時附一圓二〇錢、約三時間を要す。別府温泉、濱臨温泉 別府驛、東別府驛附近一帯。兩温泉とも別府市に在り、市中に現在一千有餘の泉源を有し、砂湯、蒸湯、旅館は元より、商家、民家、總て浴槽を有し、砂湯、蒸湯、砂湯、湯瀧又別府特有の海岸砂湯等があり、市内のここかここに不老泉其他市營七ヶ所、區營二五ヶ所、部落經營のもの五〇ヶ所の共同浴場がある。海岸砂湯は別府港の南北海濱一帯に湧出する温泉を利用する天幕張の浴場で、干潮の際砂を掘り分け、各自適所の地位に或は半身を或は患部を温砂中に埋めて入浴するもので、神経系統の諸病・リウマチスに特効がある。

〔主なる旅館〕 龜の井ホテル(電二〇三、不老町、驛四〇〇米、和洋兩式室代和室一人二圓―一五圓、以上二名を増す毎に一圓宛洋室三圓―一二圓、以上一人を増す毎に二圓宛、食料料和洋共、朝一圓晝一圓半、夕二圓、②二食付和七圓)、日名子(電九番、仲町、驛四〇〇米、普通一泊四圓半、五圓半、③六圓)、米屋(電三三、本町、驛四〇〇米、普通一泊三圓半、四圓半、④五圓)、鶴の居(電話四一二、不老町、驛四〇〇米、普通一泊三圓半、四圓半、⑤五圓)、川正(電話四五六、濱臨、驛二軒二、普通一泊二圓

半、三圓半、④三圓半)、高砂(電話五四〇、海岸商船棧橋前、驛八〇〇米、⑤五圓)、鶴田(電話五八、北濱、驛半軒、二圓半、三圓半、④四圓半)、豊前屋新館(電話九二九、梅園町、驛半軒、④四圓)、泉孫(電八、濱崎、驛二軒、三圓)、愛媛屋(電二二二、北濱驛半軒、二圓、二圓半)、永樂屋(電三五、楠瀬、驛七〇〇米、二圓、二圓半)、倉持(電四二二、御成町、驛八〇〇米、二圓半)、兒玉屋(北濱、六〇〇米、二圓半、三圓)、紅葉館(電四一四、不老町、一〇〇米、二圓、三圓八〇錢)、讚岐屋(電三七三、北町、一〇〇米、一圓半、二圓二〇錢)、松屋本家(電二二、北濱、半軒、三圓、三圓半)、松島屋(電三二二、北濱、半軒、二圓半)、和田彦(電六五港町、七〇〇米、三圓、四圓)、昭和園(電三九九、鶴見ヶ丘、一軒六、三圓)、清風莊(電一二三、北濱、半軒、四圓)、田ノ湯館(電七二二、田ノ湯、三〇〇米、二圓半、三圓半)、二條館(電六二九、北濱、半軒、一圓八〇錢、二圓七〇錢)、花菱(電二四九、北濱、半軒、二圓半、三圓半)、廣壽(電二七三、濱町、八〇〇米、三圓、三圓半)、姫野(電二四一、御成町、八〇〇米、二圓半)、成天閣(電二五二、的ヶ濱、六〇〇米、三圓半、五圓)、不老園(電五三、不老町、二〇〇米、二圓半、三圓半)、湊屋(電五〇、楠瀬、六〇〇米、三圓、三圓半)、中山(電三四七、田ノ湯、四〇〇米、四圓半五圓半)、濱吉(電五一、楠瀬、七〇〇米、四圓)、壽館(電六三六、御成町、八〇〇米、二圓、二圓半)、鹽久(電一五八、濱崎、二軒四、二圓、二圓半)、鶴水園ホテル(電八一、北濱立、四〇〇米、和洋兩式、二圓、四圓半)、住三(電五一六、楠瀬、六〇〇米、二圓、二圓半)、山海莊(電二八九、御成町、八〇〇米、二圓半、三圓半)。

以上何れの内湯がある。別府には其他合計三百餘戸あり、此等旅館の制度に普通の旅館制、入湯階制(俗に木賃と云ふ)及間貸制の大體三種に分れ、その三種を兼登してゐるものもある。旅館制は一、二、三、四、五の階級に分れ、その階級毎に膳は松、竹、梅、櫻の區別があり、二食付八〇錢乃至六圓となつてゐる。木賃制は一室又は數室を貸切り、主として長期滞在者が自炊又は好みの料理を旅館に命じて調理させるもので、一人部屋料金三〇錢以上七〇錢迄、貸切室料金一枚に付一〇錢乃至五〇錢、費共一組一日一〇錢乃至五〇錢、襦袢・浴衣は一枚一日

鐵輪溫泉

速見郡朝日村、龜川驛から八軒、自動車三〇錢、別府驛から八軒、自動車二〇分、乗合三〇錢、柴石から南八〇〇米。地は土地高燥で空氣清澄、海山の眺望が佳い。温泉は豊富にて到る處に湧出し、硫化鐵酸性鹽類泉の温湯(五四度)、花柳病・婦人病・リウマチスに效く、無色透明の炭酸性單純泉の熱湯(五三度)、胃腸病・腺病に效く。含鐵炭酸泉の温湯(六二度)、皮膚病・筋疾に效く)等があり、特に鐵輪の誇りたる蒸風は神經痛・リウマチスに卓效がある。

明礬溫泉

速見郡朝日村、龜川驛から八軒、別府驛から一二軒一、自動車四〇分、乗合五〇錢、貸切二圓五〇錢。地は龜見山の北派、明礬山の東腹にあり、標高千二百尺、海山の眺望を縱にする閑靜地である。温泉は鶴壽泉・藥師温泉・地藏湯・鷲ノ湯等の共同温泉の外湯瀧、蒸湯もある。泉質は硫黄泉で白濁を帯び、温度八〇―八九度、皮膚病、性病に效がある。

柴石溫泉

速見郡龜川町、龜川驛から二軒二、自動車二〇錢、別府から八軒。地は溪流に臨み風致に富む所である。温泉は湯瀧を特色とし含鐵鹽類泉で、泉温六九度、腦病・貧血病等に效く。

龜川溫泉

速見郡龜川町、別府に亞ぐ温泉町で別府灣の碧海に面して風光明媚、至る處に湧泉あり龜陽泉、四ノ湯、濱田温泉等の共同湯がある。泉質は炭酸性鹽類泉で泉温は五二度乃至五五度、リウマチス、腺病、婦人病等に效がある。別府から電車一〇錢、自動車乗合一五錢。〔旅館〕 平山(電話龜川一七)、むらや(同七)、小松屋(同五五)、松ヶ井(同七)、等其他數十軒、宿泊料(二食付)二圓半、三圓、四圓、五圓、晝食一圓乃至二圓半。

五錢乃至一〇錢、食料品は實費同様にて嗜する制度になつてゐる。〔附近名所〕 ▲的ヶ濱(境川尻附近一帯) ▲海門寺(曹洞宗の巨刹) ▲別府動物園(梅園町、大人一〇錢小人五錢) ▲西法寺(眞宗の巨刹) ▲海門寺公園(園内に温泉及び日本棋院支部あり) ▲松原公園 此の附近に劇場、活動寫眞館などあり) ▲別府東公園(市街を脚下に眺望佳) ▲金比羅山の古墳(俗に狐穴と云ふ) ▲崇福寺(臨濟宗の巨刹) ▲八幡朝見神社(別府の氏神にて朝見の社に鎮座す) ▲結返の瀧(朝見神社の西方約九〇〇米、吉備山の六枚屏風に懸る) ▲乙原の瀧(市の西方約三軒餘) ▲別府公園(園内に温泉神社、野球グラウンドあり) ▲山水園(麻生太吉氏の私有公開庭園) ▲乙原ヶーブルカ(日本最短最急のものにして其上に展望温泉、ペビーゴルフなどあり) ▲鶴見園(温泉遊覽設備完備し、毎日午前餘興、午後歌劇あり) ▲別府大佛(高さ二五米)等であるが、別府灣の背景をなす ▲鶴見岳(休火山で海拔一、三七五米、山麓石垣村から約二時間で頂上に達す) ▲由布岳(豊後富士とも云ひ海拔一、五八四米の休火山、別府から一六軒、山麓に由布院温泉がある)又は ▲高崎山等に登るも興が多。

〔名物〕 湯の花、竹細工、温泉染、つけ櫛、別府しほり、總針、別府人形、温泉飴、温泉煎餅、湯の玉饅頭、袖ねり、文旦漬、別府高麗糖等。

觀海寺溫泉

大分縣速見郡石垣村、別府驛から約三軒三、自動車乗合一二〇錢、六人乗切一圓。地は觀海寺山の中腹に在りて山を背ひ、海を抱き石垣原の曠野を瞰下して眺望の美語温泉中の第一である。泉質は炭酸性鹽類泉で、泉温攝氏五六度、胃腸病・淋病に效がある。

堀田溫泉

速見郡石垣村、別府驛から五軒一、自動車約三〇分、乗合三〇錢、六人乗切二圓。鶴見嶽の麓にあつて三面山に圍まれ東に向つて開け、遂に別府灣を望み展望佳。温泉は硫黄炭酸泉で、白濁不透明、泉温四七度、皮膚病・花柳病等に效がある。〔旅館〕 金田屋、堀田屋。

宇佐神宮

(官幣大社) 大分縣宇佐郡宇佐町。日豊線宇佐驛から分岐する宇佐宮鐵道の終點宇佐八幡驛から半軒。宇佐驛―宇佐八幡驛間一〇分(四軒八)、一八錢(省線列車に接續)。又は宇佐驛から宇佐町迄乗合自動車一五分、片道二五錢(列車毎)。終點の鳥居から本殿迄四〇〇米。貸切片道一圓半、往復二圓半。祭神は譽田別尊(應神天皇)、比賣大神・大帶姬命(應神天皇の母后神功皇后)の三柱を祀るいはゆる宇佐宮八幡である。例祭三月一八日。

社は豊前國一ノ宮で、往古から朝廷の崇敬が非常に厚く世毎に必ず一代一度の大神宮使を遣はされ、三〇年目には太宰府に命じて社殿を改造させ、伊勢大廟と並んで二所宗廟と稱へてゐる。神護景雲年間(和氣清盛)に下された神託は、千歳ののち尙赫々たる神威を傳へてゐる。社境は宇佐町の東南に位し、寄藻川を西北に流し、御食川を東南麓に繞らす小椋山の頂上に一・二・三の各殿が蒼々並べて南面し、本殿は八幡造りで國寶になつてゐる。

中津市

日豊本線中津驛の所在地及耶馬溪鐵道の基點。門司から一時間二〇分(六二軒八)、三等九九錢。中津は奥平氏一〇萬石の舊城下で、また明治維新の偉人福澤諭吉翁の出生地として知られてゐる。街は山國川の河口に位し、紡績、絹糸、柞蠶絹糸等の製産があり年額五〇〇萬圓を産し、その他綿布の産出も盛である。〔旅館〕 高木屋・枝町、驛四〇〇米、電中津一七、二圓半乃至四圓、竹内屋(本町、驛前、電二二七、二圓―四圓)、梅の井(本町、電三七三、同上)、島澤(本町、電二七六、同上)、米屋(本町、電三二〇、同上)、梅屋(天神町、驛一〇〇米、電一四二、同上)。〔名所〕 ▲扇城址 驛の北西約一軒、天正一六年黒田孝高の築城せるとい

ろ、今公園となり、本丸址に福澤翁の獨立自傳の碑がある。▲大雅堂 露の西一軒餘、臨濟宗自性寺の書院と云ふ。十疊二室の奥書院の横板戸都總て池大雅の揮毫になる。▲福澤諭吉宅址 驛の北約八〇〇米の留主居町にある。翁は中津藩十百助の二男で明治文明建設者の一人である。

耶馬溪

(指定名勝) 大分縣下毛郡。

- ▲中津から耶馬溪鐵道で羅漢寺驛迄四分(一五九、四五錢)、深耶馬驛迄一時間九分(二四八、七〇錢)、下郷驛迄一時間二〇分、二八六、八〇錢、終點守實驛迄一時間四〇分(三六六、一〇一錢)、一日一往復、(省線と連帶する)。
- 同上耶馬溪鐵道會社經營の自動車で中津から羅漢寺迄三十分、七〇錢、下郷迄一時間一〇分、守實迄一時間半、日田迄二時間二〇分(片道一圓五〇錢往復二圓七〇錢)、一日六往復。
- ▲耶馬溪鐵道深耶馬驛(森町)大湯線(豊後森驛)間自動車一時間一〇分(二七九、四〇錢)、一日九往復(省線と連帶する)、皆切七人乗七圓。豊後森驛から天ヶ瀬迄汽車(大湯線)一九分(三三九、七〇錢)、夫から日田町へ約一四分、自動車がある。(回答未着)
- ▲耶馬溪鐵道終點守實驛(日田町)間自動車一時間一〇分(二二九、四〇錢)、(列車に接續一〇往復の外中津(守實)日田間直通バスが六往復ある)、(省線に連帶する)皆切七人乗四圓。

耶馬溪は本邦に於ける溪山の勝中、最も有名なるもので、その昔頼山陽の才筆を動かして「耶馬溪」なる名稱を附し、一之を海内第一と云ふも或は誣ひざるなり」と云つてから足九州に入る、者の此の地を訪はなざる無き程に知られ大正一二年三月「名勝地」として指定された天下の名勝である。

耶馬溪は北九州の名山英彦山にその源を發する山國川の流域約五二軒に亘る一大峽谷の總稱で、之を大別して(一)

間、等の千態萬狀を窺ふて居る。

(深耶馬溪の主なる名所) 芝石・七福岩・若山・一目八景・紅葉谷・瀨し谷・布目の瀨・一ツ家より舞鶴橋間の景。

深耶馬驛・深耶馬溪一ツ家間約一六軒、自動車片道四〇錢、遊覽乗合往復待合せ時間共一圓五〇錢(案内人附)、皆切往復一〇圓、徒歩片道三時間半。▲裏耶馬溪は下郷驛から約六軒、深耶馬溪の背面に當る金吉支流に散在する奇勝を云ふのである。下郷驛から八軒の伊福は同溪に於ける交通上の要路に當り伊福風穴の上り口に後藤又兵衛の墓があり、山田の景、坂ノ上、鶴ヶ原、鳥屋臺、立羽田連峯等の勝がある。立羽田連峯は一名日暮しの峯とも稱し、遙かに英彦山と其連峰を背景とする偉觀は實に雄大である。道は玖珠郡森町及瀨し谷に通じてゐる。

(裏耶馬溪の主なる名所) 鶴ヶ原・坂の上・池の尾・立羽田・塩ヶ岩・伊福の景・山田の景・提津留の景。

▲瀨し谷は深耶馬溪一目八景から少し進み、右に溪流を越えて谷谷に入つた所で、峽谷は蜿蜒として連なり、日暮し巖、天柱巖、摩天巖、曙巖、玉媛峰等の奇峰が屹立して楓樹は峰より、溪間に一面に繁茂し秋の眺めは絶佳にして觀客の歸るを忘れしむる程である。尙進むと約十分にて小溪流に達す。流れに沿つて、尙約十分進めば平坦なる一枚敷の岩床に踵を浸す位に淺く緩やかな流れが十數町も續き、布目の瀨と稱するものがあり、附近に一目千本の紅葉の名勝がある。道は溪内島屋を経て裏耶馬溪鶴ヶ原に通じて居る。

▲奥耶馬溪は耶馬溪鐵道守實から朝陽橋を渡つて上流彦山町方面に至る溪谷、即ち「千壺峽」で、猿飛の奇勝・玉娥瀑・大曲・白石溪を経て道は英彦山豊前坊舎、高住神社に至り更に彦山町を経て田川郡彦田に到る。奥耶馬溪一帯の地勢は英彦山を最とし數千尺の高峯を競ふて群峙し、楓・樺・松の驚く可き巨木と石楠木等の老株の大原始林にして、懸崖處々に滴瀝し紅葉時の幽邃實に優秀絶佳である。

▲羅漢寺 耶馬溪鐵道守實から總門迄約二軒、自動車乗合往復四五錢、片道二五錢(列車毎)、七人乗貨切往復三圓(所要見物一時間半位、參觀料一五錢)曹洞宗の名刹、總門から急坂百米餘にて仁王門に達し尙老杉參差たる甃道を登つて山門に入れば左に無漏窟と呼ぶ大洞窟内に釋迦・文殊・普賢・五百羅漢及千體地藏の石像二千七百體を安置してある。

本耶馬溪(一)羅漢寺溪(二)奥耶馬溪(三)東耶馬溪(四)南耶馬溪(五)南耶馬溪(六)深耶馬溪(七)瀨し谷(八)裏耶馬溪(九)南耶馬溪(十)椎屋耶馬溪の十溪から成つてゐる。其の總面積は約一、〇八〇方尺に亘り、此の大景の全部を通過せれば耶馬溪の眞價を知る事は出來ない。然し本耶馬溪・羅漢寺溪・深耶馬溪・瀨し谷・裏耶馬溪を大觀すれば其の大體を知る事が出來る。道路平坦、汽車及之に連絡する自動車の便が完備し又旅館・茶店等も各所にあるので女子供でも容易に探勝する事が出來る。

耶馬溪の探勝は、普通羅漢寺附近から深耶馬驛に至る一部分の觀賞にすぎぬが、眞に其絶景に接せんとするには深耶馬驛から玖珠郡界に至る約一二軒の(森町行進) 深耶馬溪の探勝又は下郷驛から森町に至る間の裏耶馬の絶勝を探るものである。

▲本耶馬溪は羅漢寺より上流、深耶馬溪驛より一驛手前の津民驛附近がその中心をなし、三方山に圍まれた溪中屈指の絶勝地である。險道のすげ上を机峯と云ひ其の下の碧水盈滿せる深淵を机淵と云ふ。此處より分岐する溪流を溯れば馬美溪である。

(本溪の主なる名所) 鮎歸り・佛坂・青の洞門・競秀峰・羅漢寺・洞鳴瀨・起雲洞連峰・冠石野の景・賢女ヶ嶽・立留りの景・五龍淵・醉仙巖・机の淵・擲筆峰・朝陽橋・猿飛の景。

▲深耶馬溪は深耶馬驛から森町(豊後森驛)に至る二七軒餘の通路に當る支流の溪を賞するもので、巖石の奇景種の幽邃なること隨一の稱がある。驛から普門寺橋に至る約八軒の間は景趣平凡であるが、芝石岩から鹿舎鐵道附近迄約一二軒の間は、峯岩巒岫の奇、石峯林立の奇勝次第に加はり意ノ奥山・象鼻岩・コシキ岩・七福岩・船岩・人形岩・鳴良の瀨し谷(その延長約六軒、徒歩區間、等の千態萬狀を窺ふて居る)。

大走りの勝 羅漢寺驛の東一〇〇米、山國川の主流と琴川の支流の合する處空洞の天然橋架せられ激流奔入陥落たる壯觀を呈して居る。

青の洞門 競秀峯、驛から三〇〇米の直下を穿鑿して車馬の交通を便にしたもので、往年越後の浪人福原市九郎が(剃髮して禪海と稱して居た)衆生濟度の爲三〇餘年の努力と辛苦を拂つて漸く成就せしものと云ひ、高さ約一間半、幅二間、長さ百二間に達して居る。附近には禪海和尚聖道碑がある。

(溪中の旅館) ▲羅漢寺(山國屋)下毛郡東耶馬溪村大字青、羅漢寺溪から二〇〇米、電耶馬溪八、室一五、一泊二圓一五圓、(三圓)、山都屋(同上、室六、一泊同上)、長命館(同上村大字曾木、羅漢寺驛から五〇米、電同上七、室七、一泊同上)、耶馬溪樓(同上所在電同三、室一〇、一泊同上)、大阪屋(同上所在、室六、一泊同上)、樂山莊(上津村大字彦田、驛四〇〇米、室八、一泊同上) ▲柿坂(下毛郡耶馬溪村大字柿坂)かぶと屋(深耶馬驛前、室八、一泊一圓以上)、近江屋(同上、室一〇)。

▲下郷村(下郷驛前)扇屋(室七)、伏見屋(室四)、一泊七〇錢以上。 ▲三郷村(三郷驛)耶馬溪溫泉驛から二〇〇米、室五、一泊一圓半以上、三交軒(守實驛前、室七、同上)。

日田町 大分縣日田郡。久大線日田驛所在。

▲鹿兒島本線久留米から四七軒(約一時間一五分)、日豊線大分から九三軒(約三時間半)。 ▲耶馬溪鐵道守實驛から二二軒、自動車一時間一〇分、耶馬溪鐵道會社自動車(省と連帶)九往復、實四〇錢。

▲日田町(日田驛)から約八〇〇米の所)から博多市吳服町迄約四三哩の間前六時から後七時迄一時間毎にバスの便がある。所要二時間一〇分、實一圓五〇錢、皆切九圓。

日田町は日田の大盆地に發達した附近屈指の町で、人口一三、三一九(昭和五・一〇)を有し、産業は葉煙草、材木を出し、玖珠、日田二郡の物資は筑後川によつて搬出されて居るので、此地方の主要な町をなして居る。日田盆地は玖珠川と大山川の二水が合流して、三隈川即ち筑後川の上流をなす處に熔岩臺地が浸蝕されて現出した方四軒の地域で、北には英彦山聳え、南には阿蘇の噴煙を仰ぎ、東は九重の山峯連り、西方のみ三隈川によつて筑紫平野に接

し、その景實に雄大である。殊に日田町の周圍には、日田の三丘と呼ばれる日隈、月隈、星隈の三山があり、北に花月川南に三隈川流れて山紫水明の境をなして居る。夏期は三隈川の鵜飼、納涼、筑後川下りの興があり、また附近には月隈山上の永山城址(慶長六年小川光氏の居)、月隈神社、日隈山上の龜山公園、眞光寺、月隈神社、星隈神社、慈光山永興寺、成宜園址等の曳杖地がある。三隈川の鮎は、長良川の鮎も及ばぬ風味を有すると云はれ、日田町の一名物となつて居り、香魚の時節には鵜飼で賑やかである。六月一日から十月中旬まで毎夜、高瀬村黒岩附近から發し、漸次下流に向つて漁しつゝ、龜山に至つて止むを普通とするが、鵜飼は月光を厭ふため、月前又は月後の間に乘じて行はれるのである。遊覧船は前以て旅館を通じて申込み置くを要する。

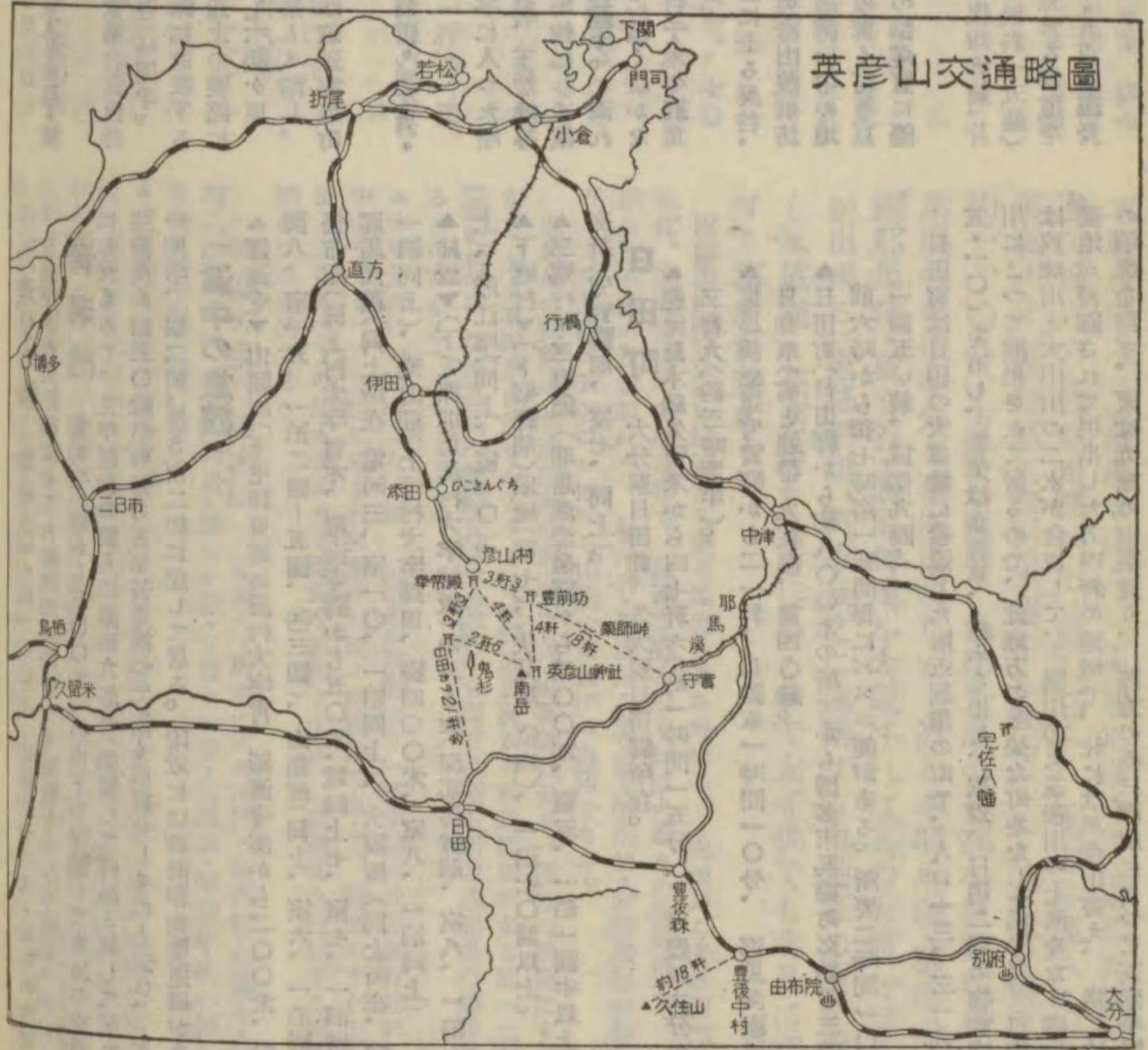
〔旅館〕 山陽館(三隈川畔、驛一軒二、電日田五二、室一八、一泊③三圓)、山水館(三隈川畔、驛一軒二、電二九、室八、外に大廣間あり)、松葉館(月隈公園下、電一三八、驛二軒、普通一泊三、四、五圓)、東洋館(三隈川畔、電一四、驛一軒二、泊同上)、若野屋(花月川畔、驛一軒五、電一〇四、泊同上)、米仙(電二六一)、萬屋(電三三八)、九善本店(電三四九)、筑水館(電二五三)、三重野(電一三三)、大正館(電一六八)、八千代(電一四四)、線吉(電二〇七)、朝日館(電三三〇)、紙木屋(電二二三)、以上一泊、三圓、四圓、五圓。
〔鵜飼舟賃〕 遊覧船一五人乗五圓、二五人乗八圓(舟夫二人附、乗客定員外に藝妓、女中等数名收容出来る)。鵜舟一艘一〇圓(鵜八羽使用す)。
筑後川下り 日田から保氣公園まで約一二軒、二時間半、舟賃一二乗一〇圓、保氣公園から久大線筑後大石驛迄乗凡そ一軒ある。

英彦山神社(官幣中社) 福岡縣田川郡彦山村英彦山上。田川線彦山驛又は小倉線彦山驛から山麓彦山村迄一三軒七、乗合自動車片道七〇錢、五〇分、一日六回。貸切三圓半。
▲耶馬溪鐵道終點守實驛から高住神社(豊前坊)及鷹巢原を経て彦山村迄一二軒、うち約一軒の槻木村新谷迄乗合自動車あり、四〇分、五〇錢、六回。
▲久大線日田驛から玉屋神社を経て彦山村迄二四軒餘。
彦山村の入口に銅鳥居がある。此處から奉幣殿の下迄八〇〇米の間を櫻馬場と稱し、花期には花のトンネルとなる。櫻馬場を六〇〇米許り上ると郵便局や多數の旅館が在つて、此處から頂上へ三つの路がある。

一、彦山村の自動車終點から奉幣殿を経て石段を真直に頂上へ約五軒三、約一時間。奉幣殿は當社唯一の國寶建造物で元和二年細川忠興の再建、此附近に社務所があり、石鳥居を濟つて石段を上れば下津宮があり、そこから一軒の山の中腹に中津宮が鎮座する。更に千本杉の並木を経て一軒六、産靈神があり、本社へは更に六〇〇米餘の石段を上る。
二、彦山村から細道を右へ玉屋神社(三軒三)に參詣して更に鬼杉を見、南岳を越えて頂上へ約六軒、上り二時間半。
三、彦山村から道を左へ(守實驛からの道)豊前坊(高住神社)(約三軒三)に參詣し、此處から守實街道に岐れて右へ北岳を越えて頂上へ約五軒半、上り二時間四〇分位。

英彦山神社は天祖の御子忍子骨命即ち天忍穗命を祀つた大祠である。英彦山は豊前・豊後・筑前の三國に跨り北九州の野に屹立すること一二二二米の高峯で峯勢蜿蜒八方へ延き耶馬溪の本流山國川及今川・蓮賀川の本流をなし翠山紫水の精妙を極めた鎮西第一の名峯である。初め此の山を「日子の峯」と云ひ太古皇祖天忍骨命、天降り給ふた靈地で、神武天皇日向にみまし給ふた時、天村雲命を此の山に遣はされて鎮祭あらせられた。弘仁一二年嵯峨天皇詔りして日子を彦に改め、又享保年間靈元天皇は院宣を以て英彦山と改稱せしめ給ふたのである。崇神天皇奉幣あらせられて以來神功皇后征韓の武甲を納め給ひ、嵯峨天皇は四境七里の神領を奉り給ふなど勅願所として御歴代の尊崇極めて篤く、また勝利開運の神及五穀守護の神として萬民の齊しく尊信するところである。
崇神天皇の御代彦山権現の垂跡によつて寺を靈山寺と號し、文武天皇の朝

英彦山交通略圖



役の行者が来て山伏修行を傳へてから修験者の道場となり、日本五峯のひとつとして結構壯麗なる堂坊三千八百を中心として四十九窟、十二社等の社殿堂宇が峯巒の間に連り盛觀を極め、後伏見天皇の第六皇子長助法親王を迎へて貴主と仰ぎ、以來子孫座主職を襲ぎて法燈不斷、彦山権現の靈威海内に普き、年中賽者踵を絶たぬ盛觀を見たのであるが、明治維新後神佛分離の制により寺は悉く取り去られ、社殿のみ残す事となつたのである。山頂からは阿蘇の噴煙や雲仙・霧島、耶馬溪谷の一帶から日田盆地を望み眺望實に廣大である。例祭九月二十八日、四月一四一五日に神幸祭、八月中旬に彦山踊。
▲名物鬼杉は彦山村から四軒、末社大南社附近にある天然記念物で、胸高周圍一二米餘、樹高四〇米餘、樹齡は彦山の高さと同数の凡千二百年、材積一千石に達すと云はれてゐる。
〔旅館〕 (彦山村) 白梅、花山、天満屋、富二屋、六助、中央。一泊一圓半以上。

長崎線に沿ふて

唐津市 佐賀縣。
▲福岡から北九州鐵道で一時間二〇分(五二軒八)、費一圓。
▲長崎から五時間半(久保田にて乗換(一六七軒五)三等二圓三九錢。
▲佐賀から一時間二〇分(四六軒七)、三等七四錢。
唐津は松浦湯に沿ふて横に長く、松浦川を隔て、萬松一路、白砂走る虹の松原に續く風光明媚の地で、殊に海水浴場として有名である。もと小笠原氏の舊城下で、今人口三四、〇六七(昭和八年末調)を有す。舞鶴公園・虹の松原・近松寺・立神岩・七ツ釜・領巾振山・佐用姫神社・名護屋城址等の名勝史蹟や、神功皇后・豐太閤・佐用姫・葉林子に關する豊かな史料を有して居る。
〔旅館〕 (唐津驛附近) 博多屋(紺屋町、電唐津二六番、室一五、一泊

三圓一四圓半、②四圓、新岩井屋(本町、電二〇番、室一三、一泊同上、③三圓半)、晴芳館(京町、電三四番、室一三、一泊同上)、長崎屋(大手町、電二四番、室一〇、一泊同上)、(虹ノ松原附近)、海濱ホテル(東松浦郡鏡村大字虹ノ松原、電同一〇一番、室和一七、一泊三圓半、四圓、洋室三二、三食付五圓、室代一圓、二圓)、唐津ホテル(満島町、電一三六和室二四、室代一圓、洋室三、室代二圓、食事朝五〇錢、晝一圓、夕一圓半)。

〔附近名所〕▲海水浴場 虹ノ松原海岸及西ノ濱海岸の二ヶ所あり。西ノ濱は唐津驛の北八〇〇米、遠淺にて水清く、眺望佳。▲虹ノ松原 唐津驛から松原の中央迄約四軒、自動車一五分、乗合九錢、一日十數回。北九州鐵道虹ノ松原驛所在地。満島から唐津へかけて八軒の間數百年を経たる老松翠を連ね、唐津の白眉をなす勝景の地で、日本三大松原の一に數へられてゐる。

▲舞鶴公園 唐津驛の東一軒、北九州鐵道唐津驛の西五五〇米、松浦川の流れ緩に海に面せる舊城址にて海も山も一眸の裡にある絶佳の地、又櫻の名所。▲領巾振山 山麓迄約四軒、自動車、五分、乗合九錢、十數回。麓から頂上迄一〇〇米。山は一に鏡山とも云ひ、松原の中央、北九鐵虹ノ松原驛から南半軒餘にある海拔二〇〇米の山で、萬葉集にいふ「遠つ人松浦佐用姫夫戀ひに領巾振りしよりおへる山の名」の一首にあるロマンスに有名なところであるが、此の山頂の大觀は是非試むべきである。山頂は約廣い平坦な芝生でそこに稻荷神社を祀り、脚下に自然の一大ボラマが展開される。▲近松寺 唐津驛の北方六六〇米、菓林子近松門左衛門が効時得度せしところ、境内にその墓があり、また後庭は太閤の寵臣曾呂利新左衛門の築造と傳へる。

▲七ツ釜 唐津から海上一四軒、毎年夏期中遊覽船運航す(毎日午前九時出帆所要約六時間、賃金一圓、立神岩一七ツ釜一呼子田島神社一名護屋城址等)二〇人乗船貸切一五圓。陸路約一四軒、自動車貸切二圓半。或は湯(唐津の北一〇軒八、自動車乗合三〇錢、夫から徒歩一時間。呼子(唐津の北一三軒餘)から小舟を載せて行く可。神功皇后征韓の後、戦徒を祝ふて御酒を中軍に賜ひ、其の土器を此處に棄てられ給ふと傳へられ土器(カラケサキ)又は神崎(カワサキ)とも云ふ。全脚悉く立神岩より成りて斷崖絶壁を爲し、角形の石柱幾萬となく恰も薪を束ねて積み上げた様に翠々として、白波碎くる其の聲に潮音が七つ、釜を並べた如く列んで居る。風の日は自由此

洞窟に舟を滑ぎ入れる事が出来るが風のある日は波高く近寄ることが出来ぬ。▲芥屋ノ大門 七ツ釜を廻るを西廻り、之を東廻りと稱して同じく唐津から芥屋ノ大門、鳥帽子島燈臺等廻りの遊覽船が毎日九時半に出る、所要約六時間、賃金一人一圓二〇錢。地は北九州鐵道線前原驛から北へ約八軒(自動車五〇錢)玄海に突出する一大巖窟である。

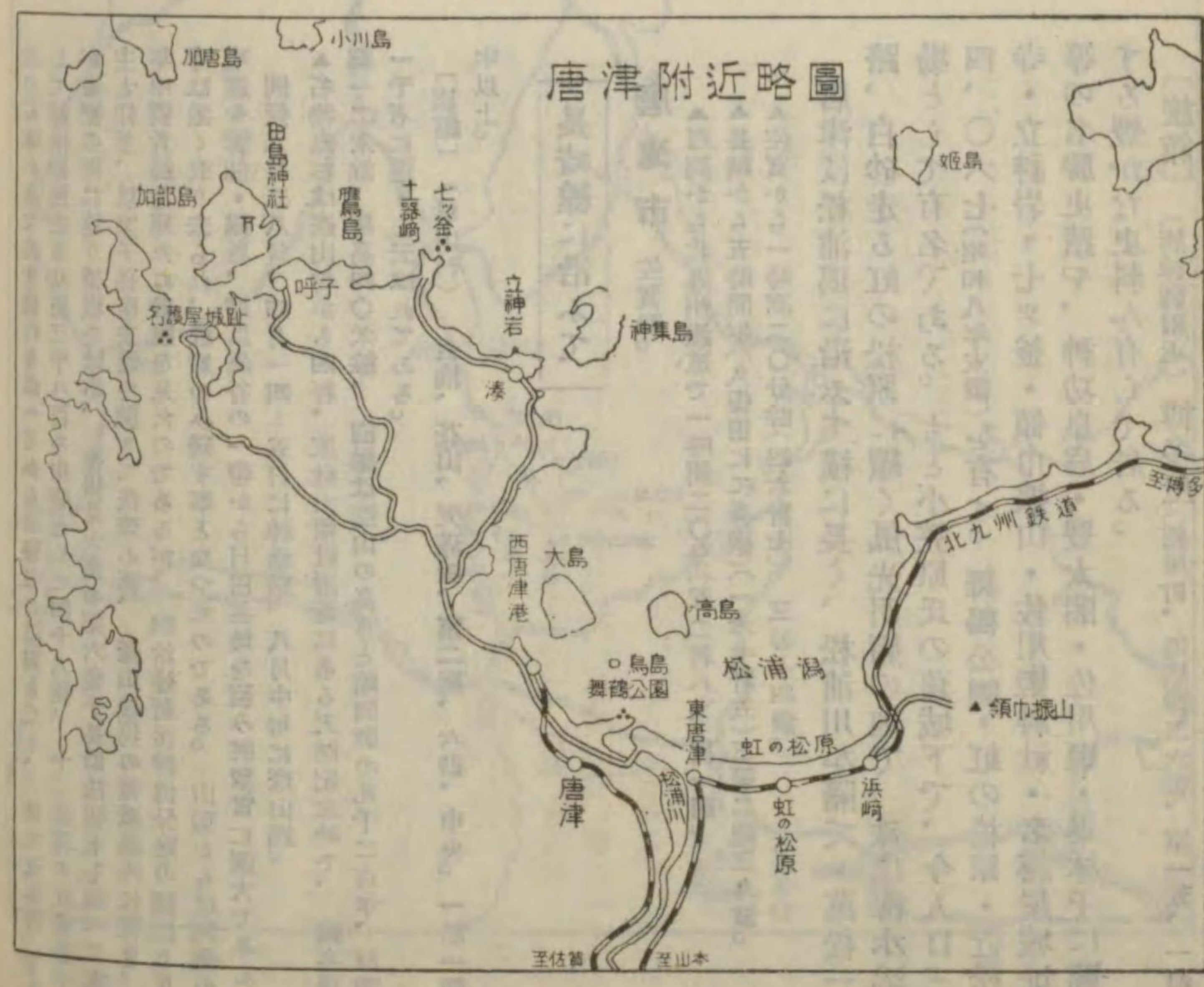
▲名護屋城址 呼子港の西、一聲の水を隔てた名護屋村にある。舟を漕ぐと十數分(渡船賃一〇錢)、更に上段を上つて七、八〇〇米で千古堀々の要を傳ふる松林の中に「豊太閤征韓陣營の跡」なる木標が建てて居る。三三〇年前文祿年間豊太閤が征明征韓の本營を置いた所である(唐津驛から自動車乗合六〇錢、貸切片道四圓、往復六圓)。▲呼子港は唐津から陸路一三軒、自動車一〇分迄三六回)呼子港長く灣入して加部島を控へ名護屋と相對する美しい港で、今人口六、九六五、漁業の盛んな所である。又此處は壹岐對馬に最も近く定期船が運航して居る。▲加部島 呼子の前面に横はる俗塵を離れた仙郷、島の東端に國幣中社田島神社があり、其境内に佐用姫神社がある。

▲武雄温泉 佐賀縣杵島郡武雄町。佐世保線武雄驛から西七〇〇米、自動車乗合一〇錢、貸切五人乗五〇錢。湯は外湯であつて新館と舊館とある。新館は階上が休憩室、階下が一〇錢湯一五錢湯、貸切湯があり、浴場の入口には天平の音を偲ぶ丹塗の大樓門があり之を中心として一帯は湯の町氣分が濃厚に漲つて居る。舊館は二錢湯、五錢湯、貸切湯に分れて居る。泉質は無色透明のアルカリ性炭酸泉で、温度四九度、皮膚病・呼吸器病・神経性諸疾患・梅毒性疾患に效がある。附近には櫻山公園・淀姫神社・白龍峯・武雄神社御船山等あり。

〔温泉旅館〕東京屋(電二〇、室一九、洋室一、④四圓、内湯あり)、角樹(電三、室一一、④四圓)、春慶屋(電二八、室一五、④四圓、内湯あり)、東洋館(電一一、室二〇、④四圓)、中樹(電七、室一〇)、京都屋(電一一六、室一三、普通一泊二圓)。

長崎市

長崎縣廳・長崎線長崎驛所在地。▲門司から博多・島樞經由急行四時間五〇分(二四〇軒四)三等三圓一六錢



▲神戸から日本郵船會社上海航路の便で二二時間(三九四軒)、三等七圓、一等三圓以上、四日に一回發。
【注意】長崎市及附近は要塞地帯であるから攝影模寫等の場合は外浪町(大波止から交通船にて旭町上陸)の長崎要塞司令部の許可を要する。

市は九州の西端に位する長崎縣の首都で、現在人口二四九、〇〇〇(昭和五・一〇に於ける國調人口は二〇四、六三六)を擁する九州第二、本邦第九位の海港都市である。街は彦山・烽火山・金比羅山等の連亘せる丘陵に圍繞せられ、中島川市の中央を流れて西南に注ぎ、そこに天然の良港「長崎港」を擁し、海陸交通の衝をなしてゐる。港は水清く、稻佐岳灣口に延びて波靜かに、船舶の碇泊極めて安全で、寶永の鎖國以來泰西の文明を受入れる我國唯一の門戸として榮えた名港で、迂曲して奥深く突入する港灣の靜かな水と、四圍の山々を開拓して段丘に建てられた住宅や、灣口に點在する數多の島嶼とは無比の愛すべき一幅の名畫その儘の風光美を現出し、加ふるに溫和な氣候と相俟つて東洋のナホリの稱もあり、外人間には「世界の樂土」とまで激賞されてゐる。

市に縣廳・控訴院・税關・醫科大學・高等商業學校などがあり、鼈甲・珊瑚・眞珠・金銀等の細工・漆器・縫針・石炭・海産物などを産し、カラスミ・カステラ・枇杷も亦知られてゐる。

長崎はもと深江の浦と稱し(約三八〇年前の天文年間頃迄)、約七〇〇餘年前の貞應年間に長崎小太郎なるもの此の地に來り、今の城の古址に城壁を構へ、その子孫相傳へて城主となり、戰國時代に至つて大村氏に屬した。天龜二年(紀元二二二三年)開港され、寛永一三年(二二九六年)徳川幕府の鎖國令出づるに及んで外國貿易は獨り長崎港のみに限つて許され、長崎はその爲

却つて隆盛を加へ安政の開國に至るまで我國唯一の海外文化輸入の門戸となつて比類なき發達を遂げたのである。されば長崎は只に風光明媚であるばかりでなく之等の史實的背景に富み、黒船の長崎・切支丹殉教の長崎を憶ひ出づる迄もなく、無心の訪客も支那寺や天主堂の多い街、和蘭・葡萄牙に由緒の深い街である事は思ひ付かる、事であらう。加ふるに市民は温良淳朴、わけて敬神崇佛の念に篤く、また物産は豊潤にて價の至廉な事は他にその比を見ぬのである。

〔旅館〕 シヤパンホテル(大浦町、電六六四)、②洋式六園、平野屋(大浦町、電一三二七、室九、③六園)、福屋(外浦町、電二〇九八、室一七、④四園)、大寶館(臺場町、電八八二、室一五、⑤三園)、舞鶴屋(樺島町、電一六七、室一四、⑥三園)、池田屋(平戸町、電六〇九)、春雨屋(樺島町、電九四)、上野屋(萬歳町、電一一七)、福島屋(大村町、電一七〇)、大島屋(樺島町、電七三四)、其他多敷。

〔遊覽順路〕 (A) 長崎驛—諏訪神社—諏訪公園—濱町通—崇福寺—唐八景—丸山花街—大浦天主堂—出島蘭館址。以上自動車にて三時間半。
(B) 出島岸壁—諏訪神社—公園—日見峠—中川カールス—濱町通—崇福寺—丸山花街—大浦天主堂—出島蘭館址。以上自動車にて約三時間。
〔交通機関〕 ▲電車 浦上—大橋茶屋間、思案橋—大橋間、千馬町大浦石橋間に運轉、料金六錢均一。 ▲自動車 市内五〇錢特別區域八〇錢。一時間二圓、一日一〇時間二〇圓。 ▲市營交通船 大波止—旭町間、同一水ノ浦間、元船町—志賀波止間に運航、料金片道各三錢宛。

〔名所〕 ▲諏訪神社(國幣神社) 驛の東一軒二、市の北方玉園山の小丘上にあり、社前の馬町迄電車の便がある。六錢。長崎の産土神で祭神は建國名方命、八坂刀賣命の二神を祀り、相殿なる森崎大明神及住吉大神を合せて諏訪三所大神と稱す。慶安元年の遷座、現在の社殿は明治二年の造営にかゝり祠宇宏壯、境内は眺望佳。例祭一〇月七、八、九日。
▲諏訪公園 諏訪神社に隣り眺望がよい。園内に東照宮・武徳殿・音楽堂があり、園に隣接して圖書館・商店賣場がある。▲シールボルト宅址 諏訪神社前から徒歩約三〇〇米、鳴瀬町にあり指定の史蹟となつてゐる。此の地は文政六年末朝した蘭醫シールボルト氏が學舎を建て醫學及博物學を講じた所で、

音聲には名物の風あげが催される。
▲カールスの櫻 長崎の東、映眉山の麓、中島川の清流を挟んだ所で、雪洞の灯影ゆかしい夜櫻が清流に映ゆる姿はまたなき景観である。▲濱町通り 長崎第一の盛り場で、附近にはカフェー、活動館等があり歡樂氣分が漲つてゐる。
〔年中行事〕 長崎は古い傳統に基いた多種多様にわたる異國情のゆたかな年中行事に恵まれてゐるが、左の四つはその中の代表的なものである。
○ハタ揚げ(紙寫アゲ) 長崎のハタあげは桃の節句から始まり、市内男兒のある家へは近親知己からハタを節句の贈物となすことは古來の例であつた。されば長崎で生れた男子は殆んどその心得があり、ハタ揚げは子供の遊びのみならず大人の公衆的遊戯である事は特筆するに足る。明治三〇年電燈線が市内へ蜘蛛手に張られてからは市内でのハタあげを禁ぜられ、現在では四月一〇日金比羅山、同一日風頭山、同二日城の古址、同二日風頭山、同二日八日準堤觀音を各日として盛大なるハタ合戦が開催される。男女老幼皆當や瓢箪を掲げて登山し、一廓にいと賑かに陣取り、縦横自在に手練を盡して互に空中に懸る紙寫の揚げ糸を切り合ふもので、快心の妙技に吾れ人共に酔ひつ、春日を長閑に遊び暮すのである。長崎ハタの文様は萬國旗および信號旗から生れたものが多く従つて藍源も旗から生じたものであり、ハタは菱形三尺角大、それにビードロ、ヨマ(硝子の細末を糊に混練して糸に塗り着けて乾かしたものを結び付ける。

○ペーロン(割籠) 泊羅に身を投じた屈原の故事に基く支那傳來の競技で、菖蒲の花咲く六月上旬の日曜を期して行はれる。特殊な船型の競漕用艇舟に漕手三六名、太鼓銅鑼拍子で御木舟の如く順漕法の漕打をなすもので、梅雨霽れの海上に海龍さながらに競ひゆく風情は、港に恩恵を有する住民に最も相應しい祭祀習俗である、地方色の最も濃厚な長崎獨特の行事である。
○諏訪神事(クンチ—宮日祭) 寛永一一年に創始されてから三〇〇年を経た今日迄尚行はれる長崎隨一の行事で、京の祇園會、大阪の天神祭、東京の神田祭と並んで有名な神事である。六月一日の「小屋入」を序幕として踊の稽古を始め、一〇月三日夜の「庭見せ」を経て愈神事初日の七日となるのであるが當日各踊町(年番町が奉仕する)は晴天から順次諏訪神社に繰込み、豪華を極めた踊を奉納し、終つて更に御旅所、八坂神社、伊勢宮に順拜し、午後は大

わが國醫學の發祥地である。▲崇福寺(支那寺) 今籠町にあり長崎驛から一軒半、諏訪公園から一軒四、電車思案橋から半軒。寛永六年支那福建省から渡來の超然・超元遊の開創になつたもので、福州寺とも云はれてゐた。初めは媽祖廟を主として、當時入港の船舶の海上安穩を祈る傍ら郷人等の菩提寺としたものである。宗派は黃檗宗、本尊釋迦牟尼如來、超然の創建した本堂(大殿)を初め三門(樓門)、第一峯門(唐門)、護法堂(開帝堂)、鐘鼓樓は國寶建造物となつてゐる。▲福濟寺(唐寺) 下筑後町にあり、驛から約半軒、自動車がある。唐僧覺海禪師が寛永五年に長崎在留の支那人の請により創建した黃檗の古刹で、本服大雄寶服又は釋迦堂と云ふ。前堂(護法堂・彌勒堂・天王殿とも云ふ)、廻廊・青蓮堂(觀音堂)・中門(阿彌陀佛國寶建造物になつてゐる)▲秋帆宅址 東小島町にあり、天保の頃洋式砲術の中興高島秋帆が歐洲武器を研究し門弟を指導した處である。今史蹟となつてゐる。此處への途中に南蠻唐紅毛の情話を昔語りとする丸山樂園があり、附近に眺望絶佳な大徳寺(地名)があり、名物梅ヶ枝焼に知られてゐる。▲大浦天主堂 南山手町にあり崇福寺前から二軒二、出島岸壁から一軒一。慶長元年長崎西坂に刑された切支丹信者二六人の靈を祀る爲に元治元年に建てられた日本最古の天主堂で、二六聖人記念堂の稱がある。幕末禁教時代に於ける長崎切支丹史の遺物として重要な建造物で、昭和八年國寶に指定された。▲浦上天主堂 英成迄に二〇年を要した日本最大のカトリック天主堂で、傳統三百年醗酵と迫害に屈せず一村落つて天主教を信奉し續けた驚くべき事實を存する處で、キリスト教迫害當時の遺物を如實に存してゐるが此の浦上天主堂である。▲出島蘭館址 寛永十二年徳川幕府は吉利支丹禁制の目的をもつて、長崎在任の葡萄牙人を隔離することに決し、江戸町の海面に扇形の一小島を埋築して出島と稱し、葡萄牙人をこゝに移したが四年の後幕府は葡萄牙人の貿易を嚴禁し、同一八年平戸の阿蘭陀館をこれに移し、安政の開港まで二二〇餘年間東西文化唯一の連鎖地となつた所である。明治二〇年中島川改修および同三三年埋築工事の結果、由緒ある扇形の出島は遂に毀されて了つたが、今は史蹟地として指定されてゐる。▲唐八景 長崎から茂木へ通ずる縣道を田上茶屋から右に折れた新觀光路(彌生道) 約二軒二を経て頂上に達する近郊ドライブの最好遊地である。同所は鏡の如き瀟灑に佇む秀峯雲仙岳を東方に眺め西に向へば長崎港は眼下にあり、眺望絶佳である。また四月二八・九兩日山上に朝霧が籠

波止への古式に則る嚴かな神輿渡御があり、行列は數町に亘つて壯麗佳麗を極める。九日にも踊奉納があり還御の儀がある。奉納踊は遊女高尾、音羽の囀りが神前に三舞退治の舞曲を奏したのを藍鷺こし、そのうち唐人船、蛇踊阿蘭陀行列、蛇船、鯨の潮吹など郷土色鮮やかなもの、コツコデシヨ・大名行列・大陸摩など興味深いものが多く、神事の盛況と全市を揺がす市民の熱狂とは他國人の驚異とする處である。
○五盞盆會(燈籠流し) 七月一日から同一五日迄行はれる。夕霧草むる頃紋服正装の市民は、街を繞る山々に祀る祖先累代の墓前に詣でる。各家紋を描いた數へ切れぬ燈籠の灯影、丘陵を掩ふ香烟薙き渡る爆竹の音、光芒を曳く火矢の明滅の裡に、聖なる三夜を通じて親類知己相互にその墓旁りを交す慣はしとなつてゐる。かくて一五日夕刻から名物精靈流しが行はれる。町内各戸から幾多の佛供を載せた素晴しく大きな蓮船、大小とり、美しく仕立てた精靈船が極樂丸、西方丸などと印した帆を張り、銅鑼・鉦などの鳴物賑やかに「ナイイ・タマイ」の掛け聲勇ましく大波止の海際に動き出で、また天に歸りゆく精靈の行列の有様は、宛然大龍の躍るにも似て、市の四圍を繞る墓地の燈籠の美觀と共に天下無比の壯觀である。往時の精靈流しが如何に盛大であつたかの一例としては、櫻馬場町が明治三〇年頃まで使用した精靈船の帆が保存されてゐる。それは木綿二二反帆には春徳寺鐘聲和尚が「景勝」と書してゐる。

〔長崎料理〕 唐・紅毛・南蠻との複雑せる長崎在時の燦爛たる文化は、料理方面にも影響して此處に特殊なる長崎料理なるものが生れ、水産物、農産品の低廉且つ新鮮なるに恵まれ、安價にして美味なるを以て世に賞されてゐる。一力(一流料理、新橋町五三、電二二六)、會樂園(支那料理、大徳寺下電二二九)、東邦(一流料理待合、古町、電九一六)。

雲仙 (國立公園)

交通は雲仙遊覽日程案(六〇七頁)参照。
雲仙は島原半島の鎮山、九州三高山の一たる標高一、三五九米七の雲仙嶽を中心とする景勝地區で、肥後の豊山、

天草の群島・有明・千々石の浩波千里が眼下に展開する。而も初夏の躑躅は東洋第一、深秋の紅葉と嚴冬の霧氷は天下無比と稱せられ、三伏の候は萬里の波濤を蹴つて此處に暑を避くる外人も尠からず、彼等は賞して此處を世界のパラダイスと呼んで居るのである。されば曩には日本新八景の一に選定され、また我が邦十二國立公園候補地中他に率先して昭和九年三月霧島・瀬戸内海と共に第一次に選定されたのである。

公園地域は長崎縣南高來の一部をなす島原半島の中心部に當り、國立公園の地區としては島原町・杉谷村・三倉村・大三東村・湯江村・多比良村・土黒村・神代村・西郷村・守山村・山田村・千々石町・小湊町・北串山村・南串山村・北有馬村・西有家町・有家町・堂崎村・布津村・深江村・安中村の二二ヶ町村がそれら部分的に指定編入されて居るのである。而してその東は有明海西は天草灘に包まれて居るので、周圍を海に巻かれた雄大な山脚は何處からでも展望し得る絶好の位置にあり、従つて晴天の日にはその絶頂を極むれば肥前野の平野は勿論、遠く霧島・阿蘇・久住・其他を連ねる所謂九州アルプスが盡く視野に収まり、脚下には有明海・天草灘・千々石灘から大村灘、さては八代海から玄海に續く鑛糸し海と陸地が、雄大な一枚の繪畫の如くに展開するのである。此の雄大極りなき眺望美こそ雲仙が最も誇りとする所であるが、更に雲仙は高原・溪谷・湖水・瀑布等山岳風光の諸要素を盡く兼ね併せると共に、朝夕極りなき雲霧の變化、麗雅な植物の分布、山溪到る處に轉る百鳥の美音等々、遊覽者を喜ばす幾多の要素を備へ、また噴火口址・白煙濺々たる地獄、雄大な溶岩の流れ、無蓋蓋に湧く温泉は、遺憾なく休火山の特色を示し、春の躑躅、夏の卯の花と高原の涼風、秋は紅葉、冬は霧氷と四季それらの眺め盡きず、加ふるに早くから外人に認められた關係もあつて、各種の文化設備、娯樂設備は完備し、交通は便利、ホテル旅館は整頓し、のみならず山裾の島原半島一帯到る處風光明媚で、史蹟に富み、實に理想的な大公園である。雲仙の稱は、山上に温泉が湧出してゐる所から來たもので、從來温泉

と稱して居たが、山上の温泉と混同し易いので近年山を雲仙嶽、温泉を雲仙温泉と書く様にしたのである。今日の雲仙公園も温泉を中心として成立して居る事は勿論であるが、單に温泉のみが雲仙の生命ではなく、前述の如く寧ろ雄大な自然の眺望と之に配せられる四季の眺めが主である。

▲中部雲仙の三大景觀▼

世には往々にして、雲仙に登りながら、只單に縣道上の展望所に立ち、或はゴルフ場、温泉地帯を一見したのみで終りとなすものがないでもないが是等の人々は雲仙に登つて雲仙を知らずして還る人で、俱に雲仙を語るに足りぬ。眞の雲仙を見るには數時間を割いて最高峯普賢岳の絶頂を極めるか、絹笠、高岩山等を征伏するにあるのである。しかも絹笠、高岩の如きは、老幼婦女を問はず、極めて短時間の歩行を厭ひさへせねば眞の雲仙を味到せしめる爲に待ち設けてゐるのである。

○普賢岳

普賢岳は普賢・國見・妙見・矢嶽・野嶽の諸峰を云ふので、普賢岳最も高く、普通雲仙登山と云ふのは此の普賢に登るのである。新湯の東北一軒の池の原のゴルフリンクから羊蹄たる坂路を攀ぢれば景觀は一曲り毎に變化し、仁田峠(一〇八〇米)に達して先づ三嘆する。此處は雲仙嶽の追分口の稱があり、公園事務所から三軒六七、往復三時間。別に登山自動車路もある。更に峻坂を辿り漸くにして山麓に達すれば、天空闊達として眼に一掃のさへざるものがない、その雄大な山岳の眺望と、その廣漠な自然の風光は眞に普賢を極めぬい雲仙の勝を語り得ないと云ふのも至當である。殊に秋の紅葉、冬の霧氷の美觀は普賢の獨壇と云つてよい。仁田峠から一軒九六、一時間半。歸路は普賢神社に詣て(約六〇〇米、二分)、高さ及幅共に三〇餘の巨巖が聳立つる野風岩の奇勝、火口湖の普賢池、明曆三年の噴火の際に生じた熔岩トンネルの所謂鳩穴の勝、更に熔岩の凝固した際に生じた裂罅風穴の勝等を探り鬼人谷に出で(神社から一軒六、一時間)、夫から妙見岳(一三三四米)を経て仁田峠迄一軒八四、所要四五分位。

雲仙の大景觀で有名な野岳(一四七七米)は、仁田峠から僅に二〇分、七四〇米。頂上の泊り岩は巨大な熔岩の集團が一個の築山を形成し、前面には天然の盆地があつて、常に雨水を溜へ、岩と水との配合は正に一大庭園の觀が男性的な山として、登山趣味の若人や學生に喜ばれてゐる。田代原から往復一時間半、中腹以下はイヌツゲの大群落があり、その壯大な景觀は野岳の比ではない。

○善妻岳

田代原から僅に二〇〇米に過ぎぬが、往昔の火口壁の名残りは、流石に息つく暇もない急峻路である。山頂は躑躅を交へた芝生原で、脚下に針葉・闊葉の大樹林海を見、遙に島原北部地方から有明・大村・橘の海を望み森林美と海洋美を併せた大景觀が展開する。

▲和やかな南部雲仙▼

雲仙温泉から南へ二軒、自動車を驅ること約一時間(貸切片道四圓)、開闊明朗な大眺望の平原を過ぎ、中部や北部雲仙とは全く趣を異にした和やかな風光に酔ひつゝ、矢筈展望所や論知原ゴルフ場を縫うて、南部雲仙の中心、諒訪地に達する。湖は島原半島隨一の湖水で周圍約四軒、松樹・雑木を繞らし大明るい静寂湖である。湖畔には簡素な設備の整つたキャンプ・釣舟・ボート・ヨット・乗馬等の設備があり春から秋にかけては絶好の遊樂地である。此處を根據に東へ矢代・坂下を経て有馬川に沿ひ、約八軒の途を、日本西教史の血の一頁、原城址を訪ひ、或は南へ彦山の東側を経て南島原海岸隨一の風景地加津佐に出るも良し。

●雲仙の三大觀覽●

○躑躅 雲仙を代表すべき春の躑躅は、雲仙國立公園内到處自生せざるはなく、全山何處を見ても躑躅で、東洋一の名がある。春風胎動四月下旬地獄地帯に可憐な花をつけるウンゼンツ、ジを魁に、實原・ゴルフ場附近・仁田峠・野岳を代表に、妙見・國見の西半腹から絹笠山、北方田代原から善妻岳に涉つて亂れ咲くヤマツ、ジの八軒四方に及ぶ大群落、新緑の若葉に映ゆる緋・赤・淡紅・濃紫淡紫・白・文字通り千葉萬紅の躑躅の大群落こそ、地上のパラダイスの名に値する眺である。その主なる觀賞區域と開花時期は、

Table with 2 columns: 地 區 附 近 and 高 岩 山 麓 實 原. 四月下旬, 五月初旬から中旬まで, 五月初旬から中旬まで

あり、殊に頂上には一面の芝生あり、見上げる餘、見下す羨も悉く五彩の萬華鏡と咲き亂れる躑躅の大景觀に接するには、又とない絶好の場所である。○絹笠山(八六〇米) 温泉から白雲池(一軒)を経て三〇分、約二軒七、優雅な登り易い山で、全山松・黄楊等の常緑樹で覆はれ、山頂の眺めは四季ともに良く、普賢に劣らぬものがある。西斜面の牧野に遊ぶ綿羊の物思はせる牧歌的な風趣、遙か西の方野母半島の尖端に沈む落陽の壯麗にも感概深い眺め等、特殊な風趣に富み、雑木林の絹笠道道路の漫る歩きは實に得がたい快さである。絹笠展望岩に立てば、脚下は幾千傾とも知らぬ絶壁で、白雲湧くよと見るまに一面の霧の海と化し、再び風吹くと思へば、既に霧はれて、切り立つた危岩は脚下千丈の壁を露はす。雲霧の變化の妙、自然の遊戯。頂上から觀測所、原生沼を経て事務所迄二軒一三、三五分。○高岩山(八八〇米) 小地獄から廣い道を取り、矢岳の麓を繞つて、躑躅の名所實原を横切り、車を捨て、山路を登ること一〇分高岩山頂に達する。公園事務所から二軒二一。巨巖累々として昇峙し、近傍の群山は恰もこれを拜跪せるかの如く、遙か海上に浮ぶ天草群島は盆景かと疑はれ、此の山にして尙ほ此の景あるかと嘆息久しうせざるを得ない。

▲北部雲仙の大自然▼

北部雲仙、即ち現雲仙ゴルフ場から途を北に取り、妙見岳西斜面の吹越の大溪谷を過ぎ、北へ北へと進めば、國見岳の北急斜面から間もなく放牧原野「田代原」があり、此の大高原を中心に、峻嶽・森林・高原・溪谷に彩られた大自然の美觀が展開し、雲仙嶽中心の比較的女性的なのに比して此處は雄大な大自然の靈氣を感ずる事が出来るのである。

○田代原 雲仙温泉から徒歩二時間半、乗馬二時間を要し、雲仙嶽北部外輪山の雄吾妻岳・鳥甲山と九千部の間に挟まれた一五萬坪の芝生高原で、松・柘植の類が庭樹の如く自生し、放牧の牛馬が幾百頭となく群れ戯れ、極めて大陸的な風景である。清水も豊富で春の躑躅秋の紅葉とも得る言へず、熊本營林局の山小屋と人家が一軒あり、理想的なキャンプ地で、全區域名勝地に指定されてゐる。

○九千部岳 雲仙群山中、所謂山らしい山として先づ擧げられるもので、海拔一〇六〇米、全山殆んど峻嶽な岩石から成り、山頂の眺望は頗る雄大で、

ゴルフ場上手吹越 五月初旬から中旬まで
仁田峠野岳附近 五月中旬から六月上旬迄
田代原附近 五月中旬

諏訪池聯絡道沿線 六月初旬中旬(カキツバタ)

○紅葉 最高峰普賢を中心に、國見・妙見・縦山・鬼神谷・薊谷は絶対に常緑樹を交へない純紅葉植物が秋冷と、もに、全山を朱に染めて、眼も眩む壯大な景観を示すが、雲仙の紅葉は、他の紅葉の名所が、ヤマモジを主とするに對して、ウチハカヘデ・ミネカヘデ・カジカヘデ等深山性のモミジ科植物を主として、ヤマハゼ・ウルシ・ニシキギ・カマツカ・アカシデ・ツリバナ・ウツギ・クマシデ等の紅葉樹木、蔓性植物のツタウルシを交へ、これに環路踏躰のみちしたものが加はつて、見事な錦を織りなすのである。見頃は年にもよるが概して一〇月中旬から一月上旬まで、最も簡単な觀賞路は薊谷から普賢絶頂に出るコースで、更に普賢頂から北へ普賢神社・普賢池・鳩穴・風穴を経て鬼神谷の大紅葉林を抜けて薊谷に出るコースもよい。

○霧水 普賢岳・鬼神谷・妙見岳・國見岳等の全山の岩といはず、樹といはず、地上にありとあるもの、總てを、銀一色の霧水と化し去る雲仙獨特の豪壯雄大な大景観は、風景園を誇る日本全国にも稀に見る所で、その凄じいまでに見事な眺は、到底筆舌に現はすことは不可能で、現實に其の景観に接して、身をもつて知るの外はない。極寒の時は、仁田峠、さらに攝氏百度の地獄附近の枯草まで、霧水と化す奇観を呈するに至る。觀賞コースは紅葉同様、履物は、短靴より編上が良く、宿から巻ゲートルを借りて行けば一層良し。

●舊雲仙公園と温泉

舊長崎縣營雲仙公園は小濱温泉から一四軒二の雲仙嶽西面中腹海拔七二七米の高所にあり、一帯の地温泉沸々として湧き、周圍は樹木鬱蒼と茂る風光秀麗の郷にて、氣温極暑の候と雖も華氏八十一二度を超えず、下界が炎帝の征矢に苦しむとき、雲仙にはまだ三分の春が残つて居るのである。

ある。

第一種テント 一日二圓、但し二人迄、三人以上は一人に付一圓増し
第二種テント 一日一圓、但し二人迄、三人以上は一人に付五〇錢増し。
食料金 洋定食(三食)二圓五〇錢、和定食(同)一圓五〇錢。

〔旅館〕九州ホテル(電九番、純洋式、②二食附七圓、普通一泊三食附一人室五圓半―一〇圓、同浴室附一〇圓―一五圓、二人室一圓―一三圓、同浴室附二〇圓―五〇圓、室數五五、食料朝一圓半、晝二圓半、夕三圓)、雲仙ホテル(電二番、洋室五〇、五圓半以上、和室一二、四圓以上②和四圓半、洋六圓)、新湯ホテル(電二〇番、洋室三二、五圓半以上、和室一二、三圓―四圓)、③洋六圓、和四圓)、綠屋ホテル(電二三番、洋室三〇、五圓半以上、和室六、三圓―四圓、高來ホテル(電二六番、洋二五、五圓半以上)、日之出ホテル(電二番、洋室二一、五圓半以上)何れも内湯あり。

○日本式旅館は古湯附近に萬屋(電三番、内湯あり)、富貴屋(電一〇、室一三、二圓半以上、内湯あり)、湯元(電四、内湯あり)、絹笠(電一八)、東洋館(電四三、内湯あり)、芳仙館(室三五、内湯あり)、新湯に宮崎旅館(電三〇、室一七、②四圓、内湯あり)小地獄に榊屋(電一七)等あり。

【娛樂施設とその使用料】 公園事務所階上に内外新聞雜誌覽覽所があり、事務所隣に娛樂場が設けられ、滞在外人のための日曜禮拜堂ともなり、映畫・演藝場・語集會場・ダンスホールともなる百餘坪の廣間と、撞球場・酒場・運動場もあり、蓄音器・ピアノ・麻雀・自動パノラマ・輪投等の娛樂器具で完備してある。

○テニスコート 硬球コート六箇。半日券一人五〇錢、一〇回券四圓、三〇回券一〇圓、半日貸切三圓。
○ゴルフ場 池之原に九コースのパブリックコースがあるが、昭和一〇年から一部を練習場に變じて、論知原に新設の一八コースを使用する。グリーンは何れも全部高麗芝、一日券一人二圓、一〇回券一五圓、三〇回券三五圓

雲仙温泉は、雲仙國立公園の中心に位し、一千二百餘年前に行基菩薩の發見したと云ふ古湯、享保一六年以來の歴史を持つ小地獄、最近隆盛を示してゐる新湯の三温泉場から成つてゐる。

温泉は西雲仙火山の外輪山矢岳及び絹笠山の間起つた爆裂火口底に存し、噴泉及び氣孔を俗に雲仙地獄と總稱してゐる。雲仙地獄は低い泥流から成り立つてゐる丘陵(帶山)によつて北方の大地獄群と南方の小地獄とに分たれて居る。大地獄群は更に古湯と新湯の二つに分れ、その新湯と小地獄は南北に配列し、古湯と新湯は東西の位置にある。古湯はその發見から既に千二百餘年も経たと云はれる古いもので、現在は一つの噴泉もなく、たゞ夥しく硅藻及噴氣原土を堆積せしめて昔日の壯觀を想はせるのみであるが、新湯の邪見地獄から原泉を導き、また温泉神社、釋迦堂があつて浴客も賑はつてゐる。新湯は大地獄群内にその泉源の多くを有してゐるので、現在尙盛に活動し、三十有餘の地獄と稱するものがある。その主なるものは、熱湯と水蒸氣を噴出する八幡地獄、岩塊磊々たる間から噴煙する賽の河原地獄、音なくて煙の立つのが立間地獄、音凄まじく地軸揺ゆるのは叫喚地獄、湯玉の二つ並ぶのは兄弟地獄、踏破つた人名に因んだ清七地獄、悪商婦の陥つたと云ふ二樹地獄、雀の鳴聲に似た音を發する雀地獄等々……之等地獄の間を縫ふて道通道路が設けられ、案内者なくとも容易に廻る事が出来、道通路の傍には環路ツ、ジが咲き亂れ、地獄廻りは山上に於ける最も興味のある散策の一つである。小地獄は新湯の南方一軒弱の稍低い所にあり、新湯が噴氣の大なる割に湯の量が少ないに反して七五度以上の熱湯が多量に噴出してゐるので、之を堰き止めて大噴湯池を造り、筧によつて浴場に導いてゐる。従つて此處は他よりも早く外人浴客を迎へたのであるが今は新湯にその中心が移つてゐる。温泉の效能 硫黄温泉で、慢性ロイマチス、中毒性神經麻痺、鼻、咽喉、氣管支の慢性カタル、肺、その他皮膚病に醫治効果がある。

〔雲仙の宿泊設備〕 洋風ホテル七、日本式旅館二四、貸バンガロー一五のほかに徳道省國際觀光局の夏期テント二〇張の聚落(白雲池畔)があつて登山客の利便を計つてゐる。バンガロー借賃は一夏期、百圓乃至二百圓位迄で數名の家族連れに適當である。

○冷水プール 北部別所盆地に設けられた幅一六米、二五米プール。一日一人一〇錢。

○大弓場 近的(一五間)遠的(三十三間)の兩射場。半日分一人五〇錢、一〇回券四圓、三〇回券一〇圓。

○スケート場 白雲池と普賢池。

○乗馬練習場 ゴルフ場の一隅に設く。一時間一圓、普賢岳登山往復三圓、仁田峠往復二圓。

○兒童公園 滑り臺、砂遊び場、遊歩地、丸形四阿、ローンガーデン等の諸施設器具使用料一回一人二〇錢。

○其他 籠―普賢岳 往復四圓、仁田峠 往復三圓。自動車登山道使用料―自動車一臺五〇錢(ゴルフ場、仁田峠間) 案内人―一日一人備切二圓、普賢案内一圓五〇錢。

白雲池貸ボート―一時間三〇錢。

【保健、衛生、公益施設】 上水道・觀測所・巡查駐在所・郵便局・公衆浴場・寶物殿・國立公園指定記念館・登山案内標並に指道標・植物名札・ジャパン・ツリースト・ビューロー夏期出張所(公園事務所内)等。

▲雲仙温泉中心觀光日程

- (一) 二、三時間滞在 絹笠山―地獄廻はり。 絹笠山登山―小地獄―一切經瀧―地獄廻はり―ゴルフ場。
- (二) 一日滞在 普賢岳(普賢神社、鳩の穴、鬼神谷廻はり)―高岩山―白雲池―除場展望所―稚兒落瀧―地獄廻はり。
- (三) 二日滞在 第一日 普賢岳―絹笠山―寶原廻はり。 第二日 諏訪池(徒歩三時間 自動車四〇分、乗馬五〇分)又は田代原往復。
- (四) 二日滞在 第一日 普賢岳(普賢神社、鬼神谷)―妙見岳―仁田峠―野岳。 第二日 地獄廻はり―加持川水源―除場展望所―稚兒落瀧―絹笠展望岩―絹笠登山―廣河原池、札の原
- (五) 三―四日滞在 第一日 普賢岳(普賢神社、鬼神谷)―妙見岳―仁田峠―野岳。 第二日 地獄廻はり―加持川水源―除場展望所―稚兒落瀧―絹笠展望岩―絹笠登山―廣河原池、札の原

長崎線(雲仙)

白雲池。
 第三日 倭石展覧所(雲仙温泉より自動車約二〇分)―鮎淵―稻荷山―戸の隅淵―矢筈展覧所。
 第四日 田代原―吾妻岳(健脚の士は九千部岳)。

小濱温泉

長崎縣南高來郡小濱町。

交通は六〇七頁旅程案の項参照。

島原半島の西海岸、雲仙岳麓にある千々石灘の碧水を隔て、遙かに野母半島、茂木、網場港と相對し、風光明媚、温泉場で海水浴場を兼ね、雲仙登山の第一関として交通の便に恵まれた處である。
 温泉は鹽類泉で四五度乃至五〇度、元湯・明治湯・噴騰湯の三つに分れ、旅館に内湯のないのが缺點である。

〔旅館〕一角樓ホテル(電小濱一五、和室二〇、洋室二五、④二圓半)、伊勢屋(電二、室二四、④三圓)、柳川屋(電一三、室一三、④二圓半)、岩田屋(電二)、濱松屋(電二三)角屋(電二)、④三圓)、泉屋(電二六)一泊二圓以上。

島原町

長崎縣南高來郡

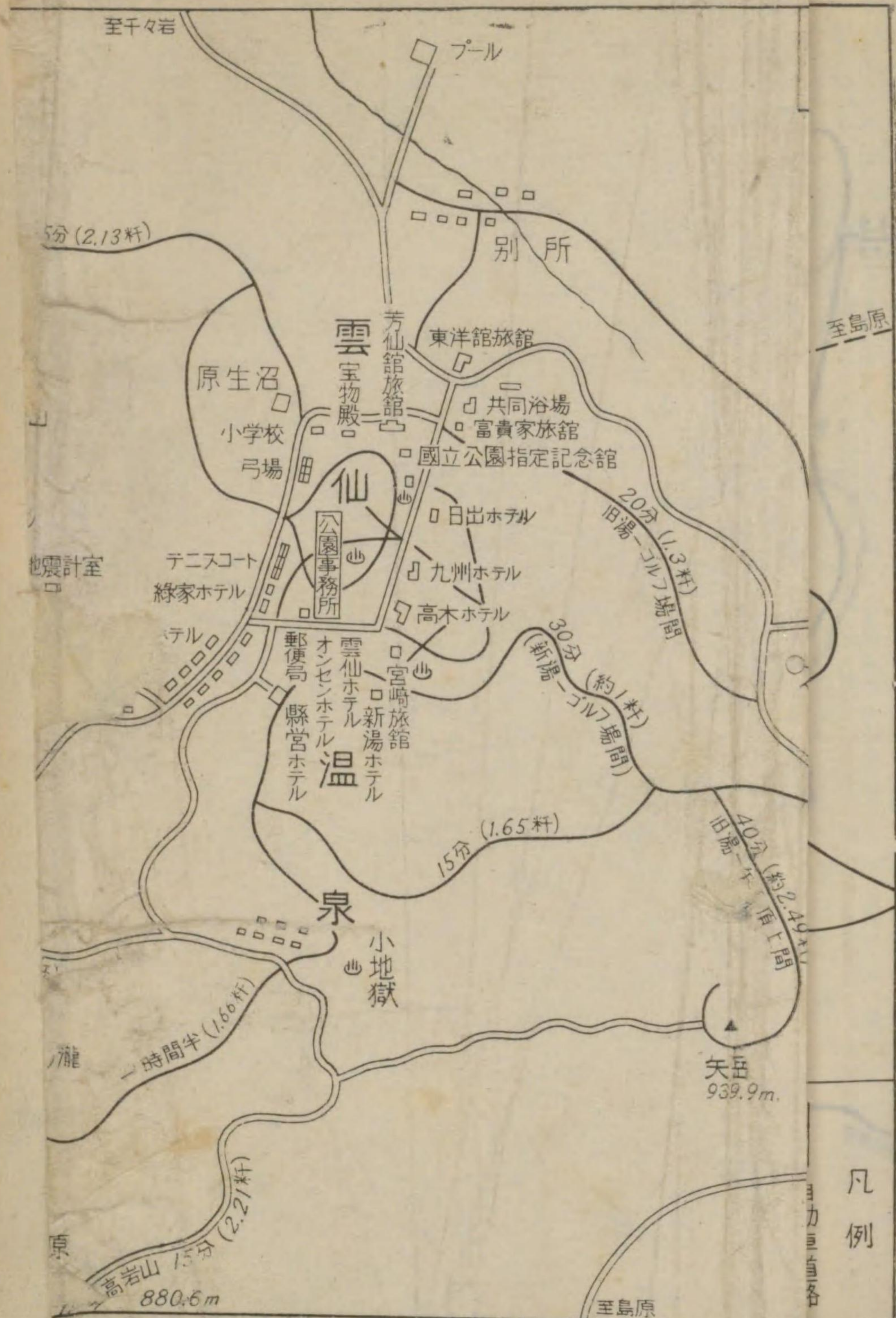
▲長崎本線諫早から島原鐵道で一時間半(四二軒三)、三等一圓六錢、二等一圓八六錢。

▲熊本縣三角から九州商船で一時間半(二一哩五)、三等一圓一五錢、二等一圓七三錢、一日四往復。

▲熊本縣近津港(百貫石附近)にあり、熊本市から約一六軒、自動車一時間、乗合二五錢、十數回、貸切二圓)から二〇人乗發動機船便毎日二往復あり、所要一時間半、賃一圓。

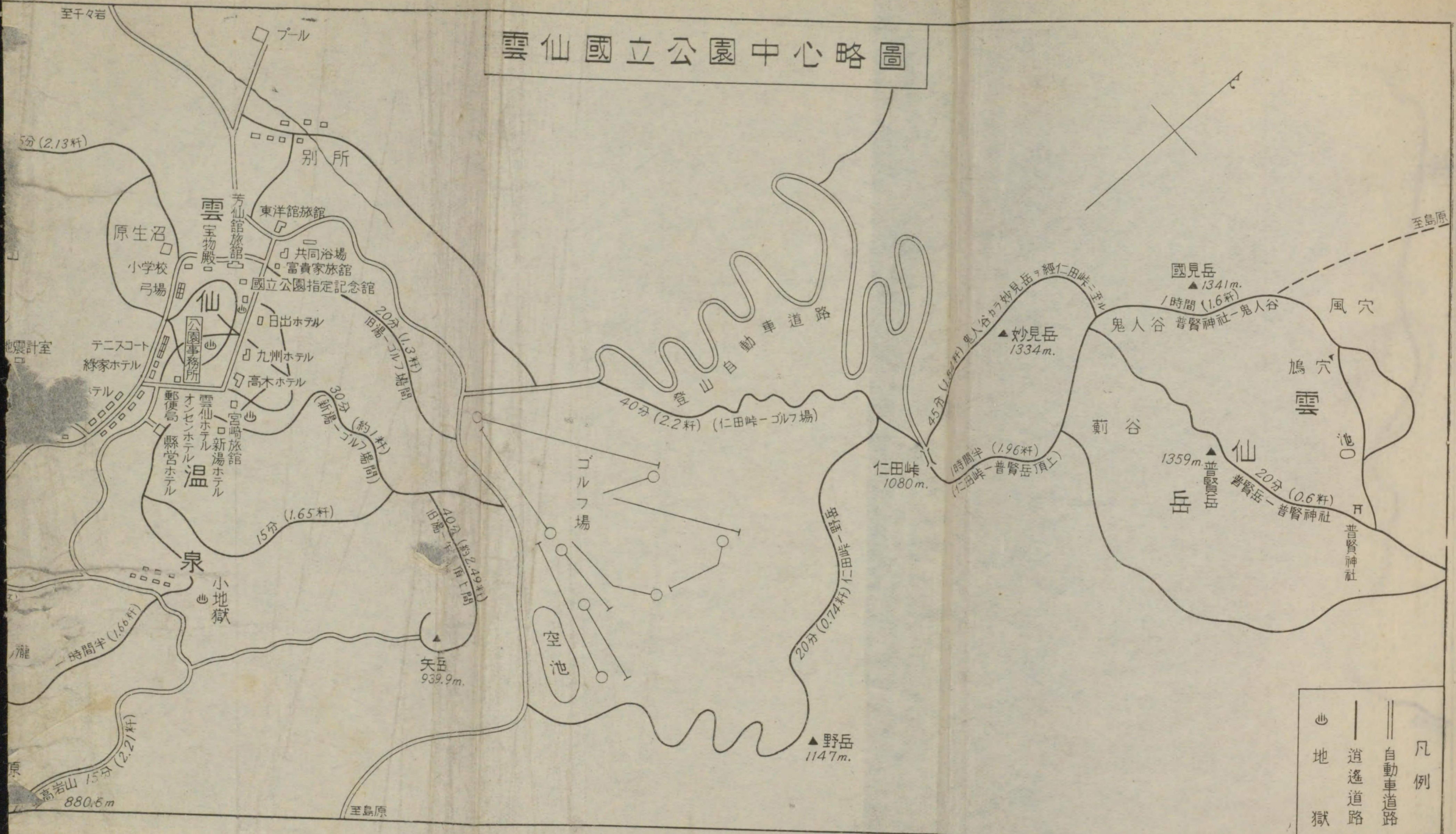
▲其他長洲(熊本縣、一時間四〇分、一日二回)、大牟田(二時間三回)からも便船がある。

島原は島原半島の郡邑で、巍々たる眉山及雲仙岳を背に控へ、その青巒を前面の有明海に映ずる山紫水明の境、海水浴場として知られ又古來松平氏七萬石の舊城下、寛永一四年の切支丹一揆で史上に有名なところである。附近名所としては▲靈丘公園(島の如く海に突出せる丘陵、眺望絶佳)▲島原城址。▲三十番神(護國寺)にあり。▲白土湖町の西南端にあり寛政四年雲仙岳噴火の折桑田變じて泉地となれるもの。▲眉山。▲九十九島(周遊賃、一



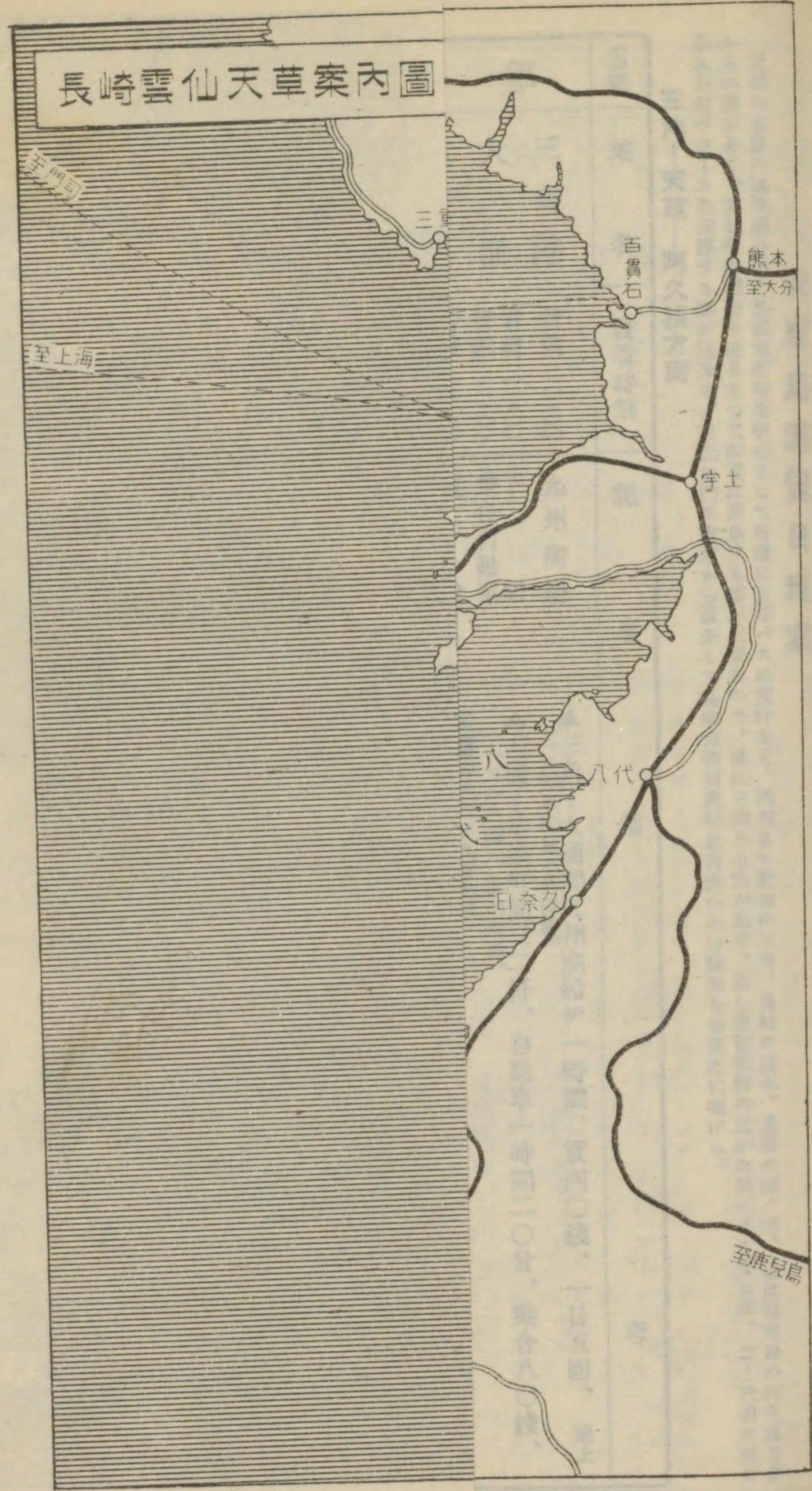
五、六人乗一圓半)、等。
 〔旅館〕南風樓(電一〇五、室二四、④四圓)、國光屋(電五〇、室一五、④三圓半)、有明館(電六七)、觀海(電一六六、三圓以上)。
 南島原海岸 南島原海岸一帯は三百年以前の舊家なしといはれる。其の意は、寛永一四年の切支丹一揆のため、住民盡く戦死し、其の後を絶つたといふのである。如何に當時の切支丹の勢力が偉大なものであつたかを知る事が出来、天草四郎時貞が據つて天下の大軍に抗した當時の名残り原城址には今や草薙えて居る。
 かくの如く此の半島は切支丹の本據であつた關係上、北串山・南串山・加津佐・口之津・北有馬・西有家・東有家・杉谷等南島原には到る處切支丹の墓碑が見られ、學者の研究に待つて居る。そのうち加津佐は青松白砂遠く速り、瀨口には岩戸山・女島山が海中に突出し、早崎海峡を挟んで天草の富岡と相對し遙か西方海中には野母岬・極島等を望む海光と、背後の雲仙嶽の翠巒とが相俟つて山水美をなしてゐる。
 〔旅館〕加津佐ホテル(電二、室三〇、一泊五圓五〇錢以上)。
 〔交通〕小濱―加津佐間二〇軒(雲小バス)六〇錢、貸切三圓半。加津佐口之津間三軒、(同上)一〇錢、一日二回。

雲仙國立公園中心略圖

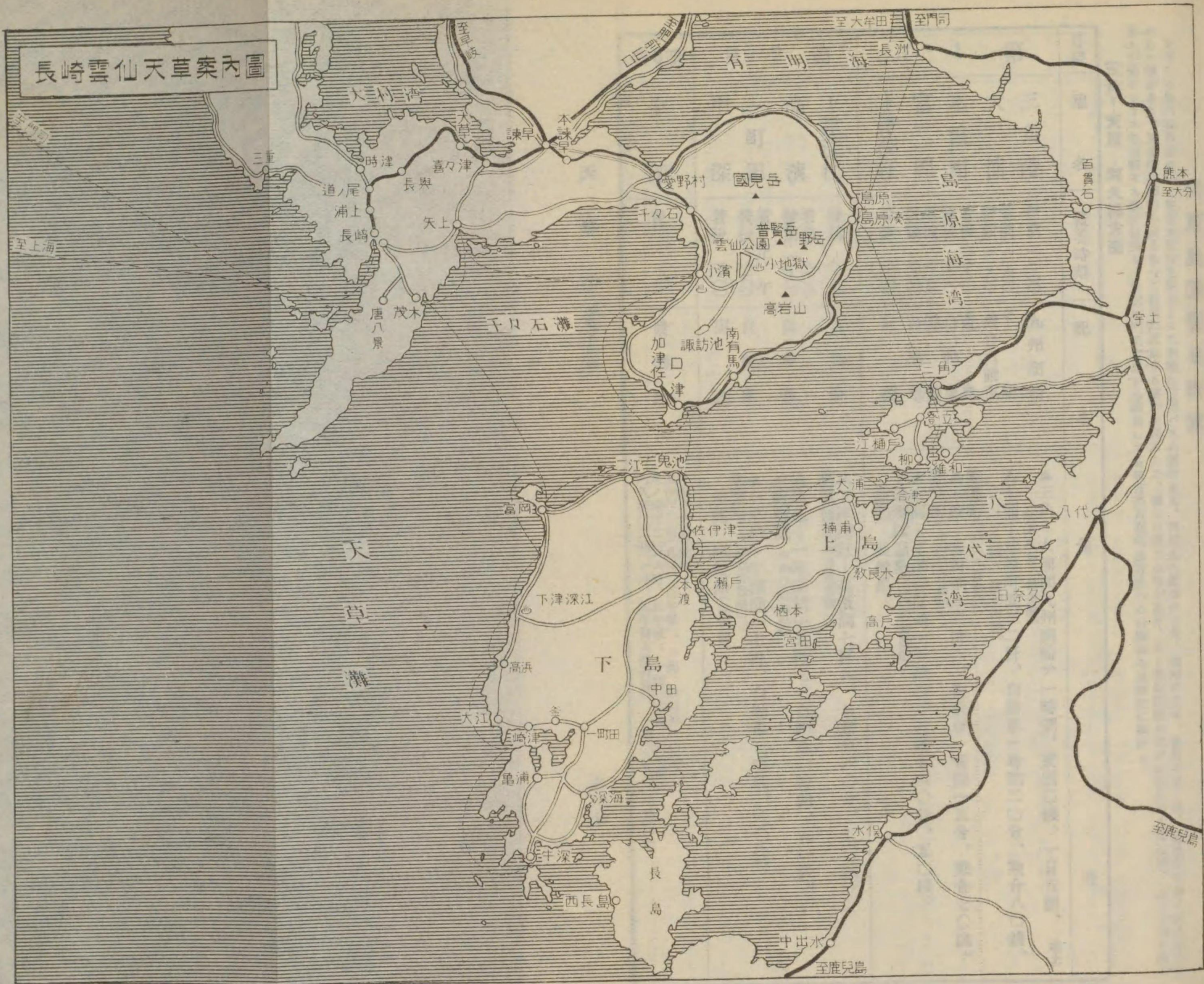


島原島原半島一の都邑で、巍々たる眉山及雲仙岳を背に控へ、その青糖を前面の有明海に映する山紫水明の境、海水浴場として知られ又古來松平氏七萬石の舊城下、寛永一四年の切支丹一揆で史上に有名なところである。附近名所としては▲靈丘公園一島の如く海に突出せる丘陵、眺望絶佳。▲島原城址。▲三十番神一護國寺にあり。▲白土湖町の西南端にあり寛政四年雲仙岳噴火の折桑田變じて泉地となれるもの。▲眉山。▲九十九島(周遊賃、一

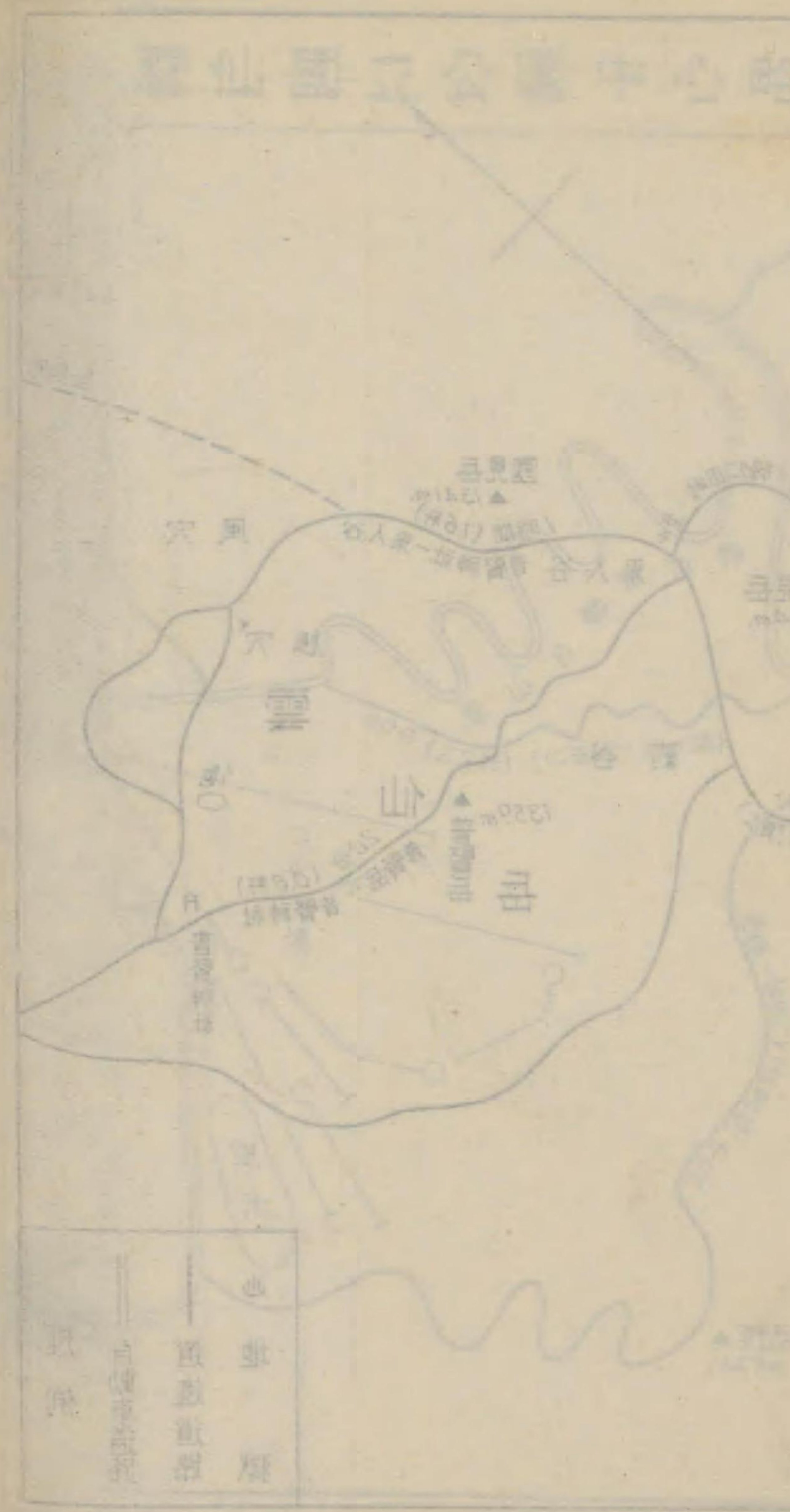




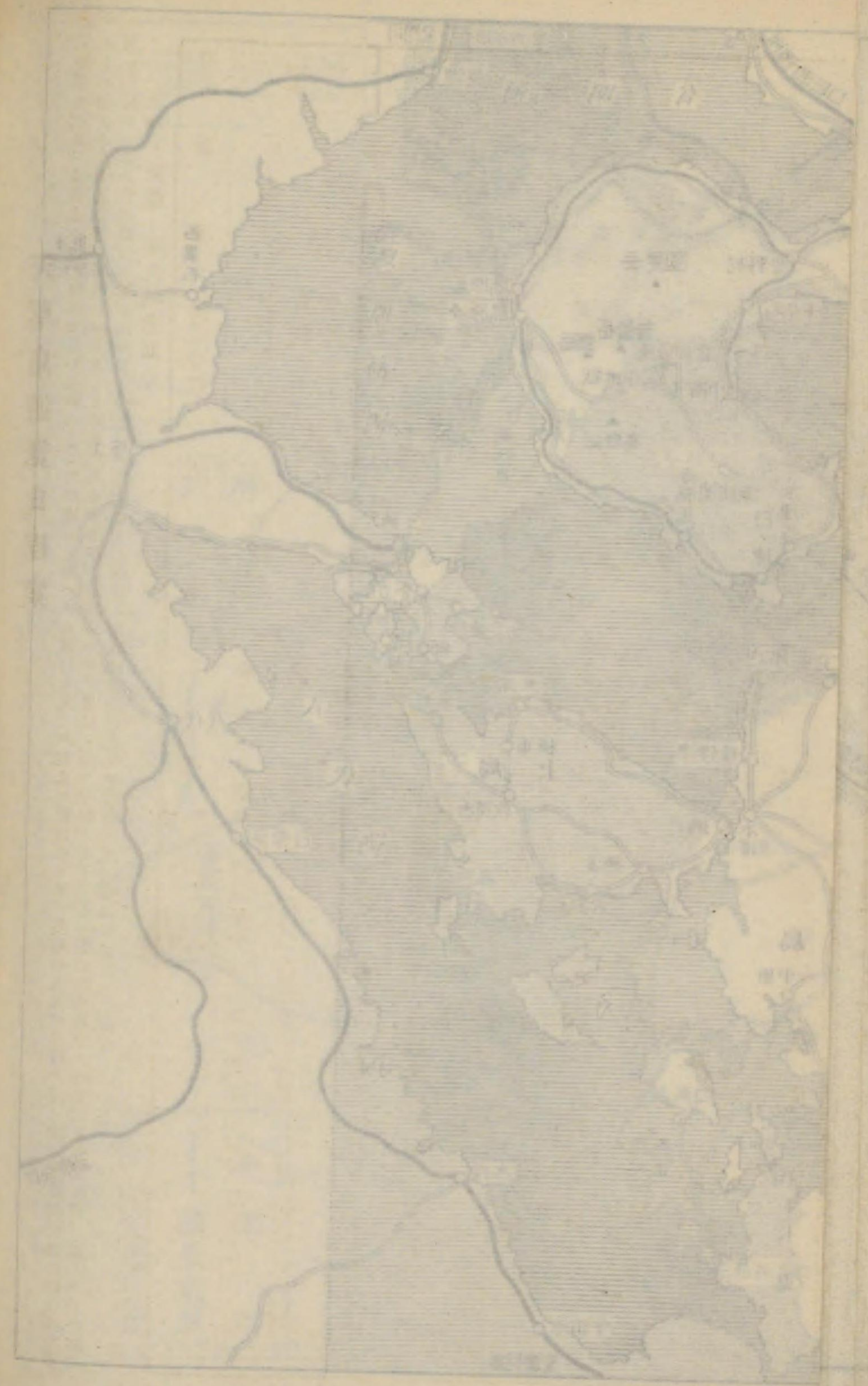
長崎雲仙天草案內圖



雲仙國立公園中心略



山脈
 河流
 道路
 境界



天草島遊覽日程案

天草の本島内は前述の如く島都本渡町を中心として各地に定期バスの運行を見、汽船また肥後の三角、長崎の茂木、島原の國ノ津、或は鹿兒島の阿久根方面からの便があり、其他發動機船の便もあつて容易に渡島する事が出来るので、便に日歸りの旅が出来、若し遊覽探勝の急がぬ旅にあらば、二、三泊の旅で思ふが儘のコースを探勝する事が出来る。左記に門司方面から渡島して長崎方面及鹿兒島方面への日程案を参考迄に掲げる。

三角—天草—阿久根方面

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第3日	牛深	發	發動船	▲三角—大浦間九州商船一時間、賃四〇錢、一日五回、途上ニテ天草松島ノ景探勝。 ▲大浦—本渡町間三二籽、自動車一時間二〇分、乗合八〇錢、(一日三回)、貸切四圓。 ▲本渡町(六三九頁参照) ▲本渡—富岡間二三籽六、自動車一時間一五分、乗合七〇錢。 ▲富岡(六四〇頁参照) ▲富岡—下津深江間一籽四、自動車四〇分、五〇錢。 ▲下津深江(六四〇頁参照) 長崎屋。
	第2日	下津深江	自動車	
第1日	三角港	發前 一〇〇〇	九州商船	
第1日	大浦	着前 二〇〇〇	下乘合自動車	
	本渡町	着後 二〇〇〇	晝食	
第1日	富岡	着後 二〇〇〇	自動車	
	下津深江	着後 六〇〇	宿泊	
第2日	下津深江	發前 八〇〇〇	自動車	
	高濱	着前 九〇〇〇	自動車	
第2日	一町田	着後 一〇〇〇	自動車	
	牛深	着後 二〇〇〇	宿泊	
第3日	牛深	發	發動船	牛深カラ(發動船) 水俣行二回(八時、正午發)、一圓、四時間二〇分。 米ノ津行二回(六時、正午發)、一圓三〇錢、四時間。 阿久根行二回(七時、正午發大型汽船)、一圓二〇錢、二時間半。

牛深町に劣るも、本島中第一の殷賑な町で、娯楽機關も多少備はり本島の首都たるの實を有してゐる。

附近に本渡の瀬戸がある。此處は上島と下島とを隔てた狭い水路で、干潮のときには徒渉も出来るが、此れに珍らしい回轉橋が架けられ、大きな和舟が通るときには橋を十字に開いて水陸相互の便を計つてゐる。

〔旅館〕喜久屋(電本渡四四・二四、室一四、③三圓)、蒼洲館(電一三八、一泊二圓半―四圓)、綿屋、佐渡屋、藤屋、二圓半―四圓。

富岡町

天草群島中最大の下島の西北端、天草灘に突出せる一大砂洲に位し、人口四、一九二(昭和五・一〇)遙に雲仙の秀峯や阿蘇の連山を望み、海濱は磨かれた小石と砂地で水清く、海水浴の好適地とされ西九州稀に見る好遊地である。町の東岸にある長き數丁に互る白砂青松の巴崎は「鑑西の天の橋立」と稱され、又、西北端の丘陵城山は松樹繁茂し、山中逍遙に遊し、海濱には九州帝國大學理學部の臨海實驗所がある。

〔旅館〕三文字屋(電富岡三〇、室五、一泊③三圓)、岡野屋(電三四、室六、一泊②二圓)、鹽屋(電二八、一圓半―三圓)、富久屋(電二五)。

下津深江温泉

天草唯一の温泉地で、左右に山丘起伏し、中央の小川は直ちに流れて海に注ぎ、天草灘に面して景雄大である。人口一千餘。温泉は其清流の河床から湧出し、一名白鷺温泉とも稱し、泉質は鹽類泉で、皮膚病、胃腸病に效がある。

〔旅館〕長崎屋(室一〇、内湯あり)、湯本屋(室七)、坂本屋(室五)、吉田屋(室七)、いかや(室七)、一泊八〇錢―二圓。外に村營の公衆浴場がある。

高濱村

下島西海岸にある大村で、三方重疊たる峯巒を繞らし、西方白鷺灘を擁して天草灘に臨み、灣内には天然の防波堤をなす白砂洲あり、青松を頂いて灣外の雄大な景と對照して風光明媚である。

崎津

一町田の川尻、釜の港から發動船に乗つて、東北の十和田湖によく似た羊角灘の風光を賞でながら行くこと約三〇分、そこには天草女と基督教とで名高い崎津港がある。天草西海岸唯一の良港で、近隣の漁船は往復共この港に假泊して、海路の日を待つので遊女の起源も知るべしである。人口二千五百。〔旅館〕潮屋、紋付屋、喜屋、宿泊料二圓位。基督教は、徳川時代の嚴禁にも怯まず、密かに信仰してゐたが、明治にな

つて長崎から佛人宣教師が此の地方に入り教會堂を建て、盛に布教したので、今も信者が多い。

牛深町

「牛深三度行きや三度裸、歸りにや本渡の瀬戸徒渡り」…此になるほど面白い牛深は、昔は情緒豊かな漁村として、牛深女の發展を見せた所である。今はその悦はなく反つて南九州に於ける有力な漁港として重要視せられて居る。殊に、秋季鮭の盛漁期中取引の活潑なことは有名なものである。

地は下島の最南端に位し、天草第一の人口を有し、地形水字形をなして居るので、水字灘又は潮深と云つたのが、轉訛して牛深となつたものと云はれてゐる。鹿兒島から長崎に至る間の唯一の良港で、航海術の幼稚であつた往時は、南九州船舶の寄航地で、又島津藩の御用港であつた。舊幕時代には、遠見番所を置き、出入の船舶を取締つて居たのである。人口一萬二千五百。

宮田村

上島南岸にあり、御所の浦島を前にして此の附近一帯の海岸の景色は、天草の内でも指屈する眺めである。殊に宮田は、波靜かな碧海を前に控へた平和な漁村で、避暑地としては最も適當な所である。

天草松島

上島太浦、合津から大矢野島、維和島、戸馳島等の島々の間を経て三角港に至る約二〇餘軒の間に散點する奇勝を總稱して、天草松島と呼んで居る。青松簇生して夫々趣を異にした無數の小島、岩礁が點在し、眞帆片帆の漁舟幾百となく緑の島影を纏つて、瑠璃色の海上を靜かに迂り行く景趣は繪よりも美しい。殊に合津附近の風致は最も勝れて居る。松島遊覽には此處で和船を雇ふ事が出来る。料金二圓位。

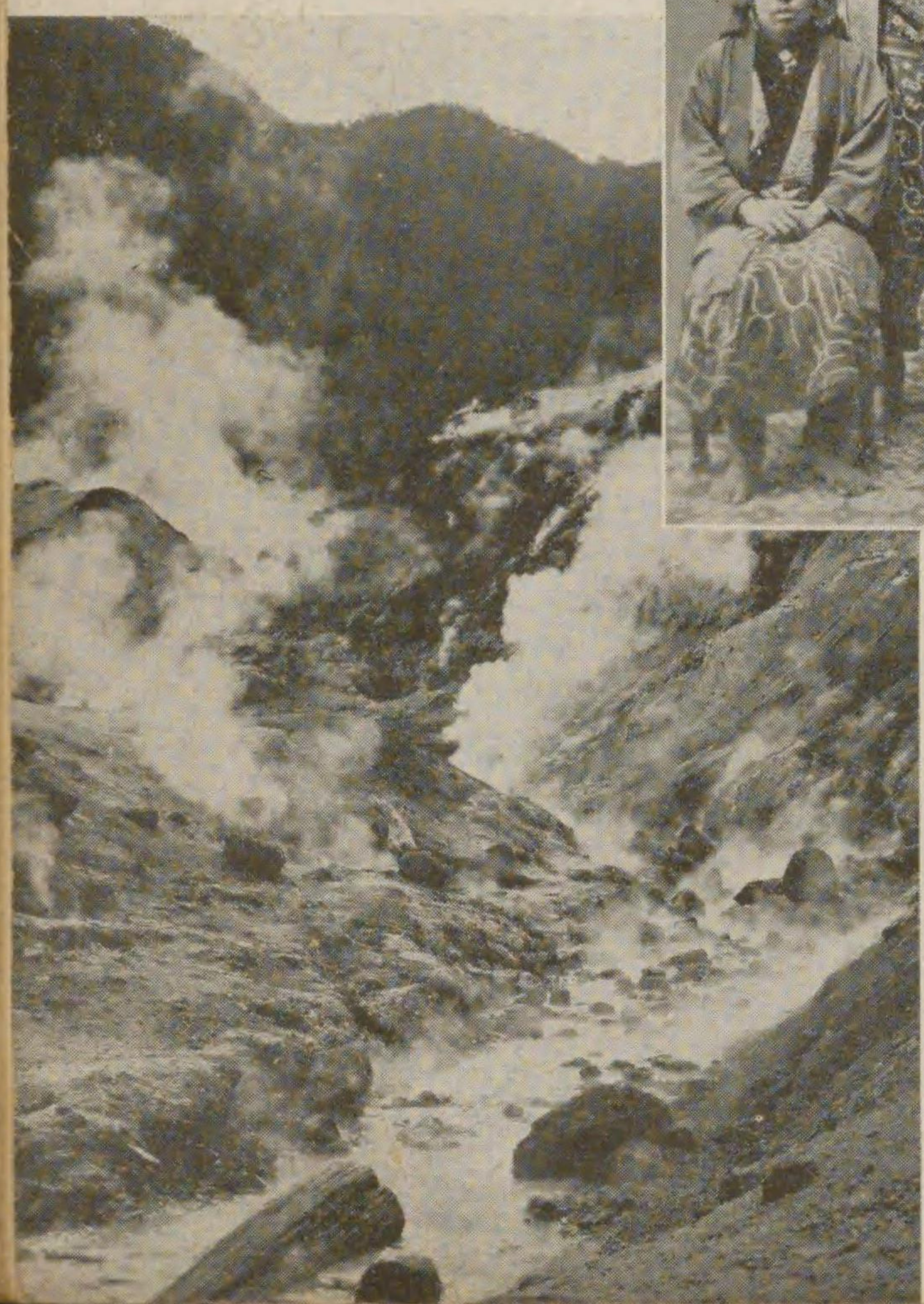
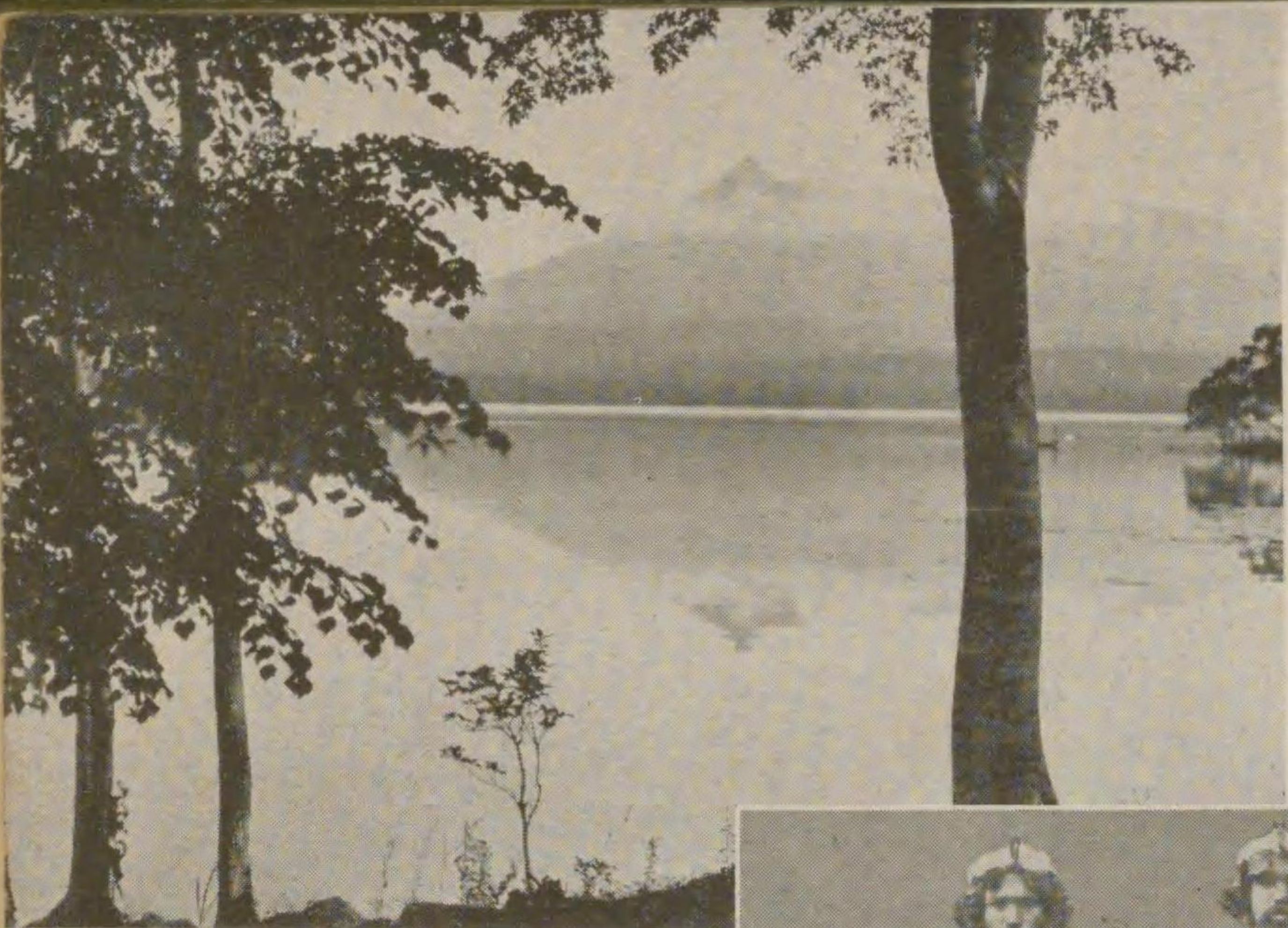
大矢野島

登立・上村・中村の三ヶ町村から成り、周圍二八軒、三角から出た舟の第一に寄港する所である。左に接する千束島と共に、島原一揆を起した大矢野左衛門・千束善右衛門・森宗意軒などが隱棲し、相往來して彼の秘書末鑑の研究に耽つて居た所である。また千束島の維和村は、到る處に古墳散在して、俗に肥後五箇庄と同じく平家落武者の一團と言ひ傳へられてゐる。

湯島

有明海上天草と島原との中間にある一孤島で、山頂に噴火口跡がある。天草の亂の初め此處で謀議を廻らしたから、談合島の別名がある。〔旅館〕島屋、宿泊料二圓以上。

北海道



上、大沼公園
中、アイヌ
下、登別温泉



島 豹 海 と 太 樺

島ノハツロの島豹海・上
鹿 馴 の 太 樺・中
い せ と つ お・下



五日間 東京—北海道往復旅程案

日程	地名	發着時刻	記	備	考
第1日	上野驛	發後 七・〇〇	急行列車 車中一泊	▲上野—青森間急行デ一時間四五分(七三六料四分) ▲上記急行列車(常磐線經由二、三等)ニハ二、三等寢臺及和食堂車アリ。 [註]上野驛發前十時ノ東北本線經由ノ急行列車(寢臺ナシ)ナレバ第二日午前十一時半小樽ニ着ク。	
第2日	青森驛 函館棧橋	着前 七・四五 發前 八・三〇 着後 一三・五〇 發後 一・三〇	乘船 連絡船換	▲青森—函館棧橋間鐵道省連絡船デ四時間半(一六〇料) 毎日三往復定期運航ス。函館棧橋ニテ直チニ接續ス。 就航船(船内ニ食堂アリ、輕便和洋料理ヲ調進ス)。 津輕丸(三四八五噸)、松前丸(三四三〇噸)、翔鳳丸(三四六一噸)、飛鷹丸(三四六〇噸)。	
第3日	小樽驛 札幌驛	着後 六・五 發前 一・四三 着後 二・四三 發後 九・一七	宿泊 旭川行列車 下車、遊覽 函館中泊	▲注意—函館附近一帯ハ要塞地帯ニ付寫真其他ノ撮影ニハ當局ノ許可ヲ要ス。 [重密カラ] 日本二五勝ノ一タル大沼公園及駒ヶ岳ノ眺望(午後二時頃軍川、大沼驛附近)、噴火灣ノ風光(午後二時半—三時半頃迄森—長嶺部驛)、蝦夷富士ノ眺望(午後五時—〇分頃狩太、比羅夫、俱知安驛附近カラ展望)等。 ▲函館—小樽間急行五時間三六分(二五二料五)、上野カラ三等一〇圓六三錢。 ▲小樽ノ旅館 越中屋(㊸和四圓、洋六圓半)、キ谷(㊸四圓)。 ▲出發前小樽見物(六六二頁参照)。 ▲小樽—札幌間一時間(三三料八)、三等五四錢(札幌—上野三等一〇圓八五錢)。 ▲札幌見物(六六二頁参照)。 ▲札幌—函館間九時間〇八分(二八六料三)、二、三等寢臺アリ。 [兼百貨店內ニ日本旅行協會ノ案内所アリ]	

五日間 東京—北海道往復旅程案

日5第	日4第
上野驛	函館驛
着前 六・四七	着前 六・三五 發前 七・三〇
歸宅	乗船換 普通一泊車 車中泊
	着正午 三・〇〇 發後 一・〇〇
	青森驛
	函館驛

旅行費用概算
三二 等 三八一・二〇
三九・四五

内譯
汽車賃、上野—札幌往復急行料共二四八圓七〇錢、三等二四圓三五錢、
列車賃、上野—札幌往復急行料共二四八圓七〇錢、三等二四圓三五錢、
旅館一泊料二四圓、三等三圓五〇錢、食料其他費用トシテ概算二等
一五圓、三等一〇圓ヲ計上ス。

「註」青森發一二・五〇ノ奥羽線經由ノ急行(二、三等寢臺アリ)ガアル。

▲晚春カラ初秋ニカケ石倉、森驛附近黎明ノ噴火灣及陸影ノ眺望ガヨイ。

▲上記列車(本線經由)ニハ二、三等寢臺及和食堂車ガアル。

一週間 東京—北海道往復旅程案

日1第	日2第
上野驛	青森驛
發後 七・〇〇	着前 七・三五 發前 八・二〇
急行列車 車中一泊	乗船換 連絡船
	着後 二・五〇
	函館棧橋

備考

▲上野—青森間急行テ約一二時間四五分(七三六料四分)。
▲上記急行列車(常磐線經由)ニハ二、三等寢臺及和食堂車アリ。
▲急行料三等一圓、二等二圓。

青森驛連絡棧橋符合所ニ洗面所及食堂アリ。
▲青森—函館棧橋間鐵道省連絡船テ四時間半(一六〇料)。
毎日三往復定期運航ス。函館棧橋ニテ直チニ列車ニ接続ス。
就航船(船内ニ食堂アリ、輕便和洋料理ヲ調進ス)。
津輕丸(三三・四五噸)、松前丸(三三・三〇噸)、羽島丸(三三・四一噸)、
飛騨丸(三三・四六噸)。
▲函館棧橋符合所ニ食堂アリ。
「註」函館附近ニ帯ハ要塞地帯ニ付寫眞其他ノ攝影ニハ當局ノ許可ヲ要ス。
函館見物(六五七頁参照)。
御宿見物(六五七頁参照)ノ案内所アリ。

日	日3第	日4第	日5第
湯ノ川	函館驛	大沼驛	定山溪驛
着後 九・三五	發前 九・三五 着前 一〇・三三 發後 一〇・三三	發後 三・一九 發後 三・一九	發前 九・一〇 着前 九・五九
宿泊	旭川行列車 森行遊覽車 乘換 急行列車 泊	下車、遊覽 定山溪行車 電泊	苗穂行車 電車 下見澤行車 長萬部行車 乘換 下見澤行車 室蘭行車 乘換 溫泉行バス 泊
	小樽驛	札幌驛	豐平驛
	發前 二・四三	着後 二・四三	發前 二・四〇 着前 二・四〇
	旭川行列車	下見澤行車	岩見澤行車
	着後 二・四三	發後 三・一九	發後 一・〇五 着後 一・〇五
	小樽驛	定山溪驛	白老驛
	發前 二・四三	發後 三・一九	發後 三・四三 着後 三・四三
	小樽驛	定山溪驛	登別驛
	發前 二・四三	發後 三・一九	發後 六・三三 着後 六・三三
	小樽驛	定山溪驛	登別溫泉
	發前 二・四三	發後 三・一九	發後 六・三三 着後 六・三三

備考

▲函館驛—湯ノ川間約七料、電車二五分、一四錢、又ハ乗合自動車テ二〇分、往復二〇錢、二〇分毎ニ發。根崎ハ湯ノ川カラ約半料離レタ隣村ニアル。

▲函館 福井館(四圓)、御園ホテル(四圓)、六五八頁参照。

▲函館—大沼間一時間(二八料)

▲大沼—小樽間(二二四料五)、(急行料三等六五錢)

▲小樽—旅館 越中屋(四圓、洋六圓半)、杓谷(四圓)

▲小樽—小樽見物(六六二頁参照)。

▲小樽—札幌一時間餘(三三料八)、上野カラ三等一〇圓八五錢、
札幌市一覽後(六六三頁参照)、市内電車(六錢)ニテ豐平ニ至リ(夕クシー一臺一圓)、ソコカラ定山溪行電車ニテ定山溪溫泉ニ行ク。

▲豐平—定山溪間電車五〇分(二六料)三等六五錢(三等ノミ)。
(註一)夏季ニハ札幌前カラ定山溪溫泉會社ノ乗合自動車ヲ行ク所要一時間(三料)、
(註二)小樽驛前カラ定山溪溫泉ニ行ク自動車専用道於テアル、所要一時間半(三料)、
(註三)料金片道一圓半、往復二圓半、一日五往復。

▲定山溪溫泉(六六三頁参照)。

▲旅館 鹿ノ湯クラブ(四圓)、定山溪ホテル、定山園(以上三圓半)

▲豐平カラ市内電車テ札幌驛へ約一五分。

▲札幌—岩見澤一時間餘(四〇料六)。

▲岩見澤—白老—登別間(一一四料六)。

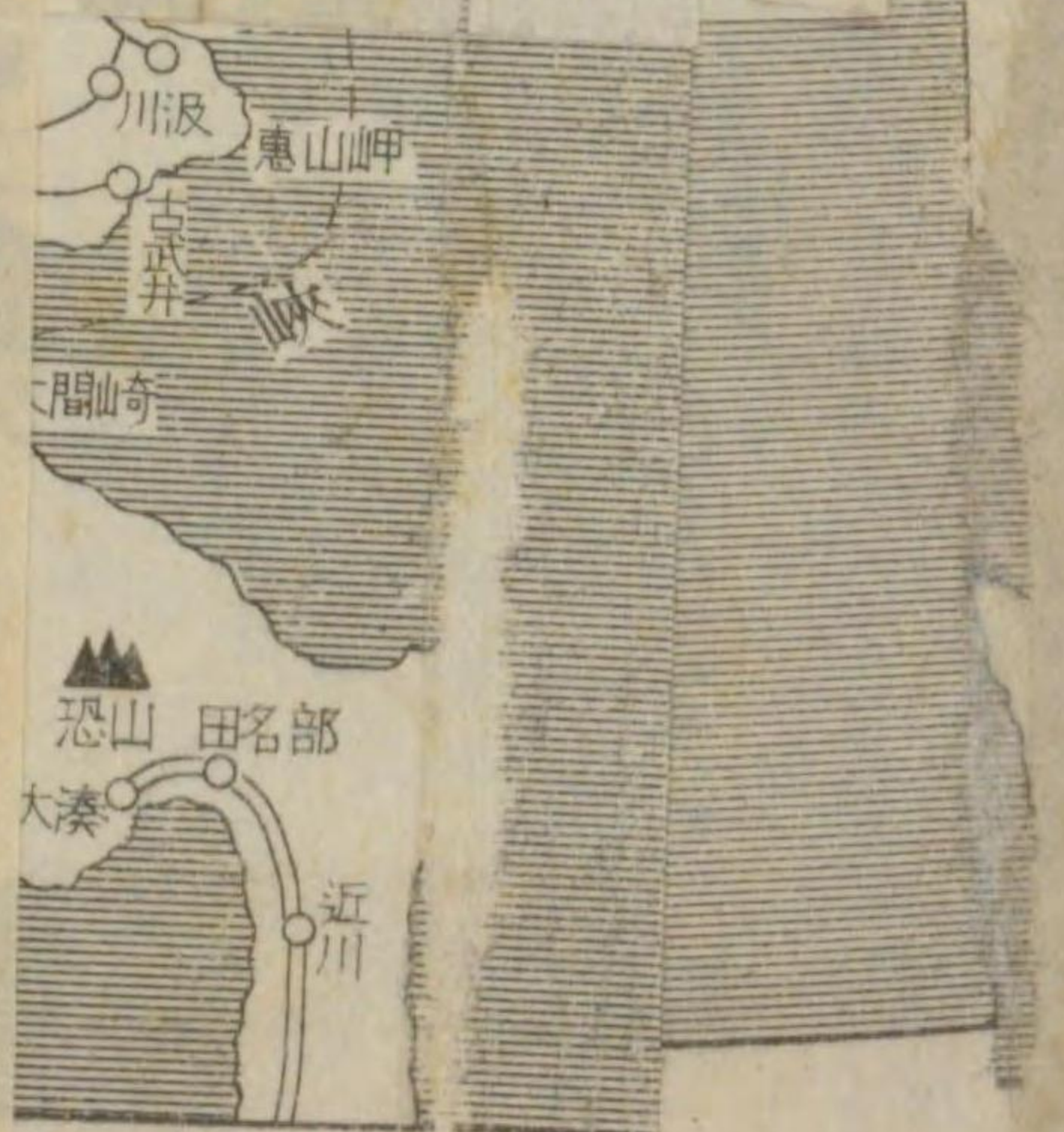
▲【白老土人部落】室蘭本線白老驛ノ南四百米ノ所ニアリ戸數八〇餘戸、人口三六〇人餘、主トシテ漁業農業ニ從事シテ居ル。室蘭ニ向テ列車ノ左側ニ見エル。

▲登別驛—登別溫泉間七料五、バスター一七分、五〇錢

▲登別別泉(六七〇頁参照)。

▲旅館 第一瀧本樓、其他。

旅行費用概算	第7日			第6日		
		函館驛	青森驛	上野驛	函館驛	虻田驛
	發前	着前	着後	着後	着前	發前
	〇・三〇	五・〇〇	七・〇五	一・五三	一〇・五五	八・三五
三二 等 八九・二二	連絡船	乘、二等急行	歸宅	乘換	乘換	乘換
内譯	<p>▲遊覽券—上野—岩見澤往復、豊平—定山溪往復、登別温泉往復、洞爺湖往復及旅館券二分(二等一八圓三等一五圓、計二等六〇圓六二錢、三等三七圓七〇錢)。</p> <p>▲急行料及寢臺料二等八圓五〇錢、三等三圓五〇錢。</p> <p>▲食料及其他費用トシテ概算二等二〇圓、三等一五圓ヲ計上ス。</p>			<p>▲函館—青森間 鐵道省連絡船テ四時間半、三等一圓七五錢。各等船室及食堂ガアル、輕便和洋料理ヲ調理スル。</p> <p>▲青森—上野間 上記東北本線經由急行列車で一三時間(七三六料四)、和食堂車ガアル。</p> <p>▲登別—上野(長萬部經由)、三等一〇圓三五錢(通用一三日)。</p>		
	<p>▲洞爺湖温泉(六七〇頁参照)。</p> <p>旅館 觀光ホテル(洋五圓、和三元半)、洞爺湖ホテル(洋三元半)。</p>			<p>▲登別—虻田間一時間五分(五三料二)。</p> <p>▲虻田カラ洞爺湖畔迄電車二二分(七分二)、片道四〇錢、往復六〇錢。</p> <p>▲電車終點カラ湖畔マテ約四〇〇米。</p> <p>〔註〕 虻田驛カラ洞爺湖温泉マテ自動車三〇分(九料)乗合四〇錢、往復六〇錢、(但往復ハ當日限り有効)、(二日五回)、貸切三圓。</p>		



北海道遊覽略圖



旅行費用概算

三二
等等
五八九
二〇二

十日間 東京 北海道往復遊覽日程案

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第1日	上野驛	發後 七・〇〇	二、三等急行車中泊	▲上記急行列車(常磐線經由)ニハ一・三等寢臺及食堂車ガアル。 ▲上野青森間一二時間四五分(七三六料四)。 ▲遊覽券利用外ノトキハ乗車券ハ上野旭川上川ヲ求メラルトヨイ、三等一圓九錢(通用一五日)。 ▲青森驛連絡待合所ニ洗面所・食堂等ガアル。 ▲青森驛及食堂ガアル、輕便西洋料理ヲ調理スル。 ▲函館棧橋待合所ニ食堂ガアル、輕便西洋料理ヲ調理スル。 ▲各等船室及食堂ガアル、輕便西洋料理ヲ調理スル。 ▲(注意) 函館附近ハ寒地帯ニ付寫眞其ノ他攝影ニハ當局ノ許可ヲ要スル。
第2日	函館棧橋 湯ノ川	着前 七・四五 發前 八・二〇 着後 三・五〇 着夕刻	乗船換 函館見物 宿泊	▲函館 大沼公園(六五八頁參照)。 ▲大沼 小樽間二二四料五。 ▲小樽 越中屋(四四圖、湯ノ川、御園ホテル(四四圖、根崎温泉)。 ▲湯ノ川 根崎温泉(六五七頁參照)。 ▲函館 福井館(四四圖、湯ノ川、御園ホテル(四四圖、根崎温泉)。
第3日	函館驛 大沼驛 森樽驛 小樽驛	發前 九・二五 着前 一〇・三〇 發後 一・三〇 着後 二・三〇 發後 六・五〇	旭川行列車 下車遊覽 乘行換 急泊	▲出發前小樽見物(六六二頁參照)。 ▲小樽 札幌一時間餘(三三料八)、上野カラ三等一〇圓八五錢。 ▲札幌市(發後六六三頁參照)中内電車(六錢)ニテ豊平ニ至リ(驛カラ一七分)、(タクシ)一圓、ソノカラ定山溪電車ニテ定山溪ニ行ク。 ▲豊平 定山溪間電車五〇分(二六料)、片道六五錢(三等ノミ)。 ▲定山溪ノ旅館 鹿の湯クラブ(四四圖)、定山溪ホテル、定山園(以上(三三圖、六六三頁參照)。
第4日	定山溪驛 豐平驛 札幌驛 小樽驛	着後 四・〇九 發後 三・一九 着後 三・四三 發前 二・四三	宿泊 下山溪行電車 下車遊覽 旭川行列車	▲札幌 旭川四時間(一三八料八)。 ▲旭川市見物(六六四頁參照)。 ▲旅館 三浦屋(三三圖)、宮越屋(三三圖)。
第5日	定山溪驛 札幌驛 旭川驛	發前 九・一〇 發前 一〇・三三 着後 二・二七	苗穂行電車 旭川行列車 遊覽、宿泊	

十日間 東京 北海道往復遊覽日程案

十一日間 東京—北海道往復旅程案

日	第	地	名	發着時刻	記	事	備	考
日	第1	上野	驛	發後 七〇〇	二、三等急行	車中泊	前記旅程案(六四一頁参照)。 乗車券ハクワン利用外ノトキハ小樽迄購求ノロト、三等一〇圓六三錢(通用一三日)	
目	第2	函館	川	着前 七・四〇 發前 八・三〇 着後 三・三〇 夕刻	乗船	下船遊覽	注意 函館附近一帯ハ要塞地帯トナツテ居ル。 函館(六五七頁参照)湯の川温泉(六五七頁参照)根崎温泉(六五八頁参照) 旅館 福井館(四四圓)、御園ホテル(四四圓)	
日	第3	函館	驛	發前 九・三〇 着前 一〇・三〇 發後 二・四〇 着後 一・三〇	旭川行	列車遊覽	▲函館—大沼一時間(二八軒) 大沼公園(六五八頁参照)。	
日	第4	南小樽	驛前	發前 一〇・〇〇	自動車	自遊覽、晝食	▲南小樽驛前—定山溪温泉間三八軒、小樽定山溪自動車會社(南小樽驛前電二六九)ノ専用路定期バスデ一時間半、料金一圓半(小樽發八時、一〇時、正午、二時、五時、定山溪發七・三三・五・七時)五圓發 ▲定山溪—豊平間定山溪鐵道電車デ五〇分(二六軒)、六五錢。 ▲定山溪—豊平(六六三頁参照) ▲札幌見物(六六三頁参照) ▲札幌—釧路驛間一二時間五四分(三九四軒七)、三等四圓六五錢 ▲上記列車ニハ二等寢臺カアル ▲註) 乗車券ハクワン利用外ノトキハ川湯驛迄求ムルコト、三等五圓四二錢(四八四軒、通用六日)	

日	第	地	名	發着時刻	記	事	備	考
日	第5	釧路	驛	着前 一〇・〇〇 發前 一〇・三〇	乘換	池田行	▲釧路—川湯間二時間四七分(八九軒三) 川湯驛カラ自動車ニテ仁伏温泉—和琴—美幌峠—和琴—摩周湖—弟子屈温泉廻遊、貸切一臺小型一六圓(五五哩一四)、乗合ハ川湯—美幌峠間一圓五〇錢、美幌峠—弟子屈間一圓五〇錢、弟子屈—摩周湖往復貸切三圓五〇錢。 ▲屈斜路湖(六七六頁参照)、美幌峠(六七七頁参照)、摩周湖(六七八頁参照)、 ▲弟子屈温泉(六七九頁参照) 長生閣(三三圓)、近水ホテル	
日	第6	弟子屈	湖	發前 一〇・三〇	貸切	自動車	▲弟子屈—阿寒湖間二六哩三、自動車貸切一臺一二圓 (但前以テ旅館ヲ通ジテ申込デ置ケバ大抵同乗者ヲ得ルコトガ出來ル) 旅館 雄阿寒ホテル(二二圓二〇錢)	
日	第6	阿寒湖	湖	着前	遊覽	宿泊	▲註) 弟子屈—(乗合自動車三圓、三時間)—美幌峠ヲ經テ美幌驛—(汽車一時間半、三等五八錢)—北見相生驛—(自動車一時間、乗合一圓二〇錢)—阿寒湖畔ノコースニ依ラルルモヨイ。	

日 7 第	日 8 第	日 9 第
雄阿寒温泉 北見相生驛 美幌驛 上川驛 旭川驛	旭川驛 岩見澤驛 登別驛 登別温泉驛	登別温泉發前八・二五(バス)、登別驛發前九・〇五(長萬部行列車)、東室蘭發前九・四五(室蘭行三等車ニ乗換)、室蘭着前一〇・〇三(下車遊覽六六九頁參照)、室蘭發後四・二八(東室蘭行列車)、東室蘭發後五・〇〇(函館行列車)、虻田着後六・二二、虻田發後六・二五(電車)、洞爺湖温泉着後六・三七(宿泊、六七〇頁參照)、▲登別—室蘭五〇分(二五料六)、▲室蘭—虻田一時四三分(四三料八)。
發前 七・二五 着前 八・三〇 發前 九・〇三 着前 一〇・三五 發前 一〇・三〇 發後 四・二九 着後 六・〇五	發後 一・一五 着後 一・三五 發後 一・三五 着後 一・三九 發後 四・二三 着後 五・〇〇 發後 九・三〇 着後 一〇・〇〇	發後 一・一五 着後 一・三五 發後 一・三五 着後 一・三九 發後 四・二三 着後 五・〇〇 發後 九・三〇 着後 一〇・〇〇
乘合自動車 下 美幌行列車 旭川行列車 層雲峽遊覽下車驛 下車、宿泊	小樽行列車 乘 室蘭行列車 乘 電車 宿 泊	虻田行電車 乘 函館行急行 乘 連絡船 乘 三等急行 車中泊
▲雄阿寒温泉—湖畔—北見相生驛間二五料五、自動車一時間一五分、乗合一圓五〇錢、一日三回(湖畔發七・三〇、五・〇〇發) ▲北見相生—美幌間(相生線)—一時間二二分、三六料八。 ▲美幌—野付牛(網走本線)—遠輕—上川—旭川間七時間三五分(二〇九料八) 層雲峽遊覽六六四頁參照。 旅館 三浦屋、宮越屋(三圓)	出發前旭川市見物(六六四頁參照) ▲旭川—岩見澤(乗換)—登別五時間五三分(二二二料八)(車窓カラ) 王子製紙會社工場及電氣化學工業會社工場(苦小牧驛附近)、樽前山ノ噴煙(苦小牧、錦多峯驛附近)等。 ▲登別驛カラ登別温泉マテ登別温泉會社ノバスター一七分(七料五)、片道五〇錢。 登別温泉(六七〇頁參照) 旅館 第一瀧本館(三圓半)。	洞爺湖遊覽(六七〇頁參照)、有珠岳(六七二頁參照)、 ▲虻田—長萬部—函館間急行三時間四分(一五三料八)。 急行料三等六五錢、二等一圓三〇錢。 上記急行列車ニハ食堂車ガアル。 ▲函館—青森間連絡船テ四時間半 ▲青森—上野間常磐線經由テ二時間二五分(七三六料四)ニ三等寢臺及和食堂車ガアル。

日 11 第	日 10 第	旅行費用概算
上野驛	洞爺湖 虻田 函館驛 青森驛	二 一五二・八一 三 九七・一一
着前 一〇・二五 歸 宅	發後 一・一五 着後 一・三五 發後 一・三五 着後 一・三九 發後 四・二三 着後 五・〇〇 發後 九・三〇 着後 一〇・〇〇	二等 六・六〇 三等 三・三〇 寢 臺 料(二等 下段 三回) 一三・五〇 寢 臺 料(三等 上段 二回) 一三・五〇 食 事 料 其 他 雜 費 概 算 三〇・〇〇 二〇・〇〇 九六・二一 六五・七一
旅行費用概算	急行料金(四回分) 自動車(川湯—美幌—弟子屈—三・五〇、(川湯—美幌—弟子屈—三・五〇) 遊覽券 上野—小樽、南小樽—定山溪 定山溪—豐平、札幌—川湯 弟子屈—阿寒湖(貸切自動車) 阿寒湖—北見相生、北見相生—上野、登別往復、室蘭往復 洞爺湖往復、二等六九圓一錢、三等四二圓五一錢 旅館七泊分、二等二七圓二〇錢、三等二二圓二〇錢	二 一五二・八一 三 九七・一一

二週間 東京 北海道・樺太遊覽日程案

二週間 東京 北海道・樺太遊覽日程案

日 程	地 名	發着時刻	記 事	備 考
第1日	上野驛	發後 七・〇〇	二、三等急行車中泊	第六四一頁參照
第2日	青森驛 函館棧橋 湯ノ川	着前 七・四五 發前 八・〇〇 着後 三・五〇 着夕刻	乘連船換 遊覽船	乘車券ハ榮濱迄購求ノコト。 三等一七圓九三錢(通用二五日)、二等三五圓八六錢。 旅館 福井館(四圓)、御園ホテル(四圓)
第3日	函館驛 大沼驛 森驛 小樽驛	發前 九・二五 着前 一〇・三三 發後 一三・四三 着後 一三・三〇 發後 一三・二六 着後 六・五六	旭川行列車 下車、遊覽 森行列車 乘急行換 泊	▲兩館一大沼一時間(二八料) ▲大沼—小樽間(二二四料五) 小樽ノ旅館 越中屋(洋六圓半、和四圓)、杵谷(四圓)
第4日	小樽驛 札幌驛 豐平驛 定山溪驛	發前 二・四三 着後 二・四三 發後 一・四九 着後 二・三九	旭川行列車 下車 定山溪行車 泊	△出發前小樽見物(六六二頁參照) ▲小樽—札幌一時間(三三料八)、上野カラ三等一〇圓八五錢。 ▲札幌驛カラ市内電車(六錢)ニテ豐平ニ至リ(タクシー一臺一圓)ソコカラ定山溪電車ニテ定山溪溫泉ニ行ク。 ▲豐平—定山溪間電車五〇分(二六料)片道六五錢(三等車ノミ) 定山溪溫泉(六六三頁參照) 旅館 鹿の湯クラブ(四圓)、定山溪ホテル、定山園(以上三圓半)

第5日	第6日	第7日	第8日
定山溪驛 豐平驛 札幌驛 岩見澤驛	稚内港 大泊港 同驛 豐原驛	豐原驛 小沼驛 小沼驛 榮濱驛 榮濱驛	眞岡驛 豐原驛
發前 八・三三 着前 九・三〇 發後 七・〇五 着後 八・一三 發後 八・三七	發前 六・四八 着前 八・五〇 發後 四・五〇 着後 五・四〇 發後 六・四五	發前 八・〇五 着前 八・三六 發前 一・二〇 着後 二・四〇 發後 二・一〇	着後 七・三〇 發後 四・〇五 着後 四・一五
苗穂行車 電車 下車、遊覽 旭川行列車 乘內港行急行換	乘船換 連絡船 下船 榮濱行車 泊	落合行列車 下車見學 榮濱行列車 下車遊覽 豐原行列車 乘眞岡行車換 泊	宿
札幌市内遊覽(六六三頁參照) ▲札幌—稚内港(宗谷線經由)二一時間四三分(三九七料七) 上記急行列車(函館登室蘭本線經由稚内急行)ニハ二・三等寢臺及和食堂車ガアル。 岩見澤—稚内間急行料三等六五錢。	▲稚内—大泊間鐵道省連絡船テ八時間(實測八六連)、三等二圓五〇錢(各等船室ガアル)。 【注意】 稚内港出帆ノ際本船行汽艇ハ出帆時刻ノ三〇分前ニ棧橋ヲ出發スル。 五—六月ニカケテ一ヶ月間及十月中ハ定期検査ノタメ一船ニテ隔日相互發トナル故出發ノ際ヨク確カメルヲ要ス。 ▲連絡船ハ大泊港突堤ニ横ツケトナリ直ニ列車ニ接續スル。近海郵便船及北日本汽船モ共ニ棧橋ヲ付ケトナル。 ▲大泊港カラ樺太廳鐵道テ豐原迄一時間(四一料圓)、三等七六錢、二等一圓五二錢。 豐原町(六八四頁參照) 旅館 花屋本店(四圓)、花屋ホテル(四圓)	▲豐原—小沼間二三分(一〇料九) ▲小沼驛カラ農事試驗所ヘ一料一。 ▲小沼農事試驗所見學(六八四頁參照) ▲小沼—榮濱一時間三〇分(四二料六)豐原カラ榮濱迄三等一圓三五錢。 【註】 豐原—落合間協和乗合自動車ノ便ガアル、小沼迄二三錢二五分、落合迄九〇錢、一時間半、一日五回。 ▲榮濱見物(六八四頁參照) ▲豐原—眞岡間三時間一五分(八六料九)、三等二圓一五錢。榮濱—泊居間三等四圓八九錢(二三〇料三) 眞岡ノ旅館 百足屋(三圓半)	

二週間 東京 北海道樺太遊覽日程案

日 8 第	日 9 第	日 10 第	日 11 第
眞岡驛 泊居驛	泊居驛 眞岡驛 豐原驛 大泊驛	大泊驛 大泊港 稚内港驛	旭川驛 岩見澤驛 登別驛 登別温泉驛
發後 三〇三 着後 三〇〇	發前 八〇〇 着後 二二〇 發後 二二〇 着後 二二〇	發前 七四九 着前 七五五 發前 八三〇 着後 四三〇	着前 六四六 發後 三〇三 着後 三〇三 發後 六二二 着後 六三六
泊居行列車 遊覽	本斗行列車 乘換 豐原行列車 乘換 大泊港行列車 乘換	大泊港行列車 下泊連絡船 稚内港行急行	下車遊覽 小樽行列車 乘換 室蘭行列車 乘換 乘換 宿泊
▲眞岡—泊居間汽車三時間三十分(八九斤九)三等一圓二錢。 泊居見物(六八五頁參照) 旅館 山形屋(三三三)	▲泊居—眞岡—豐原—大泊間汽車九時間四十分(二一五斤八) 乘車券ハ稚内迄求メルト、三等七圓一九錢。 〔註〕 泊居—本斗間汽車六時間(一三七斤二)、三等三圓二錢。 本斗—稚内間北日本汽船デ七時間(七五連)、毎日日本斗發後一〇時一回、賃三等三圓五〇錢。 大泊町(六八三頁參照) 旅館 北海屋(三三三)	▲大泊—大泊港驛間汽車六分(二斤六)、三等七錢。 ▲大泊—稚内間鐵道省連絡船八時間(八六連)、三等二圓五〇錢。 ▲稚内港—旭川間急行八時間三十分(二五八斤九) 乘車券ハ室蘭、青森航路經由上野迄求メラルコト。 三等二圓八三錢、二等二圓四六錢(通用期間一七日)	午前中旭川見物(六六四頁參照) ▲旭川—岩見澤—登別間汽車五時間五三分(二二二斤八) ▲登別—登別温泉間七斤五、バス一七分、片道五〇錢。 登別温泉(六七〇頁參照) 第一瀧本、第二瀧本、湯本ホテル。

日 12 第	日 13 第	日 14 第
登別温泉驛 登別驛 室蘭驛	青森驛	上野驛
發前 二二〇 着後 二二七 發後 二二九 着後 一三〇 發後 五四〇	着前 一五〇 發後 一〇〇	着前 六四七
バス 乘換 室蘭行列車 汽車遊覽	遊覽 上野行列車 車中泊	歸宅
▲登別—室蘭間汽車五〇分(二五斤六) 室蘭見物(六六九頁參照) ▲室蘭—青森間青森行省船連絡、北日本汽船航路ニテ二時間半(實測一一〇連) 就航船 噸數 定員 (一、二、三等) 三國丸 九八三 四 二四 二〇五 豐原丸 八〇五 六 一二 一九〇 右兩船交互ニテ毎日一回相互カラ定期運航ス、料金一等六圓、二等三圓六〇錢、三等二圓四〇錢、不食食費。 室蘭驛カラ乗船地へ約一〇〇米、本船ニハ舟ニテ行ク。 ▲上野行本線經由二、三等寢臺及和食堂車付列車。 青森—上野一七時間四七分。	▲上野—登別温泉(バス往復) 二週間 東京—北海道樺太遊覽日程案	▲上野—登別温泉(バス往復) 二週間 東京—北海道樺太遊覽日程案

北海道島情一斑

【概説】北海道本島は本州の北端に接し、太平洋、オホツク海及日本海の間に位置し、南は津軽海峡を隔て本州と對し、北は宗谷海峡に依つて樺太島を距る總面積八、七五方料(四)うち一軒以上の島六八、以下の島二二八を含む)の地域で、本州のなかばより稍小さく、人口は二、八一二、三三五(昭和五年十月國勢調査)を有してゐる。北海道は明治初年に渡島・後志・石狩・天鹽・北見・膽振・日高・十勝・釧路・根室・千島の十一國を置き、今は石狩・渡島・檜山・後志・空知・上川・留萌・宗谷・網走・膽振・浦河・河西・釧路・根室の一四支廳を置き、札幌(人口一六八、五七六)、函館(人口一九七、二五二)、小樽(人口一四四、八八七)、旭川(人口八二、五一四)、室蘭(人口五五、八五五)、釧路(人口五一、五八六)、(以上何れも昭和五年十月國勢調査)の六市がある。

北海道本地の四極

【地勢】北海道の主体は略ぼ菱形をなし、北は宗谷岬、南は襟裳岬の對角線を畫して北部に北見山脈、南部に日高山脈が秀でて本島の主山脈をなし、之に併行して其西側に夕張山脈及天鹽山脈がある。是等の諸山脈の間には上川、名寄、富良野の盆地や石狩平野がある。千島火山帯は本島を横断して

北緯 度分秒 東經 度分秒

Table with 2 columns: Latitude (北緯) and Longitude (東經). Rows include locations like 根室支廳花咲郡齒舞村納沙布崎, 函館支廳松前郡大島西端, etc.

きものを用意するがよい。其他の旅装は五月から一〇月迄は内地同様程度で可なるが十一月初旬には大抵初雪ある故其積りにて適當な用意をなすこと。▲降雨量は夏季、冬季の季節風の影響に依り十勝平野は最も多く、中央山脈を昇して西部は秋季多雨、冬季雪量多く、春は小雨であるが、東部は夏季多雨で冬季降雪が少い。

函館とその附近

函館市 北海道の支國で、又古くから開けた貿易港である。市は渡島平野の南端に拳狀をなして突出して居る函館山(一名臥牛山と云ひ、津軽海峡の要害を扼し、要害がある)の中腹から遠く放射展開し、近代的施設の整つた北日本第一の都市であるが、昭和九年三月二日稀有の大火災に逢ひ、目下復興の途上であり、昭和五年の國勢調査による人口は一九七、二五二である。

島の東部に雄阿寒・雌阿寒の火山を起し、中部に至つて主軸山脈と交叉する所に本島第一の高峯旭岳(二二九〇米)を始め石狩岳(一九八〇米)、十勝岳(二〇七七米)等の山岳を現出してゐる。河流は石狩岳に源を發して上川盆地から石狩平野に出で日本海に注ぎ、其の間層雲峡、神居古瀝の峽流美を見せてゐる石狩川、北見・天鹽兩山脈の間を流れて同じく日本海に注ぐ天鹽川があり、太平洋斜面では十勝川・釧路川などがある。

北海道の夏季平均温度(華氏)

Table showing monthly average temperatures in Fahrenheit for various locations in Hokkaido. Columns include months (六月 to 九月) and locations (函館, 札幌, 旭川, etc.).

【名所遊覽】(A) 渡橋(徒歩五分) - 驛前電車停留所(辨天行電車、〇分) - 舊渡橋停留所(徒歩二分) - 彌百貨店(徒歩五分) - 辨天行百貨店(徒歩二分) - 函館公園(徒歩五分) - 八幡宮(徒歩二分) - 碧血碑(徒歩三分) - 立待岬(途中に石川啄木の碑がある) - 函館驛(徒歩二分) - 谷地頭電車終點(函館驛行電車、一分) - 函館驛。

【交通機關】▲電車 市内線片道四錢、往復七錢均一、辨天十字街一驛前 - 大門前 - 谷地頭二分乃至六分毎に運轉、湯ノ川支線 全線を一〇區に分ち一區一錢、市内から湯ノ川迄片道一四錢、往復二三錢、大門一五錢、湯ノ川間に六分乃至一〇分毎に運轉。▲タクシー 市内八〇錢均一、▲乗合自動車 函館驛前及大門前から湯ノ川、根崎間に二〇分毎に運轉、往復二〇錢。

湯ノ川温泉

函館驛から東北約七料五、電車約二五分、貫片道一四錢、往復二三錢、六分乃至一〇分毎に運轉、乗合自動車で二〇分、貫片道一五錢往復二〇錢、前六時千一後一時迄二〇分毎に運轉、貸切一四人乗三圓半。

温泉と相對する海岸の底地で、風光は見るべきものがない。泉質は無色透明の鹽類泉で、溫度約七〇度、湧出量極めて豊富で(一日一萬石を噴出す)、胃腸病・皮膚病・リウマチス・神經諸病に效がある。附近には香雪園、三三番觀音等があり、又此地方には野生の鈴蘭が多く、花期六月には附近一帶芳香に満される。

〔旅館〕 福井館(電函四六八・一九七二、室三六、一泊二圓半―五圓、②四圓、洋室一、室代三圓)、兼樂園(電同―五三三、室一五、三圓―五圓、料理兼業)、小林亭(電同八七三、室一三、二圓五〇錢均一、料理兼業)、丸鐵(電同二五二九、室一四、二圓三〇錢均一)、翠松園(電同三〇五九、室一六、二圓半―四圓、料理兼業)。

根崎温泉

北海道渡島國龜田郡龜田村。

函館駅から六軒乃至八軒、自動車乗合は駅前から六時半から後十一時迄約二〇分毎に出る、料金は片道二〇錢、往復三〇錢。

地は湯の川から半軒程離れた津輕海峡宇賀の浦に臨む一帯の砂丘上にあり風光がよい。泉質其他湯の川と同じ。

〔旅館〕

ホテル御園(電函三三二八、和室一四、一泊三圓、四圓半、大圓、②四圓、洋室一、室代二圓、三圓、五圓)、大瀧温泉(電同―一六三、室二五、二圓半―五圓、料理兼業)、ニコニコ(電同二五五、室一三、二圓半―五圓、料理兼業)、つるや(電同―三七八、室一五、三圓半―四圓、料理兼業)、若松(電同二〇三三、室九、二圓半―四圓、料理兼業)。

大沼公園

渡島國龜田郡及茅部郡。函館本線 大沼驛所在地。

大沼・小沼・蕁菜沼の三湖及其附近の總稱にて渡島國龜田・茅部の兩郡に跨り駒ヶ岳と渡島山脈との間に位し、曾ては日本新三景の一に選ばれ、最近には日本二五勝の一と

以上一人毎に一圓増、時間三〇分二圓、以上三〇分毎に一圓増、▲ポイント大形貸切三圓、一時貸六〇錢、小形貸切二圓、一時貸四〇錢。

〔旅館〕 (龜田郡七飯村大沼) 第一紅葉館(電大沼一六、驛四〇〇米室一六、一泊、②三圓)、第二紅葉館(電同―一七、驛四〇〇米室一六、一泊、②三圓)、湖月(電同八、室六、二圓半―三圓半)、見晴館(電二六、大沼館(電二二)、五月館(電三六)、旭屋(電二二)。

鹿部温泉

渡島國茅部郡鹿部村、大沼驛から大沼電車で三五分(一七軒二、片道五〇錢)、温泉はラヂウム泉。鈣泉・鹽類泉で溫度七〇―一〇七度、胃腸病・皮膚病・神經痛等に效がある。地は西方に駒ヶ岳があり北東は海に面し、昭和四年駒ヶ岳噴火の影響を受けて附近一帯約二米の降灰に埋れて居る。〔旅館〕 鹿の湯ホテル(電鹿部一、室二六、一泊②二圓半)、鶴の湯(電同七、鹿部驛から半軒、室一二)、吉の湯(室五、一泊一圓、一圓半、二圓、其他山吉、小田旅館の外温泉料亭數軒あり。

尚此處から海濱に沿ふて約八軒に藤谷温泉、十四軒に大舟温泉があり、更に川汲温泉に至る沿道は風景絶佳にて伊豆半島を想はしむるものがあり、鹿部から電車に接続して定期自動車がある。

川汲温泉

渡島國茅部郡尾札部村川汲。前記大沼電線鹿部驛から約二〇軒、自動車一時間、乗合一圓、一日七回、貸切五圓。又は前記湯の川温泉から約二五軒、自動車一時間二〇分、乗合一圓六〇錢、一日四回、貸切九圓。地は川汲川に沿ふて静かな山ふところに抱かれた温泉地で、泉質はラヂウム泉、溫度四七度、慢性リウマチス・神經痛病・中風等に特効がある。此處から約二軒、湯の川への途上川汲峠は十和田の發祥地に似た景勝地である。〔旅館〕 山中、金友、一泊一圓半―二圓半。

惠山温泉

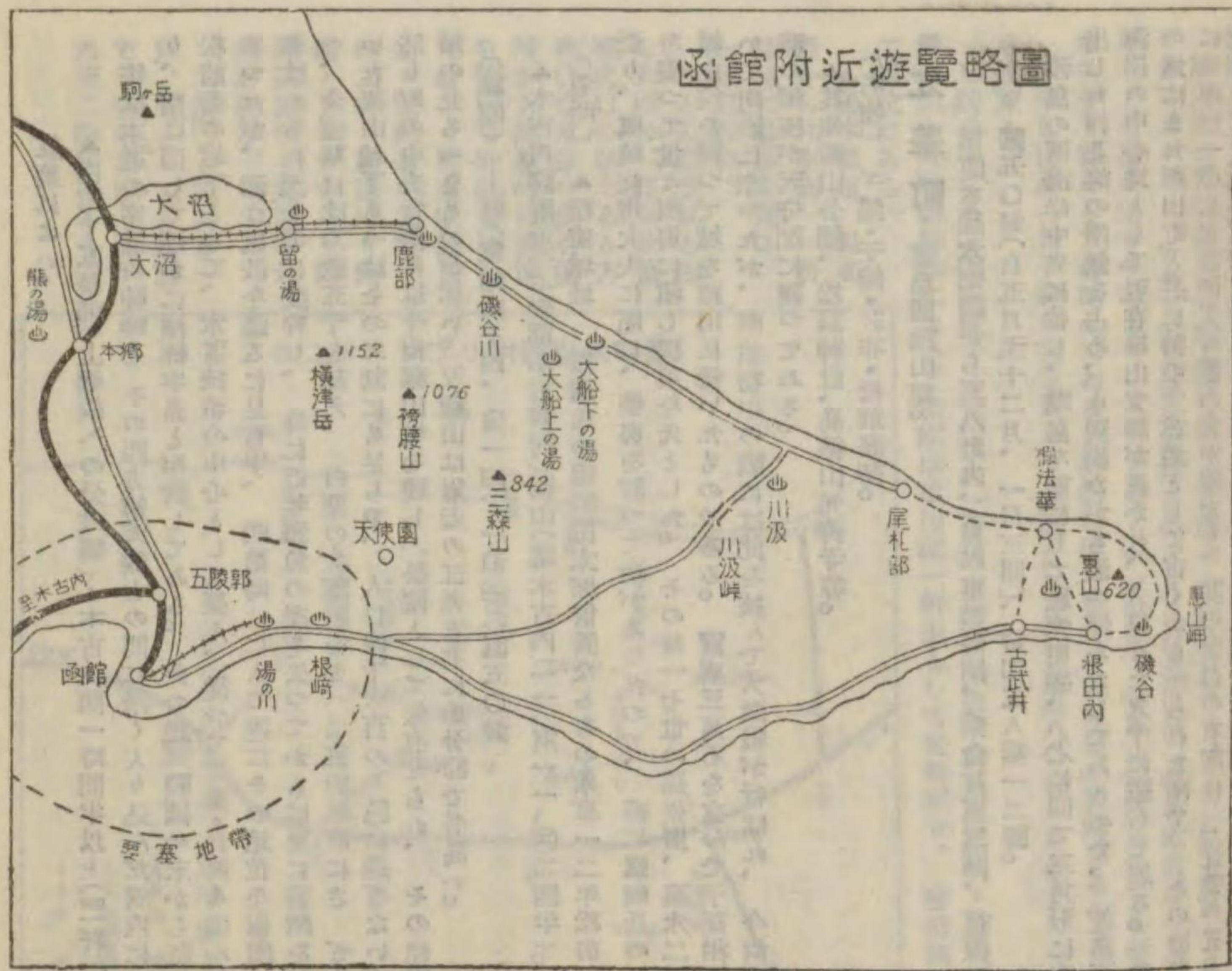
渡島國龜田郡尻岸内村。前記根崎温泉から尻岸内を経て根田内迄約四二軒の間自動車がある、所要約三時間、乗合一圓九〇錢、一日二回、五人乗切往復一五圓。根田内から約四軒は徒歩の上り道であるが、その他は平坦道路で右に太平洋の碧波を眺め、沿岸は南紀の海濱に似た景勝地がある。殊に日浦岬附近の

して其名を普く知らるゝに至つた風景郷である。周圍約三二軒、地域約一四方軒を有し、大沼は最大經東北―西南四軒八、最小經南北七四〇米、海拔一三〇米、最深一三米六、小沼は南北三軒一、東西六〇〇米、湖面海拔一三〇米、最深五米半、蕁菜沼は東西一軒四、南北四〇〇米、湖面海拔一五六米、最深五米あり、駒ヶ岳を北に横津岳を東に控へ南に藤山、無澤の山嶺湖周を繞り湖岸は出入り多く湖中には大小一二の島嶼を配し悉く鬱蒼たる樹木に蔽はれて居る。殊に大沼驛の附近から狭戸(セバット)の邊は最も湖岸線の出入に富み島嶼の基布も多く駒ヶ岳の英姿も一番よく見え、天然の佳景に有ゆる人工の美を施し雄大と織巧とを併せ有する公園中絶勝の地である。〔セバット〕は大沼小沼兩湖の水相通ずる最も狭き處にて、此處に鐵橋を架し汽車を通じて居る。汽車此の水郷を走るとき仰げば駒ヶ岳火山の聳ゆるあり、俯せば無數の島嶼碧水に浮べらありて正に北海第一の公園、新日本三景の隨一である。殊に小沼尻―ひぐらし山間(徒歩二〇分)から俯瞰した風光は繪よりも美しい眺めである。湖畔―小沼尻間遊覽船約三〇分、片道二五錢、往復四〇錢。

此の地は盛夏の候も尙氣温華氏八〇度を超ゆることなく宿舎・飲食店・遊覽船・貸ポイント、其他遊覽の施設亦完備し絶好の避暑地であり、又櫻楓樹多く、花の五月から紅葉の一〇月迄は遊覽滯泊するものが多い。

〔湖上舟遊〕 ▲屋形船 中形一〇人乗切四圓半、遊覽島巡り(約一時間)一人二五錢(最低三人分の料金にて發舟する)、▲モーターポイント 島巡り五人迄二圓半、以上一人毎毎に五〇錢増、大沼一周 五人迄五圓(二時間)。

函館附近遊覽略圖



小樽及其の附近

小樽市

函館から急行約五時間半(二五二軒五)、三等三圓二九錢。札幌へ急行四〇分、普通一時間(三三軒八)。

小樽市は南に毛無山、西に天狗山の連山次第に北進し、起伏緩やかに丘陵高島半島となつて小樽の低窪地域を包圍し、東は石狩海灣入して天然の良港となつて、本道西海岸唯一の要港をなし、西部の關門をなして居る。維新前は微々たる一小漁村(人口二千、戸數四四〇)であつたが長足の進展を續け(大正一一年市制施行)今人口一四四、八八七(昭和五・一〇調)を有し遂に北海道の海運並に商業界の覇を稱ふるに至つた。

旅館

越中屋ホテル(色内町、同六〇〇米餘電二四・二五・四四三、和室三七、一泊三圓半乃至七圓、洋室二七、室代三圓一四圓、洋六圓半、和四圓、食料料和洋共朝一圓、晝一圓半、夕二圓及二圓半、給仕料一圓制)、神谷(色内町、同半軒餘、電一一五、室三七、一泊四圓)、加賀屋(色内町、同三〇〇米餘、電五三一、一五三〇、室三五、三圓一五圓)、北海ホテル(稲穂町、驛から三〇〇米餘、電二七一、洋室二一、一入室一圓半、三圓、二入室五圓一八圓、食料料朝一圓、晝一圓半、夕二圓、風呂付室なし)、住初館(住初町、南小樽驛から二〇〇米餘、電一八五、二圓、三圓)、小島(永井町、南小樽驛前、電三四三、二圓一三圓)等。

〔交通機關〕 ▲乗合自動車 手管一若松町間 三分毎に發、一區七錢、全區一〇錢。 ▲タクシー市内八〇錢均一。

出して居る。

〔旅館〕 札幌グランドホテル(北一條西四丁目二、驛南三〇〇米、洋式バス付二四室、室代五圓以上、バスなし一六室、室代三圓半以上、和式浴室付四、一泊八圓以上、浴室なし七室、一泊四圓以上。食料料朝洋和共定食一圓及洋アラカート、晝洋、中華定食一圓半及洋アラカート、夕洋中華定食一圓及洋アラカート。外にグリル、バー、宴會室あり、心付一割制)山形屋(札幌驛から五〇米、電五二、和室五〇、洋室六、一泊二圓七〇錢一七圓、洋六圓、和四圓)、佐々木(北一條西三丁目、電九四九、室三五、一泊四圓、一泊四圓)、敷島屋(北一條西三丁目、電九四九、室三五、一泊四圓、西洋軒ホテル(南大通四丁目、和室五、室代一圓半、二圓半、洋室二一、室代二圓、二圓半、食料代朝一圓、晝一圓二〇錢、夕一圓半)、静岡屋(一〇〇米、電一〇五、和室二四、洋室四、二圓半一七圓)、中村屋(驛三〇〇米、電六一六、室三五、同上)、丸新(驛四〇〇米、電二六〇、二圓七〇錢一三圓半)、北門館(驛三〇〇米、電九七一、一圓七〇錢一三圓半)、信陽ホテル(電七九七)、和室一〇、洋室一、室代一圓半)、札幌ホテル(驛六六〇米、電四四、室二五、同上)、日ノ出(驛六六〇米、電二二四七、二三室、二圓七〇錢一三圓半)等。

〔交通機關〕 ▲市内電車 札幌驛前を起點とし札幌神社境内圓山公園、一條橋、中島公園、山鼻、豊平、苗穂驛前、桑園、北十八條(大病院前)等に通じ片道六錢、往復一一錢。 ▲乗合自動車 札幌驛前を起點とし中島公園、山鼻、師範學校、大學、石狩街道、元村方面(一區六錢)と、定山溪温泉(片道七〇錢、冬季は休止)に至るものがある。 ▲タクシー 市内八〇錢均一、市内遊覽貸切自動車二時間半にて五人乗五圓、二五人乗三〇分二圓半、以上三〇分毎に二圓宛。

民族の「フングース語」なりと云ひ、元は洞窟の奥の岩壁に畫かれてあつたものであるが、工事の爲に破壊せられ今は其一部を残し、指定の史蹟となつて居る。 ▲石炭船積用高架棧橋 手宮驛構内、古代文字附近から港内に突出して居る。 自動的に船艙内に石炭を積込むものである。 ▲水天宮山 南小樽驛から約一軒多賀神社と水天宮祠があるのでこの名があり、市の略中央にあり、展望がよい。

蝦夷富士

海拔一八九三米、後志(シリベシ)盆地の中央に孤立する端正な、缺頂圓錐形を成す休火山、北海隨一の靈峯で、其の美しい山容は車窓行客の目を樂ましむるに充分である。下車驛は函館本線比羅夫又は供安知驛、登路・石室等完備、登山期は七月一五日から八月末日迄。高山植物多く、山頂からの眺めは雄大絶佳である。

登山事務所附近に半月湖と稱する湖があり眺望がよい。登山事務所迄比羅夫驛から徒歩四〇分、供安驛から自動車二〇分、一臺二圓、夫から山頂迄徒歩約四時間。登山の際は登山事務所に立寄り氏名の届出を要する。

札幌及其の附近

札幌市

函館から急行六時間一四四分(二八六軒三)、三等三圓六五錢。札幌市は人口一六八、五七六(昭和五・一〇調)を有し、人口に於ては函館市に次ぐも北海道廳・控訴院・鐵道局・遞信局・稅務監督局・鑛山監督局・帝國大學等が置かれ全道交通の中心點、行政上の首府をなして居る。

地は石狩大平野の西南隅に位し、圓山・藻岩の峯巒を貫ひ南東に豊平川の清流を控へ、其水門から分水せる清冽な創成川は市街の中央を南から北へ流れ、街衢整然、附近には石狩の沃野を控へ商工業も大いに發展し、林檎、玉葱、ビール、麻織物、櫻桃、乳製品、蔬菜類其他各種の産物を

餘、朝九時から午後四時迄。 ▲圓山公園 札幌神社 驛の西南四軒、電車一七分、自動車一〇分。手稲連峯の東麓高燥の地に位し園内には櫻樹多く、五月十日前後が見頃。山道よく開け頂上からは市街を大觀し、石狩平野の展望が佳い。又豊麗な山林は天然紀念物として保存せられ、圓山の南面は冬季スキー地として有名である。札幌神社は官幣大社に列し、北海道の總鎮守である。例祭は六月一四日(一七日迄)。 ▲中島公園 驛の南二軒、市の南に位し、東は豊平川に西南は創成川に沿ふ八萬六千坪餘の樹林茂り廣場あり、清池を湛へて(湖上には貸ボートあり、冬季はスケート場となる)風景がよい。園内には拓植館があり、北海道開拓上の參考品を陳列す。 ▲真駒内種畜場 市の南郊、豊平町平岸村字真駒内に在る。道廳の所管に係り、模範的牧場である。 ▲藻岩山 驛の西南七軒三、途中山鼻迄電車がある。海拔一七五六尺、登山に良く、登攀容易で眺望がよい。山麓から頂上迄の間に三三體の觀音像を安置し、又山中處女密林地帯は圓山と同様天然紀念物で、かつら、樅、こぶし、柳、其他の國有樹木の種類が頗る多い。山の南麓には前記真駒内種畜場がある。

定山溪温泉

北海道石狩國札幌郡豊平町字定山溪。 ▲札幌市電車 終點豊平驛前に至り(一七分)、定山溪鐵道豊平驛から電車五〇分(二六軒)、賃六五錢、四〇分乃至一時間毎位に運轉。 ▲定山溪鐵道會社のバスで札幌驛から一時間一〇分(三二軒)、賃七一錢、一日八回。 ▲南小樽驛前から小樽定山溪自動車専用バスで一時間半(三八軒)、賃片道一圓半、往復二圓半、一日五回(小樽發八・十・正午・二・五時)往復。

地は豊平川上流の谿谷に位し、四周峯巒を繞らし、山川に富み豊平の清流は或は深く眠れるが如く或は奔湍矢の如く巖を噛み岸に碎け涼々の響を浮べて流れ温泉は到る處に湧出し、所謂山紫水明の別天地である。冬季河流の水量減る

頃、川全體は温湯となり、嚴寒の候四邊の雪景色を觀賞しつ、愉快な水泳の出来るのは此の地獨特の痛快事である。此の地、附近一帯の山容水態は其儘自ら一大公園を成し居るも、特に訪れるに價する名勝は、北海の猿橋とも云ふべき錦橋の絶景、舞鶴靜の舟遊、白糸の瀧、月見橋の絶景、百松澤附近の山水美、銚子口の壯觀、豊平峽及千丈ヶ瀧の絶景等がある。泉質は無色透明の單純食鹽泉で、温度八四度、リウマチス・眼病・創傷・子宮病・疝痛・痔疾・脚氣・神經衰弱等に效がある。

〔旅館〕 鹿の湯クラブ (電定山溪二・三、室七五、内洋室四、一泊二圓半、四圓半、④四圓、定山園(電二五・二九、室三四、三圓一五圓、③三圓半)、定山溪ホテル(電一・三三、四五、室七〇、三圓一五圓、③三圓半)、高山(電二八、室三三、二圓一三圓、章月ホテル(電四八)定鐵温泉(電三五、室七、二圓)、ラザオカルク温泉(電二五)、トキワ館(電五四)、錦ホテル(電五二)、太清閣(電三八)、等(皆内湯あり)。

旭川市とその附近

旭川市 函館から急行九時一四分(室蘭線經由四一九新八)三等四圓八七錢

旭川市は北海道の中央部、四周山を繞らした高地性盆地天産豊かな上川沃野の中心に位し、石狩川の南岸に臨み忠別、牛朱別等が市街を挟んで流れ地勢自ら有望にして市區宏壯整然、極めて感じのよい都會である。今人口八八、〇七二(昭和九・一〇調)を有し、第七師團の所在地である。上川平野は米の産額最も多く、約一〇〇萬石を産し、其

旭川市は北海道の中央部、四周山を繞らした高地性盆地天産豊かな上川沃野の中心に位し、石狩川の南岸に臨み忠別、牛朱別等が市街を挟んで流れ地勢自ら有望にして市區宏壯整然、極めて感じのよい都會である。今人口八八、〇七二(昭和九・一〇調)を有し、第七師團の所在地である。上川平野は米の産額最も多く、約一〇〇萬石を産し、其

層雲峽は北海道の大河石狩川の上流約二四軒に亘る峽谷美で、北海道の屋根である大雪山の東北腹に深く刻まれた大峽谷の稍展げんとする所で、其間兩岸に屹立せる數千尺の大巖崖に大小幾多の飛瀑を懸け、全溪を埋むるに針潤混清の一大原始林を以てし、悠久の流れ石狩の碧水其間を縫ひ、道は細徑を辿り、危橋を渡り、膽を寒からしむる場所も尠くないが、神斧鬼鑿の妙言語に絶する大觀は、一度此地に足を踏み入れた者の頭腦を長く去らぬ處で、春から秋へかけて遊覽客で賑はつてゐる。

上川驛から垣々たる道を約一二軒ゆく層雲別と稱する村落を過ぎる。所謂層雲峽はこの附近から初まり兩岸に屹立する一、六〇〇米餘の大岩崖は各種各態、見れども飽かぬ眺めである。對岸に七賢峯の突兀として空に聳ゆるあり亜いで露老岩と稱するものあり、車上に落ちかゝるかと危ぶまるる大羅漢。双子岩と云ふもあり、しかも沿道は悉く針潤混清の原始林で、溪谷の美を遺憾なく表はしてゐる。残月峯の下にある地獄谷に架けられた神仙橋を渡ると温泉場である。地獄谷は噴元とした岩頭が深淵から突出してゐる。眞の溪谷の美は實に此處から始まるのである。

温泉の附近には遊山峯・映月峯・不忘峯・夏雲峯等が前後に連立してゐる。川中の蘆荻岩を渡つて大函への道路が開けてゐる。温泉から約五〇〇米の所に第七師團療養所があり、その近くには九十九瀧の勝がある。怪奇な姿態をなした天狗の挽白岩は、此處から東方に指呼することが出来、また温泉旅館の前にある望岳橋上からは、大雪山の一角にある桂月岳・凌雲岳等の姿を望見することが出来る。層雲橋を越えて對岸に渡り、約二軒ゆく流泉の瀧があり、その上流には銀河の瀧があつて、共に高さ一五〇米を超えてゐる。眞に流星が天の一角から落ち来るが如く、銀河の虚空から倒懸するにも似てゐる。更に進めば遊仙臺の奇勝があり、雲井の瀧があり、天城峯が美しい柱状節理を見せ一大絶壁をなしてゐる。羽衣岩・姫岩等の奇岩を控えたこの邊が小函の

品質も極めて優良である。

〔旅館〕 三浦屋(官下通七丁目、驛前、電二〇二五・二〇一七、室二五、二圓半、四圓、③三圓)宮越屋(電四一五一、驛前、室二四、一泊③三圓)、北海道ホテル(四條通八丁目、驛六〇〇米、電四一四一・四一四二、洋室一、室代二圓一四圓五〇錢、朝食付四圓、和室二、朝食付二圓、食料費一圓二〇錢、夕一圓半)、越後屋(二條通九丁目、驛三〇〇米、電四一七五、和室二七、一泊二圓半、四圓、洋室三、朝食付五圓)笹岡屋(二條通六丁目、驛三五〇米、電二二二七、室二〇、二圓半、四圓)永樂館(二條通七丁目、電四一〇一、和室二五、二圓半、四圓、洋室二、朝食付五圓)等

〔交通機關〕 ▲タクシー 市内一圓均一、▲貸切自動車 一時間三圓、一〇時間、二〇圓、▲電車 一條通一四條通循環運轉及師團線とあり三分毎に發、全市六錢均一。▲乗合自動車 驛一、二條通一五條通循環運轉、五分毎六錢均一、上川神社線、及師團線五分毎、一、二錢宛。

〔遊覽順序〕 (A) 一條通一神樂岡公園一上川神社一四條通一師團通一驛、以上日動車で約一時間、賃一圓三〇錢。(B) 驛一師團通一舊土人部落(アイヌ人の生活狀態と參考館の視察)一近郊展覧(石狩川、牛朱別川切替完成)一常磐公園一師團通一驛。以上自動車で一時間半、賃二圓。

〔名所〕 ▲第七師團 驛の北約四軒、函館の重砲兵大隊及札幌の歩兵第二五聯隊以外の各兵科が置かれて居る。師團裏の春光臺山はスキー地として知られて居る。▲常磐公園 驛の北方一軒半、第七師團への途中にあり、設備もよく整ひ、冬季はスケート場として知らる。▲神樂ヶ岡 驛の南三軒三、小高い山で樹木茂り忠別、美瑛の清流に臨み眺望がよい。縣社上川神社がある。

近文アイヌ部落 旭川驛の西南約四軒、次驛近文驛から七七〇米、現在六三戸、約三〇〇人の舊土人此の地に住居し土地の給與を受け、安穩なる生活を營んで居る。(現在北海道に於けるアイヌの人口は約千五百人で、主として東海岸に住み、漁業を主として居る。)

層雲峽 (國立公園地内) ▲石北線上川驛から温泉場迄約二四軒、自動車約五〇分(五月一一日迄列車毎)、乗合一圓、五人乗貸切七圓。

層雲峽温泉 (鹽谷温泉とも云ふ) 北海道石狩國上川郡上川村。地は殆んど層雲峽の中間に位置し、大雪山への登山口として夙に知られ、最近にニセイカウシユベ山、石狩連峯の諸山岳への登山中心地となつてゐる。針葉樹の原始林に圍まれ、直に石狩の清流に枕み、銷夏の適地である。温泉の湧出量は極めて多量で、攝氏七〇度乃至九三度、泉質は無色透明の鹽類泉で、外科諸症、貧血、消化器病、皮膚等に効がある。此地は紫外線が最も強く附近に鐵礦泉の國層温泉及冷泉炭酸泉の飯田温泉等がある。旅館は層雲閣、登仙閣の二軒がある。

宿泊料一泊(二食付)二圓五〇錢、③三圓半、晝食一食(湯錢共)一圓以上、座料一日三〇錢、湯錢一回一〇錢、貸別荘(層雲閣のみ、八疊一室、四疊半一室、浴場、自炊場付)五人以内一日五圓、半ヶ月五〇圓、一ヶ月一〇〇圓。自炊一日一人(湯錢共)五〇錢、寢具代一夜二〇錢、雜費一食三〇錢以上、強力、案内者一日(食費持)三圓。

層雲峽の探勝期は、五月上旬から一〇月下旬までが好い。大雪山 (國立公園) 大雪山は北海道の中央高地、東西三二軒、南北二四軒の地域にそ、り立つ火山臺の冠稱で、また「又タカカムシツベ岳」とも稱し、標高二、二九〇米の旭岳を主峯とし、北嶺・比布・愛別・白雲・小泉・烏帽子・凌雲・永山・黒岳等、何れも二、〇〇〇米以上の銳峯があり、北日本第一の高山で、夏猶白雪を戴き、其龐大なる山容は旭川附近からも望見される。之等の多くは火口或は爆裂火口を有し、或は温泉を湧出し、旭岳は現に噴煙を吐きつ、ある。而して火口・火口湖・爆裂火口・火口瀧・熔岩流・温泉・濕原・泥炭沼野・岩礫・岩壁等が到る所に在り、日本アルプスの二千五百米以上に於て初めて見ることの出来る雪溪・雪田・湖沼地、寒地(高山)植物、蝦夷青島、タケガラス、寒地昆虫等が千四、五百米の箇所にて之を見ることが出来、實質

俗塵を遠く離れた温泉場である。此處は大雪山の南登山口であり、又トムラウシ山への登山口をもなしてゐるので、夏季は大いに利用される。温泉は攝氏四七度乃至五四度の微温で、胃腸病・脳病・肋膜炎等に効があり、旅館は忠別驛邊で收容人員約三〇名、一泊(二食、握餅當付)一圓五〇錢。

吹上温泉

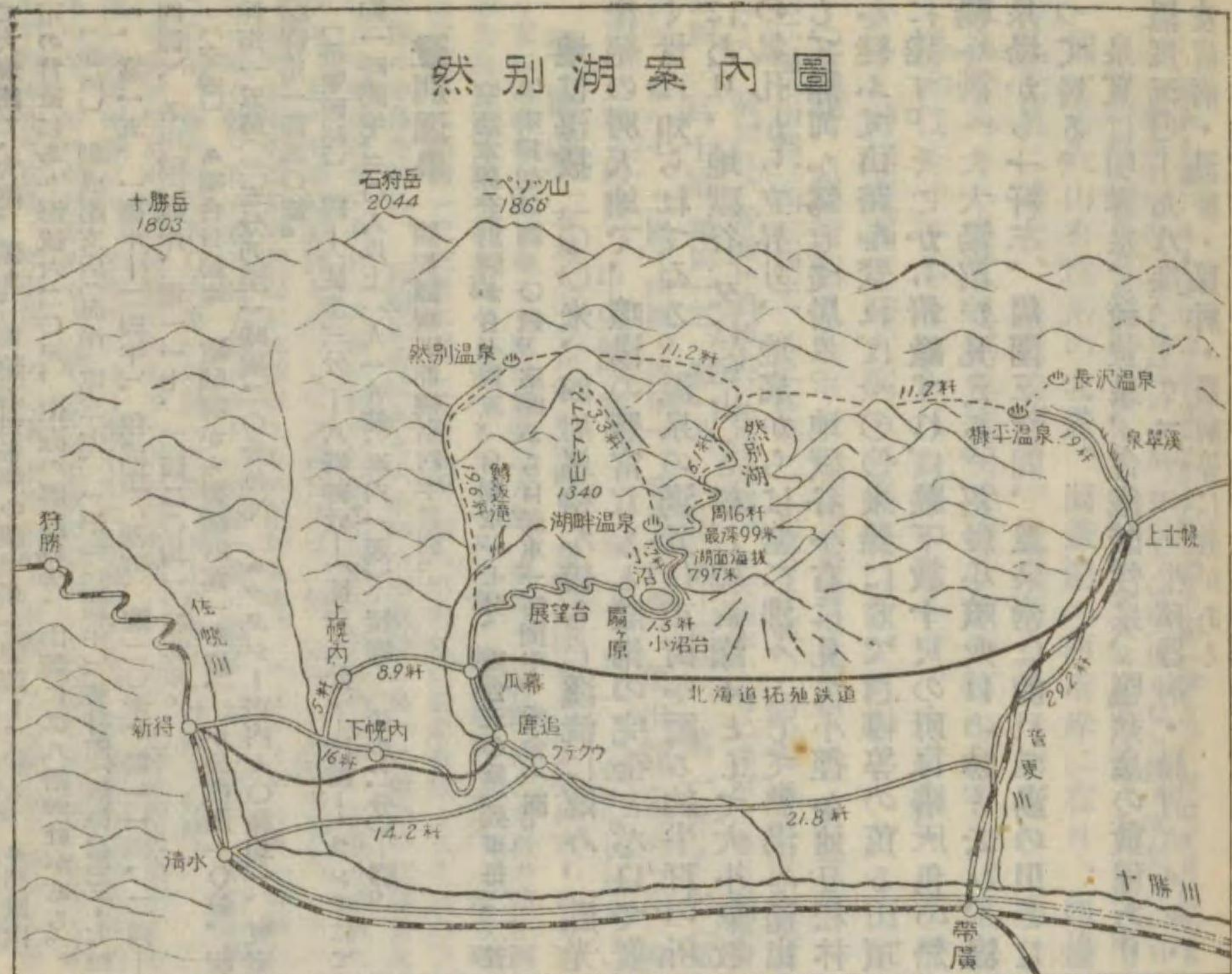
石狩國空知郡上富良野村。

富良野線上富良野驛から一六軒、自動車約一時間、乗合一圓(五月下旬一二月下旬迄、一日三回)、貸切片道三人迄五圓、冬季は馬糧に代りスキー客の便を計つてゐる、片道八〇錢乃至一圓。貸切の場合は一臺一人二圓五〇錢以上。

温泉は十勝岳の中腹、海拔約千米の所に在つて、附近一帯は針葉樹の原始林が鬱蒼として茂つてゐる。温泉は酸性硫酸泉で攝氏四三度、浴用としては神經衰弱・神經痛・痲瘋質斯、肋膜炎、婦人病・皮膚病等に、飲用としては胃腸病・呼吸器病等に効がある。

十勝岳

は、普通海拔二、〇七七米の活火山を指稱するものであるが廣義には上ホロカメツトク山・下ホロカメツトク山富良野岳・美珠岳・美瑛富士邊別岳・オプタシケ山・十勝岳・前十勝岳等、國立公園地域の西南に蟠居する群峯を總稱して呼ぶも差支ない。從來は極めて僅少な登山者が足跡を印するに過ぎなかつたが、大正一五年の大爆發と、最近世界的山岳スキー家シユナイダー氏の登山に依つて、一躍その名譽を擧げ、雪の國立公園としても亦他の追従を許さぬ所である。



温泉から十勝岳村密ヒユツテ(スキーヤーの便宜を圖つて作られたもので、收容人員約三〇名、一泊五〇錢)の傍を通つて約一軒行つて、森林地帯を進み切ると忽然として大泥流の跡が目に入る。大正一五年の大爆發に際し、約一六萬アールに亘る大樹林が、奔流する泥流の爲に悉く洗はれたものである。冬はこの泥流の跡が偉大なるスロープとなり一般スキーヤーの禮讚する所である。此處を約二軒登ると十勝岳の噴火口に到るのである。火口は深さ約二〇〇米、直徑約二〇〇米で、馬蹄形の岩壁に圍まれ、噴煙は常に天に沖してゐる。火口の南方にある岩石を約半軒登攀すれば前十勝の頂に出る。富良野平原を一望の裡に聚め、遠く上川平野にも及んでゐる。更に二軒で十勝岳の頂上に達する。温泉場から約四時間の行程である。

然別湖

は十勝國鹿追村と川上村に跨り、ヤンベツ・ヤムワツカ・ボンヤンベツ川等を受け、然別川の支流トオマベツ川の水源をなしてゐる堰止湖で、湖面は海拔七九七米、成因によれば長徑南北三軒七、湖岸延長一三軒六で、水深九米に達してゐる。東南には南方に走るトヤウシユベ連山があり南方には東北に連なるオプシユサツペ(一、一七三米)八及東ヌブカウシ山(一、二五二米)が聳え、西部にはベトウトル(一、四三〇米)の諸山を控へ、ベトウトルからトオマベツ川を隔てて南に西ヌブカウシ山(一、二五六米)があり、東ヌブカウシと相並んで、然別湖南方の關門をなしてゐる。瓜幕方面からの登路はこの間を通つてゐるのである。

沿岸は針葉樹の密林で、その中に白樺、ナナカマド等の闊葉樹が混生し、所謂千古斧鐵を入れない原始林はその汀に迫り、その幽邃なることは他に類を見ぬ所である。湖中には岩魚、山椒魚、ザリガニ等が多く棲息し、岩魚に到つてはその長さ一米に及ぶのも珍しくない。殊にヤンベツ川口には群集してゐる鮎れども盡きぬ程がある。

湧出し、風光館旅館が建つてゐる。温泉は攝氏四〇度のアルカリ性硫酸泉で胃腸病・腰痛・肝臓病・氣管支加答兒・脂肪過多症等に効がある。旅館光風館は昭和六年に新築されたもので、收容人員約一〇〇名、一泊二圓五〇錢(二圓半)。尙此處には小舟、小型發動機船があつて、湖上の遊覧には便利である。

〔交通〕 然別湖へゆく道は三つある。新得驛から北海道拓殖鐵道によるものと、清水驛或は帶廣驛から乗合自動車に依るもののである。▲新得から北海道拓殖鐵道で瓜幕までゆき(一時間、二八軒七、賃九〇錢)、夫から湖畔温泉迄一五軒五、自動車一時間一〇分、乗合八〇錢(一日三往復)貸切一人二圓、二人二圓六〇錢、五人四圓。▲清水からは途中の鹿追まで一六軒二、乗合自動車片道七〇錢、約一時間。鹿追から湖畔まで約二四軒七、一圓一〇錢、約一時間を要する。貸切は片道八圓、往復一三圓。▲帶廣から鹿追・瓜幕經由約五六軒、自動車三時間半、乗合二圓五〇錢(八時及二時の二回)貸切五人乘一臺一六圓。

室蘭及其附近

室蘭市

函館から急行(東室蘭迄)で五時間(一九七軒六)、三等二圓七分(一〇分)一〇連、三等二圓四〇錢、二等三圓六〇錢、一日一回。室蘭市は北海道の南西に位し、内浦灣口(名噴火灣)に突出し、眺望絶佳な測量山を中心とする繪鞆半島の連山を繞らした天與の良港で、港は西北に向つて内浦灣に面し、青蘭航路と室蘭本線との中繼地として交通の要衝に當り、本邦友數の大工場日本製鋼所室蘭工場及輪西製鐵會社事業所などがある。人口五五、八五五(昭和五・二〇調)を有し、石炭、紙、木材、硫黄等の移輸出が盛である。

〔名所〕 ▲石炭船積用高架棧橋、小樽港にあるものと同様自動機置により船積されるもので、夕張・萬字・幌内・美唄・歌志内等から運出するが主である。▲日本製鋼所室蘭工業所、室蘭の隣磯崎附近にあり、設備萬端備

て大規模で、大砲、霰丸、車輪其他各種の機械類を製造して居る。▲洞窟山市の背後にあり海拔六二〇尺、山海の眺望雄大、山麓には八幡神社がある。

〔旅館〕 創成館支店(海岸、電三七、一泊③三圓半)、福井館(海岸、電三七、四一、室一五、一泊半②二圓半)、創成館 港町、驛二〇米、電一一五、二圓四圓、石川館(海岸、電一一七、二圓二〇均)等其外。

登別温泉

室蘭本線登別驛から七軒五、自動車一七分、乗合五〇錢(列車毎)、五人乗切二圓五〇錢。室蘭から自動車一時間半、乗合一圓。

地は海拔二〇〇米、四周峯巒を繞らし溪流に臨み、風光佳絶の別天地で、噴湯の豊富なる設備の完全とを以て廣く世に知られてゐる。温泉の湯元は市街を距る約半軒の所にあり、地獄谷(又は劍山)と稱し硫黄濛々として大小無數の氣孔から立昇り、地底から常に沸々として熱湯を湧出して熱河を爲して居る。地獄谷を右に見て小徑を辿り松林を縫ふて山路を登れば一〇〇米餘にして白樺等の茂る山頂に達す。そこから俯瞰すれば眼下數十尺の所に暗灰色の熱湯を湛へた大湯沼が見える。沼は小噴火口の跡と云ひ、温泉場から一軒三、周圍三百間、温泉常に流れて湯の川となつて居る。

泉質は明礬泉、硫黄泉、含鐵酸性泉、鹽類泉の數種あり温度五〇—九八度、リウマチス、生殖器病、腸胃カタル、皮膚病、濕疹、腺病、腦病等に效がある。

復六〇錢。それから温泉旅館迄三〇〇米乃至一軒三。又は蛇田驛から自動車二五分、乗合片道四〇錢、往復六〇錢(但し當日限り有効)。一日五往復にて各温泉旅館の前迄ゆく、貸切六人乗片道二圓、十二乗三圓。

地は活火山有珠岳の北麓、洞爺湖の西南岸に在り、四邊の風光眞に雄大、清麗の郷で、近來漸く世に知られて來た温泉である、泉質は無色透明で鹽分鐵分等を含有し、温度も湯元は一吋手を入れられぬ程の熱さで、皮膚病・リウマチス、神經衰弱・婦人病・外傷等に效がある。

〔旅館〕 洞爺湖温泉ホテル(電洞爺湖温泉局四・五、室數三二、一泊二圓一四圓、④三圓半、外に洋室一、和食付五圓)、觀光ホテル(電洞二八、室三三、普通一泊同上、④洋五圓、和三圓半、外に洋室二あり食事付五圓、富士屋、電同一五、室一八、一泊二圓一四圓)、第一ホテル(電同一、室一七、二圓一四圓、洋室一、食事付四圓)、萬世館(電同一〇、室三八、二圓一四圓)、中央館(電同一二、室二八、同上、(何れも内湯あり))

洞爺湖 有珠火山の北麓に位置し、其勝景は有珠岳と共に古くから治く世に誦はれた處である。湖は周圍三九軒、東西一軒餘、南北九軒の略正圓形を爲し、藍碧の清水満々と湛へること一八八米、湖面海拔八五米、即ち湖底は遙かに海面一三三米に没して居る。湖の中央には湖面を抜くこと三〇〇米餘の中島を首め、縁樹に蔽はれた大小四つの島嶼があつて南岸の有珠岳及北方の蝦夷富士と共に一入洞爺湖の風致を引立て、日本百景の一に數へられて居る。湖の名産は鮭を主として其他ウグイ、鱒、ザリガニ等も多し。

湖畔洞爺湖温泉の旅館には貸ボートの備がある。モーターボート一時間二〇人乗七圓、五人乗三圓、貸ボート一時間一圓、湖上一周二時間、乗合一圓二〇錢。發動機船五〇人乗一時間一三圓、水上スキー一時間三〇錢。洞爺湖電車の見晴驛附近からは一方に噴火灣、一方には洞爺湖蝦夷富士を望む眺望絶佳にて、冬季はスキー場として好適である。洞爺湖驛は稍高所にあつて一昨の裡に收める。湖上には電車に接続して北岸の向洞爺、壯警方面に汽船が出て居る。向洞爺へ四〇錢、要四五分。壯警へ二〇錢、要二五分、洞爺湖驛の西方一〇〇米に電線會社經營のゴルフリンクがある、入場料一日二圓。

〔旅館〕 第一瀧本館(電一番、室數一五〇、一泊三圓半、五圓半、④三圓半)、第二瀧本館(電二番、室六五、一泊同上、④三圓)、湯本ホテル(電七六、室五五、一泊三圓、五圓、洋室は別に室代を要す、④三圓)、瀧見館(電五〇、室三〇、二圓半③三圓半)、其他。何れも内湯あり。

倶多羅湖

登別温泉の東約四軒徒歩一時間。湖は周圍綠峯に圍まれ恰も捕鯨の如き形をなし其の中に清湖を湛へたるもの、湖面海拔二七九米、直徑四軒、周圍一二軒、排水河なく殆んど正圓形、深さ一三五米の清水を湛へて、明鏡の如く清澄である。閑邊には鮭鱒孵化場、茶亭あり、貸舟に便す(舟は釣道具共一時間二五錢)真に幽邃靜謐の別天地で登別温泉に遊ぶほどの人は必ず一遊を試むべき所である。

カルルス温泉

(體振國幌別郡幌別村) 登別温泉の西北八軒、夏期自動車(二〇、七〇錢、一日一〇回)便あり。徒歩容易約一時間半。海拔三三三米の處に位し翠巒四圍を繞り一條の溪流は其の中央を貫流し、温泉は東岸斷崖の間から湧出し、泉質は德國ビヨメン州のカルルス温泉に酷似すと云ふので此名がある。無色透明の單純泉でチウムを含有し腦神經諸病、筋力開節リウマチス、腎臟病、婦人病、腺病等に效がある。内用すれば胃腸、胃カタル、腸カタル、諸病の恢復期殊に精神病等に效がある。温泉六〇度。

白老舊土人部落

室蘭本線白老驛から南約一軒、現在人口約三六〇人餘、戸數八〇戸許あり、主として漁業に従事してゐる。家屋の構造その他生活様式は今猶舊態を存し、茅屋點々散在せる様は車窓からも見える。

洞爺湖温泉

北海道路體振國幌別郡蛇田町字床丹。電洞爺湖温泉局四・五、室數三二、一泊二圓一四圓、④三圓半、外に洋室一、和食付五圓、觀光ホテル(電洞二八、室三三、普通一泊同上、④洋五圓、和三圓半、外に洋室二あり食事付五圓、富士屋、電同一五、室一八、一泊二圓一四圓)、第一ホテル(電同一、室一七、二圓一四圓、洋室一、食事付四圓)、萬世館(電同一〇、室三八、二圓一四圓)、中央館(電同一二、室二八、同上、(何れも内湯あり))

有珠岳

洞爺湖と噴火灣の間にある海拔七二五米の活火山で、火山學上有名な處である。洞爺湖温泉への途中から完全な登山道路が開かれ、婦女子にも樂に登る事が出来、山上からは洞爺湖一帯の絶景に接する事が出来るから洞爺湖に遊ぶ程の土は是非試むべき遊覽地である。電車終點から約一軒の所に登山口あり、一時間位で頂上に達す。温泉から頂上迄三軒三、所要一時間位。新噴火口迄(半軒)、自動車貸切五人乗一圓。

支笏湖

湖は標高三〇〇米、周圍四〇軒、深さ三六〇米、碧水漫々と湛えて海原の如く、湖岸には樹前一、〇二三米、苦小牧驛から登山口迄二一軒、夫から頂上迄一二軒半上り約二時間半)、フツブシヌグリ(一、一〇二米)惠庭(一、三一九米)の火山其の他の連嶺を繞らし、山紫水明、得るいはれぬ佳景を現出してゐる。夏から秋にかけてが遊覽の好期である。尚又此の湖に遊ぶ人の一見に値するものとして、鮭鱒人工孵化場と大規模の發電所と鮭鱒人工孵化場とがある。

〔交通〕 支笏湖への道は二通りある。成るべく樂に行かうとするには室

となる。佐幌岳の山腹緩かに垂れて十勝の太平洋に連り、層々漢々として其際涯を知らず、其雄大なる景観に覺えず快哉の叫びを發せずには居られぬ。信州姥捨附近、九州肥前線矢岳附近と共に日本車窓三大雄觀の隨一として治く世に知られて居る高嶺の絶勝地である。

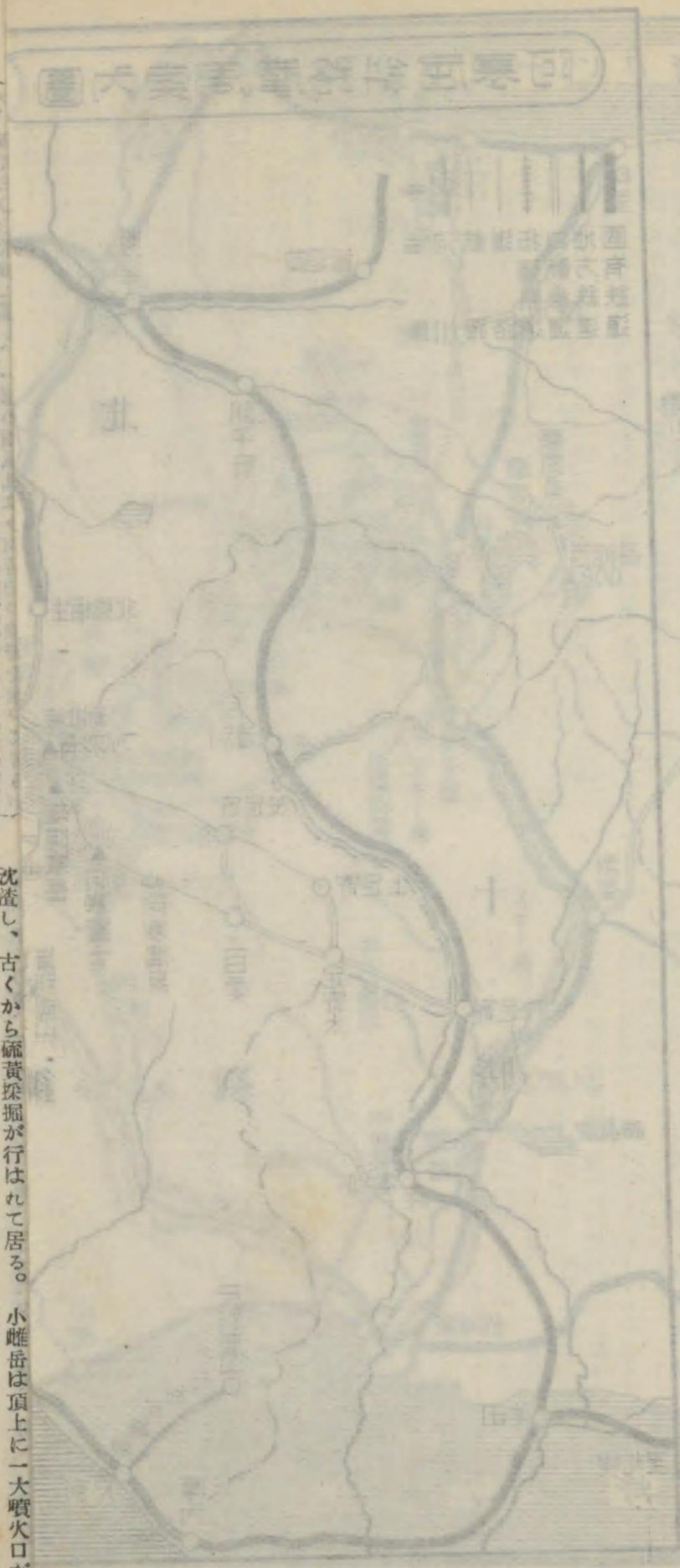
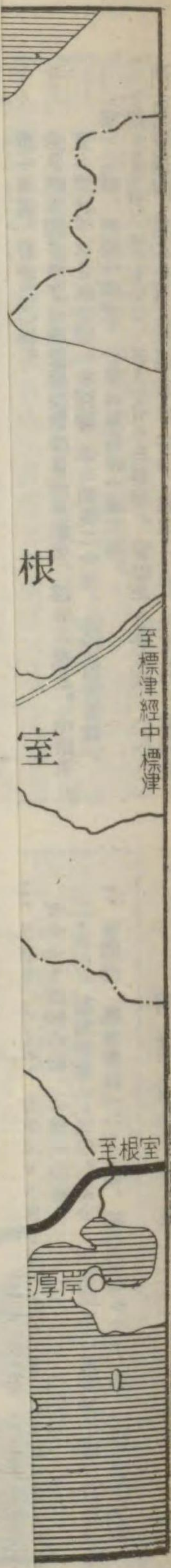
阿寒湖

阿寒湖は釧路國阿寒郡にあり、釧路から直距約四〇料網走から同約四四料、即ち釧路と北見の國境近くに颯爽たる雄姿を見せて居る雄阿寒岳と、山容奇異にして噴煙未だ盛んなる雌阿寒岳との中間裾野に位してある稍菱形をなした高山淡水湖で、風光の明媚を以て近時喧傳せらるる處である。千古斧鉞を入れざる原始林に圍まれた湖岸一帯は、奇巖怪石に富み、喬木岩を割つて繁茂し、湖中には「オンネモシリ」「ホンモシリ」「チエレイモシリ」など大小五箇の島嶼が浮び、底知れぬ紺碧の水澄み渡つて明鏡の如く、毅然たる雌雄兩阿寒の山容を倒映し、且つ南岸の所謂湖中には滾々として清澄なる温泉湧出し、數戸の温泉宿とアイヌ土人の漁家が木の間隙に點在して居る風趣は、人をして恍惚たらしめる。一度輕舟を泛べて一方に雄阿寒嶽の雄姿を望み、又雌阿寒の噴煙を眺め乍ら湖上に悠遊せんか神詔縹渺として之れ正に仙境に遊ぶの興趣であり、又、湖畔の瀟灑なる阿寒湖温泉に浴して湖邊の風光を擅にするの快味は言ふべき言葉がない。

岸線は頗る複雑で、その延長三〇料五に達し、面積一平方料八六を有して居る。湖盆を涵養する水は數條の溪流に依つて注がれ、湖水は南流して釧路川の水源をなして居る。最深三六米六、水色は六號で綠色湖に屬し、透明度は僅か九米に過ぎない。夏の水溫は二二度以上に達するが、一二月末から五月初旬迄は結氷する。湖中には得難い美味を有する姫鱒カサネウナと、世界に有名な越藻シロモリ(註二参照)を産する。(註一)阿寒大火山は屈斜路火山群の西に相接して居る阿寒火山群に抱かれて居る一大火山盆地で、長徑約二四料、短徑約一三料の東北に長い楕圓形をなして居る。その大火山口環壁は東南部に於ては内側に向つて急斜をなし外に向つて緩斜して明瞭なる一孤をなして居るが、西南部は其の成生後に生じた雌阿寒火山によつて明瞭を缺き、又北壁は不規則な隆起部によつて境され明瞭な湖盆周壁崖を持つて居ない。湖盆の中央には雄阿寒岳聳え、ためにその麓を繞つて阿寒湖・バンケト・バンケト・太郎湖・次郎湖等があり、中には阿寒湖は最も大きいものである。(註二)越藻は、湖の北隅シリコマベツとチウルイ附近にのみ棲生し、その形秘状をなしてある一種の淡水藻で、無數の糸狀個體の集合して出來たものである。形態の珍奇は云ふ迄もなく、大は夏蜜柑大から、小は雀卵大に至る無數の球團が湖底の淺底に小石原を見るが如く生育して居るさまは實に見事なものである。そしてこの球狀藻團は、日光を受けて酸素泡が多く出て蓋間に入り込めば浮出し、酸素泡が風などのために取り去られると沈むと云ふ様な珍奇な習性を有して居るので、頗る珍重されて居る。殊にその産地は著しく局限され、我國で此のほか極太の一ヶ所に産するのみであり、外國でも珍しく、その生態と分布と土學術上珍らしいもので、大正一二年以來天然紀念物として保護されて居る。

阿寒湖への交通

一、網走線美幌から分岐する相生線の終點北見相生驛から湖畔の尻駒別(一料八)を経て湖畔迄二〇料六(釧路國境迄一二料の間上り道)自



沈澱し、古くから硫黄採掘が行はれて居る。小雌岳は頂上に一大噴火口がある。

となる。佐幌岳の山腹緩かに垂れて十勝の太平洋に連り、廣々淡々として其際涯を知らず、其雄大な景観に覺えず快哉の叫びを發せずには居られぬ。信州姥捨附近、九州肥前線矢岳附近と共に日本車窓三大雄觀の隨一として治く世に知られて居る高原の絶勝地である。

阿寒湖

阿寒湖は釧路國阿寒郡にあり、釧路から直距約四〇料網走から同約四四料、即ち釧路と北見の國境近くに颯爽たる雄姿を見せて居る雄阿寒岳と、山容奇異にして噴煙未だ盛んなる雌阿寒岳との中間裾野に位してゐる稍菱形をなした高山淡水湖で、風光の明媚を以て近時喧傳せらるる處である。千古斧鉞を入れざる原始林に圍まれた湖岸一帯は、奇巖怪石に富み、喬木岩を割つて繁茂し、湖中には「オンネモシリ」「ホンモシリ」「チエレイモシリ」など大小五箇の島嶼が浮び、底知れぬ紺碧の水澄み渡つて明鏡の如く、毅然たる雌雄兩阿寒の山容を倒映し、且つ南岸の所謂湖中には滾々として清澄なる温泉湧出し、數戸の温泉宿とアイヌ土人の漁家が木の間隙に點在して居る風趣は、人をして恍惚たらしめる。一度輕舟を泛べて一方に雄阿寒嶽の雄姿を望み、又雌阿寒の噴煙を眺め乍ら湖上に悠遊せんか神詔縹渺として之れ正に仙境に遊ぶの興趣であり、又、湖畔の瀟灑なる阿寒湖温泉に浴して湖邊の風光を擅にするの快味は言ふべき言葉がない。

岸線は頗る複雑で、その延長三〇料五に達し、面積一平方料八六を有して居る。湖盆を涵養する水は數條の溪流に依つて注がれ、湖水は南流して釧路川の水源をなして居る。最深三六米六、水色は六號で綠色湖に屬し、透明度は僅か九米に過ぎない。夏の水温は二二度以上に達するが、一二月末から五月初旬迄は結氷する。湖中には得難い美味を有する鮭と、世界に有名な越藻(註二参照)を産する。

(註一)阿寒大火山は屈斜路火山群の西に相接して居る阿寒火山群に抱かれて居る一大火山口盆地で、長徑約二四料、短徑約一三料の東北に長い楕圓形をなして居る。その大火山口環壁は東南部に於ては内側に向つて急斜をなし外に向つて緩斜して明瞭なる一弧をなして居るが、西南部は其の成生後に生じた雌阿寒火山によつて明瞭を缺き、又北壁は不規則な隆起部によつて境され明瞭な湖盆周壁崖を持つて居ない。湖盆の中央には雄阿寒岳聳え、ためにその麓を繞つて阿寒湖・パンケト・ペンケト・太郎湖・次郎湖等があり、中にも阿寒湖は最も大きいものである。

(註二)越藻は、湖の北隅シリコマベツとチウレイ附近にのみ棲生し、その形秘状をなしてゐる一種の淡水藻で、無數の糸状個體の集合して出来たるものである。形態の珍奇は云ふ迄もなく、大は夏蜜柑大から、小は雀卵大に至る無數の球團が湖底の淺底に小石原を見るが如く生育して居るさまは實に見事なものである。そしてこの球状體團は、日光を受けて酸素泡が多く出て蓋間に入り込めば浮出し、酸素泡が風などのために取り去られると沈むと云ふ様な珍奇な習性を有して居るので、頗る珍重されて居る。殊にその産地は著しく局限され、我國で此のほか樺太の一個所に産するのみであり、外國でも珍しく、その生態と分布と土學術上珍らしいもので、大正一二年以來天然紀念物として保護されて居る。

阿寒湖への交通

一、網走線美幌駅から分岐する相生線の終點北見相生駅から湖畔の尻駒別(一料八)を経て湖畔迄二〇料六(釧路國境迄二二料の間上り道)自

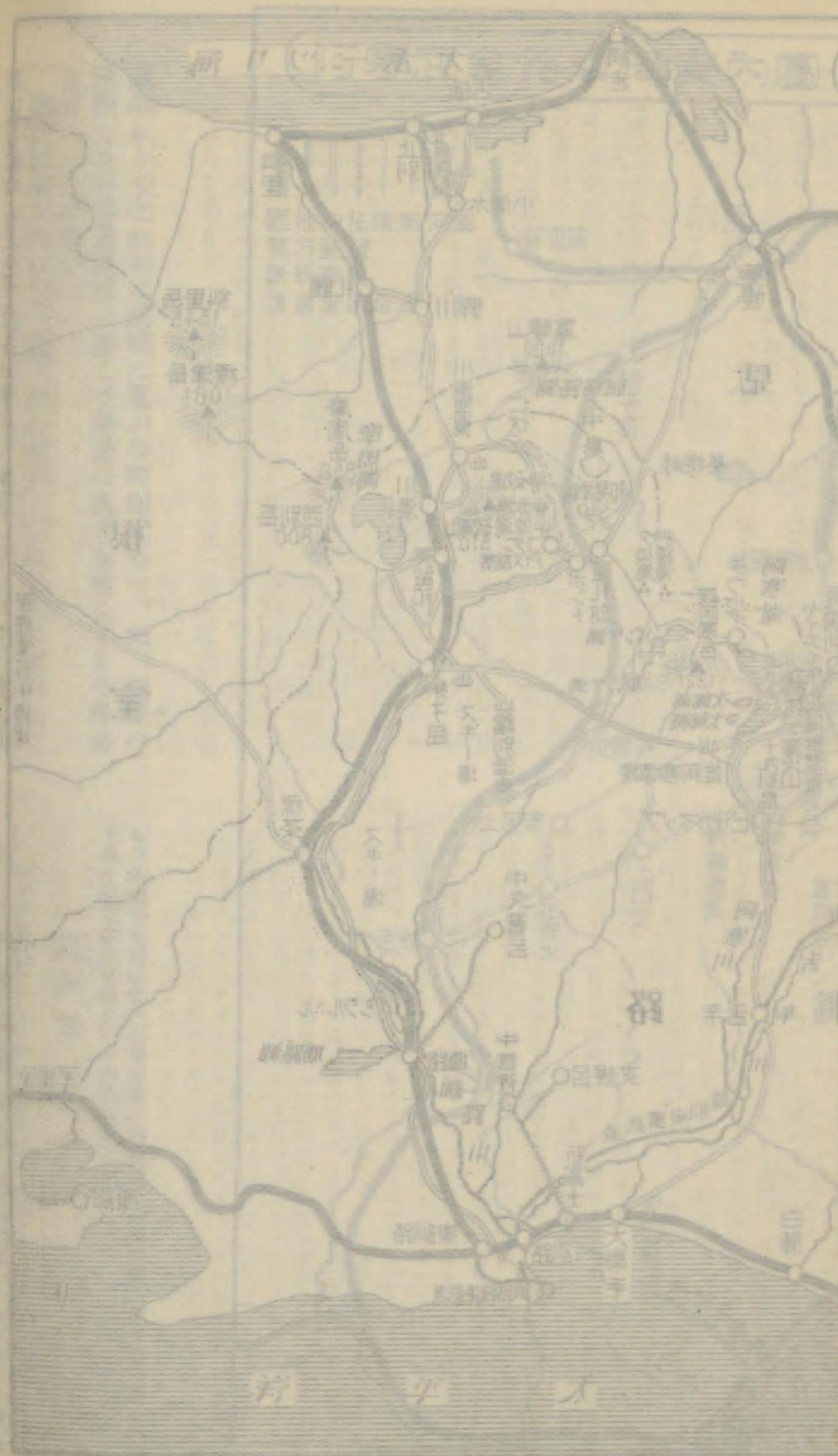
阿寒屈斜路摩周案内圖



國地自拓道航河温
有方動殖
鉄鉄車軌
道道道道路路川泉

となる。佐幌岳の山腹緩かに垂れて十勝の大平原に連り、廣々漢々として其

岸泉を頂ら復推で、その延長三〇千五二五、面積一、百一、百



阿寒湖遊覽船

- 一、定期船 湖畔發前一・三〇、瀧口發後一・〇五、チウレイ發後一・五〇、湖畔發後一・三〇。賃金 一區間二〇錢宛にて瀧口迄二〇錢、チウレイ迄四〇錢、一周六〇錢。
- 二、貸切船(五人乗) 湖畔カラ尻駒別迄一圓八〇錢、瀧口迄一圓八〇錢、チウレイ迄二圓、湖上一周四圓半。
- (註) イベシベツ川の注流口である「チウレイ」から「イベシベツ」溪流を廻り、ペンケトーに出で、前記ペンケトー及屈斜路行分岐點迄約九軒八ある。

阿寒嶽 阿寒嶽とは通常雄阿寒雌阿寒の二峯を總稱するものであるがその成因から見るときは全然別個のものを見るべきである。即ち雄阿寒は阿寒大カルデラの中央に生じた中央火口丘であり、雌阿寒はそのカルデラを圍繞する外輪山の西南部に後から生じた活火山である。

雄阿寒はアイヌ名ではビンネシリ(雄山の意)と稱し、阿寒湖の東岸に聳立する鈍圓錐形の優美な富士形の山で、標高一、三七一米、湖面を抜くこと九五二米あり、二種の相似た安山岩から成り、南麓には泥礫岩が分布して居る。全山針葉樹で覆はれ、八合目附近から山嶺には假松の原生林が密生して居るが山頂は大正一三年登山者の不注意から火を失して、燒失せるは實に遺憾とする處である。

雄阿寒に登山するには山麓の雄阿寒温泉を根據として登れば樂である。即ち此處から弟子屈への自動車道を東へ約三軒進んで登山口に達し、夫から約六軒八で頂上に達する。道は雌阿寒登山路よりは幾分困難であるが、乗馬でも行く事が出来る。登山口から上り三時間、下り一時間半位である。

雌阿寒嶽は、アイヌ名を「マツネシリ」(雌山の意)と稱し、阿寒湖の西南に聳立する活火山で、標高一、五〇三米、更に之を雌山、中雌山、小雌山、阿寒富士(一、四七六米)の四峯に分つて居る。雌山は最も最初に成生したもので、火口壁は破壊して三叉状をなし、東部に一の爆裂火口を有して居る。中雌山は二重式火山で、火口底には夥しい噴氣孔があり、火山灰中に多量の硫黄が沈澱し、古くから硫黄採掘が行はれて居る。小雌岳は頂上に一大噴火口があ

- 自動車乗合一圓二〇錢(相生發前九・〇〇、後二・〇〇、六・二〇、湖畔發前七・三〇、一・二〇〇、五・〇〇〇の三往復)、貸切五人乗六圓、一八人乗一二圓、所要一時間、冬期馬機貸切一圓三圓。
- 又は野付牛から相生線の津別驛、此の間約二六軒、小型貸切五圓)、北見相生驛を経て湖畔温泉迄貸切自動車通ず、約六八軒三、小型片道一五圓、往復二〇圓。
- 二、劍網線弟子屈驛—阿寒湖畔温泉、約四二軒三、自動車二時間半、貸切小型(五人乗)一二圓。
- 三、雄別炭礦鐵道會社舌辛驛—阿寒湖畔、約四八軒一、自動車二時間、乗合二圓、貸切小型一〇圓、大型一五圓。(雄阿寒ホテル迄一圓八〇錢、乗合は大藥毛驛—阿寒湖間運轉、二時間四〇分、賃二圓三〇錢、貸切一三圓)
- 舌辛驛は劍路から汽車約一時間半(三一軒三)、汽車賃七八錢(三等車のみ)である。
- 四、阿寒湖畔—雄阿寒温泉(約四軒九、自動車一五分、乗合三〇錢、一日五回、小型貸切一圓半)、弟子屈を経て川湯温泉迄自動車貸切小型一六圓。
- 五、阿寒湖畔温泉—雄阿寒温泉—ペンケトー—和琴温泉間約四三軒二、(徒歩)阿寒湖畔温泉から雄阿寒温泉(此の間約四軒九)、雄阿寒登山口(此の間約三軒九)を経て阿寒弟子屈間の横斷道路を進み(此の間約五軒九)、左に折れてペンケトーの湖畔を経てペンケトーの道に合し(此の間約八軒八)、此處から約一五軒七にて屈斜路湖畔に出で、更に約四軒で和琴温泉に至るもので仲々趣味のある歩道である。
- ▲劍路—阿寒湖畔(含劍北國境、雄阿寒温泉遊覽)五人乗一五圓、九九軒一、三時間半、(往復二〇圓、一泊二七圓)。
- ▲劍路—弟子屈(含阿寒湖畔經由劍北國境遊覽)五人乗二五圓、一三一軒六、六時間餘、同右。
- ▲劍路—阿寒湖畔(含劍北國境遊覽)—摩周湖—弟子屈、五人乗三二圓、一五一軒四、七時間餘、同右。
- ▲劍路—阿寒湖—北見相生驛、五人乗二一圓、九二軒三、約四時間半、同右。

運を隔て北海道稚内に、二七運を隔てて小樽港に通じ、鐵道は首都豊原、落合、元泊、敷香等に連り、又豊原線により西海岸に接續し、本島物資の吞吐口として本島第一の海港都市であるが冬季結氷する憾がある。市街の中樞地は南方の榮町、本町一帯で北方の楠溪町との間には神樂岡がある。神樂岡は大泊市街、港灣を脚下に眺め展望に富み、市民の遊園地となつて居る。人口三〇、五六一(昭和八年末調)。

〔旅館〕 北海屋(樺太ホテル、電大泊三、③三圓半)、朝日館、大泊ホテル、木下、中村、吉田屋、二圓一三圓。
〔名所〕 ▲樺太神社 市街の東方約一軒半の眺望絶佳の旭丘の半腹にあり、官幣大社で、大國魂神、大己貴神、少彥、神を祀り、全島の鎮護社である。例祭は樺太廳始政記念日の八月二三日に行はれる。▲舊市街 新市街の北方約一軒の所にあり、露館時代の家屋が存在して居る。其露西亞式丸太建築の様式は旅行者の好奇心を惹くに充分である。▲樺太廳博物館 驛から約一軒本島特産品其他多數の、考品を陳列してある。其他王子製紙會社バルブ工場等がある。

〔旅館〕 花屋本店(大通り北一丁目、驛八〇〇米、電三一六一、室四〇、一泊④四圓)、花屋ホテル(電三二二五、和室二、洋室三〇、一泊④四圓)、鈴屋旅館(電二二二三)、笹屋(電二六二六)、若松館(電二二四七)、(以上二圓半一三圓半)
〔小沼〕 豊原から一〇軒九約二五分、川上炭山に到る川上線の起點である。樺太廳中央試験所が此の地にある(驛東一軒一)。同所の研究にかゝる農耕牧畜の結果は本島農畜産業の指針となつて居る。

〔川上炭山〕 豊原から三二軒八、約一時間半。三井礦山株式會社の經營する川上炭山がある。年産額二五萬噸、本島總産額の約四割を占めてゐる。〔旅館〕 能登屋旅館。
〔樺鐵沿線〕 (落合―南新開間)
〔白鳥湖〕 落合から一三軒六、三〇分、白鳥が群遊するので此の名がある。白鳥は秋十月ラブランド地方ハドソン灣等の極地から飛來し約四〇日程滯留し更に南下して北海道方面に遊び、春四月上旬北上の途樺太の地にその翼を休め五月上旬極地へ還る。本島での滯留地は多多加湖、來知志湖、白鳥湖、鈴谷河口(貝塚附近)富内湖、遠淵湖等その多い時は數千羽に達し喧々たる鳴聲は附近住民の睡眠を妨ぐといふことがある。其の他水禽多く狩獵家の好適地とされて居る。

〔元泊〕 落合から二九軒六、五時間四〇分、三等三圓九〇錢、人口四千五百、樺太廳元泊支廳の所在地。元泊港は東海岸唯一の天然港として船舶の出入頻繁を呈して居る。
〔旅館〕 福島屋(電六五、室一四、二圓一三圓、驛一軒六)、福井屋(電七、室一〇、一圓半一三圓半、驛一軒四)。
〔知取〕 落合から一七〇軒五約七時間半、三等五圓五錢。人口一萬九千、落合と共に新興の町として知られ、市況活潑東海岸北部の要地である。市街北方一軒に王子製紙株式會社知取工場があり、その設備は東洋第一と稱せられて居る。
〔旅館〕 千歳屋(電一〇、室一九一泊二圓半一三圓半、③三圓、驛六〇米)、知取ホテル(電三、室一五、二圓一三圓半一驛半軒餘)。

奥地

敷香(山の北方の意で、シツカリの轉訛) 敷香支廳所在地。

樺 太 (泊居・白鳥湖・元泊・取・敷香・海豹島)

〔落合〕 豊原から四三軒二、約一時間一〇分。人口一萬七千、落合は富士製紙株式會社の分工場設立され又樺太鐵道株式會社の經營する樺鐵線の落合、知取間の開通するに及んで急速に發展を遂げた新興の市街である。
〔旅館〕 落合館(一泊④四圓)、山口旅館。
▲富士製紙株式會社分工場(驛西北一軒二)自動車乗合馬車の便がある。

〔榮濱〕 豊原から五三軒五、約一時間二五分。樺太廳鐵道本線の終點である。樺鐵線竣工以前は東海岸奥地に通ずる唯一の要地として殷盛を極めて居たが現在は其の繁榮も落合に奪はれ寂寥を感じしめる。驛附近一帯の原野には初秋の候フレッツツ實り、遠く豊原方面よりフレッツツ狩りに一日の清遊をなす者が多い。
〔旅館〕 山口屋(電二七、室一二)、後藤(電五九、室一〇)、一泊一圓半一三圓)。
▲東京帝國大學農學部演習林(驛西北四〇〇米)

〔本斗〕 人口一萬、西海岸線の起點で稚斗連絡に依り本島西海岸の關門をなして居る。本斗港は潮流の關係で極寒の候でも海水の凍結することなく不凍港として知られ氣候の溫暖なること本島第一である。近海には魚族多し漁業旺に行はれ又附近の林産、鑛産豊富で將來之が開發と相俟ち其發展が曠目されて居る。此處から海馬島へ三五運、定期船が就航して居る。
〔旅館〕 北川旅館(驛及岸壁共に三〇〇米、電七番、二四〇番、室三〇、一泊③三圓半)、旭館(電七一、室一六、二圓半一三圓半)。
▲樺太廳本斗支廳(驛南四〇〇米)、氣主の燈臺(驛南八軒、自動車三〇錢)、内幌炭坑(本斗から一六軒四内、幌炭鐵會社線があり、賃五〇錢)

〔眞岡〕 豊原から八六軒九、約三時間、本斗から四七軒三、約一時間二五分。港は本斗港と共に西が岸に於ける不凍港として常に賑はひ同地方に於ける商權を握り、物資の集散市場となつて居る。
地は背後に疊地を貫ひ平地少く南北に狹長であるが、前面には八千七百五十坪の船入湖を擁して小型汽船の碇泊に便し、昭和二年完成の築港内には二十噸級の汽船を繋留する事が出来る。町内は本町榮町通り最も賑ひ、商賣・遊亭・劇場等軒を並べ、現在の日數約三千五百、人口一萬七千を數へ、近海から鐵、鋼、鑛等を運ずる。

樺太鐵道終點の南新開驛から四五軒二三を乗合自動車でゆく、所要二時間半、片道二圓、一日二往復、賃切七圓七〇錢。
地はその源を露館北樺太に發して蜿蜒三二〇軒、多多加湖に注ぐ幌内川の河口右岸に臨んで存する附近唯一最大の都邑である。極北寒冷の一邑として未だ多く振はないが、市街地人口約二千を有し、昭和三年開坑され内川炭田を西南の近くに控えてやゝ活況を呈して居る。
此處から國境へは一〇五軒二三、(自動車終點の氣屯迄七軒、四時間三五分、賃四圓八〇錢、一日三回)、船と傳説に名高い多多加湖は東方二四軒にあり、またオットセイで有名な海豹島にゆくには此處からするのが便利である

〔旅館〕 山形屋(電一一・一三五、室三〇、一泊③三圓半)、秋田屋(電六三) ▲敷香支廳の管内は南樺太に於ける東海岸最北の地域で、その領域は他の管内に比して最も廣闊であるが、凍土不毛のツンドラ地帯多く人煙頗る稀薄である。
▲幌内川は敷香廳内の中央底地帯を貫流する島内最大の長流で、我が領土内を灌流すること二二〇軒餘にして多多加湖に注いで居る。河口は幅約三六〇米、水深僅かに二米以下であるが、やゝ潮ると五十五米に及び、國境附近迄小型帆船を通ずる事が出来る。その流域は一望際涯なき野地又はツンドラの低濕地で、水草を追ひ轉々各地を漂泊するギリヤーク、オロツコ等先住民が原始的な遊牧をなすに委し、邦人の來り住む者は更になく、彼等が操る獨木船が行人の目を見せ、殊に月明の夜半彼等が唄ふ祝歌を聞けば哀音切々として身にしみ、ひとしほ旅愁を覚えさせられる。尙此の奥地には今尙斧鋸を加へぬ豊富な千古の美林のある事と、頗る廣大な炭田の分布せる事を忘れてはならぬ。

▲多多加湖は幌内川の東にある島内第一の大湖で、僅かに一條の砂洲を隔て、オホツク海に臨んで居る。ツンドラの地帯を流れた振戸川・留久玉川・毛賣川が之に注いで居るので湖水は褐色に濁り、湖中には珍しく大きな鱒が驚く程多く棲んで居る。

海豹島

敷香の對岸五〇運、且てアイヌの大集團であり、寛政の頃間官林蔵が來つて彼等と會見した所であると云ふ散江から東南に向つて細長く延びた北知床半島の岬端から僅かに一〇運許りの近距離にあり、散江か

ら三六連。敷香から七五連、夏季には月一回位の便船がある。備船料は二〇噸三〇馬力の發動船(三〇人乗位)一艘二〇噸位で樺太鐵道に申込み便宜を計つて呉れる。所要九時間、午後七時頃敷香を出れば翌朝四時頃海約島に着く。

海約島は我國唯一の臘納鱒養殖地として著名な所で、その視察期は七八月頃が最もよい。島は南北に長く、長さ七〇〇米、幅七〇〇米、水面上僅かに二米餘、總面積六萬五千方米許りの島嶼で、島と云ふよりは寧ろ臺付の砥石の形をした岩礁と云つた感じである。全島第三紀岩層から成り、島頂は平坦でテーパー状の平地をなし、東岸に長さ百餘米、幅二〇米位の砂溜がある。島には陸太廳から派遣される看守員(毎年五月―十一月)の居室と倉庫がチヨコレイト色に塗られて五、六棟建つて居る。

船舟で上陸、直ちに此の建物の前を過ぎて崖則を斜に登つてゆく。建物の背面に當る南側の三〇〇方米許りは萱やエゾオグルマが密生して居るが、その他はすべて肌を露した岩盤で、その岩肌の上には一面に「ロツペン島」が密集して居る。

ロツペン島(學名ウミカラス)は鵜の一種で、南極のペンギン島を小さくした様な鳥で、オットセイ分岐の汚物を好餌として此處に集がり、羽音騒がしく大空を亂舞し、その産卵は累々として高く、崖の下には落下した卵が無數に散らして居る。卵は青と淡紅の二種で、藍々と黒紫色の水藻状の模様があり、鵜卵の二倍大位ある。鳥はクツノノと咽を鳴らし乍ら人に驚く風もない。その崖上の左側に柵や板圍ひがあり、所々に覗き孔を開けて崖下の臘納鱒を覗かせる様になつて居る。

海約島はペーリング海(米領ブリロツ群島)及カムチャツカ半島東部の露領コマンドルスキー群島と共に臘納鱒の世界三大養殖地の一つで、年々來遊上陸するもの數萬頭に達して居る。かれ等は暖氣漸く加はる頃太平洋沿岸或は日本海近海を漸次北上し、五月頃海約島に達する。此際精力強烈な牡は先着して、主として東岸の砂溜水際に近い砂上の適當な場所を選び、不眠不休にて一ヶ所を固守し、牝の着くのを待つて居る。其の場所を選びに當り弱者を押しつけて極端な闘争を演じ、やがて牝が到着するや再びその争奪に一次活闘をなすのである。元來オットセイは一夫多妻にて、牝は頗る温順なため強烈な闘争は四五頭から多きは七八十頭の牝を獨占し、周圍に關

繞せしめて一つのハーレムを造り、弱者は自己の狙つた牝も八方から奪取せられて遂に一頭をも得ずして過す者もある。牝は六月から七月にかけて必ず一頭を分娩し、分娩後數日にしてまた受胎し、牡及仔牝と共に秋季寒冷の候となると遠く南方の海洋に去り、十月下旬には全く退島し再び翌夏此處に來るのである。

大小數萬と云ふオットセイ、小さいのは小猫大の産仔、大なるは犢大程もあり體重七八〇貫、長さ七、八尺もあり、此等が入り亂れてウゴメキ一咆哮し交尾し争闘し精力強大な成牡は數十頭の成牝を擁して尙飽く事を知らず、本能餘のサムが儘に他のハーレムに侵入して牝の掠奪を企て、文字通り只之争闘弱肉強食、日夜隨所に物凄い修羅場が展開する。

〔旅須取〕小梅を起點として真岡、泊居を経て當地に到る定期航路(樺太廳命令航路)がある。冬季即ち一二月頃から翌年三月迄は海面結氷の爲航路杜絶せることもあつたが近年碎氷船の配船に依り月四回順調に航行を見て居るので不便を感じないやうになつた。陸路は自動車(夏季)、馬車(冬季)に依つて西海岸北部に於ける唯一の中樞都市であつて且主要港である。王子製紙株式會社惠須取分工場及附近に太平、天内の兩炭礦等あつて繁榮を呈して居る。

惠須取川は町の西北方より東南に縦貫し幾多の細胞緩流があつて流域は豊穰なる沃野坦々として連なり、山に千古斧鑿を加へない森林鬱蒼として天空に聳え地下に無盡藏の炭田を句藏して居る。鮭・鱒・蟹等海産物が多い。此地より國境安別まで約一〇八軒ある。

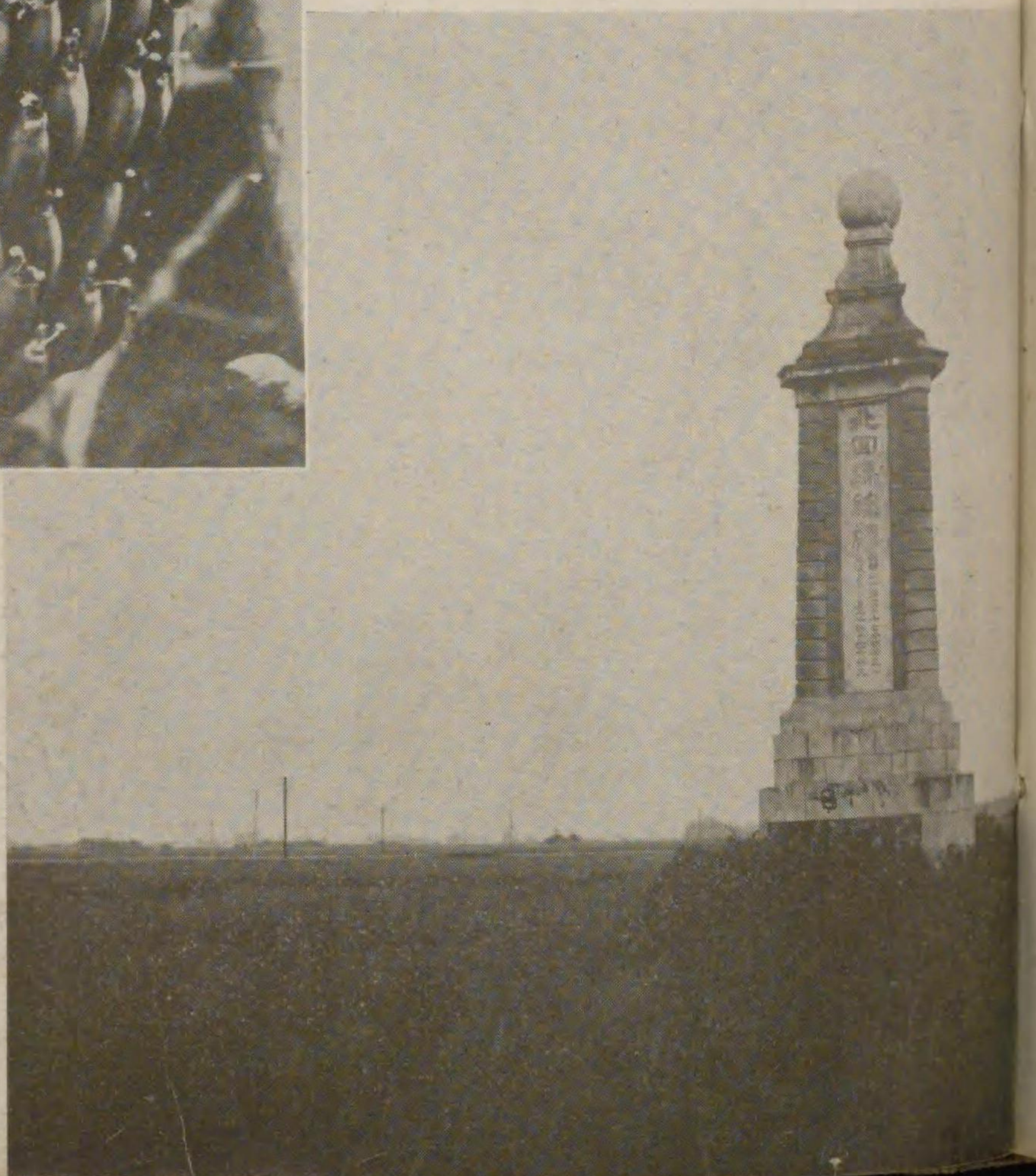
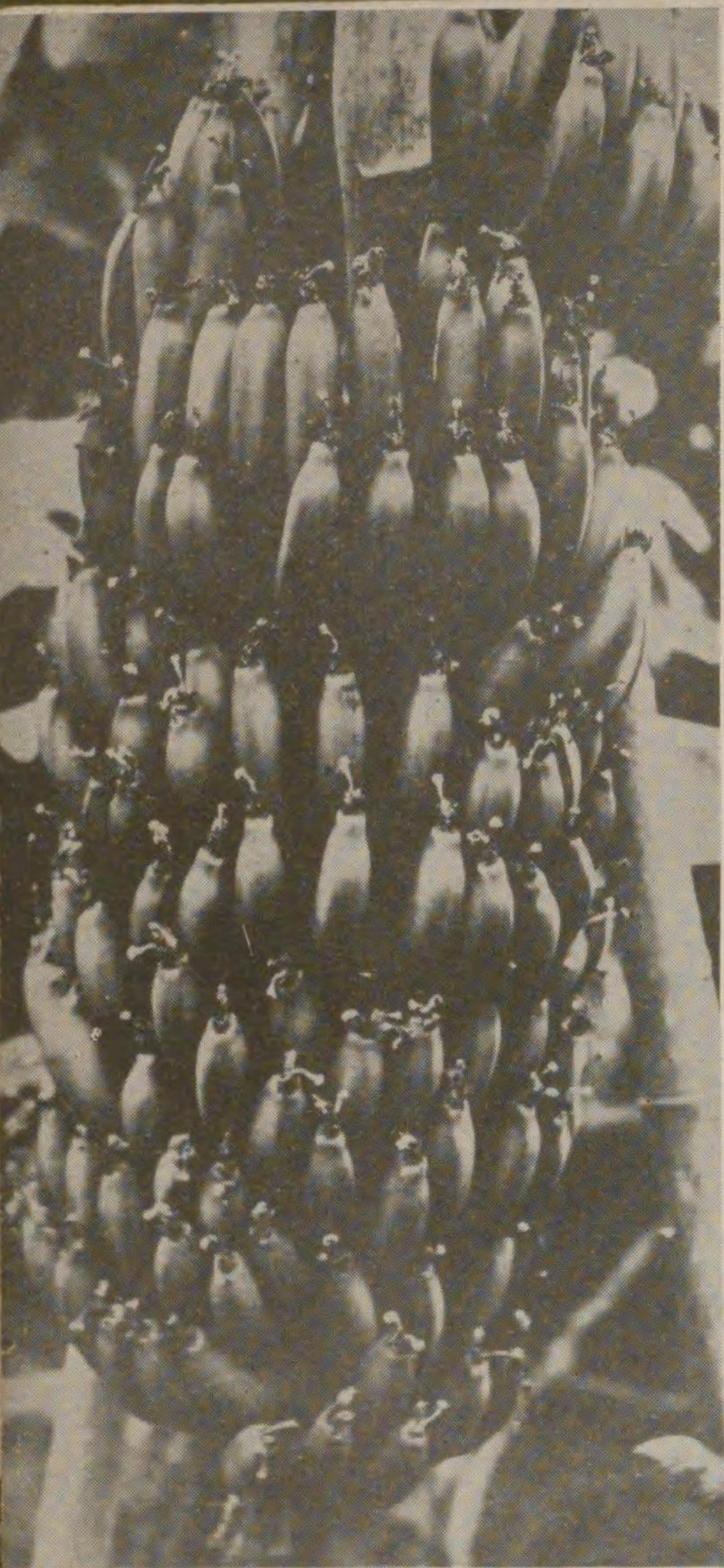
〔旅館〕 越中屋(電話二〇三、室一七)、白石(電話三九、室一五)、すみれ館(電話二二、室二〇)、一泊二圓位。

安別 本島最北の一小邑に過ぎないが北緯五〇度の日晝國境にある重要な地である。夏季は函館・小樽・惠須取方面から定期航路が開けて居る。附近に樺太山葵を多く産する。

貨切	乗合	回数	所要
泊居 久春内	三、七〇〇	四回	一時三十分
泊居 珍城	一、七〇〇	三回	一時三十分
泊居 須取	一、三〇〇	三回	一時三十分
泊居 名取	一、三〇〇	三回	一時三十分
泊居 久春内	一、三〇〇	三回	一時三十分
泊居 須取	一、三〇〇	三回	一時三十分
泊居 名取	一、三〇〇	三回	一時三十分
泊居 久春内	一、三〇〇	三回	一時三十分

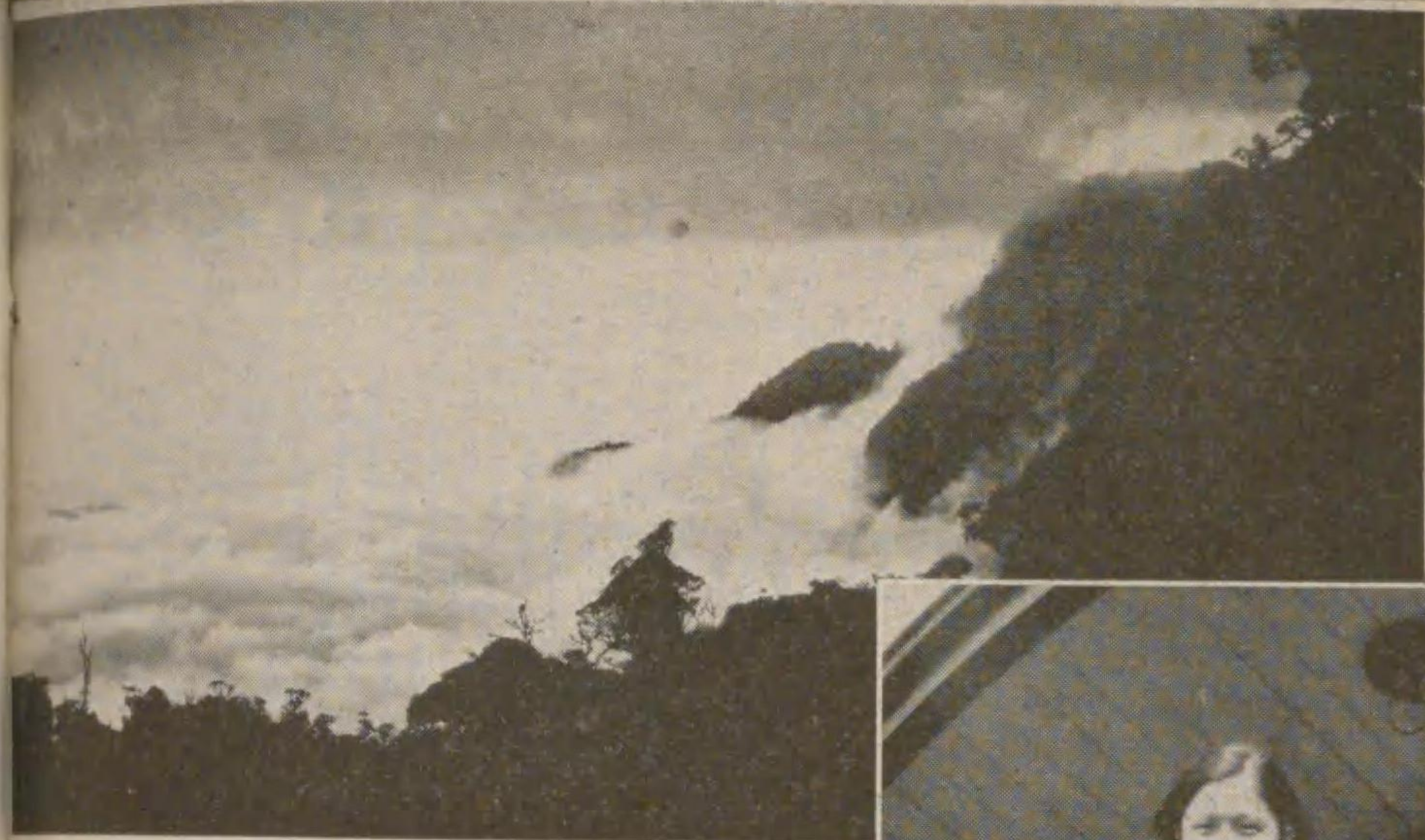
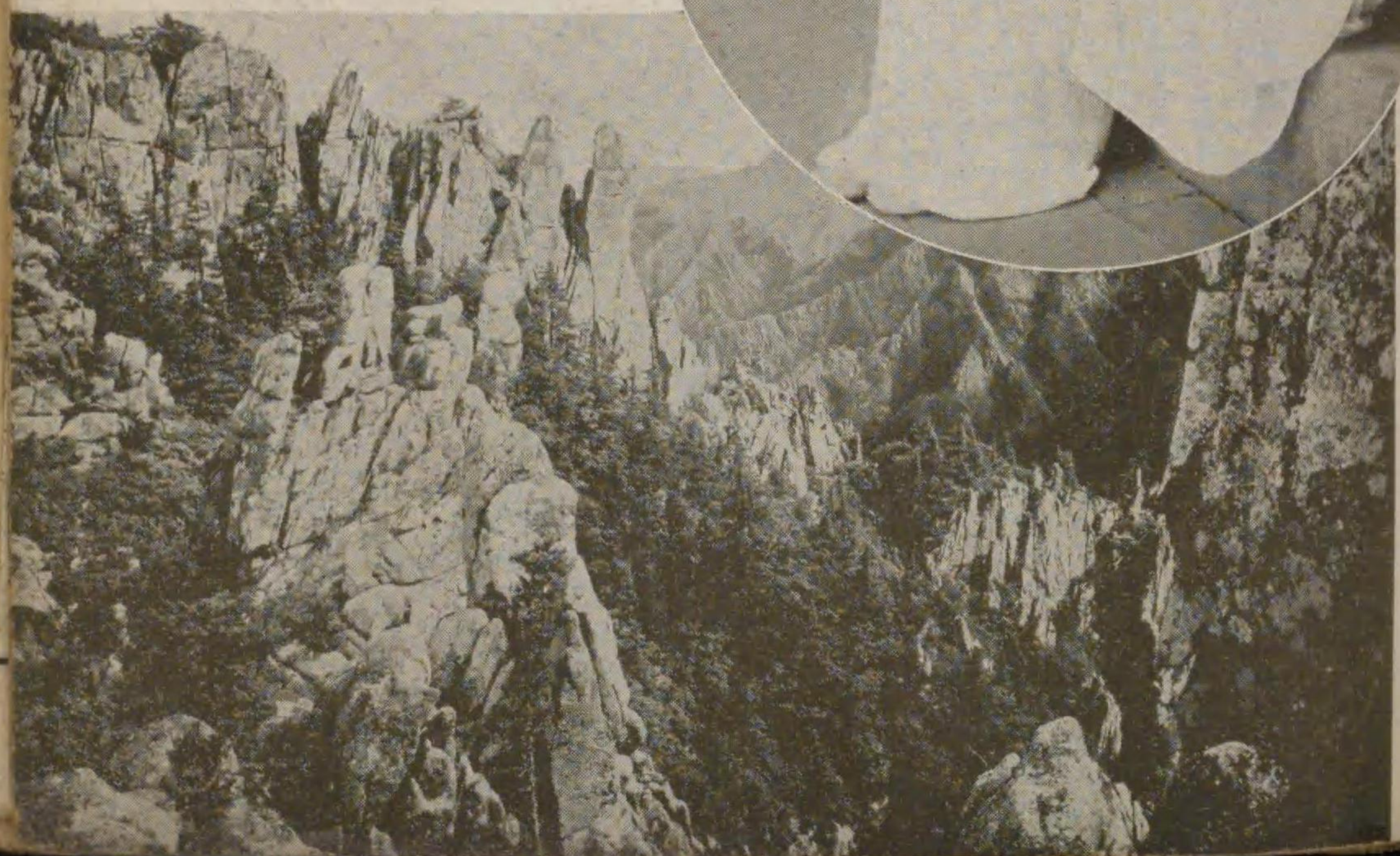
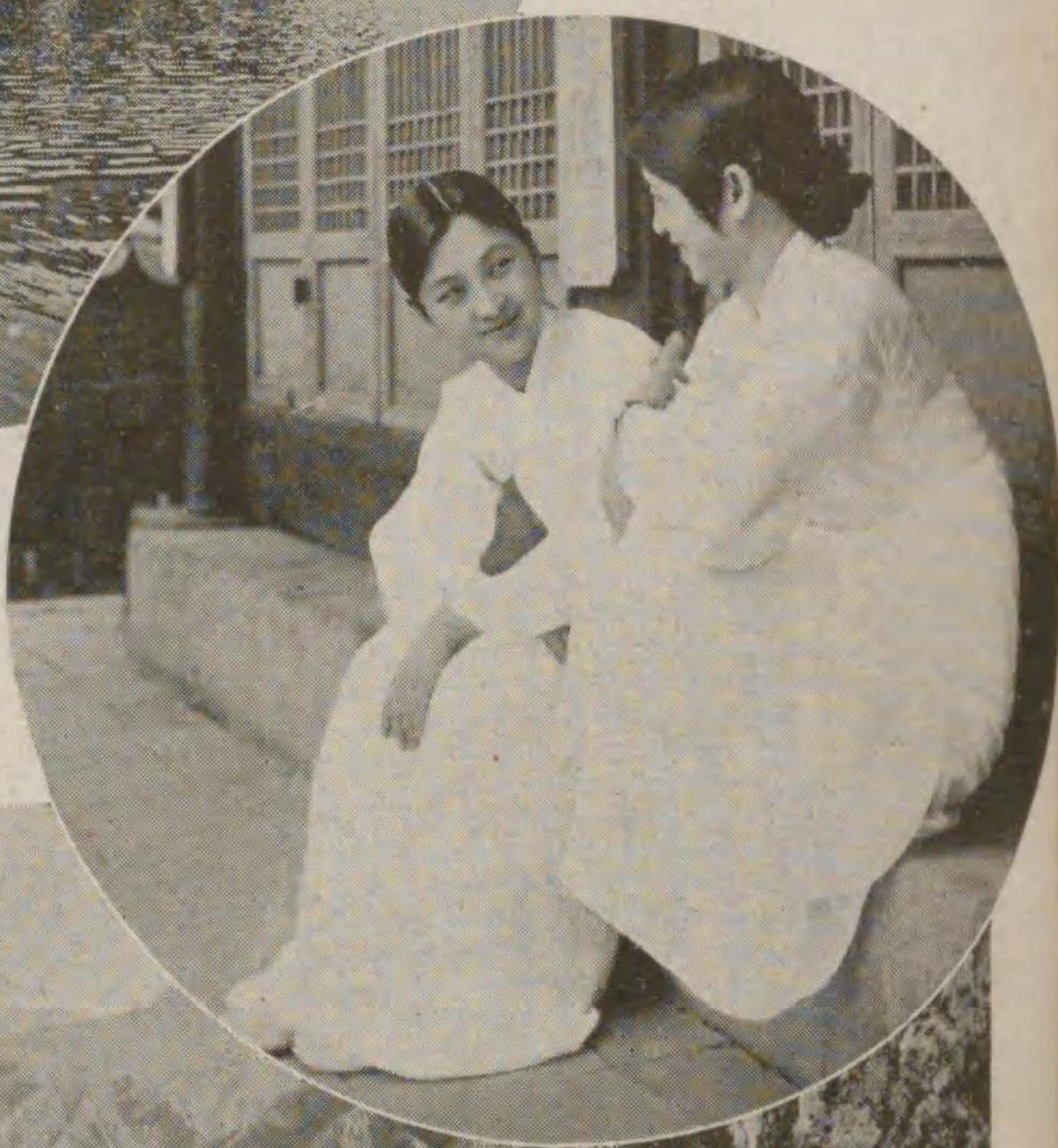
臺灣名物

上、實るバナナ
下、北回歸線標塔





朝鮮
上、京城慶會樓
中、妓萬物相生
下、外金剛

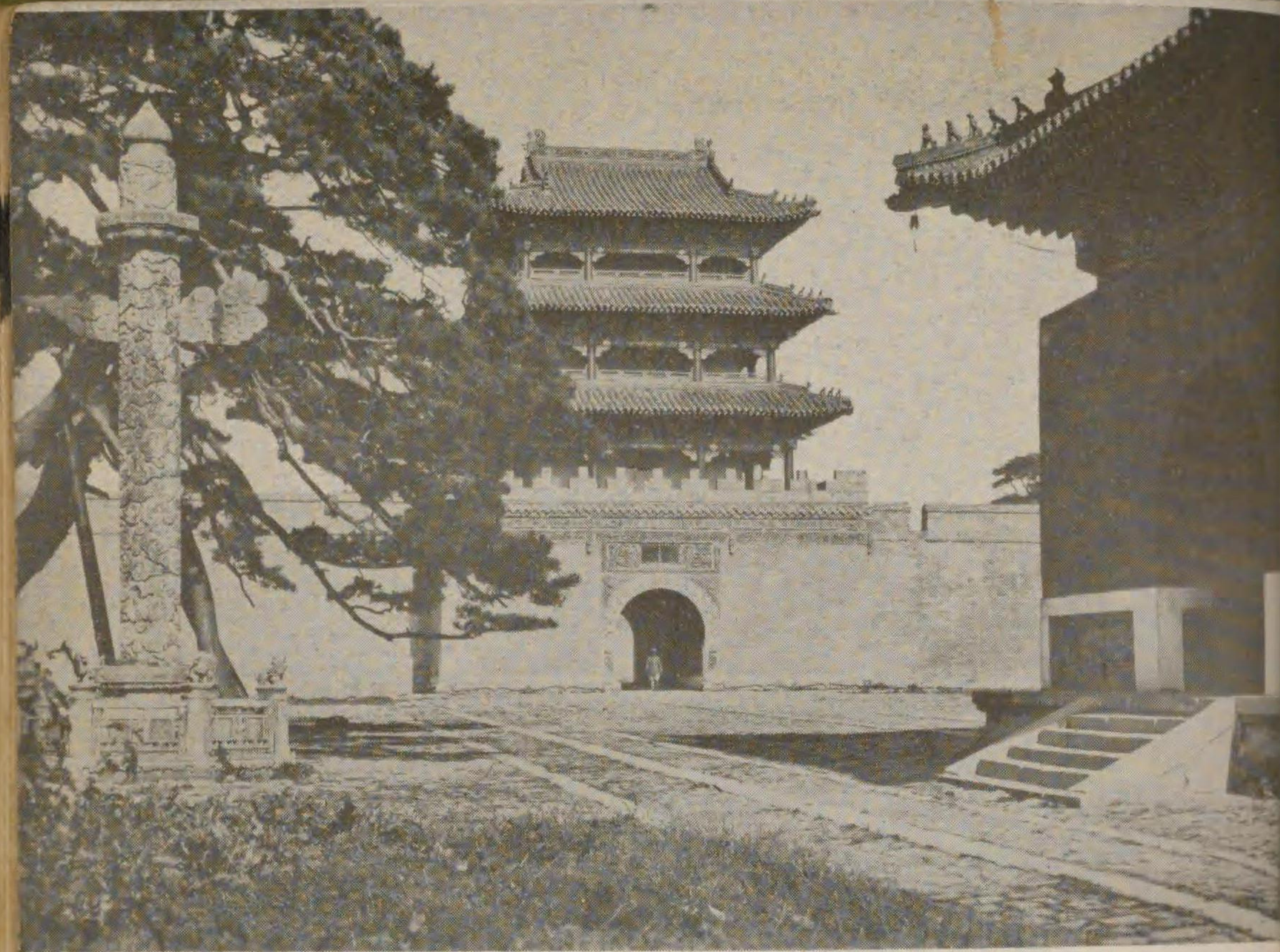


臺灣
上、阿里山の雲海
中、所謂本島人中の美人
下、東海岸斷崖道路



竹野大八七五ノ七三〇及丹波一



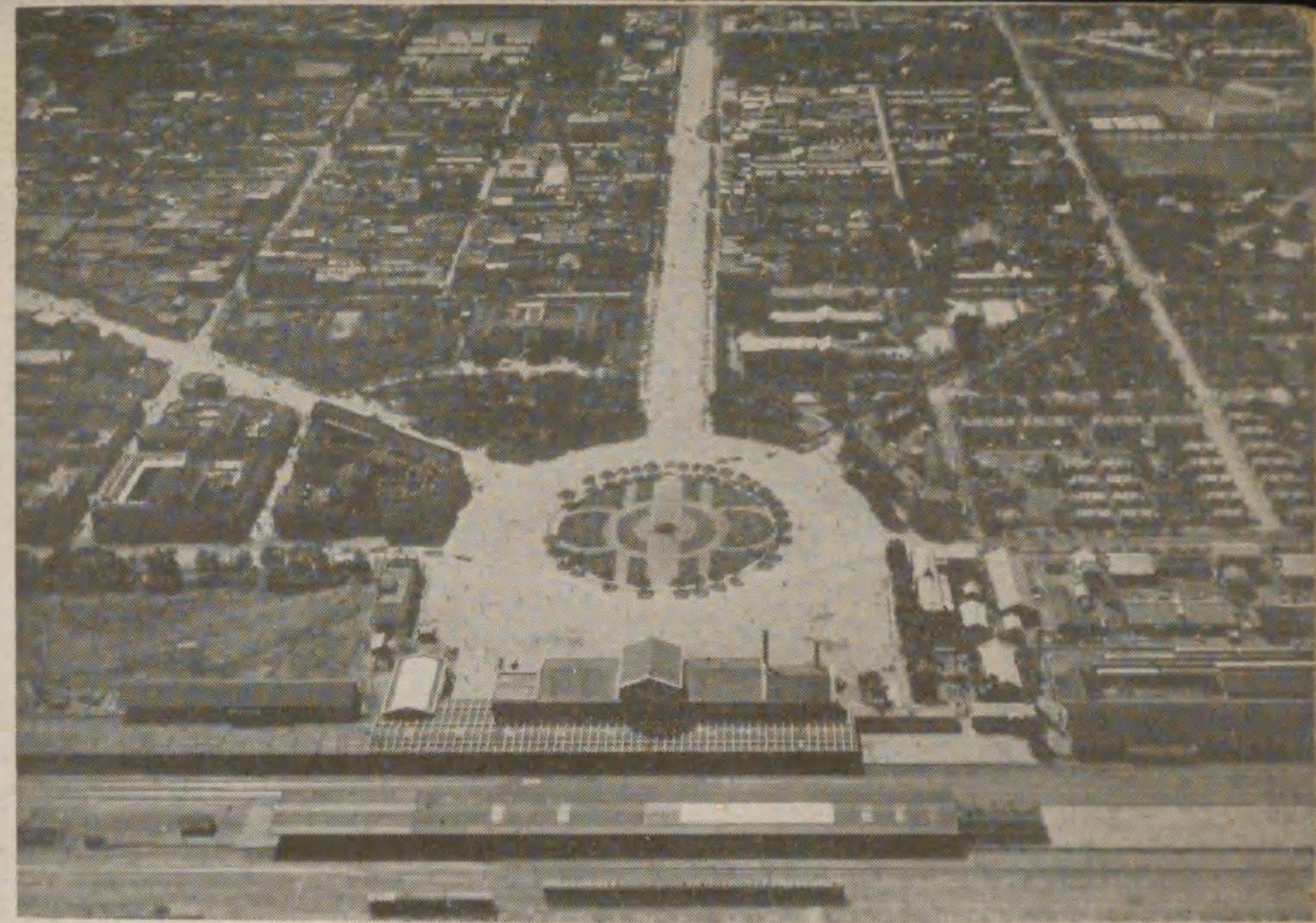


陵北天奉・上



右、哈爾濱中央寺院
左、大連埠頭待合室

滿洲の四都



近附驛京新・上



房方5.30	同	1回	15.40
9.30	"	"	19.40
25	毎	日2回	.40
4.00	"	"	5.25
.40	"	"	.70
6.00	"	"	5.00
7.30	毎	日1回	8.70
8.30	"	"	10.20
9.30	"	"	6.60
7.30	"	"	6.10
4日	"	"	34.20
3.30	"	"	4.00
2日	"	"	8.00
3.40			3.60
.00	毎	日4回	4.00
0.40			0.70

7.20	1週6回	75.00
2.20	月曜休	25.00
1.40	月曜休	25.00
11.20	月曜休	121.00
1.20	毎日1回	17.00
2.00	"	21.00
1.30	"	18.00
1.15	毎日1回	28.00
1.35	の外水金	28.00
2.30	水、金	56.00
1.20	水、金	24.00
0.30	毎週	10.00
1.25	火木土	25.00
2.10	火木土	37.00
2.30	火木土	42.00

航空会社		
州	時間	(銀) 75弗
海州	3.00	40
青島	1.20	100
天津	3.10	28
北京	.45	48
南京	2.15	64
安慶	1.45	40
九江	1.00	48
漢口	1.30	48

津上	6.30	9.45
京一	4.60	6.90
城一	2.84	19.26
天一新	4.50	51.75
天一四	12.20	18.30
連一	4.20	6.30
東一	2.70	19.05
京一	8.50	12.75
山一	16.45	27.35
關一	22.45	46.75
京一下	28.50	37.40
京一下	8.15	13.55
國幣	7.25	12.05
國幣	7.25	12.05

貨金表

金を受します。

1. 2	2	各	3
7. 8	8	各	2
3. 4	5. 6	各	2

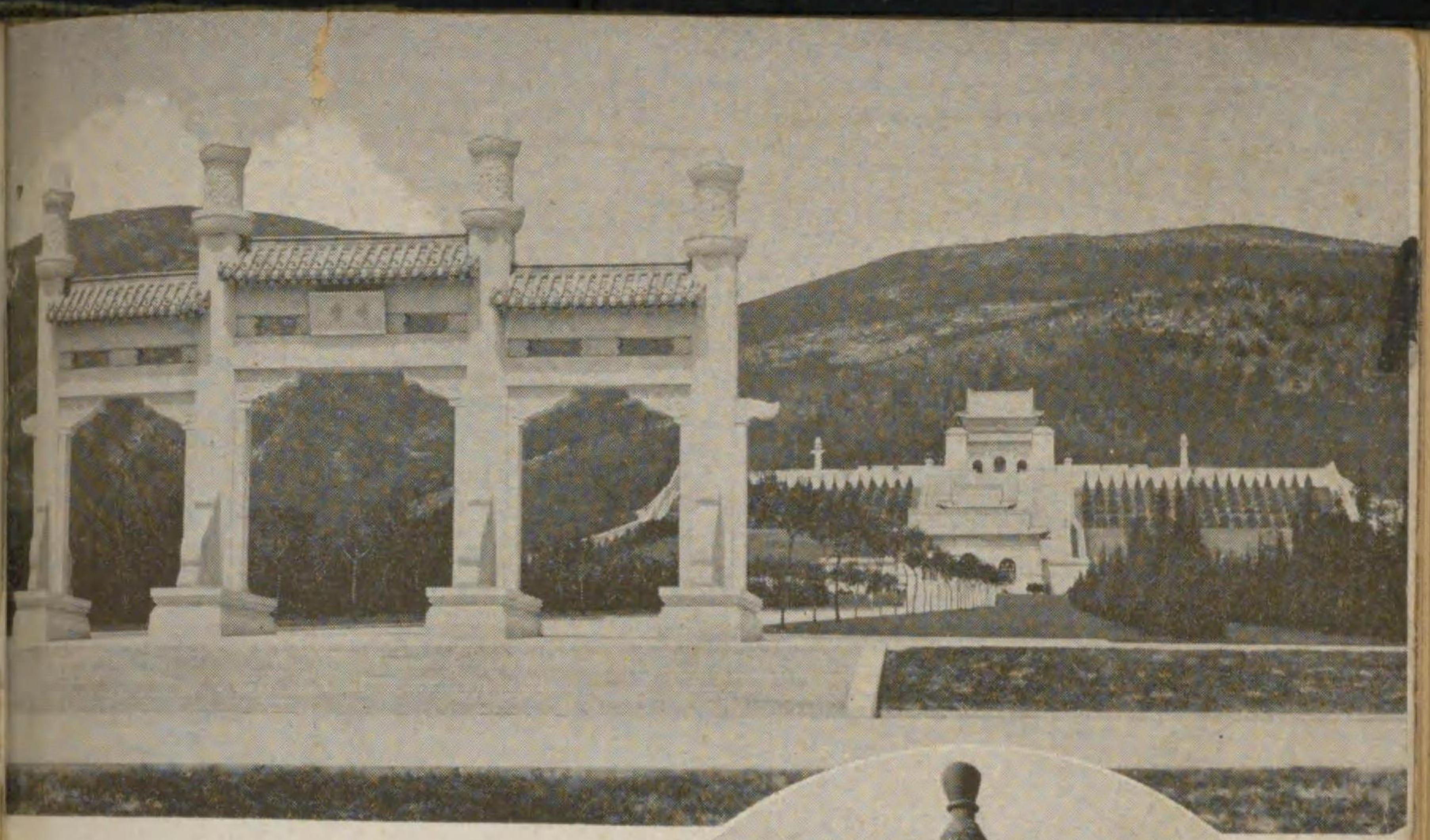
荷物 線と同じです。

四平街・新京・旅順・營口・撫順
から10日目は1日毎に下記の料
金を受します。お預けの日にお引取
寄せされます。預り期間は15日以内で
毎毎に 金 20 銭
" 金 10 銭

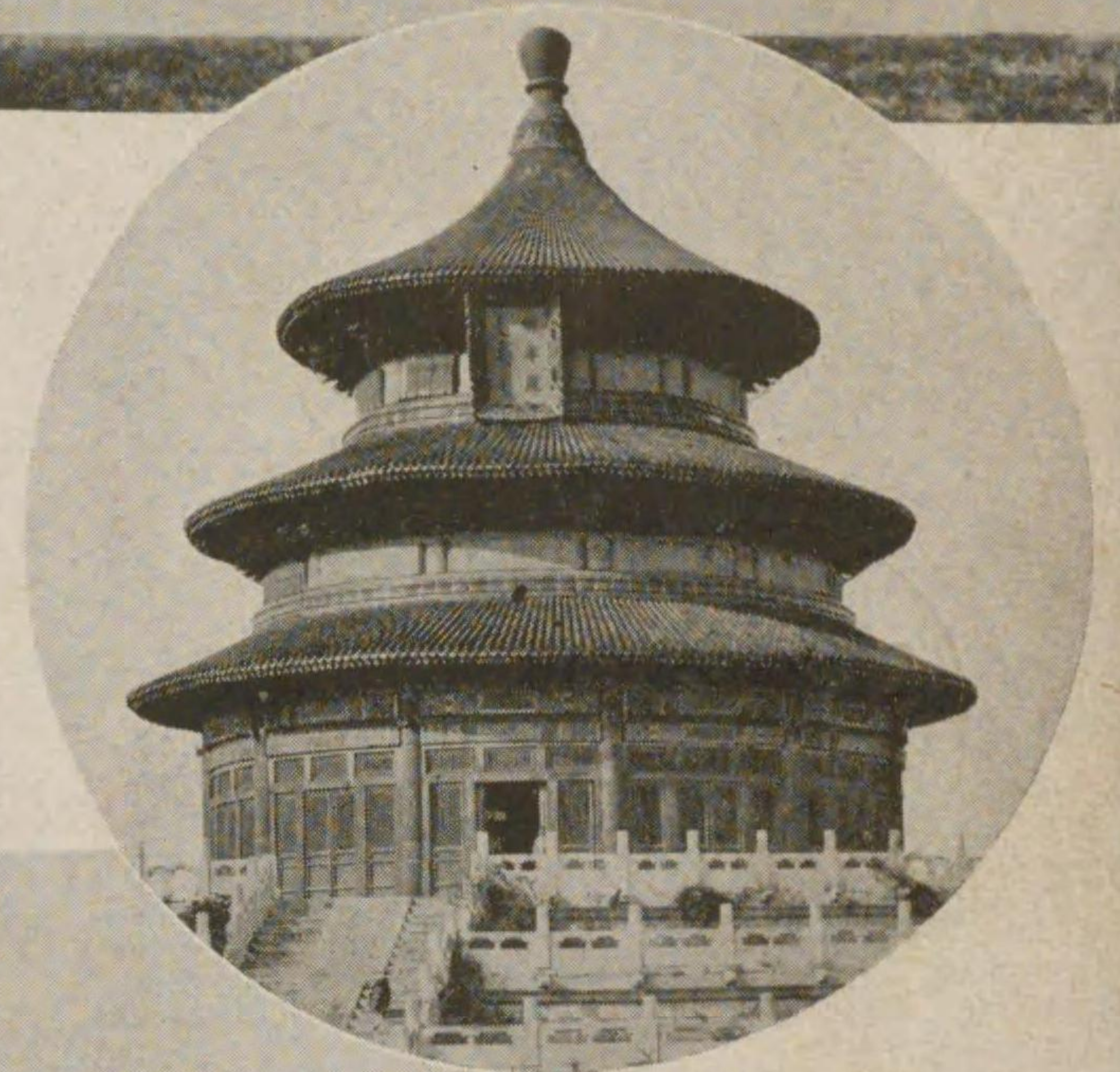
州・普蘭店・瓦房店・熊岳城・大石	21.00
遼陽・蘇家屯・奉天・鐵嶺・開原	13.00
年6月15日より9月15日迄(旅順・	21.00
山・五龍背・安東	13.00
他	12.00
業列車	8.00
番號	10.00
12列車	6.00
14列車	3.00
16列車	2.00
18列車	7.00
20列車	5.00
22列車	5.00
24列車	5.00
40列車	5.00
2列車	5.00
6列車	5.00

第5.6列車) 第302列車(上海北平間)

Bは共同化粧室
Bを有する車は極めて



支 那
海 上 ・ 京 北 ・ 京 南



上、南京 紫金山の中山陵
中、北平 天壇祈年殿
下、上海 パン ド

鮮・滿・中 國・鐵 道 案 內

昭和十年四月一日現在

●乗車券の請求 汽車に乘る、には先づ第一に乗車券を求めて置かねばなりません。乗車券には片道往復・週遊・定期・回数・團體等諸種の乗車券を發賣して居り、之等は各驛で發賣するは勿論、日本内地及鮮滿主要地にある日本旅行協會(ジャパン・ツーリスト・ビューロー)案内所でも發賣(定期・回数券を除く)を爲し又東京、大阪、京城、平壤等の案内所では配達も致して居ります。

朝鮮總督府鐵道局線

— 旅 客 —

- 普通旅客運賃
 1. 國有鐵道線 朝鮮總督府鐵道局線の賃率は1杆につき1等4錢4厘、2等2錢8厘、3等1錢5厘5毛で、之が算出方法は乗車時間の杆程(杆未滿切上げ)を上記賃率に乘じ錢未滿は切上げます。但し6杆未滿乘車の場合は6杆分の運賃を申受けます。四年以上十二年未滿の小兒は大人運賃の半額、四年未滿は無賃であります。
 2. 滿鐵北鮮鐵道管理局線 國有鐵道線と同じ。
 3. 私鐵線 朝鮮の各私設鐵道會社線は各會社によつて賃率は異つて居りますが算出方法は國有鐵道線と同じであります。

- 乗車券の通用期間

片道乗車券 100杆迄 發行當日共2日
101杆以上は100杆迄を增す毎に1日を加へます。

往復乗車券 片道乗車券通用期間の2倍

團體乗車券 上記制限内にて其の都度乗車列車が指定されます。

●途中下車
普通乗車券で旅行される旅客は乗車券の通用期間内は任意の驛に途中下車して他の列車に乘継ぐことが出来ます。途中下車されたときは乗車券に下車印の押捺を受け乘継の際に検査を受けねばなりません。

- 團體割引
20人以上1團となり30杆以上旅行せらるゝときは普通團體には2.3等學生及特別團體には3等の運賃を下記により割引致します。

種別	人員	乗車杆程	20人以上	50人以上	100人以上	200人以上	300人以上
普通團體	30杆以上 1200杆迄	2割	2割2分5厘	2割5分	2割7分5厘	3割	
			1201杆以上	3割	3割2分5厘	3割5分	3割7分5厘
特別團體	30杆以上	4割	4割2分5厘	4割5分	4割7分5厘	5割	
學生團體	30杆以上	5割	5割2分5厘	5割5分	5割7分5厘	6割	

- 急行列車と急行料金 急行列車に御乗車なさるときは運賃の外に次に掲げた割合で特種急行料金又は普通急行料金を申受けます。小兒の料金は運賃同様四年未滿は無賃、四年以上十二年未滿は半額であります。急行列車券は發行の日共5日以内に御使用なさらないと又途中下車に下車された場合は無効となります。

- 急行料金 釜山・新京間 第1. 2列車及之と接續の連京線急行列車
釜山・奉天間 第7. 8列車
京城・朱乙間 第507. 508列車

種別	一 等	二 等	三 等
300 杆 迄	2.00	1.00	.50
500 杆 迄	2.50	1.50	.75
800 杆 迄	3.00	2.00	1.00
1300 杆 迄	3.75	2.50	1.25
1301 杆 以上	4.50	3.00	1.50

但し釜山・奉天間 第7. 8列車及當局線と滿鐵線連帶の場合は500杆を最低とします。

- 寢臺料金 下記列車には寢臺車があります。寢臺券は5日前より預約發賣に應じます。使用時間は夜8時から翌朝8時迄列車の運轉時間中です。

等級	種別	下 段	中 段	上 段
1 等		7.00	—	5.00
2 等		4.50	—	3.00
3 等		1.80	1.50	1.00

— 手 荷 物 —

- 無賃で取扱ふ手荷物の重量 手荷物は旅客1人に付 1等 60斤 2等 40斤 3等 30斤 小兒は各等共上記の半量までは無賃で運ばれます。2枚以上の乗車券で託送なさる手荷物は、各乗車券に相當する無賃運送重量を合算した重量までは無賃で運ばれます。
- 手荷物の配達 手荷物は1箇金10錢にて配達取扱を致します。

- 構内食堂 京城・大田・大邱・鐵原驛には食堂の設けがあります。
- 要塞地帯撮影禁止 下の場所は要塞及要港地帯でありますから寫眞撮影及描寫は許可なくして出来ません。
- 釜山・馬山・鎮海・元山附近
- 旅行記念スタンプ設置驛(省略)

南滿洲鐵道株式會社線

— 旅 客 —

- 普通旅客運賃 滿鐵線の賃率は1杆に付1等4錢4厘、2等2錢8厘、3等1錢5厘5毛で、之が算出方法は乗車時間の杆程(杆未滿切上げ)を上記賃率に乘じ5錢を單位とし2錢5厘未滿を切捨て、2錢5厘以上7錢5厘未滿を5錢に、7錢5厘以上を10錢に切上げます。満4歳以上満12歳未滿の小兒の運賃は大人運賃の半額、満4歳未滿は無賃です。

- 乗車券の通用期間及途中下車朝鮮線と同じです。

種別	人員	20人以上 50人未滿	50人以上 100人未滿	100人以上 200人未滿	200人以上 300人未滿	300人以上
普通	2等	3割	3割25	3割5	3割75	4割
團體	3等	2割	2割25	2割5	2割75	3割
學生	團體	6割	6割25	3割5	6割75	7割
特別	團體	4割	4割25	1割5	4割75	5割

普通團體は2. 3等、學生及特別團體は3等に限り割引されます。團體の人数が50人未滿のときは内1人を、50人以上のときは50人に付1人の割合で世話人とし無賃にて乗車出来ます。但し5人を以て限度と致します。

- 急行料金 ▲特別急行料金 あじあ(第11. 12列車)

杆程	等級	1 等	2 等	3 等
300 杆 迄		4.00	2.00	1.00
500 杆 迄		5.00	3.00	1.50
800 杆 迄		6.00	4.00	2.00

特別急行券は5日前から發賣致します。特別急行列車は座席を保證する爲其の急行券に御乗車の月日、乗車驛及御乗込みになるべき客車の順位番號が記入されますから指定の列車以外には通用いたしません。

- ▲普通急行料金はと(第13. 14列車) ひかり(第1. 2列車) のぞみ(第7. 8列車) 第15. 16. 17. 18列車

杆程	等級	1 等	2 等	3 等
300 杆 迄		2.00	1.00	0.50
500 杆 迄		2.50	1.50	0.75
800 杆 迄		3.00	2.00	1.00

普通急行券は發行の日より5日以内に使用せねばなりません。

種別	等級	1 等	2 等	3 等
上 段		5.00	3.00	1.00
中 段		—	—	1.50
下 段		7.00	4.50	1.80

區 間	列 車 番 號	等 級
大連・新 京 間	第15. 16. 20. 21 列車	各 等
大連・奉 天 間	第19. 22 列車	2. 3 等
大連・新 京 間	第25. 26 列車	2. 3 等
奉天・新 京 間	第27. 38 列車	2. 3 等
奉天・新 京 間	第39. 40 列車	2 等
新 京 安 東 間	第1. 2 列車	各 等
奉 天 安 東 間	第7. 8 列車	各 等
奉 天 安 東 間	第3. 4. 5. 6 列車	2. 3 等

— 手 荷 物 —

- 無賃で取扱ふ手荷物の重量 朝鮮線と同じです。
- 手荷物の配達 大連・沙河子・鞍山・奉天・四平街・新京・旅順・營口・撫順・安東
- 一時預料金 お預けになった日から10日目は1日毎に下記の料金を、11日目からは1日毎に其の2倍を要します。お預けの日とお引取りの日とは時間に拘らず1日として計算されます。預り期間は15日以内です。
- 手荷物の配達 手荷物は1箇金10錢にて配達取扱を致します。

食 事 料 金

種 別	朝	晝	夕	第11.12列車(あじあ)
洋 食	0.80	1.20	1.20	1.50
和 食	0.60	1.00	1.00	1.50

- 構内食堂 次の各驛には食堂の設けがなして便な飲食品の御需めに應じて居ります。
- 赤 帽 主要驛には赤帽(手荷物運搬人)が居ります。料金は手荷物1箇に付金5錢です。但し大連驛前車寄より旅客待合所内税關検査所又は手荷物引受所迄は金2錢です。
- 旅行記念スタンプ設置驛 大連埠頭・甘井子埠頭・大連・沙河子・周水子・夏家河子・旅順・金州・熊岳城・大石橋・營口・湯崗子・鞍山・首山・遼陽・蘇家屯・渾河・奉天・撫順・鐵嶺・開原・晶山・四平街・公主嶺・新京・本溪湖・橋頭・鳳凰城・五龍背・安東
- 馬車賃 滿洲各都市の體質や馬車賃は内地と比較すると大變安値で各都市に於て多少の相異はあるが凡そ左記の料金なれば各地とも大差はない

- 赤 帽 主要驛には赤帽(手荷物運搬人)が居ります。料金は手荷物1箇に付金5錢です。但し大連驛前車寄より旅客待合所内税關検査所又は手荷物引受所迄は金2錢です。
- 旅行記念スタンプ設置驛 大連埠頭・甘井子埠頭・大連・沙河子・周水子・夏家河子・旅順・金州・熊岳城・大石橋・營口・湯崗子・鞍山・首山・遼陽・蘇家屯・渾河・奉天・撫順・鐵嶺・開原・晶山・四平街・公主嶺・新京・本溪湖・橋頭・鳳凰城・五龍背・安東
- 馬車賃 滿洲各都市の體質や馬車賃は内地と比較すると大變安値で各都市に於て多少の相異はあるが凡そ左記の料金なれば各地とも大差はない

鐵 路 總 局 線

(滿鐵線所定のものと同様のものは省略)

- 普通旅客運賃(國幣建) 總局線の賃率は一杆に付次の通りであります。

區 間	等級	1 等	2 等	3 等
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				
奉 天・山海關間				
大 清 橋				
錦 州				
遼 陽				
錦 州				
大 清 橋				

●乗車券の通用期間
片道乗車券 100軒迄 發行當日共2日
101軒以上は100軒迄を指す毎に1日を加へます。
往復乗車券 片道乗車券通用期間の2倍
●途中下車
普通乗車券で旅行される旅客は乗車券の通用期間内は任意の驛に途中下車して他の列車に乗換ることが出来ます。途中下車されたときは乗車券に下車印の押捺を受け乗換の際に検査を受けねばなりません。
●團體割引
20人以上1圓となり30軒以上旅行せらるゝときは普通團體には2.3等學生及特別團體には3等の運賃を下記により割引致します。

種別	人員	乗車行程	20人以上	50人以上	100人以上	200人以上	300人以上
普通團體		30軒以上	2割	2割2分5厘	2割5分	2割7分5厘	3割
		1200軒以上	3割	3割2分5厘	3割5分	3割7分5厘	4割
特別團體		30軒以上	4割	4割2分5厘	4割5分	4割7分5厘	5割
學生團體		30軒以上	5割	5割2分5厘	5割5分	5割7分5厘	6割

●急行列車と急行料金
急行列車に御乗車なさるときは運賃の外に次に掲げた割合で特種急行料金又は普通急行料金を申受けます。小兒の料金は運賃同様四年未満は無賃、四年以上十二年未満は半額であります。急行列車券は發行の日共5日以内に御使用なさらないときは途中驛に下車された場合は無効となります。
●急行料金
釜山・新京間 第1.2列車及之と接續の連京線急行列車
釜山・奉天間 第7.8列車
京城・朱乙間 第507.508列車

種別	人員	一等	二等	三等
300軒迄		2.00	1.00	.50
500軒迄		2.50	1.50	.75
800軒迄		3.00	2.00	1.00
1300軒迄		3.75	2.50	1.25
1301軒以上		4.50	3.00	1.50

但し釜山・奉天間 第7.8列車及當局線と滿鐵線連帯の場合は500軒を最低とします。

●寢臺料金
下記列車には寢臺車があります。寢臺券は5日前より豫約發賣に應じます。使用時間は夜8時から翌朝8時迄列車の運轉時間中です。

種別	人員	一等	二等	三等
釜山・新京間	第1.2列車	各等寢臺		
釜山・奉天間	第3.4.5.6列車	2.3等寢臺		
釜山・安東間	第9.10列車	2.3等寢臺	(但3等寢臺は京城安東間のみ)	
京城・雄基間	第507.508列車	2.3等寢臺		
京城・清津間	第503.504列車	2.3等寢臺	(但3等寢臺は京城咸興間のみ)	
京城・木浦間	第301.302列車	2.3等寢臺		

等級	種別	下段	中段	上段
1等		7.00	—	5.00
2等		4.50	—	3.00
3等		1.80	1.50	1.00

手荷物

●無賃で取扱ふ手荷物の重量
手荷物は旅客1人に付1等60斤 2等40斤 3等30斤 小兒は各等共上記の半量までは無賃で運びます。2枚以上の乗車券で送送なされる手荷物は、各乗車券に相當する無賃運送重量を合算した重量までは無賃で運びます。

●手荷物の配達
次の各驛では到着の手荷物は1箇金10錢にて配達取扱を致します。
釜山・大邱・大田・龍山・京城・平壤・新義州・群山・木浦・上仁川・仁川・鎮南浦・元山・咸興・羅南

食堂

●食堂車
下記急行及普通旅客列車には朝鮮總督府鐵道局直營の食堂車を連結し、輕便で新鮮美味な和洋各種料理(飲料・菓子・果物を)を調達して居ります。

種別	人員	一等	二等	三等
釜山・新京間	第1.2列車	各等		
釜山・奉天間	第7.8列車	各等		
京城・清津間	第503.504列車	各等		
京城・雄基間	第507.508列車	各等		

列車	朝	晝	晚
1. 2. 7. 8. 507. 508	{洋食 .80 {和食 .50	{洋食 1.20 {和食 .80	{洋食 1.20 {和食 1.00
上記以外の列車	{洋食 .80 {和食 .40	{洋食 1.20 {和食 .60	{洋食 1.20 {和食 .70

此の外洋食一品料理・飲料・煙草・菓子もあります

●團體割引

種別	人員	20人以上 50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 200人未満	200人以上 300人未満	300人以上
普通	2等	3割	3割25	3割5	3割75	4割
團體	3等	2割	2割25	2割5	2割75	3割
學生團體	6割	6割	6割25	6割5	6割75	7割
特別團體	4割	4割	4割25	4割5	4割75	5割

普通團體は2.3等、學生及特別團體は3等に限り割引されます。團體の人数が50人未満のときは内1人を、50人以上のときは50人に付1人の割合で世話人とし無賃にて乗車出来ます。但し5人を以て限度と致します。

●急行料金
▲特別急行料金 あじあ(第11.12列車)
▲普通急行料金 は(第13.14列車) ひかり(第1.2列車) のぞみ(第7.8列車) 第15.16.17.18列車

行程	等級	1等	2等	3等
300軒迄		4.00	2.90	1.00
500軒迄		5.00	3.00	1.50
800軒迄		6.00	4.00	2.00

特別急行券は5日前から發賣致します。特別急行列車は座席を保證する爲其の急行券に御乗車の月日、乗車驛及御乗込みになるべき客車の順位番號が記入されますから指定の列車以外には通用いたしません。

▲普通急行料金は(第13.14列車) ひかり(第1.2列車) のぞみ(第7.8列車) 第15.16.17.18列車

行程	等級	1等	2等	3等
300軒迄		2.00	1.00	0.50
500軒迄		2.50	1.50	0.75
800軒迄		3.00	2.00	1.00

普通急行券は發行の日より5日以内に使用せねばなりません。

●寢臺料金

種別	等級	1等	2等	3等
上	段	5.00	3.00	1.00
中	段	—	—	1.50
下	段	7.00	4.50	1.80

●寢臺車連結列車

區間	列車番號	等級
大連・新京間	第15.16.20.21列車	各等
大連・奉天間	第19.22列車	2.3等
大連・奉天間	第25.26列車	2.3等
奉天・新京間	第37.38列車	2.3等
奉天・齊々哈爾間	第39.40列車	各等
奉天・安東間	第1.2列車	各等
奉天・安東間	第7.8列車	各等
奉天・安東間	第3.4.5.6列車	2.3等

手荷物

●無賃で取扱ふ手荷物の重量 朝鮮線と同じです。

●手荷物の配達
大連・沙河子・鞍山・奉天・四平街・新京・旅順・營口・撫順・安東
一時預料金はお預け立つた日から10日目は1日毎に下記の料金を、11日目からは1日毎に其の2倍を要します。お預けの日とお引取りの日とは時間に拘らず1日として計算されます。預り期間は15日以内です。
自用小轉車、乳母車 1輛毎に 金20錢
其の他のもの 金10錢
一時預の取扱驛は次の通りです。

大連・沙河子・周村・金州・普蘭店・瓦房店・熊岳城・大石橋・海城・湯崗子・鞍山・遼陽・蘇家屯・奉天・鐵嶺・開原・四平街・公主嶺・新京・夏家河子(毎年6月15日より9月15日迄)・旅順・營口・撫順・木溪湖・鐵嶺・龍山・五龍背・安東

食堂

●食堂車 食堂車營業列車

區間	列車番號	食事種類
大連・新京間	第11.12列車	和洋食定食、同一品、和食并類
"	第13.14列車	"
"	第15.16列車	洋食定食、同一品、和食一品
大連・奉天間	第17.18列車	"
大連・奉天間	第19.20列車	"
"	第21.22列車	"
大連・奉天間	第23.24列車	"
大連・齊々哈爾間	第39.40列車	洋食、滿洲食一品、和食并類
安東・新京間	第1.2列車	和洋食定食、洋食一品
安東・奉天間	第5.6列車	洋食定食、同一品、和食一品

●馬車賃
滿洲各都市の體質や馬車賃は内地と比較すると大變安値で各都市に於て多少の相異はあるが凡そ左記の料金なれば各地とも大差はない
10町未満 人力車約10錢 馬車約20錢 10町以上は前記割合による
雇切りの場合 半日(約五時間) 人力車80錢—1圓20錢 馬車2圓50錢—3圓50錢 自動車10圓—15圓
1日(約10時間) 人力車1圓50錢—2圓 馬車5圓—6圓 自動車15圓—20圓

鐵路總局線

(滿鐵線所定のものと同様のものは省略)

●普通旅客運賃(國幣建)
總局線の賃率は一軒に付次の通りであります。

區間	等級	1等	2等	3等
奉天・山海關間				
大連・通遼間				
大連・清河間		4分5厘	3分	1分5厘
錦州・凌源間				
錦州・北票間				
連山・遼寧間				
朝陽・錦州間		4分8厘	3分1厘	2分1厘
新拉法・關門間				
朝陽・新法間		4分6厘	3分2厘	1分8厘
朝陽・上三峯間				
濱江・北安間				
濱江・齊々哈爾間		5分	3分	2分
四平街・齊々哈爾間				
舊滿鐵道線及其他區間				

算出方は乘車區間の行程を賃率の異なる區間毎に區分し之を上記の賃率に乘し、5分未満の端数は之を5分に、5分を越ゆるものは1角に切上げて合算します。滿4歳以上滿12歳未満の小兒運賃は大人運賃の半額、滿4歳未満は無賃。

●團體割引
團體無賃取扱世話人は滿鐵線と同じです。

●急行料金(國幣建)
奉天線第401・402列車急行料金

行程	等級	1等	2等	3等
350軒迄		1.75	1.00	0.50
500軒迄		2.50	1.50	0.75

●急行料金(國幣建)
奉天線第401・402列車急行料金

行程	等級	1等	2等	3等
350軒迄		1.75	1.00	0.50
500軒迄		2.50	1.50	0.75

●急行料金(國幣建)
奉天北平間直通列車第401.402列車に御乗りの方
急行料金として奉天線區間は總局所定の、北平線區間は中國所定の急行料金の併算額を要します。

北平線料金(現大洋) 100軒又は其未満に付

區間	等級	1等	2等	3等
山海關・北平間		0.60	0.30	0.15

小兒の急行料金は上記の半額です。

●寢臺料金(國幣建)

種別	等級	1等	2等	3等
上	段	5.00	3.00	1.00
中	段	—	—	1.50
下	段	7.00	4.50	1.80

●寢臺車連結列車

區間	列車番號	等級
新京・關門(清津)間	第201.202列車	各等
吉林・奉天・山海關間	第501.502列車	2.3等
奉天總站・山海關(北平)間	第403.404列車	1.2等
四平街・齊々哈爾・北安間	第801.802列車	1.2等
奉天・四平街・齊々哈爾間	第39.40列車	2等
新京・哈爾濱間(京濱線)	第9列車及10列車	1.2等
哈爾濱・滿洲里(濱洲線)	第7列車及8列車	1.2等

●赤帽料(國幣建)赤帽料金は荷物1箇に付5分です。
●構内食堂 主要驛には食堂があります。
●驛賣辦當 次の各驛には和食辦當を販賣して居ります。
錦州・朝陽・吉林・蛟河・敦化・明月溝・朝陽川・關門・龍井・五常
三稜樹・海倫・綏化・呼蘭
●旅行記念スタンプ設置驛
溝帮子・錦州・興城・山海關・遼寧島・瀋陽・東陵・撫順城・磐石・盤龍・清源・山城鎮・海龍・朝陽鎮・西安・鄭家屯・洮南・齊々哈爾・通遼濱江・呼蘭・萬發屯・海倫・北安・五常・吉林・拉法・敦河・明月溝・延吉・關門・龍井・開山屯
車内備付 拉濱線・濱北線

●無賃で取扱ふ手荷物の重量
無賃で託送出来る手荷物の重量は旅客1人に付次の通りで小兒はその半量です。
1等 60斤 2等 40斤 3等 30斤

●一時預料金(國幣建)
一時預料金は次の通りです。但し預入れの日より11日以後は其の2倍を要します。預入れ期日は15日です。
自用小轉車、乳母車 1日に付1臺毎 3角
其の他のもの 1日に付1箇毎 1角

一時預の取扱驛は次の通りです。
山海關・綏中縣・連山・錦州・金嶺寺・朝陽・葉柏壽・凌源・溝帮子・大虎山・新民・皇姑屯・奉天總站・彰武縣・黑山縣・通遼・盤山・河北・北票・瀋陽・撫順城・營盤・南雅木・清原・山城鎮・梅河口・海龍・朝陽鎮・東豐・西安・磐石・煙筒山・口前・吉林・敦化・明月溝・老頭溝・朝陽川・延吉・關門・八面城・鄭家屯・三江河・茂林・街門・臺・太平川・邊照・開通・洮南・大林・錢家店・齊々哈爾・北安・辰清・海倫・綏化・呼蘭・濱江・五常・寬城子・密門・三岔河・雙城堡・哈爾濱・安達・昂々溪・扎蘭屯・博克圖・海拉爾・滿洲里・阿什河・一面坡・橫道河子・海林・穆稜・綏芬河

●特別急行料金
一軒に付次の通りです。

行程	等級	1等	2等	3等
100軒又は其ノ未満毎ニ		0.60	0.30	0.15

普通急行列車は急行料金を要しません。尚平線級の特別急行列車ハ各等共寢臺車のみで編成してありますから該列車に乗車の方は急行料金は要りませんが寢臺料金を要します。

●寢臺料金
種別 等級 1等 2等 3等

種別	等級	1等	2等	3等
上	段	3.50	2.50	1.00
中	段	—	—	1.00
下	段	4.50	3.00	1.50

北平線 1等上段 4元 下段 5元
2等 " 2.50 " 3元
膠濟線 1等上段下段共 3元 2.3等無し

萬國寢臺會社寢臺車寢臺料金
(北京・上海直通第301.302列車及南京・上海間第5.6列車)

第301列車(北平上海間)	A	B	北平	2.00	1.50	9.00	6.00	11.00	8.00	18.00	13.00	21.00	15.00	第302列車(上海北平間)
A	2.00	天津	9.00	11.00	18.00	13.00	21.00							
B	1.50	6.00	8.00	12.00	13.00									
A	7.00	7.00	3.00	9.00	12.00									
B	5.00	5.00	2.00	6.00	8.00									
A	11.00	11.00	7.00	7.00	10.00									
B	8.00	8.00	5.00	5.00	6.00									
A	14.00	14.00	9.00	3.00	浦口	3.00								
B	9.00	9.00	6.00	2.00	南京	2.00								
A	21.00	21.00	16.00	10.00	7.00									
B	13.00	13.00	11.00	6.00	5.00									

1. AとBとの相違はAはクーペニ專屬化粧室あり。Bは共同化粧室を使用す。
2. 上海南京間はAのみ、又浦口北平間に於てもBを有する車は極めて少ない。
3. 寢臺料金は上段下段とも同額である。

鮮·滿·中國主要都市間旅客賃金表 (鐵道·汽船·航空·自動車)

昭和十年四月一日現在

區 間	程 程	所要日時	旅 客 運 賃			區 間	程 程	所要日時	旅 客 運 賃			區 間	程 程	所要時分	運轉回数	運 賃				
			一 等	二 等	三 等				一 等	二 等	三 等									
東 京-下 關(省 線)	1097.1	時分 18.30	円 28.71	円 19.14	円 15.57	新 京-哈 爾濱(京濱線)	240.2	5.30	圓 12.05	圓 7.25	圓 4.85	自動車便 安 東-大 孤山(滿洲國營) 97杆 時分 4.00 毎日 2 回 圓角分 29.5 " - 城子 驛(") 214 8.30 毎日 1 回 8.20 鳳 凰 城-大 孤山(") 88 3.00 " 4.00 奉 天-撫 順(") 56 1.45 毎日 10回 1.00 北 票-朝 陽(") 40 1.30 毎日 2 回 2.00 " - 凌 源(") 160 7.10 毎日 1 回 8.00 " - 承 德(") 320 凌源カラ 8.00 毎日 1 回 16.00 朝 陽-赤 峯(") 190 7.20 " 9.50 赤 峯-林 西(") 210 2 日 " " 10.50 赤 峯-承 德(") 265 關場-承德 7時間30分 1 日 13.25 山 城 鎮-通 化(") 145 5.40 毎日 1 回 7.25 新 京-農 安(") 69 7.00 " 3.45 " - 後 瓦 房(") 158 農安カラ 3.00 農安カラ 2回 7.90 " - 安 廣 南(") 308 後瓦房カラ 5.30 同 1 回 15.40 " - 洗 南 餘 泉(") 388 " 9.30 " 19.40 後 瓦 房-扶 餘 泉(") 8 " 25 毎日 2 回 .40 洗 南-突 泉(") 105 4.00 " 1 回 5.25 海 城-牛 莊(") 23 .40 " 4回 .70 遼 寧-東 興 鎮(") 100 6.00 " 1回 5.00 哈 爾濱-木 蘭(") 145 7.30 毎日 1 回 8.70 木 蘭-三 姓(") 167 8.30 " 10.20 三 姓-佳 木斯(") 106 6.30 " 6.60 佳 木斯-富 錦(") 152 7.30 " 9.10 哈 爾濱-富 錦(") 570 4 日 " 34.20 富 錦-同 江(") 66 3.30 " 4.00 敦 化-東 京城(") 160 2 日 " 8.00 清 津-羅 津(") 103.72 3.40 " 3.60 " - 雄 基(") 121.22 .30 毎日 4 回 4.00 羅 津- " (") 17.5 0.40 " 0.70								
下 關-釜 山(省營航路)	實運 240.0 畫便 7.30 夜便 8.00	12.15	7.10	1.55	哈 爾濱-昂 々 溪(濱州線)	270.1	6.30	13.55	8.15	5.45										
釜 山-京 城(朝鮮線)	450.5	7.50	19.85	12.63	7.00	" - 海 拉 爾(")	747.7	18.30	37.40	28.50	15.00									
京 城-安 東(")	499.3	8.25	22.00	14.00	1.75	哈 爾濱-滿 洲里(")	934.8	22.40	46.75	22.45	18.70									
安 東-奉 天(滿鐵線)	275.8	5.20	12.15	7.75	4.30	哈 爾濱-綏 芬河(")	546.4	2 日	27.35	16.45	10.95									
大 連-奉 天(")	396.6	4.47	17.45	11.10	6.15	山 海 關-天 津(北寧線)	283.0	5.55	元 12.75	元 8.50	元 4.25									
奉 天-四 平街(")	189.3	2.10	8.35	5.30	2.95	山 海 關-北 平(北寧線)	423.0	8.55	19.05	12.70	6.85									
奉 天-新 京(")	304.8	1.23	13.40	8.55	4.75	天 津-北 平(")	140.0	2.50	6.30	4.20	2.10									
京 城-清 津(朝鮮線)	768.7	15.45	-	21.54	11.92	天 津-齊 南(津浦線)	357.0	11.26	18.30	12.20	6.10									
清 津-上 三 峯(滿鐵線)	134.5	3.14	-	3.78	2.10	" - 浦 口(")	1014.0	26.25	51.75	34.50	17.25									
" - 醫 們(")	173.8	4.10	7.66	4.88	2.70	齊 南-青 島(膠濟線)	412.0	9.35	19.26	12.84	6.42									
雄 基-南 陽(")	144.0	3.20	-	4.04	2.24	南 京-蘇 州(京滬線)	225.0	4.50	6.90	4.60	2.30									
南 陽-醫 們(")	3.3	.07	0.24	0.17	0.10	" - 上 海 北 站(")	312.0	6.30	9.45	6.30	3.15									
醫 們-朝 陽川(京圖線)	62.4	1.39	圓角分 2.90	圓角分 2.50	圓角分 1.15	上 海-杭 州(滬杭線)	190.0	4.25	7.05	4.70	2.60									
朝 陽川-敦 化(")	127.5	3.20	-	5.80	3.90	北 平 正 陽門-張 家口(平綏線)	222.0	9.00	11.25	7.50	3.75									
敦 化-拉 法(")	115.7	5.02	5.35	3.75	2.10	北 平 前 門-漢 口大智門(平漢線)	1208.0	36.00	61.65	41.10	20.55									
" - 吉 林(")	210.4	2.52	9.75	6.80	3.80	浦 口-南 京(連絡船)			.60	.40	.20									
拉 法-吉 林(")	85.3	2.04	4.00	2.80	1.55	航 路			郵 = 日本郵船 近 = 近海郵船 商 = 大阪商船 連 = 大連汽船 原 = 原田汽船 清 = 日清汽船 北 = 北日本汽船 日 = 日本海汽船											
吉 林-新 京(")	127.7	2.51	5.90	4.10	2.35	區 間	回 數	所要間時	一 等	二 等	三 等									
醫 們- " (")	528.0	13.32	24.30	16.90	9.55	神 戶-大 連(商)	每 月	4 日 目	圓 65.00	圓 45.00	圓 19.00									
朝 陽川-上 三 峯(朝開線)	60.6	2.07	-	2.00	1.10	門 司-大 連(商)	廿 四 五 回	3 日 目	55.00	37.00	17.00									
奉 天-大 虎 山(奉山線)	129.5	2.26	5.85	3.90	1.95	大 連-青 島(連)	凡 ヲ 3日=1回	2 日 目	36.00	24.00	8.00									
" - 錦 縣(")	236.1	4.17	10.70	7.15	3.60	" - 上 海(連)		3 日 目	70.00	48.00	17.00									
" - 山 海 關(")	419.6	8.00	18.90	12.60	6.30	青 島-上 海(連)	2 日 目	弗 弗 弗 60.00	弗 弗 弗 40.00	弗 弗 弗 13.00										
大 虎 山-通 遼(大鄭線)	253.0	8.03	-	7.60	3.80	大 連-天 津(連)	月 13-4 回	2 日 目	23.圓 20.圓	-	圓 6.00									
通 遼-鄭 家 屯(")	114.1	3.09	-	3.45	2.30	" - 芝 罘(連)	月 2 0 回	2 日 目	8.00	6.00	4.00									
錦 縣-金 嶺 寺(錦承線)	94.7	2.56	-	2.85	1.45	大 連-基 隆(連)	月 3 回	5 日 目	50.00	-	23.00									
" - 凌 源(")	251.5	9.20	-	7.60	3.80	" - 長 崎(近)	月 3 回 十 日	3 日 目	32.00	-	12圓、14圓、17圓									
金 嶺 寺-北 票(北票線)	17.9	.41	-	.55	30	" - 鹿 兒 島(近)		4 日 目	38.00	-	15圓、17圓、20圓									
奉 天-山 城 鎮(奉吉線)	201.4	6.00	10.10	6.10	405	神 戶-天 津(商、近)	月 1 2 回	4 日 目	45圓、60圓、65圓、70圓	-	17圓半 22圓									
奉 天-朝 陽 鎮(奉吉線)	264.3	7.39	13.25	7.95	530	" - 青 島(郵、商、原)	月 8-7 回	3 日 目	69.00	46.00	20.00									
朝 陽 鎮-吉 林(")	183.3	4.32	8.85	5.75	390	" - 上 海(郵)	快 速 船 7 回 以 上	4 日 目	78圓、83圓、143圓	-	23.00									
四 平 街-鄭 家 屯(平濟線)	92.8	2.08	4.65	2.80	190															
" - 洗 南(")	320.9	7.22	16.05	9.65	645															
" - 榆 樹 屯(")	549.1	14.15	27.50	16.50	1100															
" - 齊 々 哈 爾(")	571.4	14.50	28.60	17.20	1145															
榆 樹 屯-東 昂 々 溪(榆樹線)	5.0	.13	-	0.15	010															
洗 南-王 爺 廟(洗索線)	115.0	3.20	-	3.55	240															

奉天	四平街(")	189.3	2.10	8.36	5.30	2.95
奉天	一新京(")	304.8	1.23	13.40	8.55	4.75
京城	清津(朝鮮線)	768.7	15.45	—	21.54	11.92
青島	津上三峯(滿鐵線)	134.5	3.14	—	3.78	2.10
"	一歸們(")	173.8	4.10	7.66	4.88	2.70
雄基	一南陽(")	144.0	3.20	—	4.04	2.24
南陽	一歸們(")	3.3	.07	0.24	0.17	0.10
歸們	一朝陽川(京圖線)	62.4	1.39	圓角分 2.90	圓角分 2.50	圓角分 1.15
朝陽川	一教化(")	127.5	3.20	—	5.80	3.90
教化	一拉法(")	115.7	5.02	5.35	3.75	2.10
"	一吉林(")	210.4	2.52	9.75	6.80	3.80
拉法	一吉林(")	85.3	2.04	4.00	2.80	1.55
吉林	一新京(")	127.7	2.51	5.90	4.10	2.35
歸們	一(")	528.0	13.32	24.30	16.90	9.55
朝陽川	一上三峯(朝開線)	60.6	2.07	—	2.00	1.10
奉天	一大虎山(奉山線)	129.5	2.26	5.85	3.90	1.95
"	一錦縣(")	236.1	4.17	10.70	7.15	3.60
"	一山海關(")	419.6	8.00	18.90	12.60	6.30
大虎山	一通遼(大鄭線)	253.0	8.03	—	7.60	3.80
通遼	一鄭家屯(")	114.1	3.09	—	3.45	2.30
錦縣	一金嶺寺(錦承線)	94.7	2.56	—	2.85	1.45
"	一凌源(")	251.5	9.20	—	7.60	3.80
金嶺寺	一北票(北票線)	17.9	.41	—	.55	.30
奉天	一山城鎮(奉吉線)	201.4	6.00	10.10	6.10	4.05
奉天	一朝陽鎮(奉吉線)	264.3	7.39	13.25	7.95	5.30
朝陽鎮	一吉林(")	183.3	4.32	8.85	5.75	3.90
四平街	一鄭家屯(平濟線)	92.8	2.08	4.65	2.80	1.90
"	一洮南(")	320.9	7.22	16.05	9.65	6.45
"	一榆樹屯(")	549.1	14.15	27.50	16.50	11.00
"	一齊々哈爾(")	571.4	14.50	28.60	17.20	11.45
榆樹屯	一東昂々溪(榆樹線)	5.0	.13	—	0.15	0.10
洮南	一王爺廟(洮索線)	115.0	3.20	—	3.55	2.40
王爺廟	一索倫(")	107.9	4.23	—	4.90	3.25
齊々哈爾	一克山(齊北線)	174.2	4.08	8.75	5.25	3.50
"	一北安(")	230.4	6.00	11.55	6.95	4.55
北安	一海倫(濱北線)	106.0	3.21	5.30	3.20	2.15
"	一綏化(")	207.9	5.58	10.40	6.25	4.20
"	一濱江(")	332.3	10.00	16.65	10.00	6.70
北安	一辰清(北票線)	136.7	5.50	—	—	2.75
辰清	一黑河(")	16.60	8.44	—	7.50	5.00
拉法	一新站(站濱線)	7.4	.13	.40	.30	.15
新站	一五常(")	143.2	3.36	7.20	4.35	2.90
"	一三棵樹(")	258.1	7.00	12.95	7.80	5.20
"	一濱口(")	264.3	7.10	13.25	7.95	5.30

天津	北平(")	140.0	2.50	6.30	4.20	2.10
天津	齊南(津浦線)	357.0	11.26	18.30	12.20	6.10
"	一浦口(")	1014.0	26.25	51.75	34.50	17.25
齊南	一青島(膠濟線)	412.0	9.35	19.26	12.84	6.42
南京	一蘇州(京滬線)	225.0	4.50	6.90	4.60	2.30
"	一上海北站(")	312.0	6.30	9.45	6.30	3.15
上海	一杭州(滬杭線)	190.0	4.25	7.05	4.70	2.60
北平	正陽門—張家口(平綏線)	222.0	9.00	11.25	7.50	3.75
北平	前門—漢口大智門(平漢線)	1208.0	36.00	61.65	41.10	20.55
浦口	一南京(連絡船)			.60	.40	.20

航 路
 郵 = 日本郵船 近 = 近海郵船 商 = 大阪商船
 連 = 大連汽船 原 = 原田汽船 清 = 日清汽船
 北 = 北日本汽船 日 = 日本海汽船

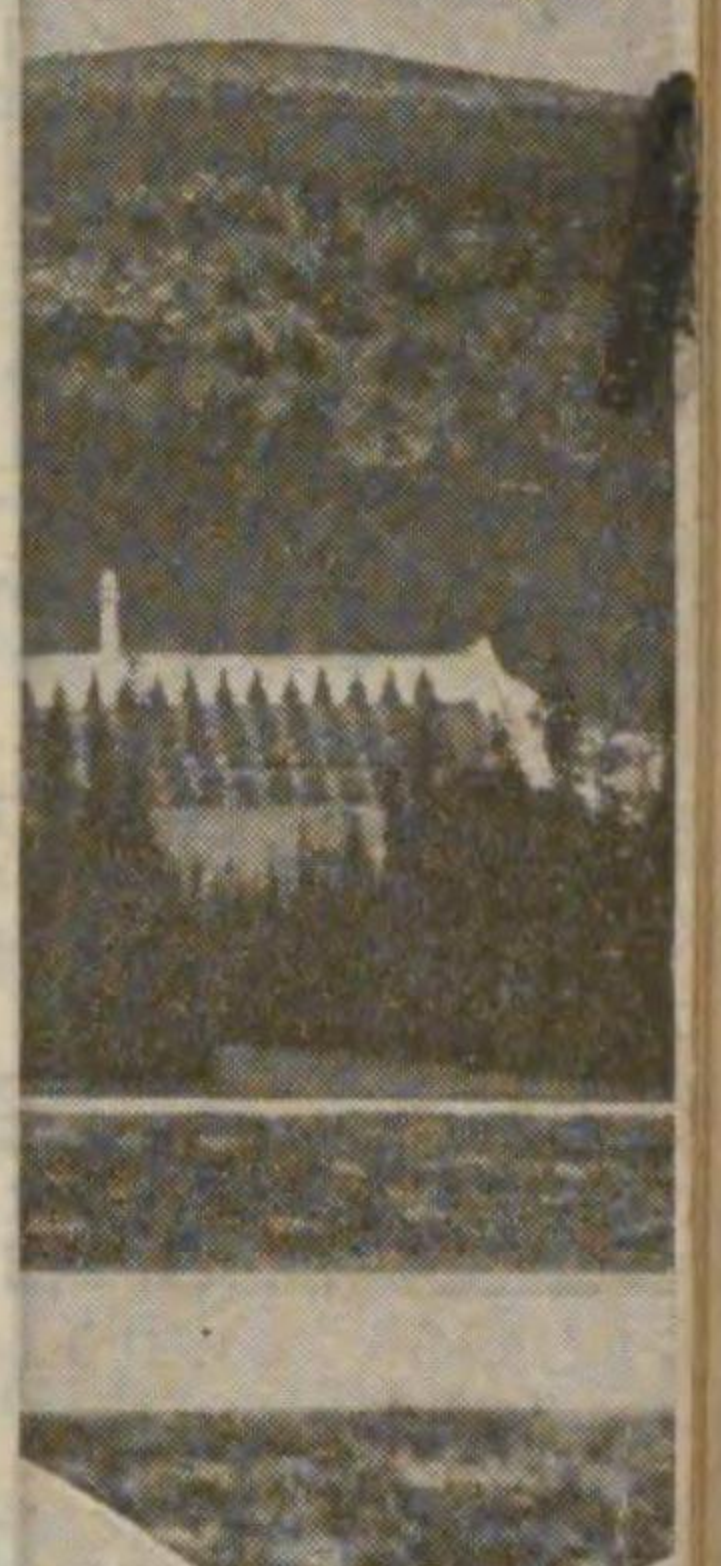
區 間	回 數	所要間時	旅 客 運 賃		
			一 等	二 等	三 等
神戶—大連(商)	每月	4日目	圓 65.00	圓 45.00	圓 19.00
門司—大連(商)	廿四五回	3日目	55.00	37.00	17.00
大連—青島(連)	凡	2日目	36.00	24.00	8.00
"—上海(連)	ソ	3日目	70.00	48.00	17.00
青島—上海(連)	3日=1回	2日目	60.00	40.00	13.00
大連—天津(連)	月 13-4回	2日目	23.圓 20.圓	—	圓 6.00
"—芝罘(連)	月 20回	2日目	8.00	6.00	4.00
大連—基隆(連)	月 3回	5日目	50.00	—	23.00
"—長崎(近)	月 3回	3日目	32.00	—	12圓、14圓
"—鹿兒島(近)	月 10日	4日目	38.00	—	15圓、17圓
神戶—天津(商、近)	月 12回	4日目	45圓、60圓	—	17圓半 22圓
"—青島(郵、商、原)	月 8-7回	3日目	69.00	46.00	20.00
"—上海(郵)	快速船 7回以上	4日目	78圓、83圓	—	23.00
"—" (")	阪神上海線 8回	5日目	52.00	—	21.00
長崎—" (")	快速船 8-9回	2 6時間	45圓、50圓	—	18.00
上海—漢口(清)	月 11回以上	4日目	弗 60.00	特 弗 40.00	9 弗 14 弗半
敦賀—清津(北)	月 6回	3日目	圓 45.00	圓 30.00	15.00
"—雄基(")	1.6日	3日目	48.00	32.00	16.00
新瀉—清津(日)	月 3回 3日	3日目	45.00	30.00	15.00
敦賀—浦鹽(北)	月 3回 6日	4日目	48.00	32.00	16.00

清津、雄基、奇港					
----------	--	--	--	--	--

凌源(")	160	7.10	每日 1回	8.00
一承德(")	320	凌源カラ 8.00	每日 1回	16.00
朝陽—赤峯(")	190	7.20	"	9.50
赤峯—林西(")	210	2日	"	
赤峯—承德(")	265	赤峯—開場 7時間30分 1日		10.50
		開場—承德 7時間30分 1日		13.25
山城鎮—通遼(")	145	5.40	每日 1回	7.25
新—京—農北安(")	69	7.00	"	3.45
"—後瓦房(")	158	農安カラ 3.00	農安カラ 2回	7.90
"—安廣南(")	308	後瓦房カラ 5.30	同 1回	15.40
"—洮南(")	388	" 9.30	"	19.40
後瓦房—扶餘(")	8	.25	每日 2回	.40
洮南—突泉(")	105	4.00	" 1回	5.25
洮南—城牛莊(")	23	.40	" 4回	.70
海拉爾—春—東興(")	100	6.00	" 1回	5.00
哈爾濱—木蘭(")	145	7.30	每日 1回	8.70
木蘭—三姓(")	167	8.30	"	10.20
三姓—佳木斯(")	106	6.30	"	6.60
佳木斯—富錦(")	152	7.30	"	9.10
哈爾濱—富錦(")	570	4日	"	34.20
富錦—同江(")	66	3.30	"	4.00
教化—東京城(")	160	2日	"	8.00
清津—羅津(")	103.72	3.40		3.60
"—雄基(")	121.22	.30	每日 4回	4.00
羅津—" (")	17.5	0.40		0.70

般 空 便			
大阪—京城(日本航空)	1050	7.20	圓 75.00
京城—新義州(")	360	2.20	1週 6回
新義州—大連(")	273	1.40	月曜休
大阪—大連(")	1683	11.20	25.00
新義州—奉天(滿洲航空)	210	1.20	月曜休
大連—奉天(")	355	2.00	每日 1回
奉天—新京(")	275	1.30	"
新京—哈爾濱(")	235	1.15	每日 1回
哈爾濱—齊々哈爾(")	275	1.35	の外月水金
齊々哈爾—海拉爾(")	261	2.30	56.00
海拉爾—滿州里(")	314	1.20	水、金
新京—吉林(")	100	0.30	10.00
"—敦化(")	250	1.25	每週
"—龍井(")	375	2.10	火木土
"—歸們(")	425	2.30	42.00

歐亞航空公司		中國航空公司	
上海—南京	270	料 (銀) 40弗	時間 (銀) 75弗
南京—洛陽	690	100	上海—海州 3.00
洛陽—西安	320	75	海州—青島 1.20
西安—蘭州	570	230	青島—天津 3.10
蘭州—寧夏	400	170	天津—北京 .45
			上海—南京 2.15
			南京—安慶 1.45
			安慶—九江 1.00
			九江—漢口 1.30



上、南京 紫金山の中山陵
中、北平 天壇祈年殿

路線	距離	08'9	97'6	08'9	08'9	4.10	7.66	4.88
雄南	一國門()	173.8						
雄南	基一南陽()	144.0				3.20		4.04
雄南	陽一國門()	3.3				.07	0.24	0.17
朝陽	們一朝陽川(京圖線)	62.4				1.39	圓角分 2.90	圓角分 2.50
朝陽	川一敦化()	127.5				3.20		5.80
敦化	化一拉法()	115.7				5.02	5.35	3.75
敦化	一吉林()	210.4				2.52	9.75	6.80
拉吉	法一吉林()	85.3				2.04	4.00	2.80
拉吉	林一新京()	127.7				2.51	5.90	4.10
圖們	們一()	528.0				13.32	24.30	16.90
朝陽	川一上三峯(朝開線)	60.6				2.07		2.00
奉天	天一大虎山(奉山線)	129.5				2.26	5.85	3.90
奉天	一錦縣()	236.1				4.17	10.70	7.15
奉天	一山海關()	419.6				8.00	18.90	12.60
大虎山	一通遼(大鄭線)	253.0				8.03		7.60
通遼	遼一鄭家屯()	114.1				3.09		3.45
錦縣	縣一金嶺寺(錦承線)	94.7				2.56		2.85
錦縣	一凌源()	251.5				9.20		7.60
金嶺寺	寺一北票(北票線)	17.9				.41		.55
奉天	天一山城鎮(奉吉線)	201.4				6.00	10.10	6.10
奉天	天一朝陽鎮(奉吉線)	264.3				7.39	13.25	7.95
朝陽	鎮一吉林()	183.3				4.32	8.85	5.75
四平街	街一鄭家屯(平濟線)	92.8				2.08	4.65	2.80
四平街	一洮南()	320.9				7.22	16.05	9.65
四平街	一榆樹屯()	549.1				14.15	27.50	16.50
四平街	一齊々哈爾()	571.4				14.50	28.60	17.20
榆樹屯	屯一東昂々溪(榆樹線)	5.0				.13		0.15
洮南	南一王爺廟(洮泰線)	115.0				3.20		3.55
王爺廟	廟一索倫()	107.9				4.23		4.90
齊々哈爾	齊々哈爾一克山(齊北線)	174.2				4.08	8.75	5.25
齊々哈爾	一北安()	230.4				6.00	11.55	6.95
北安	安一海倫(濱北線)	106.0				3.21	5.30	3.20
北安	一綏化()	207.9				5.58	10.40	6.25
北安	一濱江()	332.3				10.00	16.65	10.00
北安	安一辰清(北黑線)	136.7				5.50		
辰清	清一黑河()	16.60				8.44		7.50
拉新	法一新常()	7.4				.13	.40	.30
拉新	站一五棵樹()	143.2				3.36	7.20	4.35
拉新	一三棵樹()	258.1				7.00	12.95	7.80
拉新	一濱口()	264.3				7.10	13.25	7.95

滿・鮮・中國旅行

氣候と遊覽季節に就て

【朝鮮】 一體に大陸的影響を受けて内地よりも寒暑の差が甚だしく、冬季北鮮地方は可成寒い。雨期は七月上旬から八月下旬に及び、三・四・五・一〇・一一・一二の月は概ね旱天が続き、結氷期は例年一二月の後半から一月乃至二月に亘ることがある。然し南鮮地方は結氷する様な事は稀で關門地方の氣候と變りがない。朝鮮の旅行期節は四月上旬の萌芽期から五月下旬までの花期、六月の新緑、九・一〇月の紅葉の頃が最もよい。

【滿洲】 大陸的にて春秋の季節短く、南方大連、旅順地方を除き奥地の氣候は凡て曆日の如く移り、極寒は曆日表示の大寒中であつて立春からは正確に暖氣を加へる。然し嚴寒時も南風又は無風の日は割合に暖く、夫が大抵三、四日毎に寒暖相循環する爲め俗に「三寒四溫」と云つて居る。故に内地に居る想像する程の事は無い。夏季は南滿・北滿とも大差なく、雨期は大抵七・八月頃であるが、日本内地の梅雨とは全然異り比較的雨量が多いと云ふに過ぎぬから旅行にはさのみ障害はなく、結氷期を除けば遊覽に好適である。

即ち以上を要約すれば、
春―四月中旬から五月中旬の花期、六月の新緑の候の旅行を最も良しとする
夏―七月下旬から八月中旬にかけては所謂雨期であるが、大陸氣候の影響を

受けて雨量多し、野も山も緑潤り朝夕は涼風を交へ極めて涼し易い。
秋―九、一〇月は紅葉の季節で春にも優る旅行の好季節である。
冬―大陸の冬は、三寒四溫と云つて寒さが三日続けば、次には暖い日が四日續くといふやうに自然に氣候が緩和されて居る。此時期は北鮮、滿洲共に一番活氣のある時で農産品の出廻りが盛んであり、又スケートや銃獵の好季節である。

○服装及携帶品 滿洲奥地深く旅行する人は別として、舊北滿鐵路を除いた鐵路總局線沿線主要地のみの旅行者には特に携帶を要する程のもの無く、内地の旅行と同様に輕快第一、洋服が萬事に好都合である。夏季は夜間の涼氣に備へて腹巻・セーター類を用意すれば尚結構である。一般に雨は少いから洋傘よりもレインコートがよく、冬は北滿奥地を除き厚い外套で足りる。服装の選定は四月中旬から五月下旬までと、九月中旬から十月上旬まで合服、五月下旬から九月上旬まで夏服、十月中旬から四月上旬まで冬期の標準で不自由は無い。奥地旅行の場合、氣候が低いから冬季は夫々の防寒具を用意する事は勿論であるが、陽春五月頃でも尙雪を見る滿洲里方面までゆくには外套の用意を忘れてはならぬ。

【中華民國】 ▲黃河流域 冬期は一月から翌年三月迄には寒氣烈しく河川は悉く結氷する。然し概して天氣晴朗にて時時溫暖な日光に恵まるゝ事がある。
夏は炎暑烈しきも雨量少く、且つ空氣乾燥して比較的旅行に適してゐる。故にその天候比較的好晴な春と秋が旅行の最も宜しき時期である。
▲楊子江流域(中支那) 雨期は北支那よりも早く、四月の頃で、湖沼が到る處濁溢して交通不便となる。晴天は二・三・九・一〇に多く旅行には此の期節が最もよい。
▲西江流域(南支那) 中央地帯を夏至線が貫いてゐるが暑熱比較の烈しくない。夏は冬に比べて雨量約十倍し、冬は平常殆んど好晴、旅行には早春最も好適である。

概して中華民國各地に於ける天候は氣候風の影響に因るをもつて、中國旅行の時期を選ぶには初秋は北支那に、晩秋初冬は中部支那へ、早春は南支那に遊ぶを最も佳とすれども、旅裝の用意さへ宜しければ中國大陸は隨時隨所に旅客を迎へ自然の寶庫を其眼前に展開して呉れる。

旅裝と携帶品に就て

旅をするには出来るだけ輕裝の洋服が一番宜い。氣候が大陸的であるから日中の酷暑期でも朝晩の冷氣に備へる爲め、腹巻・セーター類・シャツの着替二枚位(一枚は厚手のもの)・参考案内冊子・通信用具・洗面用具・クレオソルト錠等の消毒劑位の用意があれば充分である。其他當用の品は行先まで購入すれば足りる。毛布・雨傘の携行は荷厄介に終る場合が多い。レインコートを携行せば便利であり、冬は厚手の外套を用意すればよい。手廻り荷物は小さな包を幾つにも荷造りせず自身運搬始末し得る程度に成るべく一個に纏め置かねばならぬ。若し長日子に亙る旅行で相當荷物の嵩張る時は、大型スートケース一個を手荷物として託送し(行先の滯泊地まで先送り其地で一度受取つても亦託送する方法に依る)行動の邪魔になる手廻り荷物とせないことが肝要である。

通貨に就て

朝鮮・滿洲等日本の經營する鐵道沿線には日本貨幣及朝鮮銀行の兌換券が流通して居るから旅行上些の不便はない。

標準時に就て

滿洲及中國の標準時は内地又は朝鮮よりも一時間遅れてあるから、内地又は朝鮮から滿洲に入る場合は、安東、圖們、開山屯又は大連(汽船の場合は門司發後毎朝三〇分宛遅らせる)で一時間時計を遅らせ、反對の場合は進める必要がある。内地から上海又は青島から中國内地に入る場合、反對に内地へ歸着の場合も同様である。

左に各鐵道との時差を示せば

日本鐵道時刻	正	午(日本中央標準時に據る)
朝鮮鐵道時刻	正	午(日本中央標準時に據る)
滿洲國內	午前一時	(日本西部標準時に據る)
中國鐵道時刻	午前一時	(中國沿岸標準時に據る)

〔註〕從來北滿鐵道線採用の哈爾濱標準時は統制されて滿鐵線時刻と同一になつた。

撮影其他に就て

鮮滿に限らず旅客が無意識に撮影又は描寫を爲し、夫れが偶々要塞地帯法に觸れて思ひもよらぬ面倒を惹起する例は尠くない。左に其筋の許可なくして撮影又は描寫禁止の箇所を掲げ一般の参考に供する。

- 下關・門司を含む下關要塞地帯内の海陸。
- 長崎を中心とする長崎要塞地帯内の海陸。
- 釜山・馬山・鎮海を含む鎮海要塞地帯内の海陸。
- 元山附近永興要塞地帯内の海陸。
- 鴨綠江鐵橋附近一帯。
- 大連・旅順を含む關東州防禦營造物地帯内の海陸。

滿・鮮・中國旅行 (標準時・撮影・税關検査)

い。滿洲國は最近貨幣制度が確立し、國內到る所流通して居るが、元來滿洲國は銀本位國であるから邦貨との換算が面倒である。然し主要乗換驛には兩替店があるから必要の場合には兩替して置かるるもよい。又中國は世界中で一番通貨の複雑な國と云はれて居る通り、各地方により全然流通貨を異にして居る所がある。

各地方の流通貨を左に掲げるが滿洲國內に於ける日本貨幣は其日の銀相場に換算することとなる。

- ▲朝鮮各地 日本銀行發行貨幣及朝鮮銀行發行貨幣(朝鮮銀行發行紙幣は内地歸還の際船内又は乗下船港の銀行で兩替を要する)
- ▲滿洲國 滿鐵沿線と日本人間には日本圓貨(朝鮮紙幣を含む)が使用されて居り、一般に滿洲人に對しても圓貨で通用するが、滿洲國有鐵道の運賃料金は國幣建てであり、滿洲人商店は一般に商品の正札を滿洲國幣で表示してゐるから、當日の換算率も知つて置く事が必要であり、國幣を用意すると便利である。主要都市には到る所兩替店がある。
- ▲歸路には滿洲國幣は兩替店で、朝鮮銀行紙幣は大連、釜山の棧橋で、清津は朝鮮銀行支店で日本銀行兌換券と兩替する事を忘れてはならない。
- ▲中國各地 中國貨幣。銀を本位とする所謂大洋元で、北洋銀・湖北銀・廣東銀・墨西其弗・香港弗・日本圓銀等の種類がある。右の中最も汎く流通するのは墨西其弗で、香港弗之に次ぎ南部一帯及北平・天津方面に通用する。此外小洋銀・銅元・票子(紙幣)等の補助貨がある。

以上の如く流通貨が種々なる地方に旅行する一般旅行者は、よし多少貨幣に智識ある人でも、日々に變動する銀相場に左右せられ貨幣の價に高低常なきを以て、計算の煩瑣を避けるため携帶には日本貨を以てし、行く先々で當座の入用だけ兩替するか正金銀行信用狀又はJTB小切手を携行するのが便利である。

以上の外、浦鹽斯德から綏分河に至る蘇國領土内は特に蘇國官憲の許可なき限り絕對に撮影・描寫してはならない。

税關検査に就て

鮮・滿・中國の旅行には、左記各地通過の際託送及手廻り手荷物は税關の検査を受けねばならない。然し税關手續は至極簡單である。普通旅行用具や適量の土産物は何等心配なく簡単に済むのであるから、申告は總て正直に、偽り又は隠匿する様なことは絶対に禁物である。

滿洲又は中國に旅行の際(朝鮮を除く)、旅行用具中特に注意すべきは寫眞機其他課税品で、之等を内地から携行する場合は、出發港の税關にて豫め許可證明書を貰ひ受けて置かねと歸還の際課税される。又商品見本類も同様で假令揃つて居らぬ品物でも一の商品であり其數量が相當ある場合は課税されるから、必ず輸出港の税關に申告し一時關稅を供託の上其證書に依り歸還に際し戻税を受くる方法を講じて置く必要がある。

尙内地歸還の際土産物でも、煙草・酒類・砂糖・絹織物・毛皮・骨董品・麻雀等は特に通關面倒の品物であるから注意を要する。

- ▲釜山一ノ下關(關釜連絡船に依る場合)
- ▲朝鮮行の際及内地歸還の際とも連絡船内に於て日本税關の検査がある。
- ▲下ノ關・門司・長崎・神戸・敦賀・新潟
- ▲上陸地點に於て日本税關の検査がある。(大連航路及上海一長崎・神戸の日

中連船内には何れも日本税關吏が乗込んで居て船内で行はれる。

▲上三峯・關門 朝鮮及滿洲行の際とも安東と同じく日本・滿洲國兩税關の検査がある。關門通過滿洲行の旅客は車内で検査を受けるが、娯樂物特に蓄音器・レコード等は高率の課税がある。また朝鮮行の際、煙草は羅南・清津・雄基の各驛以北の客は一〇本迄、之等驛以遠は一〇〇本迄制限されて居り、超過量に對しては三五割五分の課税を受ける。

▲清津・雄基 上陸の際朝鮮税關の簡單な検査がある。

▲安東 朝鮮及滿洲行の際とも停車場構内若しくは停車場列車内に於て日本・滿洲國兩税關の検査がある。この際検査に立會はぬと荷物丈けその儘留置置かれる。又荷物のみ別に先送される場合は鎖錠したものは鍵を同時に預けぬと、そのまゝ本人の立會が終るまで税關に留置されるから特に注意せねばならぬ。(旅客携帯日用品は大體免税なるも下記物品は課税される。貴金屬品・寶玉石・絹織物・毛皮・毛織物・娯樂道具・寫眞機・蓄音器等。煙草は喫煙者に限り自用として葉巻五〇本・紙巻一〇〇本・刻菓三〇枚以内の何れか一種迄は免税)

▲關東州 鐵道で大連に入る場合は普蘭店以南の汽車で、又汽船で入る場合は汽船内で酒・煙草等に對して検査がある。

▲大連 陸路北行の際大連停車場に於て關税の検査がある。(禁制品、商品を除き旅客携帯用品は殆んど免税である。煙草、酒等に對しては海路に依る場合は船内又は上陸の際、鐵路の場合に車中にて検査がある)(大連一門司一神戸間大阪商船定期船で内地の上陸の際は船内乗込みの税關吏員によつて税關検査が行はれるから至便であるが、他は上陸地點で行はれる)

▲上海・青島・天津 上陸地點に於て中國税關の検査がある。

▲中國内都市 下車に際し停車場若しくは停車場前に於て税務所の特殊検査がある。

▲浦鹽斯德・ボグラニーチナヤ・ソワイエツト入國の際は無關税にて携帯し得る品物數量等いろいろの制限があるが、通過旅行の場合にはあまり制限はない。然し書籍・印刷物並原稿等は可成り嚴重な検査がある。尙寫眞機一個だけは携行差支へない。但しソワイエツト内には官憲の許可がなければ絶対に撮影は出来ぬ事になつて居る。

土産物に就て

鮮滿及中國の各地には珍らしいもの、欲しいものが相當あるが、手廻り次第に買ひ込まれると、税關では旅行に必要な手廻り品以外には税課するのを原則として居るから、唯徒らに安い、珍らしいで買つたものが結局課税されて高い土産になつたと云ふやうな例も澤山あるから餘程考慮せねばならぬ。

土産物購入上の注意

▲土産物類の購入選擇に就ては其土地の案内をして呉れる人によく聞き合ふこと。

▲課税されても猶安いと思はる、ものは非常に珍らしいと云ふやうなものではないれば買はれぬこと。

▲滿洲・中國方面は關税の關係上時計・寫眞等は安い筈であるが内地の相場と比較して買はれぬと買はれることがあるから注意すること。

▲内地製の輸出品を再び買ひ歸る愚を演ずる人がある故特に注意すること。

▲左記の品は滿洲主要都市即ち安東・奉天・新京・大連等何れの地でも求められるが中國方面に行かれる方は北平・天津・上海等で求める方が廉價である。()内の品は特に哈爾濱で求められる、方品種も多く價格も幾分廉價である。

網絨・絹織・綴子・中國刺繡・テーブル掛・其他の刺繡品・毛皮品・骨重品・中國製雜貨・砂糖蜜連の實等の砂糖漬・甘栗・支那菓類・寫眞機・懐中時計・煙草・酒類・翠菊(ダイヤ・アレキサンダー・ルビー・サファイア等の寶石類)。

滿洲土産免税標準數量

滿洲にて買求め内地或は朝鮮に土産として持歸る品は輸入品として税關で検査を受ける事になつて居り、輸入品は一般に殆んど課税されるのであるが、旅行者自身の用品及少量の土産物は検査官吏の裁量で免税通關する事になつて居る。併し是は絶対的のものではなく慣例的便法に過ぎぬが、その慣例に依

る免税標準數量は大體左記の通りである。

品名	朝鮮行	内地行
砂糖類	一〇斤	一〇斤
ロシヤ餡	大罐四箇	大罐六箇
其他菓子類	八斤	一〇斤
洋酒類	二合	三升
支那燒酒類	五斤	一五斤
果實類	一〇斤	八斤
葡萄類	五斤	八斤
紅茶・珈琲・ココア類	三斤	五斤
支那ソーメン	八斤	一〇斤
トランプ・花札	一組	一組
絹	一〇尺	二〇尺
綿	一〇尺	二〇尺
其他の支那絹布	一〇尺	二〇尺
總價格に對する制限(煙草を除く)	二〇圓迄	三〇圓迄
葉巻煙草(新安州以内行)	五〇本迄	五〇本迄
紙巻煙草(同)	一〇〇本迄	一〇〇本迄
刻み・粉・板煙草	三〇匁	三〇匁

(備考)
一、煙草は二種以上携帯すれば上記數量の二分の一以内となる。
二、煙草は喫煙者に限る。
三、課税する時は上記數量を控除した超過煙草に對し課税する。
四、上記品目中果實類の内リンゴ、柑橘、蜜柑類(臺灣又は南洋産)の生果實は輸入を禁止されて居る。

旅行券に就て

朝鮮各地及滿鐵、滿洲國內各鐵道沿線は勿論日中周遊經路による中國鐵道沿線並開港地點等の視察旅行には旅券の

滿・鮮・中國旅行 (旅行券・鮮滿への旅行經路・旅館宿泊料)

鮮滿への旅行經路

必要はないが、右以外の中國奧地旅行の場合には、帝國領事館を経て中國官憲から身邊保護の爲め旅行者に與へらる一種の旅行免狀とも云ふべき「護照」を受けて行かれる方がよい。(護照は銀二弗の收入印紙を添へて領事館に下付を出願すれば、二三日、長くも一週間に受ける事が出来る)

尙日滿周遊經路、即ち内地から浦鹽一ボグラニーチナヤ一哈爾濱一南滿洲を経て一内地へ或は此の反對經路による旅行者は府縣廳から正式に外國旅行免狀の交付を受け、(更にソワイエツト領事館の裏書を受け)之を携行せねばならぬ。

大阪商船經由 毎月二十數回神戸、門司と大連相互間を五千噸乃至八千噸級の大型汽船が發着して居る。

朝鮮鐵道經由 毎日朝夕二回下關と釜山相互間を四千噸級の鐵道省關釜連船が發着して居る。

北日本汽船經由 月六回敦賀と清津、雄基相互間を三千噸級の連絡汽船が發着して居る。

島谷汽船經由 月三回新潟と清津、雄基相互間を二千噸級の連絡汽船が發着して居る。

旅館宿泊料

朝鮮、滿洲の主要地には日本式の旅館があり、一律に茶代廢止の協定が出来て居て、宿泊料以外に旅館での入費は單に使用人の心附だけであるから、安心して手軽に宿泊することが出来る。

宿 泊 料

○洋式ホテル(歐・米式の兩様あり)

室 料 一人一室 凡そ三圓以上

朝 食 一圓〇〇位

晝 食 一圓二〇―二圓〇〇

晚 食 一圓五〇―二圓五〇

○日本旅館(泊二食付)茶代廢止

一等七圓位、二等五圓位、三等四圓位

使用人心附は宿泊料の一割乃至二割見當である。

旅行相談所

朝鮮、滿洲及中國方面へ旅行するには、豫め計畫を建てる事が必要である。計畫を建てるには各種の参考資料も必要だが、實際を知る者程確實なものはないと思ふ。それには滿鐵會社と朝鮮總督府鐵道局とが提携して、東京・大阪・下關に鮮滿案内所を設け専ら鮮滿への旅行者の相談相手となり、旅行上必要な總ての斡旋をなして居り、又同所内にはシヤパン・ツーリスト・ビュロー(日本旅行協會、鮮滿中國所在の各案内所では日本國際觀光局の名稱を使用して居る)があり、一切の切符類も發賣して居るから此機關を利用するゝが最も便利且つ安全である。

- 東 京 麹町區丸ノ内、丸ノ内ビルディング内一階 電話(丸ノ内)(代表)三三三二番
- 大 阪 大阪市東區安土町(堺筋)二ノ五六 電話(本町)(代表)一七〇〇番
- 下 關 下關市西細江町(下關驛前) 電話一九六二番

乗車船券に就いて

朝鮮・滿洲・中國方面への旅客には左記の様な割引往復又は東亞遊券・周遊券等の便宜は各種乗車船券があるから之等の切符を利用するのが便利でありまた有利である。之等の切符は内地鐵道連絡關係驛の外、各地に配置されて居るシヤパン・ツーリスト・ビュロー(日本旅行協會)の案内所でも發賣して居り、殊に大阪・東京・下關の鮮滿案内所のツーリスト・ビュローでは専門に取扱つて居る。

單獨旅行の場合

(十年三月一日現在)

○内地朝鮮往復券 鐵道省線、朝鮮鐵道局線、同會社線の各驛間に發賣して居る、運賃二割引、通用期間二ヶ月である。

○内地北鮮往復券(北日本汽船經由) 鐵道省線、滿鐵北鮮管理局線、朝鮮鐵道局線(輪城咸興間)各驛間に發賣して居る、運賃二割引、通用期間二ヶ月である。

○内地滿洲往復券(朝鮮經由) 鐵道省線、南滿洲鐵道線の各驛間に發賣して居る、運賃二割引、通用期間二ヶ月である。

○内地滿洲往復券(大阪商船經由) 鐵道省線主要驛と南滿洲鐵道線左記主要驛間に發賣して居る。運賃汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月である。

大連、金州、普蘭店、瓦房店、大石橋、海城、鞍山、遼陽、奉天、鐵嶺、岫巖、四平街、公主嶺、新京、旅順、營口、撫順の各驛行。

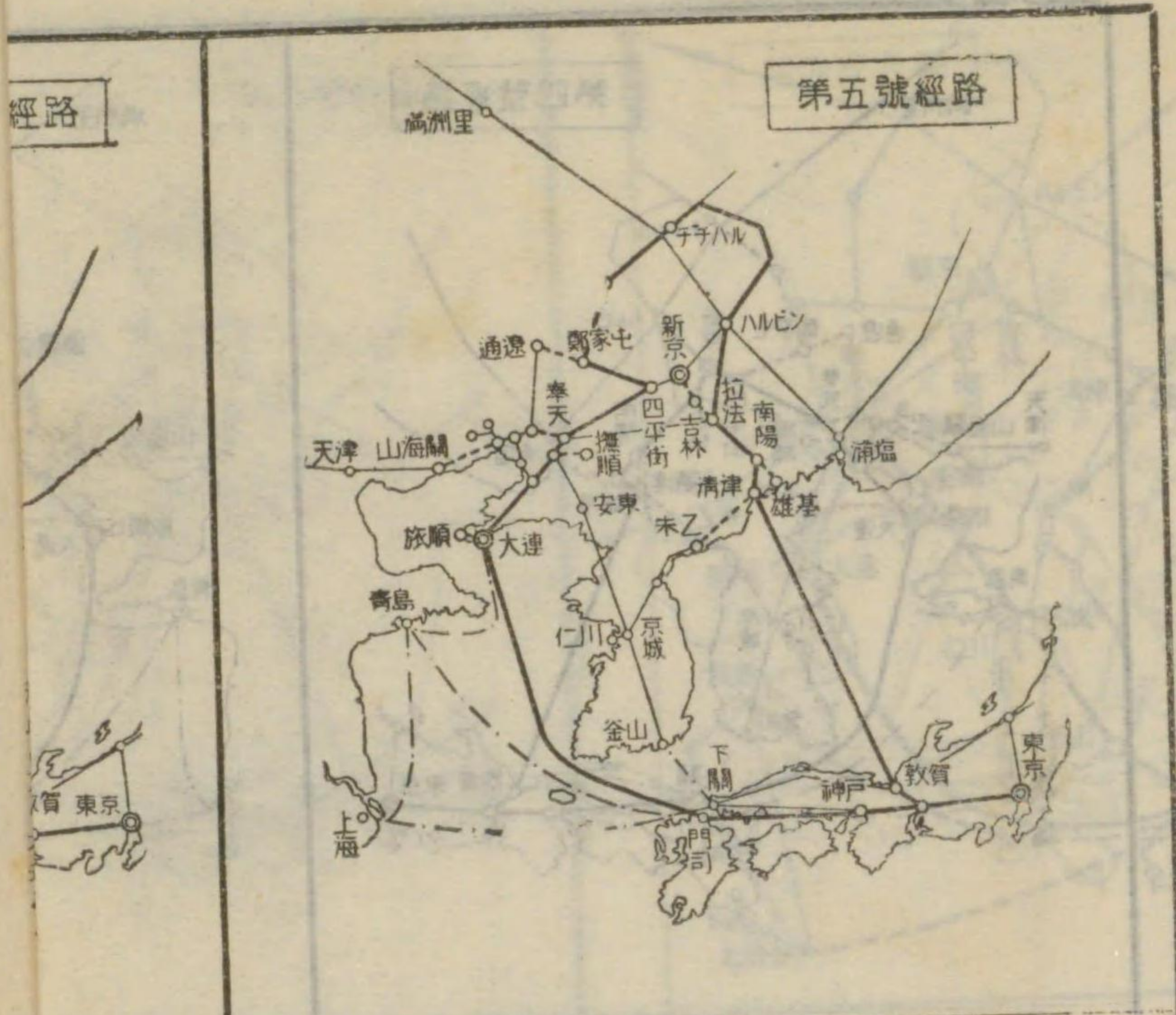
内鮮滿周遊券

滿洲國幣(銀圓)建運賃の部

左記表示の銀圓貨建運賃は毎月變動する爲替相場に依り邦貨に換算して別表運賃に合算するものである

「註」銀一圓は邦貨約一圓十三、四錢位である

經路等級	一般		旅客		教員・學生
	大人	小孩	大人	小孩	
第三號	二 等	一三・六〇	六・八〇	一〇・二〇	一〇・二〇
第四號	二 等	七・七〇	三・九〇	五・八〇	五・八〇
第五號	三 等	四一・六〇	二〇・八〇	三一・二〇	三一・二〇
第六號	三 等	二六・九〇	一三・五〇	二〇・二〇	二〇・二〇
第七號	三 等				
第八號	三 等				
第九號	三 等				
第一〇號	三 等				
第一一號	三 等				



發賣所	發賣所										發賣所
	東京	橫濱	新橋	長崎	西島	鹿兒	熊島	博多	廣島	敦賀	
東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京
一等	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇	九・八〇
二等	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇
三等	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇	八・〇〇

滿洲國境（通關）手續費の概

項目	金額
入國手續費	二・六〇
出國手續費	二・六〇
通關手續費	一・〇〇
検査料	一・〇〇
合計	五・八〇

神
戸
一
〇
〇
〇
五
四
〇
〇
八
九
〇
〇
四
九
〇
〇

○内鮮滿周遊券

(昭和十年四月一日現在)

往路又は復路の孰れか片道を大阪商船大連航路又は北日本汽船敦賀—清津航路により朝鮮及滿洲を廻遊旅行する便宜のために發賣されてゐる周遊割引切符で、省線發のものに左記數種類がある(小兒は孰れも左記運賃の半額)。

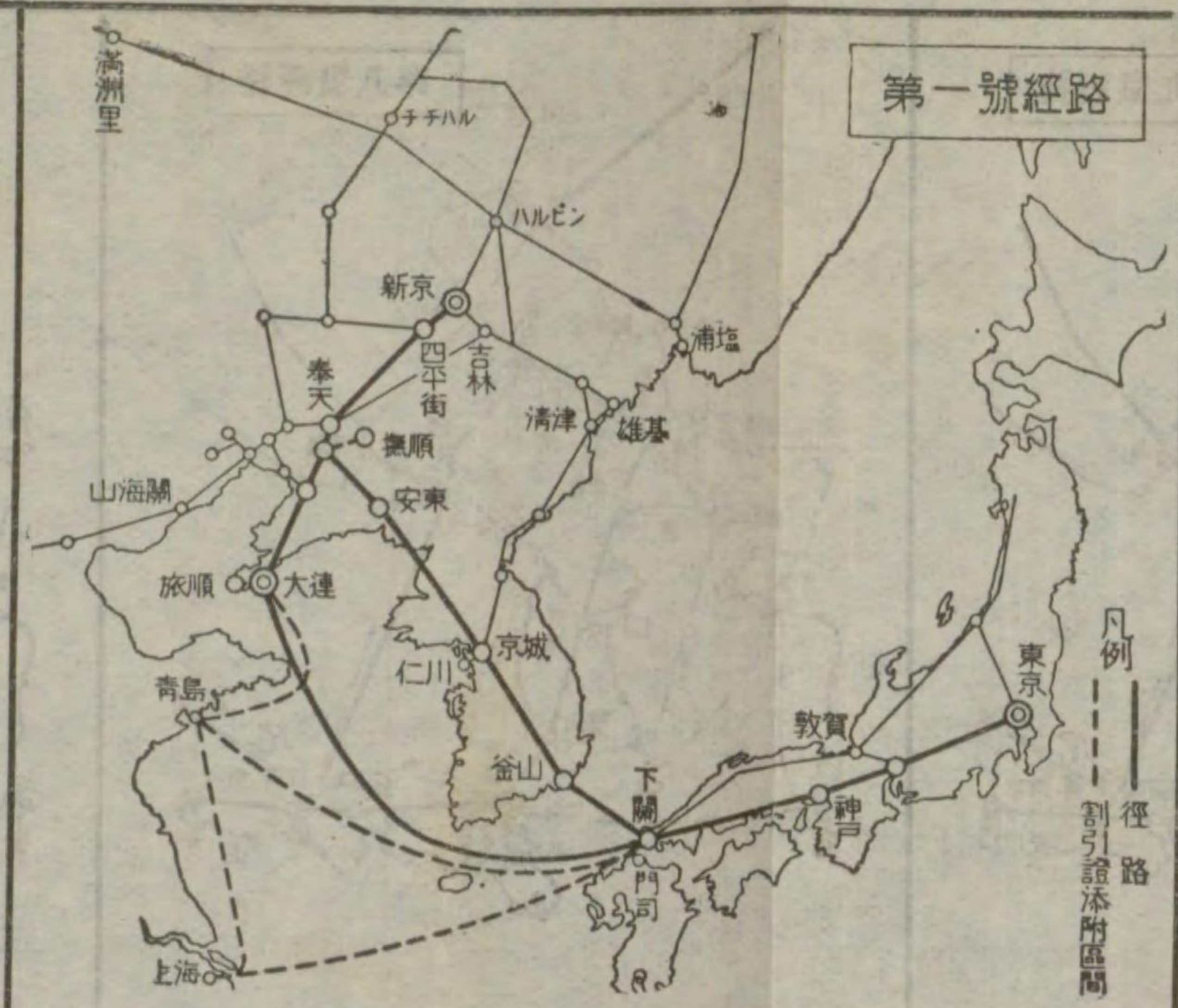
- 運賃 右各運輸機關を通じ二割引(但大阪商船は一割引)
- 通用期間 發行の日共二ヶ月間
- 特典

(イ) 各號經路に記載の割引證添附(省線二割、學割に對しは朝鮮線・滿鐵北鮮線及鐵路總局線は四割引、滿鐵線五割引)しある外、清津—朱乙間、安邊—外金剛間(普通貨片道二等二圓八三錢、三等一圓五七錢)、又は鐵原—內金剛間(普通貨片道二等五圓五〇錢、三等三圓六三錢)を往復乗車する場合は三割引をする。

(ロ) 第一號・第三號・第四號・第八號・第九號經路周遊券を以て旅行する場合は左の孰れの經路に依るも旅客の任意になつてゐる。

- (A) 東京—名古屋間は東京—品川—靜岡經由又は新宿—鹽尻經由の孰れか。
- (B) 京都—下關間は岡山—廣島—小郡經由、松江—石見益田—小郡經由、松江—正明市—伊佐—厚狹經由又は松江—正明市—瀨部經由の四經路の内孰れか一經路。
- (C) 名古屋—大阪間は米原—大津—高槻經由、米原—京都—奈良經由、龜山—奈良經由又は龜山—奈良—京都經由の四經路の内孰れか一經路。
- (D) 神戸—三ノ宮—門司間は鐵道省線(汽車)又は大阪商船(汽船)の孰れか一經路。

〔註〕 第二號、第十二號、第十三號經路は鐵路總局線・朝鮮線・滿鐵北鮮線・滿鐵線・大阪商船發のものにて經路及運賃表を省略す。



發賣處	區間			
	一 等	二 等	三 等	學 校 教 職 員 及 學 生 生 徒
東京	100.00	50.00	30.00	10.00
新橋	100.00	50.00	30.00	10.00
横濱	100.00	50.00	30.00	10.00
靜岡	100.00	50.00	30.00	10.00
名古屋	100.00	50.00	30.00	10.00
京都	100.00	50.00	30.00	10.00
敦賀	100.00	50.00	30.00	10.00
廣島	100.00	50.00	30.00	10.00
博多	100.00	50.00	30.00	10.00
熊本	100.00	50.00	30.00	10.00
鹿島	100.00	50.00	30.00	10.00
西島	100.00	50.00	30.00	10.00

區間	等級			
	一 等	二 等	三 等	學 校 教 職 員 及 學 生 生 徒
京—城—仁—川	1.10	0.90	0.60	0.30
水—登—浦—仁—川	1.10	0.90	0.60	0.30
輪—城—朱—乙	1.10	0.90	0.60	0.30
奉—天—撫—順	1.60	1.30	0.90	0.45
大—連—旅—順	1.60	1.30	0.90	0.45
四—平—街—新—京	1.60	1.30	0.90	0.45
南—陽—雄—基	1.60	1.30	0.90	0.45
清—津—輪—城	1.60	1.30	0.90	0.45
四—平—街—通—遼	1.60	1.30	0.90	0.45
四—平—街—洮—南	1.60	1.30	0.90	0.45
鄧—家—屯—通—遼	1.60	1.30	0.90	0.45
拉—法—吉—林	1.60	1.30	0.90	0.45
拉—法—新—京	1.60	1.30	0.90	0.45
奉—天—錦—縣	1.60	1.30	0.90	0.45
大—連—上—海	1.60	1.30	0.90	0.45
青—島	1.60	1.30	0.90	0.45

外金剛間(普通貨片道二等五圓五〇錢、三等三圓六三錢)、又は鐵原―内金剛間(普通貨片道二等五圓五〇錢、三等三圓六三錢)を往復乗車する場合は三割引をする。

(ロ) 第一號・第三號・第四號・第八號・第九號鐵路周遊券を以て旅行する場合は左の孰れの經路に依るも旅客の任意になつてゐる。

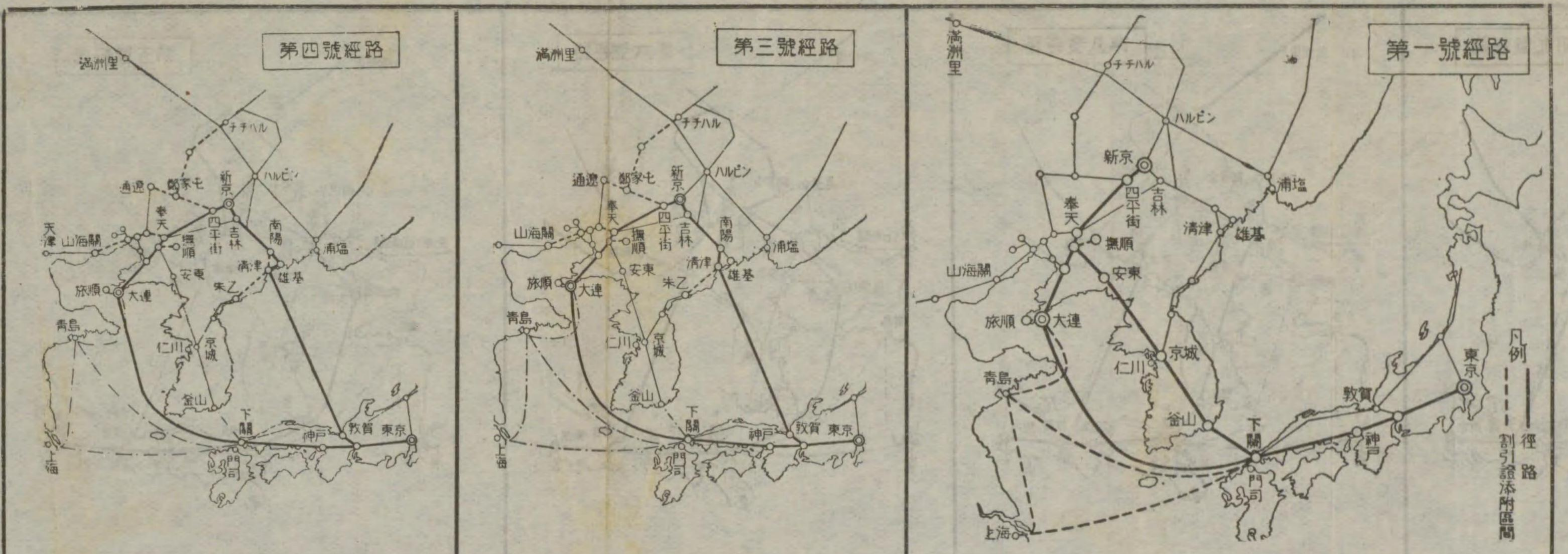
(A) 東京―名古屋間は東京―品川―靜岡經由又は新宿―鹽尻經由の孰れか。

(B) 京都―下關間は岡山―廣島―小郡經由、松江―石見益田―小郡經由、松江―正明市―伊佐―厚狹經由又は松江―正明市―瀨部經由の四經路の内孰れか一經路。

(C) 名古屋―大阪間は米原―大津―高槻經由、米原―京都―奈良經由、龜山―奈良經由又は龜山―奈良―大津―京都經由の四經路の内孰れか一經路。

(D) 神戸・三ノ宮―門司間は鐵道省線(汽車)又は大阪商船(汽船)の孰れか一經路。

〔註〕 第二號、第十二號、第十三號經路は鐵路總局線・朝鮮線・滿鐵北鮮線・滿鐵線・大阪商船發のものにて經路及運賃表を省略す。



發賣處	一般旅客			學校教職員及學生生徒		
	一等	二等	三等	二等	三等	等
東京	100.00	50.00	30.00	70.00	35.00	20.00
新橋	101.00	51.00	31.00	71.00	36.00	21.00
横濱	102.00	52.00	32.00	72.00	37.00	22.00
靜岡	103.00	53.00	33.00	73.00	38.00	23.00
名古屋	104.00	54.00	34.00	74.00	39.00	24.00
京都	105.00	55.00	35.00	75.00	40.00	25.00
大阪	106.00	56.00	36.00	76.00	41.00	26.00
神戸	107.00	57.00	37.00	77.00	42.00	27.00
廣島	108.00	58.00	38.00	78.00	43.00	28.00
博多	109.00	59.00	39.00	79.00	44.00	29.00
熊野	110.00	60.00	40.00	80.00	45.00	30.00
鹿島	111.00	61.00	41.00	81.00	46.00	31.00
西鹿	112.00	62.00	42.00	82.00	47.00	32.00
長崎	113.00	63.00	43.00	83.00	48.00	33.00

發賣處		一等	二等	三等
東京	大連	100.00	50.00	30.00
新橋	上海	101.00	51.00	31.00
横濱	青島	102.00	52.00	32.00
靜岡	天津	103.00	53.00	33.00
名古屋	漢口	104.00	54.00	34.00
京都	奉天	105.00	55.00	35.00
大阪	瀋陽	106.00	56.00	36.00
神戸	長春	107.00	57.00	37.00
廣島	吉林	108.00	58.00	38.00
博多	安東	109.00	59.00	39.00
熊野	遼陽	110.00	60.00	40.00
鹿島	四平街	111.00	61.00	41.00
西鹿	通遼	112.00	62.00	42.00
長崎	錦州	113.00	63.00	43.00

朝鮮

東は日本海に面し西は黄海に臨み、南は朝鮮海峡を隔てて九州及中國と對し、北は鴨綠江及豆滿江を以て滿洲國及露領に界してゐる。東部海岸には元山・清津・雄基・羅津等の諸港があり、南部及西部海岸は島嶼散布して岬灣出入し、釜山・木浦・群山・仁川・鎮博浦等の良港を控へてゐる。地勢は蜿蜒たる長白山脈が東北から西南に連つて北方の國境を擁し、其の一脈南に延びて平安南北、咸鏡南北兩道の境を劃して江原道に入り、東海岸線に沿つて南に走り半島の脊梁を成してゐる。此の脊梁山脈以東の地は斜面急峻にて大川平野に乏しいが、其の以西は比較的傾斜が緩かで處々に平野を展開し、鴨綠江・大同江・臨津江・漢江・錦江・蟾津江・洛東江等の諸川があり舟楫の便、灌溉の利に富み地味概して肥沃である。

【朝鮮の四極と面積】

Table with columns for latitude/longitude (緯度, 經度), area (面積), and population (人口) for various regions in Korea.

氣候

▲氣温 年平均氣温は南部海岸は攝氏一三度餘で北進するに従ひ次第に遞減する。即ち中央部は一〇度内外であるが國境附近に於ては四度乃至三度となる。又東部海岸は西部海岸に比すれば氣候溫和で、夏季を除いて

京釜線

釜山

釜山本線釜山驛の所在地でまた下開との間に鐵道省の連絡船がある。▲下開-釜山間連絡船晝便七時間半晝便八時間、二四〇軒(實測二三運)運賃三等三圓五錢、二等七圓一〇錢、一等一二圓一五錢。(船内食事を供せず一等は發着料、二等發着料一圓)
▲就航船 釜山-大邱線 釜山-蔚山線 釜山-新羅線
釜山-大邱線 釜山-蔚山線 釜山-新羅線
釜山-大邱線 釜山-蔚山線 釜山-新羅線

朝鮮 (釜山・東萊温泉・大邱)

は約二度内外高温である。これは西部海岸は冬季に於て北西の季節風が多いのに反し、東部海岸は脊梁山脈の爲風勢微弱となり、且海水温度は西部海岸に比して高温なるに因るものである。尚寒氣は南北に於て大差あるも、暑氣は其の差が極めて少い。
▲降雪 降雪期は年々運速はあるが、初雪は北部高原地方最も早く一〇月下旬に、他は概ね一二月に、南東海岸地方は最も遅く二月下旬にあるのが普通である。終雪は北部國境地方最も遅く四月末に至り、釜山地方最も早く三月上旬、其の他は三月中旬乃至四月中旬の間に在る。然し冬季は一般に雨量少く積雪五〇乃至六〇糎に及ぶのは北東部の山地に限られ、中部以南の平原に於ては一五糎を越ゆることは稀である。

道 面積 人口

Table showing area and population for various provinces in Korea, including Chongqing, Chungcheong, and others.

東萊温泉

釜山から北約二二軒、自動車三〇分、乗合三〇錢、前七時半から後七時半迄凡一時間毎、貸切三圓、電車三五分、片道二五錢、往復四〇錢。
地は朝鮮第一の温泉郷で、金井山の麓に湧出する清澄な弱鹽泉である。温度五〇度、胃腸・神經痛・婦人病に効があると云ふ。

大邱

釜山から急行列車で二時間一三分(二四軒八)、一等五圓五〇錢。
釜山から急行列車で二時間一三分(二四軒八)、一等五圓五〇錢。
釜山から急行列車で二時間一三分(二四軒八)、一等五圓五〇錢。

沃農業に適し、穀類・果物・棉花・煙草の産出が多い。人口九萬五千餘(その内内地人二萬八千餘)。市區井然として官衙・公署・會社・商店及び製絲・製麵工場の大きな建物が揃比して中々盛況を極めて居る。

〔遊覽順序〕驛―商品陳列所―元町―達城公園―西門市場―東門市場―驛。

▲市内乗合自動車六錢均一。

〔名勝〕▲達城公園 新羅時代の達弗城址で、昔を偲ぶ何物も残つて居らぬが老樹鬱鬱、景趣に富み丘上に太神宮が祀つてある。▲西門市場 東門市場 毎月六回の開市は地方的の取引で米・大豆・魚類・海草・綿布・雜貨等を主として其取引高は西門市に於て毎月三〇萬圓、東門市に於て八萬圓内外に及んで居る。又毎年一二月に開催せられる 藥令市は藥材を主要取引物資とし其取引高七〇萬圓、殆ど一ヶ月間を通じて開市せられ、本道内は勿論遠く全鮮各地からも參集するもの幾萬に上り、市内は非常な盛況を極める。▲類慶館 府内上町にあり、大正一四年大正天皇御即位記念として慶尙北道居住朝鮮人の寄附設立に係るもので慶尙北道商品陳列場となつて居る。

〔主なる旅館〕唯屋(驛から二〇〇米)、花屋(同上)、小山(驛前)、立花屋(同四〇〇米)等、何れも茶代廢止にて一泊料三圓乃至六圓。

〔大邱の車馬賃〕▲自動車一時間三圓、半日一五圓、一日三〇圓。▲タクシ一人一五〇錢、三人迄七〇錢、六人迄一〇圓。▲バス市内一回六錢。

新羅古蹟

大邱から東海中部線により、慶州・佛國寺方面に至れば、そこには驛を中心として二千年前半島に覇を稱へた新羅朝榮華の史蹟が散在して居る。城址・寺院・陵墓其他工藝美術の見るべきもの多く、我余良朝文化の淵源を推知することが出来る。

〔慶州地方遊覽順路〕

慶州驛(六〇〇米)―博物館(二軒八)―瓢岩(二〇〇米)―四面石佛(一軒半)―芬皇寺(七〇〇米)―雁鴨池(四〇〇米)―石水庫(三〇〇米)―瞻星臺(三〇〇米)―鶴林(一軒)―五陵(二軒)―鮑石亭(六軒八)―武烈王陵(二軒八)―驛歸着。以上自動車で二時間半位、賃乗合三圓二〇錢、徒歩なれば五―六時間位を要する。

〔佛國寺附近遊覽順路〕

佛國寺驛(三軒半)―佛國寺(三軒)―石窟庵(三軒)―佛國寺(三軒半)

京城

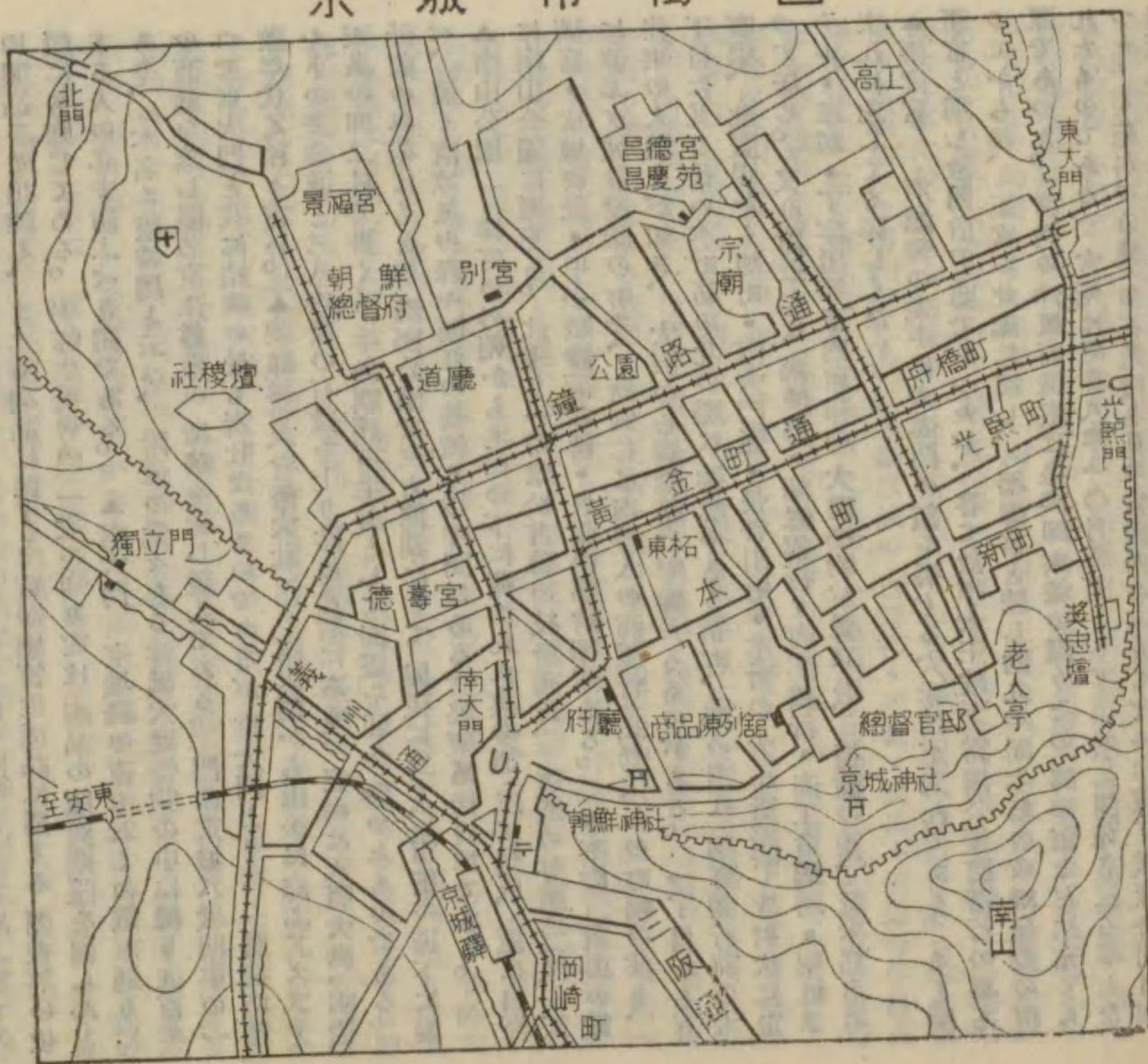
京畿道京城府。

▲釜山から急行七時間五分(四五〇料五)、一等一九圓八五錢。二等一二圓六三錢、三等七圓。

京城府はもと韃國の首都で、李朝歴代皇居の地として政治、經濟其他主なる機關の中心地を爲して居る。地は北緯三七度三四分、東經一二六度五九分位に位し、北に北漢山・鷹峯を負ひ、西北には仁王山、東に路駝山聳え、南は南山に面し、漢江の巨流洋々として府の東南を繞つて居る。今人口三八二、四九一(内地人約一〇萬六千、鮮人二七萬、其他五千餘)で、内地人は本町・南大門通を中心として龍山方面へ市の東南部に居住し、朝鮮人の家屋は鐵路を中心として多く北西部に集中して居る。又貞洞附近には英・米・露の領事館を初め、歐米人の住宅があり、水標附近には支那人が多く集つて居る。

〔旅館〕朝鮮ホテル(長谷川町、總督府鐵道局經營、純洋式にて八〇餘室あり、室代三圓以上、食料朝一圓、晝二圓、夕二圓半、③三食付一二圓、室代六圓、電木局四二七〇)、備前屋(長谷川町、驛一軒一、電木局四三圓、和室三八、一泊四圓一〇圓、洋室五、食事付四圓半―七圓、②六圓)天真樓(南山町二丁目、驛一軒一、電同七二・三四九、和室一九、一泊四圓半―七圓半、②六圓)、山本(本町二丁目、驛一軒三、電同三二五・三二六圓半―七圓半、②六圓)、不知火(旭町二丁目、驛七〇〇米、電同七一九・二一二、室二二、一泊四圓―七圓半、②五圓)、笑福(御成町、驛二〇〇米、電同二五五・三六一、室二五、一泊四圓―七圓、②五圓)、御成(南大門通五丁目、驛一五〇米、電八四三・二〇二九、室二五、一泊同上、②五圓)、大東館(南大門通五丁目、驛一〇〇米、電同二八二〇・二八三〇、室二〇、一泊同上、②四圓)、二見(古市町、驛五〇米、電同六八八・七二四、室二〇、一泊同上、②四圓)。

京城市街圖



佛國寺驛(三軒六)―掛陵(三軒六)―伊國寺驛―慶州驛。以上自動車で約四時間、乗合一圓九〇錢、賃切一五圓位、徒歩なれば一日を要する。

古蹟遊覽には慶州又は佛國寺に一泊する方がよい。慶州中心の遊覽には乗合自動車を利用出来る、料金一人五〇錢で乗合客の無い場合は三圓二〇錢。

佛國寺驛と佛國寺間及掛陵間にも乗合自動車がある。料金各四〇錢。

〔旅館〕柴田(慶州五、驛六〇〇米、バス二〇錢、室一七、一泊③三圓半)朝日館(以上慶州)、佛國寺ホテル(慶尙北道慶州郡進峴里、室六、一泊四圓、六圓、④四圓)。

▲大邱―慶州間六九軒、汽車二時間五分、二等一圓九四錢、三等一圓〇七錢、又は乗合自動車で一圓一五錢、五往復。

▲慶州―佛國寺間一軒五、汽車約四〇分、二等三四錢、三等一九錢又は乗合自動車で二〇錢、二往復。

大田

忠清南道大田面。

釜山から急行約五時間(二八三軒二)、一等二二圓五〇錢、二等七圓九六錢、三等四圓四一錢。

此處は鐵道開通と同時に開かれた新市街で、いま人口約二萬人を有し(その内内地人七千餘人)、附近村邑の物資吞吐市場として長足の發展をなした新開地だけに凡てが純内地式なのが、の特長である。郡廳・中學校・女學校がある。こは郡山・木浦方面に行く湖南線の分岐點で近くには儒城溫泉がある。

〔旅館〕大田、花屋、千歲、玉屋。一泊二圓一六圓。茶代廢止。

水原

京畿道水原郡水原面。

釜山から急行七時間四分(四〇八軒八)、一等一八圓〇〇錢。二等一四圓四六錢、三等六圓三四錢。

京東鐵道の出岐點に當り、人口約一萬三千人(うち内地人一千五百餘人)昔から樹の都または水の都と云はれて居る。邑は水原驛から約二軒二(乗合自動車一五錢)、八達山の麓に位し、城廓は李朝正祖王の意圖で三年の日子を費して成つたものである。附近に勸業模範場・農林學校・蠶業試驗場等があつて朝鮮農事研究者の見逃すべからざる處である。

〔名勝地〕八達・長安・華西・蒼龍の四大門、之れを連ぬる城壁一萬三千尺、華翠殿・八達山上の華城臺、今は壞れたが有名だつた華虹門、其の上の訪花閣柳亭、練武亭等がある。

佛國寺驛(三軒半)―佛國寺(三軒)―石窟庵(三軒)―佛國寺(三軒半)

室二〇、一泊四圓一六圓、(五圓)、三重(蓬萊町一丁目、驛五〇米、電同二八二・六四五、室三〇、一泊同上、(四圓)、大塚(御成町、驛三〇〇米、電同二一〇三・二八九七、室一四、一泊四圓一七圓半、(五圓)、浦尾(本町二丁目、電木局一・一七、(四圓)、其他。

〔遊覽道路〕

▲平日の日程(遊覽バスを利用)(婦人案内者付) 京城驛(午前九時發)―朝鮮神宮―博文寺―經學院―品慶苑―バコダ公園―總督府―景福宮―商工獎勵館―車庫着(午後の順路は略これの逆になる)。料金二圓二〇錢。

▲一日の日程

停車場―商工獎勵館―南大門―朝鮮神宮―南山公園―恩賜科學館―(以上全部徒歩)―水樂町―(電車)―品慶苑―品慶苑(晝食)―(電車)―バコダ公園―(電車)―總督府―景福宮(徒歩)―美術品製作所―(徒歩又は電車)―朝鮮銀行前(夕食後本町夜景)。以上電車で約八時間。

▲二日の日程(電車又はタクシーを利用)

(第一日) 朝鮮神宮―恩賜紀念科學館―博文寺―品慶苑―秘苑拜觀(午前十一時)―(晝食)―經學院―京城運動場―東大門―東大門市場―朝鮮上流の家庭又は妓生の私宅を視察し、夜は鐘路の夜店等。

(第二日) 商工獎勵館―バコダ公園―總督府廳舎―景福宮―勤政殿―慶會樓―博物館―午後仁川、清涼里、碧蹄館、洗劍亭、漢江、金谷陵等の近郊視察夜は本町を散策、その他へ。

〔市内の交通機關〕 ▲電車 市内(含龍山)五錢均一。郊外別に五錢均一。(義州通)麻浦間、東大門―清涼里間、光熙門―往十里間) 市内郊外二區連絡八錢、同三區一三錢。▲自動車 タクシー四人乗市内八〇錢均一、貸切一三〇分二圓、一時間三圓、五時間一四圓、一〇時間二五圓。

▲乗合自動車―春川、楊平、原州、忠州、堤川、碧蹄、德治等行定期便がある。右の外京城電氣會社經營の乗合自動車がある。六時から後一〇時迄、市内五錢均一、電車との乗換券を發行する。▲市内遊覽自動車一人二圓二〇錢。

(前九時及び午後一時の二回、京城驛及び長谷川町の京城自動車會社前を出る。所要約三時間半、二哩、婦人案内者が附く、但一月―三月間は午後一回發車し、五人以上の乗客あるときのみ午後も出る。

る。金銀玉石等に朝鮮的の意匠を施したるものや、筆紙文具、家具等朝鮮特有のものも陳列公開し、一般に販賣してゐる。

▲景福宮 李朝太祖が開城から京城に都を遷し白岳の南麓に初めて宮殿を建て景福宮と稱した。當時のものは輪奐の美を極めた相當豪華なものであつたが文祿の役に加藤・小西の先鋒日本軍の入城に先立つて亂民の爲に灰燼に歸し、爾來二七〇餘年間廢宮同様となり草木の生茂るに委せてあつたが、攝政大院君が深く王室衰微を嘆じて再建を企て明治初年竣工するに及んで再び王居となつたものである。其後明治二九年李太王露國公使館發行の事あつて再び廢宮となり現存の勤政殿・思政殿・慶會樓等の主要建築を築し他は移轉又は取毀はされ今日に及んでゐる。當時の宮殿は周圍約三〇丁の大城壁に圍まれ敷地面積一三萬坪に及び正面は光化門と稱し先年東側に移築されたが、今尙嚴然と昔を語つてゐる。雙高い勤政殿は朝見の大禮を行はれた處で、裏の慶會樓と共に李朝末期に於ける代表的建築の一である。▲總督府博物館 景福宮の構内にある。樂浪・三韓の發掘物、新羅時代の佛像・王冠、高麗時代の陶器、李朝時代の漆器・書畫等を陳列してゐる。(入場料五錢、休祭日の翌日は休館)。

▲朝鮮總督府 光化門通の正面、花崗岩で造られた宏壯なる白堊殿は半島統治の元緒で工費六三〇餘萬圓を投じ一〇年の歳月を費して完成したものである。廳舎の玄關・廊下・會議室等は、色彩美しい鮮麗の大理石を以て裝飾し殊に大ホールの壁畫は和田三造畫伯筆になり内鮮融和を表徴したる神話を畫した頗る傑作である。▲普信閣 南大門通と鐘路通の四ツ辻南隅に朝鮮式樓閣がある。中に在る巨鐘は高さ一丈、周圍二丈餘、今を距る四四〇餘年前、李朝正祖一三年に鑄造せられた南大門の樓上に置かれて朝夕各城門に開閉の時刻を報知するに用ゐたものと云ふ。鐘路通は府内最盛の朝鮮街で、李朝時代には官商此處に軒を並べてゐた城の追手通であつたと云はれてゐる。▲バコダ公園 普信閣の東手にバコダ公園で通つてゐる塔洞公園がある。此處はもと大圓覺寺のあつた趾で、園内には名高い一三層の寒水石塔がある。塔は圓覺寺建立と共に世祖の時に高麗敬天寺塔を模して建てたもので周圍一面に佛像などを彫刻し石質技巧共稀に見るの逸品である。

▲昌德宮 鐘路通りから左手に遠く見える教化門は李太王妃殿下御住ひの昌德宮である。宮は李朝三代太宗の五年に離宮として建てられたもので其後再度の火災に罹り、今建物は文祿役後に再建せられたものである。正門たる

朝鮮 (京城)

〔市内の名所〕 ▲商工獎勵館 南大門の左に見える煉瓦建の宏壯な建物で、總督府殖産局の管理に屬し、主として朝鮮の生産品を陳列し參考品として内地製品も出陳し、また陳列品に關する質疑應答生産品に關する調査等の依頼にも應じてゐる。朝鮮生産界の一般を知り或は商品の販賣擴張を圖らんとする人の必ず訪ふべき處である。▲南大門 京城驛の直ぐ近くの電車通りにあり、本名を崇禮門と云ひ、附近の堂々たる洋風大建築物の中に獨り五百年の昔蘇を蒸し儼然東洋藝術の精華を示し譽えてゐる。門は京城八城門中の一つで東大門と共に結構の最も宏壯なるものであるが東大門よりは一層技巧精緻年代も稍々古い。▲朝鮮神宮(官幣大社) 南大門から山手に向ふアスファルトの表參道と三三四段の石段を上り詰めた所にある。祭神は天照大神、明治天皇の御二柱で長くも半島鎮護の主神として御靈を運へ奉つたものである。社前の外苑はもと、漢陽公園で三方開潤にして展望に宜く、市街を脚下に展べ、遠く清涼里の森や漢江の長流も指呼間にある。眺望絶佳の地である。

▲南山公園 神宮の外苑から老松の下に開かれた真參道を下れば、道は自然に南山公園に通ずる。此邊り一帯翠松古雅の枝を垂れ、逍遙の好適地で、天満宮・京城神社・甲午戰勝紀念碑・恩賜科學館等がある。▲木町 南山の麓に伸ぶ京城最盛賑の町で、兩側には内地人の商厦軒を並べ、その町幅の狭き、往來の人賑るが如き、大阪の心齋橋筋に髣髴たるものがある。一丁目から五丁目に至る長い木町筋の北の端は遊廓のある新町、南の端は朝鮮銀行前の大廣場、此廣場から旭町・南大門通・長谷川町・木町の大小街路が放射狀に走つて居る。又此附近には郵便局・朝鮮銀行・商業銀行・商工會議所・朝鮮ホテル・三越・丁字屋等市内屈指の大建築物が聳立し、街衢の美、歐大都市の夫れに比して恥しくない。

▲德壽宮 府廳舎の左手に大漢門の額を掲ぐる大赤門が夫れである。もと慶運宮と稱し故閣後の邸であつたが、嘗て故李太王殿下露國公使館發行の事あつてから後、正宮の此處に移し、德壽宮と號し約九年間半島の政機發動の根源であつた。宮内の洋風石造殿は皇族御來城の約りその御旅館などに充てられたものである。宮苑は昭和八年一〇月公園として一般に開放される事となつた。入苑料三〇錢(但石造殿を見ず宮内のみならば一〇錢) 觀覽時間自四月至九月は八時から五時迄、自一〇月至三月は九時半から四時迄。一二月二日から一月四日は休み。▲美術品製作所 太平通の鐘路通に近き處にあ

教化門を入ると右に李王職、左に仁政殿、讀いて宜政殿、奥まつた所に日常の御座所たる大造殿がある。此處は普通一般に開放されてゐない。

▲昌慶苑 李王家が京城府民の爲めに庭園の一部を解放し園内に博物館、動物園等の設備を施したもので、今は四季を通じ京城府民唯一の娛樂地となつてゐる。此處はもと、嘉康宮と稱した宮跡で正門を入ると突當りに明政殿がある。高麗末期の建物で、殿が東面して建てられて居る事と京城最古の建築物たる事に於て考古趣味家の注意を惹いてゐる。明政殿の附近にある點々棟の舊殿址には博物館と共に新羅以來の古器物・佛像・武器・書畫等半島古今文化の一端を窺ふに足る好資料を陳列し、動物園・植物園は孰れも汎く珍奇なる動物・植物を蒐集し殊に動物園では河馬が有名である。蓮泉の美で知られた秘苑は植物園から奥、宮殿の背後にある鷹臺の麓で、丘隆遺通として老樹の綠濃く、丹碧鮮やかな樓閣・沸亭は其間に散在して實に幽邃の境地をなして居る。▲品慶苑 入苑料一〇錢、植物園本館一〇錢、博物館本館一〇錢。神苑は品慶苑に續く李王家の庭園で、李王職の許可を得れば木曜日を除き毎日午前一時及び午後二時の二回拜觀が出来る。(拜觀料は無料、豫め鐵道局營業課に申込んで置けば手配して呉れる)。▲經學院 鐘慶苑前から北に約半軒のところに在る。院は文廟を中心とした儒林の學堂であつて、廟には孔子を主座とし顔子・思子・曾子・孟子等の聖哲を祀り、明倫學院が附置されてゐる。朝鮮太祖の創建に係り建物は火災の爲め改築されたが歴代典祀を絶たず、今も尚毎年春秋二回舉行される祭典は朝鮮年中行事の一つとなり最もクラシツクな朝鮮古樂が此所に傳はつて居る。▲京城帝大 經學院から東大門に出る新道の兩側は京城の學校町で京城帝大・高等商業・高等工業・醫專等の諸建物が並んで居る。▲東大門 南大門に次ぐ壯麗なもので門の城外には有名な朝鮮市場大關羽を祀る東廟などがある。▲獎忠壇公園 南山北麓の松翠を負ひ、溪流あり丘岡あり、市賑を離れた閑靜な公園で、春秋の候市民の杖を曳き散策するものが多く故伊藤公の菩提寺博文寺がある。此處から一丘を越せば待合、遊廓のある新町に出で、更らに大和町の奥へ南山麓に進めば、明治二七年の碩大島公使が韓廷の重臣と會同し時局に就き面議を重ねた山莊の老人亭がある。

▲獨立門 義州通にある石門で、日清役の結果、朝鮮が獨立國となつて全く支那の覇權を脱したる紀念に建てたものである。

▲博文寺 獎忠壇公園の丘上にある鐵筋コンクリート造りの寺院で伊藤博文公

の壁を祀る曹洞宗の寺院である。同寺は昭和七年に竣工し境内の裏に廻ると城壁が見える。

【夜の京城】 夕食後夜の京城漫歩には本町通りか鐘路通りの土産物屋を窺見するのよい。南山公園が漢江にドライヴして見るのよい。また朝鮮料理屋に行つて妓生と妓生の舞を見るのも一興である。ローカル・アトラクションとして名物の妓生(キイサン)は、もと官妓と云つて位を有し宮中の宴席や兩班(ヤンバン)の酒席に侍り、鎌倉時代の白拍子に似たものである。今日では一般民衆の宴席に侍りて朝鮮料理屋でも日本の料理屋でも呼ぶ事が出来る。妓生の大半は日本語をよくし流暢なものも少なくない。妓生は長鼓(チャング)と云ふ太鼓を叩いて宴席の興を添へ、彼女等が歌ふアリラン 愁心歌は世界的に有名な歌である。妓生花代一本(三分) 六五錢。最初の二時間三本約束にて賄ひ制度なし。遊興税一本に付四錢、車代八〇錢。

南山町と旭町方面には一流の日本料理屋がある。
▲日本料理 花月本店(本町二)、咲良喜(旭町二)、幾羅具(南山町二)、千代本(旭町一)、千代新(旭町一)、岸の寮(旭町二)、喜久屋(旭町二)、白水(旭町一)、南山荘(西四軒町)、都島(旭町一)、花月別荘(南山町二)、白雲荘(清雲洞)、京和亭(旭町一)、京喜久(旭町二)、加茂川山荘(南山町)。
▲朝鮮料理屋 明月館(敦義洞)、天香園(仁寺洞)、食道園(南大門通)、松竹園(樂園洞)。
【百貨店】 三越支店(本町一丁目)、店内にツーリスト・ビュローがある。
三井(本町一丁目)、丁字屋(南大門通)、平田(本町一)。

龍山 京城から南方一帯の市街の總稱であつて、更らに舊龍山と新龍山の二區に分けられて居る。京城から龍山を貫通し漢江河岸に、直路の線は新龍山を貫き漢江人道橋の中央まで達して居る。電車分岐點の練兵町一帯は文祿の役加藤清正の駐陣した所である。陸軍倉庫の邊りは食糧米倉庫のあつた處である。舊龍山市街は昔からの舟附場龍山津の繁昌したもので、其所には書籍印刷會社、京城電氣會社の發電所、瓦斯ドム、考昌園、彌生町遊廓などがある。新龍山は明治三十七年京義鐵道の出發點となつて以來、鐵道の諸機關、住宅等此所に置かれ、昨日の一沙洲は忽ち市街地と化し、後に陸軍諸官衙の設置により一層發展を示したもので今や歴史ある 舊龍山の繁榮を凌駕する盛況を示して居る。此方面には軍司

仁川

京畿道仁川府。

京城から汽車五五分(三八九)、二等一圓一〇錢、三等六一錢。
釜山、元山に次ぐ古い開港場で、地位恰も東京と横濱の如く京城の咽喉を扼して居る。港内に月尾島横はり其内を内港と稱し、島外には永宗・龍遊其他諸島嶼甚列して自ら一大灣状を形造つて居る。此地は黄海を隔てて中部支那の諸港と相對し、對支貿易の第一位を占めて居る。人口六萬八千(内地人一萬一千、支人一千五百)。

〔旅館〕 湖湯ホテル(月尾島、電仁川九〇・一〇三、一、室一八、一泊五圓六圓半)、旭屋(濱町七、驛二軒六、電二五、一、室一八、一泊二圓一五圓半)、淺岡(仲町一丁目、驛一軒二、電五三、室一七、一泊同上)、仁川(濱町五丁目驛二軒半、電四三五、室二、一泊同上)、菊屋(驛前、電九六三、室二、一泊同上)。

〔遊覽順序〕 驛—西公園—東公園—船渠—月尾島—湖湯—驛。自動車を利用する場合所要時間一時間四圓、徒歩同三時間。

〔名所〕 ▲西公園 驛から二〇〇米、居留地會の施設したもので、市街の背景をなす丘陵の上にあつて、山手町にある處から山手公園とも云ふ。丘上からの眺望は殊に良く月尾島・小月尾島・永宗・龍遊・舞衣の諸島を一眸に収める事が出来る。今此處に日露海戦の記念に千代田艦の橋が建てられてある。

▲東公園 驛から二軒二、仁川公園とも云ひ、園内には大神宮・金尾比羅神社・天満宮等がある。▲仁川船渠 東洋唯一の閘門式船渠で、西面する九〇間の閘門壁に二個の鐵製閘門を附し、滿潮の時は門を開いて河船を出入せしめ、干潮の時は門を閉ちて渠内を海水を保つ設備で、船渠の三面には鐵道引込線を敷設して荷扱に便してある。▲月尾島 市街の西方仁川驛の裏手から約一軒のコンクリート築堤を以て陸路と接続してある。乗合自動車一〇錢(列車に接続)南方に小月尾島・八尾島を望み港内一圓の眺望亦絶佳である。八尾島沖は日露の役コレット・ワリヤークの二露艦撃沈の場所として知られ、島の北方には湖湯・遊園・別荘・旅館等の娯樂機關を設備し遊覽地として春から秋にかけて京仁市民の出掛ける者が頗る多い。▲湖湯 月尾島の右端小高い岡の上に立てられた和洋兩式の建物で、階下には男女兩浴槽を設備して絶えず湖湯を噴出せしめ、階上は休憩及娛樂室に充て、舞臺・賣店などが設けられてある。尚本館の裏手には二大水泳プールと右側海岸の崖に臨みては純日本式の貸間、家

朝鮮

鮮 (仁川・元山)

令部・師團及旅團師令部・歩兵第七八、第七九聯隊並鐵道局・鐵道工場・總督官邸(特殊の場合に限り使用す)などがある。

漢江 朝鮮五大川の一つで京城の南郊を環流し、上流忠州から京畿の農産物、下流仁川から海の産物を京城に搬入する朝鮮舟の水路をなし、京釜街道の交通に便利な人道橋も架けられてある。此橋から舊龍山河岸へかけての河筋は、春夏の候投網・釣魚・舟遊に適し、冬は豪快極まりないスケートの滑走場となつてゐる。

京城郊外

▲清凉里 京城の東南郊を迂回する京元線清凉里驛附近の總稱で、東大門から電車も便もある(約三〇分、片道八錢)。此の附近道路の兩側には楊柳が緑の枝を垂れ、起伏せる丘陵には松樹繁茂し、其清々しさ實に清凉の名に反かない散策の好適地で帝國大學豫科・林業試驗所・農業學校・清凉寺等がある。沿道から左に折れて少し入ると松林中に普賢殿の御陵墓がある。▲東九陵 清凉里から春川街道を進み、忘憂里の峠を踏え左折一軒程の所、九陵山の山腹老松鬱蒼たる處に李朝太祖以下七王二妃の御墓がある。附近の溪流は樹蔭に潺々音を立て頗る幽邃の境地を成してゐる。▲牛耳洞 東大門から八軒餘、鐵路京元線によれば倉洞驛から三軒餘の行程である。背に北嶺山の峻峯を背負ひ奇石縱横の溪谷には潺湲の水があつて頗る景趣に富んでゐる。洪良浩といふ人の體棲した人外の境地で洪氏が内地から移植した櫻樹によつて櫻花の名所となり花季には京城から市民の一賑を提げて先見に出掛けるものが多い。

▲望月寺 市元線倉洞驛政府間、望月川の臨時停車場から川に沿つて小徑を登ること約三軒、道峯山の峻峭勁拔なる、岩石の直下極めて景勝の地に望月寺がある。途中三軒の山路は樂ではないが、景致よい溪流に沿つて登つてゐるの其の山水美に恍惚として其の苦を忘れる程である。京城から春、秋一日の郊外散策地としては絶好の地である。▲洗心亭 景福宮の裏手北門から坂を北へ下ること約一軒許り、溪流が急瀾をなす懸崖に建てられてゐる。李貴・金流玉等の志士が光復を志し仁祖王を擁立せんと此處に集つて軍議を凝した所で、洗心亭とは當時義士の血を吸り劍を磨したに因んだものだと云ふ。尙此附近には白佛・私習門・七間水など見るべき所がある。

旅湯・宿泊客の爲に旅館部も設けられてある。▲江華島 漢江の河口に流れる朝鮮五大川の一つで、仁川から毎日汽船の便がある(河船賃は三等五〇、二等一四〇)。往時防備便を置かれた所で、明治八年雲揚艦を砲撃したのは此處の砲臺で、其の跡は今尙残つてゐる。島の主邑江華は昔江都と稱し高麗の高祖が蒙古の兵禍を避けて一時此處に首府を置いたこともある處で、山間には高麗時代の弘陵・坤陵・碩陵等の陵墓及び傳燈寺・積石寺等がある。

京元・咸鏡・北鮮線

京元線は京釜線の龍山驛から分岐して朝鮮東海岸の元山に至る二二三軒七分、咸鏡線は元山から更に北に延びて會寧に達する六一七軒六分の線路である。北鮮線は會寧から尙北進して滿洲國境を流れる豆満江の流域に沿ひ、環状形をなして朝鮮最北の雄基港に至るものである。列車は此の三線を通じ京城—上三峯(朝開線分岐點)迄二・三等寢臺車は直通列車を運轉してゐる。又咸鏡線の一部國門會寧間及北鮮線は滿鐵會社が委任を受けて經營してゐる路線で、清津發北鮮南陽から豆満江を距て、府岸滿洲國國門街を経て吉林新京への直通列車が運行し、經濟的價値の高い滿鮮交通新幹線をなしてゐる。

元山

咸鏡南道元山府。

京城から急行約五時間(二二六軒九)、二等三圓三六錢、三等三圓五二錢。
元山は朝鮮東海岸に於ける唯一の良港で、下關へ三八〇哩、敦賀へ四七〇哩、釜山へ三〇〇哩、浦蘆へ三三〇哩、灣内水深く錨地亦廣く大船を碇泊させることが出来、北鮮海陸物資の中樞所として、朝鮮名産たる明太魚を首め麻布・大豆・干鰯其他の魚類・棉花・綿布・紡績絲・食鹽・雜貨等の集散地である。人口三萬九千餘人(うち内地人一萬餘)。

〔遊覽地〕 港灣一帯を俯瞰せらる、長徳山・白沙青松の松亭里・稍々離れては居るが加藤清正の築造した望徳山などがある。
〔旅館〕 大東館(旭町二丁目)、愛媛館(海岸通)一泊四圓一七圓。茶代廢止。

金剛山

金剛山とは朝鮮半島の脊梁を爲してゐる白頭山の連脈が江原道の東北部に於て一大山嶺を生じた奇峯怪嶺、所謂一萬二千衆峯の綜合名辭で、世界の名山之と奇絶を争ふものなく、其の豪宕・崇高なること百の耶馬溪を以てしても尙金剛山のそれを説明する事が出来ぬ。

金剛衆峯の地域は海陸にかけて約十餘方里に亘り、大別して内金剛(金剛の正脈である將軍、白雲の連峯の内部に位する部分)を云ひ長安寺・豐源庵・望軍臺・三佛岩・表訓寺・萬瀑洞・摩訶衍庵・毘盧峯・妙吉祥の諸勝がある。毘盧峯は山中の最高峯で標高一、六三八(米)・外金剛(内金剛と沿岸連峯の間を沿ひ、寒霞溪・萬物相(一、二四〇米)・神溪寺・王流洞・九龍淵の諸勝がある)・海金剛(沿岸連峯の日本海に没する高城附近の三日浦、立石里濱を云ひ、岩礁亂立の奇景を爲してゐる)としてゐる。

金剛山を構成してゐる岩類は太古界から新世界に亘る可成り多くの種類を網羅し、その主要岩石は黒雲母花崗岩であるが、石理割合に粗き爲め風化作用を受け易く、幾千年の風化浸蝕により變幻極りなく、又端倪すべからざる怪奇の岩體を現してゐる。そして之等が悉く光澤ある紫紺色を帯び、雄大豪壯の山容を形作つてゐる。

勝景の金剛山は又一面に傳統美と建築美とを併有してゐる。華嚴經に曰「東北海中金剛山あり一萬二千峯曇無竭菩薩常に其中に住す」と又三藏經の「八萬由旬一萬二千峯曇無竭常に其間に住す」とあるは皆此山の事で三千年の昔釋尊在世の時代既に世に現はれ、三韓時代には内外金剛百八箇寺の稱があつた位で、當時鮮内は勿論支那からの巡禮者も絶えなかつたものである。其後山中の名刹屢々祝融の災に逢ひ往時の面影はないが、尙ほ長安寺・表訓寺・神溪寺・楡帖寺等の大伽藍及び幾多の末寺が山中に點在し、絶壁の下、幽谷の裡に、朝鮮藝術の粹を蒐めた碧棟朱楹の建築物を見て、其の秀麗と壯嚴の光景は旅客に深い印象を與へずには措かぬ。

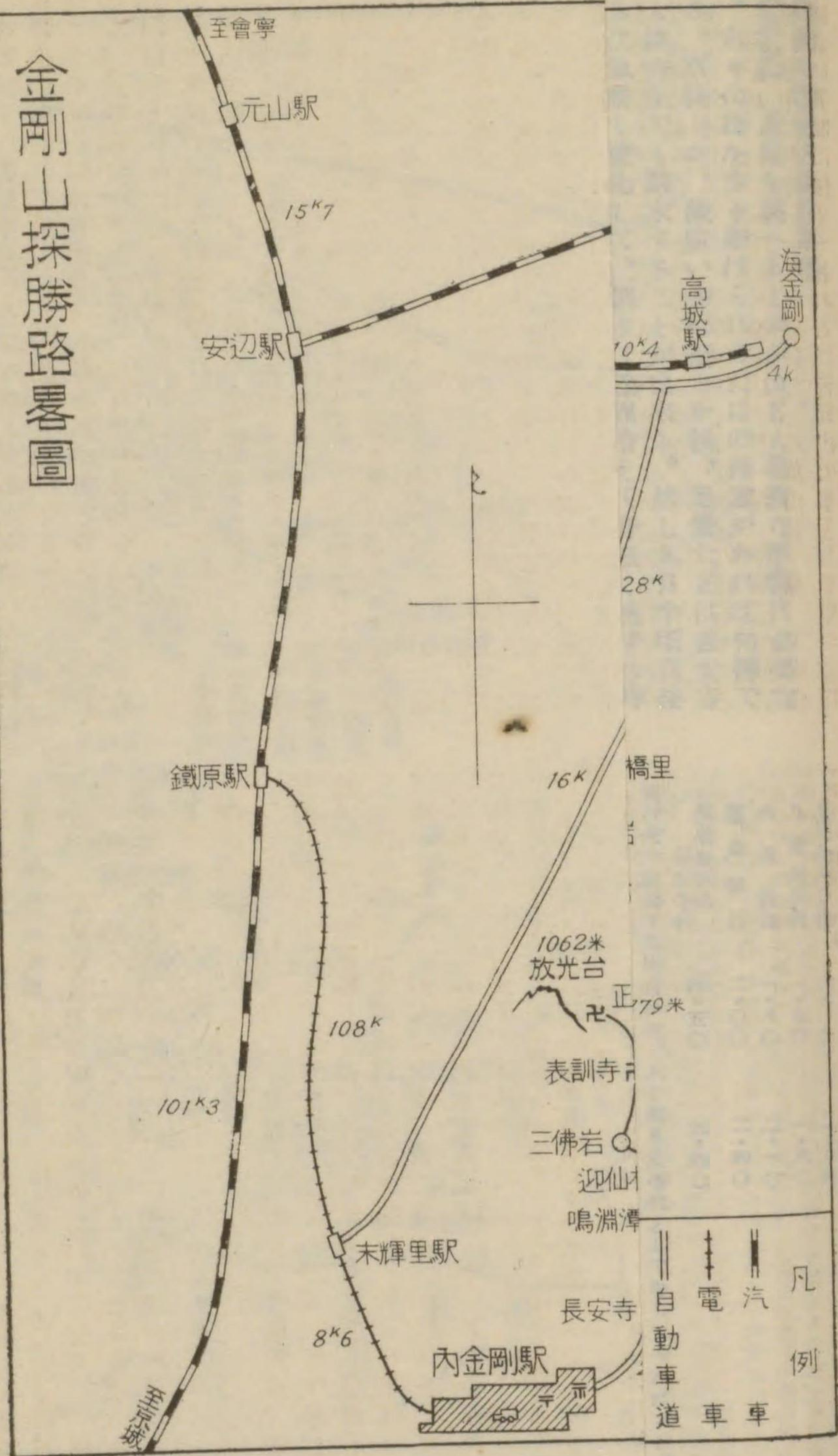
探勝順路

【内金剛に行くには】 京城から鐵原までは汽車、鐵原から内金剛(長安寺)まで電車で行くのであつて、年中通じて連絡する列車が運轉してゐる外、毎年五月から一〇月末までの探勝季節中は京城から毎日連絡する列車を運轉し、毎日曜・祝祭日の前夜京城發の元山方面行夜行列車には二、三等寢臺車を連結内金剛まで直通せしめ、寢ながらにして長安寺まで行くことが出来る。

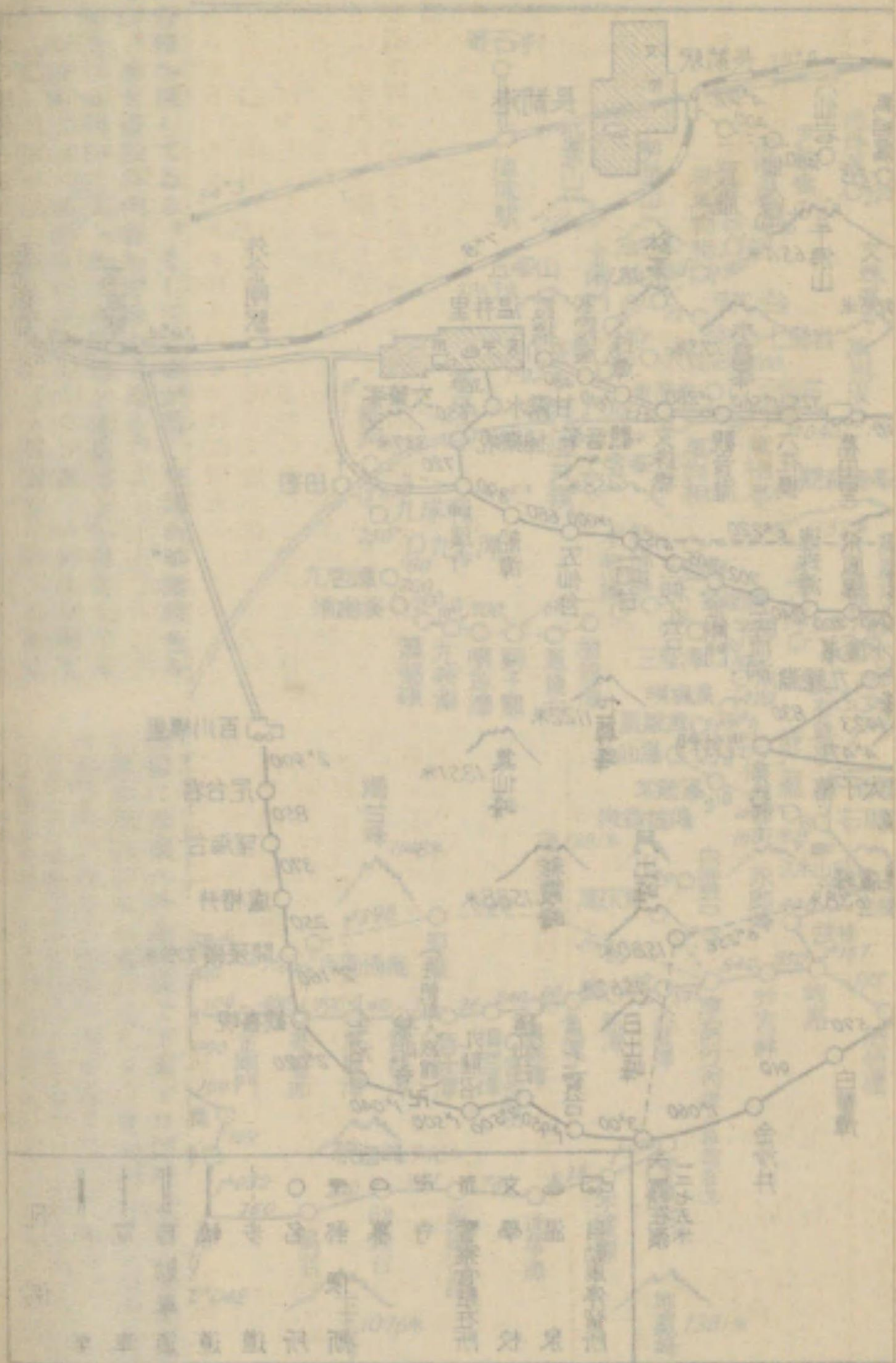
長安寺は内金剛探勝の根據地で松林鬱密たる附近は閑靜な避暑地として知られ長安寺ホテル・蓬萊館・内金剛館其他鮮式旅館が軒を並べてゐる。内金剛驛前には不知火旅館・公會堂等がある。

【外金剛に行くには】 外金剛には京元線安邊驛で東海北部線に乘換へ外金剛驛で下車すれば外金剛の秀嶺を背にした温井里邑が目に見える。外金剛驛から温井里邑までは約四軒、乗合自動車が列車毎に走つてゐる。

温井里は外金剛探勝の準備地で温泉も湧出し、内鮮の旅館・土産品店等揃ひして相當設備を呈してゐる。内地旅館には内湯の設備もあるから登山の疲れを癒すには充分である。



金剛山探勝路畧圖



探勝の準備と注意事項

【旅装】 旅装を調へると云ふほど大袈裟な準備は必要なく、たゞ山路を歩き廻はられるだけの用意があれば結構である。草鞋とか、縁廣い麥稈帽とか杖、足袋などは長安寺でも温井里でも購求することが出来る。然し九月半頃以後からは氣候も變化して、朝夕は餘程冷えて肝寒く感ずる時もあるから、毛セーター類を用意すれば尙更よい。

【案内人】 山中の通路は最近完備して迷ふ様なことや危険なことは少しもなく、案内人の必要を殆んど認めない位整然としてゐるが、荷物の多い場合とか、傳説等を詳細に知るには案内人を備つた方がよい。案内人は大抵朝鮮人で外金剛探勝の場合は温井里で、内金剛探勝の場合は長安寺で備ふことになつてゐる。

料金は距離の遠近・行先によつて各差異があるが大體左記の通りである。

内金剛長安寺から

明鏡臺往復 五・五〇
摩訶衍往復 五・五〇
望雲臺往復 五・五〇
白雲臺往復 五・五〇
毘盧峯往復 五・五〇

案内者一日一人につき
自一人 至五人 五・五〇
自六人 至十五人 一・八〇

自長安寺至温井里(毘盧峯越) 四・〇〇
料金の二割増、一人以上五人迄は前記
料金の二割増、一人以上五人迄は前記
料金の二割増、一人以上五人迄は前記

舊萬物相往復 一・五〇
新萬物相往復 一・九〇

朝鮮

鮮 (金剛山)

舊萬物相、九龍淵往復 各五・五〇

奥萬物相往復 二・二〇
九龍淵往復 一・五〇
八潭往復 一・八〇
温井嶺行 二・〇〇
毘盧峯經由 四・五〇
長安寺行 五・四〇

【探勝季節】 金剛山の探勝には五、六月の新緑及九、十月の紅葉の候が最もよい。

探勝割引乗車券
金剛山探勝客の便宜を圖り年中通して朝鮮總督鐵道局線の各驛(除前易驛)から探勝割引往復並に廻遊の乗車券を發賣してゐる。

個人旅行の場合 汽車電車賃三割引額 (學生) 四割引額
團體旅行の場合 同一〇人以上四割引額 同一二〇人以上五割引額 (五〇人以上の學生團體は所定の割引額)

金剛山探勝三等割引乗車賃金表

驛別	種別	
	別	別
釜山	單	内金剛往復
	獨	外金剛往復
京城	單	内金剛往復
	獨	外金剛往復
新州	單	内金剛往復
	獨	外金剛往復
清津	單	内金剛往復
	獨	外金剛往復
會津	單	内金剛往復
	獨	外金剛往復
義州	單	内金剛往復
	獨	外金剛往復
會津	單	内外金剛回遊
	獨	内外金剛回遊

備考 團體の賃金は二人以上の場合の一人當りの算を示す。

内地から探勝の場合

日本内地からの探勝旅客は省線の發着から釜山迄左記割引に依られ成山から前記探勝割引乗車券を購求される方がよい。尙東京・大阪・下關の鮮満案内所及各地のジャパン・ツーリスト・ビュロー(日本旅行協會)案内所でも探勝割引乗車券を發賣してゐる。

内地省線各驛—朝鮮釜山驛間往復券(汽車汽船賃)

(個人) 二割引(通用二箇月間)

(團體) 一〇人以上三割引、二〇人以上五割引。

(學生) 内地省線二割引、朝鮮線四割引。

【洋式旅館】(總督府鐵道局經營) ▲内金剛山莊(長安寺)室九、電長安寺四宿泊料米式一日宿泊(三食付)七圓から一四圓半まで。歐式室料一日二圓から四圓半まで。②三食付八圓、室代三圓、食事料(和食)朝一圓、晝一圓五〇錢、夕二圓、(洋食)朝一五〇錢、晝二圓、夕二圓五〇錢。別荘料金パンガロ一三、室炊事場付五棟あり、一ヶ月一五〇圓、二ヶ月二七〇圓、三ヶ月四〇〇圓) ▲外金剛山莊(溫井里) 溫泉内湯あり。電外金剛五、室九、一泊三食付七圓乃至一四圓、③三食付八圓、室代三圓。普通室料二圓乃至九圓、食事料は長安寺ホテルに同じ。

旅館

【内地式旅館】 ▲溫井里(溫井里は外金剛探勝の出發點で溫泉が湧出し旅館には内湯がある) ▲嶺陽館(驛三料六、電外金剛一〇、室二八、④四圓、萬龍閣(電同八、室二一、④四圓)、松月(電一六、室九、二圓一三圓半)、▲内金剛驛前(不知火(③三圓)) ▲長安寺(内金剛旅館驛一料八、室八、③三圓) ▲蓮花館(驛一料六、室七、③三圓)、不知火支店(驛二〇〇米、室一五、③三圓) ▲摩訶衍(摩訶衍旅館、驛六料八、室一四、一泊二圓) ▲毘盧峯(久米山莊(毘盧峯頂上、内金剛驛一料八、室九、④三食付二圓、收六〇一八〇人) ▲【鮮式旅館】 ▲溫井里(溫井里) 楓岳、京城、東洋の各旅館。宿料普通一圓、上等一圓五〇錢、特等二圓(學生及團體は一圓乃至二圓) ▲長安寺(唯一、長安、金剛、松田、福壽の各旅館。宿料溫井里に同じ) ▲山内(楡帖寺、山映館(朝鮮式温泉あり、泊一圓五〇錢乃至二圓五〇錢))

【長安寺】 内金剛驛から二料〇四、約一、四〇〇年前(我羅羅帝の頃)、新羅法興王の命に依り真衣律師の創建せる古刹である。文祿の時一山全部烏有に歸したので、李朝世祖王の佛教尊信に依り歷代王室の歸依を得て、今の雄鷲殿を始め六殿七閣一門を建立し、現に四〇餘名の僧侶が朝夕勤行し、長慶庵・安養庵・地蔵庵・靈源庵等の末寺を有し山中四大寺の一の名刹となつて居る。【龜峯】 峯頭に龜が黃泉江の魚を鑿るに似た奇岩を云ふ。傳説に此龜が居るため、此の上流には魚族が棲息出来ぬといふので、此の溪の一名所とされてゐる。 ▲長安寺を後にして溪流に沿うて上れば右方から黃泉江と呼ぶ清流の合する所がある。此處を百川洞と云ふ。百川の急湍を渉り黃泉の幽谷に入り雄木林を貫く細路を數丁行けば石築の古城址がある。城址は約九八〇年前に新羅王(敬順王)が高麗に降るに當り王子は概世して此處に草根木皮を食して一生を終つた所と云ふ。龜峯は道の右側に聳立する奇岩で、其の先左側に地獄門と稱する天眞峯があり、尙進めば青葉の連山に圍まれた溪間に明鏡臺がある。【明鏡臺】 櫻紅色の方形巨岩が創立する奇蹟岩である。其の下には玲瓏明鏡の如き深潭黃泉潭がある。長安寺から一料七、約三〇分で行く。【靈源庵】 金剛山中最も清淨幽靜の靈地と云はれ、庵は新羅時代に靈源祖師が始めて結庵した修禪道場である。堂内寂として庭前に引く篋の音の外寂寂を破るものなく、師に三、四の修禪者が此處で結跏趺坐して居る。【明鏡臺】 出で巨岩の石門を抜け黃泉潭・黑蛇窟を見て累々たる轉石の溪谷を上り、楓や槭の老樹の茂みの中を行けば二料四五、一時間半で地蔵峯の北麓黃泉溪の終點靈源庵に達す。 ▲靈源庵から元の道を一派許り引返すと望軍臺への岐路がある。岐路から望軍臺まで約二料一。其先は所に水簾洞の溪流がある。【水簾洞】 望軍臺百塔洞の諸水は造塔場附近で集り、此處で十餘丈の大盤石に懸り左右に擴がり瀑々たる飛流となつて巖面を滑り、宛然珠簾を隔て蒼壁を望み見るが如き水簾瀑がある。【百塔洞と望軍臺】 百塔洞は塔の如き自然石が羅列し、或者は雨傘を立てた形をなし、或者は五層をナシ或者は一〇層又は三〇層の塔形を爲した怪岩が溪間を汎く埋めて居るので、此の名がある。望軍臺は數十層の崖壁を鐵鎖に纏つて上り詰めた所、幾千年か風雨に晒された花崗岩の稜角は失せて其の頂

【妙吉祥】 摩訶衍から約六四〇米、斷崖聳立する大岩壁面に文殊菩薩の結跏趺坐して拈華せる巨像を彫刻したもので傍に妙吉祥彌勒等の字を刻してある。高さ約四〇尺七寸、膝部の幅三二尺、前に二段の小石階を設け階上に一基の石燈籠を置いてある。 ▲吉祥寺から毘盧峯の岐路一八五〇米、夫から泗仙橋を経て内霧在嶺の頂上迄二料六八) 行路は密林鬱茂して紅葉する候は殊に眺めがよい。頂上は將軍・萬陣兩臺の鞍部で毘盧峯と日出・月出兩峯の連嶺する山梁、此處を境に内金剛・外金剛と區分され、東に落ちる水は日本海に注ぎ西に落ちる水は漢江に入りて黃海に注ぐのである。頂上から又密林を縫つて下り三料で七寫臺に至り、曲に一料四五下り溪流を横ぎると隱仙臺の岐路がある。(此處から隱仙臺まで約一料、往復一時間) 更に溪流に傳ふて下る三料五(所要一時間弱)で楡帖寺に着く。此途中に九龍沼の名所があり又楡帖寺の手前數丁の所から左折すれば八〇〇米許り(往復一時間)に船潭萬景洞の勝地がある。内霧在嶺から楡帖寺まで下り七料九五の道は深山に特有の山唸りの音が聞ける森林地帯である。

【楡帖寺】 金剛山中の巨刹で、其の創建は遠く新羅の中世に屬し、以來四〇有餘回の火災に罹り現在の伽藍は李朝中世のもので五三佛を安置する本堂の能仁寫殿を中心として前面と左右に僧寮、禪堂等六段三堂一門三樓が並べられてゐる。能仁寫殿の前庭に立つ花崗岩の九層塔は又頗る莊嚴のもので二百年前の築造である。現在の行脚僧百餘名、寺領一千石、六〇餘の末寺を有して居る。楡帖寺から開山嶺(七七九米)迄五料二二、夫から高城驛行自動車の基點百川橋里迄四料三七。【海金剛】 一般に立石里の濱を云ふ。海岸から松岸千佛殿邊りを辿る眺めも佳いが最も妙であるのは舟舟又は發動機船を賃して波間に散在する名勝を巡るにある。高城驛から三料一、バス片道一五錢、賃切五人乗片道七五錢七人乗一圓五錢。

【萬瀑洞と八潭】 表訓寺を後にして萬瀑の木溪流に沿ひ青鶴峯下の門を潜れば斷崖兩側に迫り、飛流廻奔香爐峯下の摩訶衍からの溪流と内圓通庵からの溪流の符合ふ所に萬瀑の絶景がある。こゝから上流摩訶衍に至る二料の溪谷を萬瀑洞と云ひ、内金剛八潭(黑龍・琵琶・碧波・噴雪・眞珠・龜・船・火龍の諸潭を云ふ)の羅列する勝地である。【摩訶衍と白雲臺】 摩訶衍庵は獨臺峯(一四八米)の東南麓山臺にある古刹で、新羅文武王元年に僧義相の開山した古刹である。地は海拔八四六米の臺地を占め、前には溪流を隔てて法起・穴望・觀音の諸峯、右には法輪・獅子殿・獨臺峯・左に七星・釋迦堂の諸峯を控へ、秀麗の氣磅礴として家に俗塵を遠ざかつた淨地である。表訓寺から二料三八、摩訶衍から白雲臺に向ふ途中五七九米、獨臺峯の中腹に萬灰庵がある。境地靜寂を極め、八萬四十の煩愚も此の堂に入れば冷灰の如く消ゆると云ふ。白雲臺は摩訶衍から約一料〇八(往復一時間)の峻坂を登つた尖峯の頂、扁平となつた南北一〇〇米餘に亘る臺地を云ふ。絶壁幾百丈、四邊又鋒鏑の如き奇峯峻立し、底深き岩間には蒼松黛柏森然として神秘的感に打たれる。臺の中央凹所から右へ鐵鎖を頼りに深谷に下れば金剛水がある。諸金剛水中最も清冷のものとして知られて居る。

【長安寺】 内金剛驛から二料〇四、約一、四〇〇年前(我羅羅帝の頃)、新羅法興王の命に依り真衣律師の創建せる古刹である。文祿の時一山全部烏有に歸したので、李朝世祖王の佛教尊信に依り歷代王室の歸依を得て、今の雄鷲殿を始め六殿七閣一門を建立し、現に四〇餘名の僧侶が朝夕勤行し、長慶庵・安養庵・地蔵庵・靈源庵等の末寺を有し山中四大寺の一の名刹となつて居る。【龜峯】 峯頭に龜が黃泉江の魚を鑿るに似た奇岩を云ふ。傳説に此龜が居るため、此の上流には魚族が棲息出来ぬといふので、此の溪の一名所とされてゐる。 ▲長安寺を後にして溪流に沿うて上れば右方から黃泉江と呼ぶ清流の合する所がある。此處を百川洞と云ふ。百川の急湍を渉り黃泉の幽谷に入り雄木林を貫く細路を數丁行けば石築の古城址がある。城址は約九八〇年前に新羅王(敬順王)が高麗に降るに當り王子は概世して此處に草根木皮を食して一生を終つた所と云ふ。龜峯は道の右側に聳立する奇岩で、其の先左側に地獄門と稱する天眞峯があり、尙進めば青葉の連山に圍まれた溪間に明鏡臺がある。【明鏡臺】 櫻紅色の方形巨岩が創立する奇蹟岩である。其の下には玲瓏明鏡の如き深潭黃泉潭がある。長安寺から一料七、約三〇分で行く。【靈源庵】 金剛山中最も清淨幽靜の靈地と云はれ、庵は新羅時代に靈源祖師が始めて結庵した修禪道場である。堂内寂として庭前に引く篋の音の外寂寂を破るものなく、師に三、四の修禪者が此處で結跏趺坐して居る。【明鏡臺】 出で巨岩の石門を抜け黃泉潭・黑蛇窟を見て累々たる轉石の溪谷を上り、楓や槭の老樹の茂みの中を行けば二料四五、一時間半で地蔵峯の北麓黃泉溪の終點靈源庵に達す。 ▲靈源庵から元の道を一派許り引返すと望軍臺への岐路がある。岐路から望軍臺まで約二料一。其先は所に水簾洞の溪流がある。【水簾洞】 望軍臺百塔洞の諸水は造塔場附近で集り、此處で十餘丈の大盤石に懸り左右に擴がり瀑々たる飛流となつて巖面を滑り、宛然珠簾を隔て蒼壁を望み見るが如き水簾瀑がある。【百塔洞と望軍臺】 百塔洞は塔の如き自然石が羅列し、或者は雨傘を立てた形をなし、或者は五層をナシ或者は一〇層又は三〇層の塔形を爲した怪岩が溪間を汎く埋めて居るので、此の名がある。望軍臺は數十層の崖壁を鐵鎖に纏つて上り詰めた所、幾千年か風雨に晒された花崗岩の稜角は失せて其の頂

Table with 5 columns: 海金剛遊覽舟賃, 松島廻り, 海萬物相廻り, 松島海萬物相廻り, 五人以上一人を増す毎に

發動機船は二割増。

【温泉】(高城郡高城郡温井里)温井嶺の深谷寒霞の幽邃を其軒頭に望み、温井川東の山麓を南に流れ、觀音連峯・水晶峯・文筆峯等の秀峯に圍まれた風光絶作の地で、西南のみ稍開けて高城・元山街道に通じて居る。此地諸所に温泉湧出し内地旅館には内湯があり、一般公衆浴場もある。従来は温泉地としてよりも登山の準備地として知られて居た。尙冬季附近には積雪多く、絶好のスキー場となる。泉質は弱鹽類泉で無臭透明、胃腸病・神経病・皮膚病等に特效があると云ふ。

外金剛驛から約三軒、列車毎にバスがある。一〇分、一五錢、貸切七人乗一圓二〇錢。

【神溪寺】温井里の西に聳える觀音峯と文筆峯との鞍部「極楽峴」を越えて鐘の神溪寺迄約二軒七三、随分急な峠で四〇分位を要する。(温井里―神溪寺間乗合自動車がある、賃片道三〇錢、貸切二圓)。寺は今から約一四〇餘年前、新羅法興王の頃の創建であるが其後幾回か祝融の災に逢ひ、近時又其の誇であつた萬才樓をも焼失して今は般若寶殿其他二、三を股間に見るのみで金剛四大寺中最も小規模となつて居る。前は一帯の松林を覆つて、彩霞の奇峯に對し左に鷹岩、右に文筆峯を望み背後に觀音峯を負ふ幽境である。般若寶殿の前には一千餘年前の古石塔がある。

【玉流洞・九龍瀑】神溪寺から普光庵を尋ね、又神溪寺川畔に引返し、一つの急坂を上して一軒で一廳臺に出で、此處から外山の名勝玉流洞に入るのである。奔騰する溪流を幾度か左渡右渉して玉流洞・飛鳳瀑を過ぎて九龍瀑に達する。神溪寺から五軒八五、三時間乃至四時間を要する。九龍瀑は一名紫香瀑と云ひ高さ一七〇餘尺、山中第一の巨瀑で、瀑上堰下面一枚の碧岩から成り夫れに穿れた三〇餘尺の瀧壺は凄麗幽麗、又神秘的のもので一般に此の景を九龍淵と呼んで居る。山麓峯から七軒三四、途中に毘沙門の鐵梯子がある。

【八潭】九龍の觀瀑を終へ淵潭橋迄戻り、九井峯の樹間崎嶇を約半軒登攀すると九龍瀑の断崖の上に出る。此處を九龍臺と云ふ。故から瞰下すると藥研の如く溪底に八箇の碧潭が珠散状に連り神秘莊嚴の一乾坤が形作られてゐる。其の盛衰また筆舌の能く盡し得る所がない。

【寒霞溪・萬物相】温井里の西、萬物相の連脈と觀音連脈との峯間を寒霞溪と云ふ。奇峯秀嶺左右に聳え深谷は約八軒の長きに亘り險石、温井嶺などの名勝がある。名高い萬物相は此の溪谷の右側にあり、入口に一茶亭萬相亭がある。温井里から七軒八六、うち五軒七一の葛田里六花岩迄バスがゆく。一五分三〇錢、一日四圓、貸切二圓。亭後の溪谷に沿つて行くと剣を立てた様な峻峭の三巨巖が聳立してゐる。所謂三仙巖で此の附近を萬物相と云ひ、新又は萬物相はこれから尙溪間の石臺を攀じて進むのであつて、萬物相は其直路に當り、新萬物相は途中から左折するのである。孰れも萬物相から往復二軒餘(所要二時間)、山路頗る峻険で登攀に流汗一斗の苦を嘗めねばならぬ。新萬物相は天女峯の頂で金剛第一關と稱する石門を潜れば天仙臺の奇巖がある。辛うじて其蔭から脚下を覗けば幾千丈とも知れぬ岩峯が鋭く削立して雄觀云はん方なく日本海を一陣に見て眺望願ふよ。

【久米山莊】毘盧峯(一、六三八米)頂上に近く、ヒュツテとしては内地にも類例のない程の設備を施した山莊である。この山小屋が竣成して以來至難とされた毘盧峯の登山も探勝路と山頂に於ける宿泊設備の完成により今日では婦女子でも容易に探勝出来る様になつた。毘盧峯頂上に於ける曉明と夕照の神秘なる情景は此山莊に宿泊するもののみ味ふことの出来る特典である。

【九成洞】多種多様な潭瀑、樹木繁茂せる溪谷等特異なる山水美を充分具備する九成洞の長勝は一幅の南嶽に髣髴として探勝者に喜ばれてゐる。行程は毘盧峯から九成洞を探勝し新豐里に降りるか、新豐里から毘盧峯に登り内金剛長安寺か、九龍淵を経て温井里に出ればよい。

【成興】成鏡南道成洞郡成興面。京城から急行七時間一〇分(三五〇軒八)、二等九圓八三錢、三等五圓四五錢。

地は成鏡南道慶の所在地で、西に流れる城川江一帯肥沃の大野を廻らし、米を主とする農産物に富んで居る。私鐵成南線の分岐點で、東海岸與南にある朝鮮窒素肥料社や水力電氣會社を控へ、成鏡線唯一の商工都市として目覺しき發展を示してゐる。人口三萬五千餘(うち内地人六千餘)。

【旅館】松月、日乃出、常磐、一泊三圓一八圓。茶代廢止。

【朱乙温泉】成鏡北鏡城郡朱乙温泉面温泉。京城驛から此處迄急行列車が運轉されてゐる、一五時間(七二三軒八)三等一圓二三錢、二等二圓二八錢。

入碇泊に充分な港である。元山へ二〇五哩、浦鹽へ一二八哩、雄基へ四六哩で吉會線を通じて滿洲國と裏日本との貿易交通の要衝であり、將來の發表を期待されてゐる。人口約二萬五千人(うち内地人約七千人)。

【旅館】鷄林館(明治町、驛二軒四、バス一〇錢、電、室二五、二圓一五圓半、七圓)、清津館(敷島町、驛三軒六、バス一〇錢、電、室一六、二圓半一七圓)、櫻屋(北星町、驛一軒八、バス一〇錢、電、室二二、二圓半一三圓半)、昌平館(北星町、一軒八、電、室一五、二圓一七圓)、山陽館(大和町、二軒五、バス一〇錢、電、室九、二圓一三圓半)、富士屋(幸町、二軒五、バス一〇錢、電、室一六、二圓一三圓半)。(回答未着)

【會寧】成鏡北道會寧郡會寧面。京城から急行一八時間六分(八四四軒五)、二等二三・六六、三等一三・一〇。成鏡線の最北端、北鮮線の起點で、日滿國境開山屯を経て、對岸は開島地方である。豊富なる農産物の集散地であり、又附氣に散在する無盡蔵の石炭や開島江上流の密林地帯から流れ出る木材の一大市場であり、開島地方との物資中繼地になつて居る。人口約一萬五千人(うち内地人二千五百餘)。

【旅館】會寧館(驛七〇〇米、二圓半一四圓、七圓)、博多屋(驛六〇〇米、三圓一七圓、一〇圓)、丸中(驛前、二圓半一四圓半)。

【上三峯】朝陽線分岐驛。成鏡北道。清津から汽車五時間四〇分(一三四軒二)三等二圓一〇錢、二等三圓七八錢。

此地はもと江畔の農村であつたが、大正九年國們鐵道の開通並に昭和二年國際鐵道の架設により、對岸滿洲國開山屯を経て開島平野の中心延吉・龍井方面との連絡なりて一躍北鮮國境に於ける貿易・交通の要地となつたものである。現在人口約四千、京圖線の朝陽川驛から分岐する開島南廻線の朝陽線開通により(昭和九年中に廣軌に改築の豫定)、新津・清津と京城をつなぐ國境の關門を引受けて益々車きを加へるのである。

▲清津から普通列車で一時間一〇分(三五軒九)、三等五六錢、二等一圓一錢。

地は寒氣凜烈の北部朝鮮、長白山支脈の冠帽峯・雪嶺の東方に位し、此處に源を發する温井河は温泉場を経て日本海に注いでゐる。朱乙は此の溪流に沿ふた一部落であるが、湯の湧出量一日一萬四千石に及び、湯量の豊富なこと全鮮一で、不斷に立昇る湯烟の爲に春夏秋冬附近は緑の草木が茂ると云ふ奇現象を呈してゐる。

温泉は龍郊洞と温堡との二個所に湧出し、前者を砂風呂で知られた「かねた温泉」と云ひ、後者を朱乙温泉と俗に云つてゐる。

【交通】成鏡線朱乙驛からバスが列車毎に出る。かねた温泉迄約二軒八、片道一〇錢、朱乙温泉迄一〇軒七、片道四〇錢、三〇分、貸切三圓。

尙清津から羅南・朱乙驛を経て一日四回バスの便がある(清津行は三回、所要二時間一〇分、片道一圓四〇錢。貸切一三圓五〇錢)。

【泉質効能】無色透明のアルカリ性鹽類泉で、五八度、リウマチス、皮膚病脚氣、胃腸病等に効がある。特色行樂向。

【旅館】鮮仙閣(電朱乙五・七、室三八、二圓半、三、四、七圓)、千歲館(電同六、室三六、二圓半一〇圓)、萬翠館(電同八、室一八、二圓半一五圓)、小倉館(電同二、室八、一圓半乃至三圓)。(以上湯堡)。列旅館(室六、二圓一五圓)。

▲京城から急行一五時間四五分(但急行は輪城にて乗換、七六八軒七、二等二圓五四錢、三等一圓九二錢)。

▲敦賀から北日本汽船で四時間(四七二哩)。一等四五圓、二等三〇圓三等一五圓、毎月六回往復、滿洲丸(三、〇五四哩)敦賀發一日後二時、清津着三日午前七時、天草丸(浦鹽行)敦賀發六日後二時清津着八の日前一十一時。

▲新潟から島谷汽船で約五五時間(九一六軒)、一等四五圓、二等三〇圓三等一五圓。月三回(三日の日前一十一時、新潟發五日の日前八時清津着、九の日後四時清津發一日の日前一十一時新着)、鮮海丸(二二二六哩)。

清津は北鮮の中心地點であり、港内水深く大船巨船の出

清津-雄基間交通調

威北自動車・バス發着時刻 (9. 11. 1 現在) (羅津にて15分休憩)

Table showing bus departure times from Incheon to Qingjin and Hungei. Columns include destination (清津, 雄基), departure times (前, 中, 後), and arrival times (前, 中, 後).

Table showing fares for Qingjin-Hungei routes. Columns include route (清津, 雄基), fare type (運賃, 運料), and amount.

汽船便

Table showing small boat departure times between Qingjin and Hungei. Columns include destination, departure times, and arrival times.

大型船

Table showing large ship departure times for routes like Qingjin-Hungei, Qingjin-Incheon, and Qingjin-Hong Kong. Columns include ship name, departure times, and arrival times.

以上の外大阪商船 大阪-清津航路1週1回又は2週3回の便あり其他諸航路の船便がある

Table showing fares for large ships on Qingjin-Hungei routes. Columns include route, fare type, and amount.

Table showing passenger capacity for various ships. Columns include ship name, tonnage, and passenger count by class (一等, 二等, 三等).

此處から龍井迄一日二回バスの便もある、所要二時間(三二軒)二圓二〇錢。佐藤旅館(驛四〇〇米、室一〇、三圓半、五圓、六圓)、三笠(驛一五〇米、室七、二圓一三圓)

南陽 京國線への分岐點威鏡北道。清津から一七〇軒二、汽車七時間、三等二圓六六錢、二等四圓七九錢。雄基から一四四軒、五時間、三等二圓二四錢、二等四圓四錢。

雄基 威鏡北道慶興郡雄基面。北鮮鐵道終端驛所在。清津から汽車二時間三四分(一日二回)、三二軒二、三等四圓八九錢、二等八圓八二錢。

バス及汽船便は前表参照(清津-羅津-雄基間)。雄基は北鮮沿岸の最北部に位し、北方約二五軒、國境を流れる豆満江を介してソウエツト沿海州に接してゐる。港は東南に面する天然の良港で、日鮮合併以來次第に發展し沿海航路を始め北海道・裏日本・阪神等の各航路の寄港地となり、琿春・間島一帯をその商勢圏内に収め奥地物資の吞吐港として市況は活気に溢れて居る。人口二萬四千、うち内地人三千。

朝鮮 (雄基・羅津・平壤)

最良の自然的港灣であつて、灣内水深く、入口には大草島・小草島の二島が自然の防波堤をなし灣内奥行六連、地形恰も長崎に似てゐる。日露戰役後大正八年迄は軍港候補地として指定されてゐた程で、その港勢の雄大さは遙かに大連を凌いでゐる。滿洲事變を契機として永年間の懸案解決し、滿洲國首都新京を發する京國線の開通に當り、羅津が清津・雄基の既設港を一蹴してその終端港に決定された事は、一にこの自然的良港の賜物であつて、將來一干萬噸に達すべく期待せられてゐる滿洲國の豊富なる物資を海陸接續して輸出吞吐する能力は、羅津を指しては他に求められぬのであつた。日下滿鐵會社羅津事務所は全力を擧げて第一期築港中であるが第三期(九百萬噸)完成の際には現大連港と同程度の吞吐能力を有せんとするものである。第一期計畫に於ては東灣口にあつた漁村羅津洞とその背後の人家稀なる新安面を一丸とし港灣吞吐能力三〇〇萬噸、人口三〇萬餘の大都市計畫の下に鋭意進行中にて異狀なる進展を示し、一躍半島の龍兒となり逐日人口激増股賑を極めてゐる。

京義線

平安南道平壤府。釜山から急行二時間餘、七一軒二、二等一元四錢、三等一元二錢。京城から急行四時間二二分(二六〇軒七)、二等七圓三錢、三等四圓四錢。安東から急行約四時間(二三八軒六)、二等六圓七錢、三等三圓七錢。開國三千年の歴史を物語る朝鮮最古の都市で往古箕子及高麗の都した地である。大同江の北岸に位し、東南に肥沃なる平野を控へ農産頗る豊饒で西部朝鮮の物資集散地を爲し、又鐵と石炭を無盡に埋藏して居るので近來工業都市として發展して居る、加ふるに白帆島影にかゝる大同の流、城頭に超然たる牡丹・乙密の翠巒等、山紫水明の地に訪ふ者が多い。人口一四五、四五五(内地人二萬、外人の六四

十日間 東京—朝鮮往復旅程案

七四八

日6第	日7第	日8第	日9第	日10第
平壤驛	安東驛	安東驛	大邱驛	大邱驛
發後 二・五〇	着後 八・四〇	發後 六・四〇	着前 八・四〇	着前 八・四〇
奉天行列車	宿 泊	釜山行各等急行ひかり	下車見物	下車見物
▲平壤—安東間普通列車テ五時間五〇分(二三八軒六、三等三圓七一錢、二等六圓七〇錢) 注意 安東驛構内テ日本及滿洲國稅關検査ガアル、必ズ立會フヲ要ス。 旅館 安東ホテル、富久壽美、其他。	▲安東見物(七七一頁参照)。 ▲安東—大邱間急行列車テ一四時間(八二五軒一)。 上記列車ニハ各等寢臺及洋食堂車ガアル。	▲大邱(七三二頁参照)。 ▲大邱—釜山間 三時間二分(二四軒八)。 ▲釜山見物(七三一頁参照)。 ▲釜山—下關間八時間(前頁参照)。 注意 船内ニテ税關検査アリ、船内二等寢臺料一圓(二等無料)。	▲下關—東京間約二二時間(一〇九七軒一)。	▲下關—東京驛
			着前 七・三〇	着前 七・二〇
			發前 九・一五	歸宅

旅行費用概算

船	車	賃	金
二等	一六一・五四	三等	八三・三八
三等	八三・三八	學生	七二・一〇
急行及寢臺料金	二七・〇〇	東京—安東間往復割引乗車券	八四・五六
宿泊及食事費	三三・八〇	急行料四回、寢臺二等下段四回、三等上四回。	四四・五六
車馬賃其他雜費トシテ概算	一〇・〇〇	車中食事ハ二等和定食、三等ハ驛辦當トセリ。	一・二二
【備考】宿泊料ハ各地一定セザルモ二等一泊六圓、三等一泊四圓、學生一泊三圓トシテ計上セリ。 旅館ニ於ケル食事ハ晝飯ヲ一圓五〇錢、夕飯ヲ二圓、朝飯ヲ一圓位トシテ計上セリ。	二・〇〇		〇・八四
	二七・〇〇		八・一〇
	三三・八〇		二〇・五〇
	一〇・〇〇		四・〇〇

朝鮮金剛山探勝日程案 (東京から一二日)

日6第	日5第	日4第	日3第	日2第	日1第	日程
榆摩長 帖訶安 寺衍寺	長 安 寺	鐵 原 驛	京 城 驛	京 城 驛	下 關 驛	東 京 驛
着 着 發 早 朝	着 前	着 前 一・三三	發 後 二・〇〇	着 後 三・三〇	着 前 六・三〇	發 後 二・〇〇
宿 徒 步	宿 泊	自 下 動 車	見 津 行 列 車	宿 泊	乘 換 船	下 關 行 各 等 急 行 列 車
▲探勝【鳴淵潭(溪流美)―三佛巖(石佛)―表訓寺(古刹)―正陽寺(觀山)―表訓寺―萬瀑八潭(溪流美)―摩訶街(禪寺)―白雲堂―妙吉祥(石佛)―内務在嶺(分水嶺)―點心片(展望)―隱仙臺(觀瀑)―九龍沼(深潭)―萬景洞(溪流美)―榆帖寺(古刹)。行程約二四軒。	▲探勝【長安寺(古刹)―兜峯(山岳美)―明鏡臺(溪流美)―靈源庵(觀山)―水廉洞(瀑布)―望軍臺(高峯)―長安寺ニ引返シ宿泊。行程約二三軒。 旅館 内金剛山莊(八圓)、内金剛館、蓬萊館、不知火。(何レモ三圓)	▲鐵原—内金剛間(金剛山電鐵線)約四時間(一一六軒六)。 ▲普通貨車片道三圓六三錢、二等五圓五〇錢。 ▲内金剛驛(貨切十圓半、一時間)未輝里驛カラ温井嶺口マデ自動車ガアル、乗合一圓(半二回)。 ▲内金剛驛カラ長安寺マテ自動車約一〇分(二軒)乗合一〇錢、七人乗貸切七〇錢。 ▲長安寺ノ旅館ニテ朝食後ユツクリ登山準備ヲナシ探勝ニ向フ。	▲京城—鐵原間二時間半(二〇一軒三)(三等一圓五九錢、二等二圓八六錢)。 ▲鐵原—内金剛間(金剛山電鐵線)約四時間(一一六軒六)。 ▲普通貨車片道三圓六三錢、二等五圓五〇錢。 ▲内金剛驛(貨切十圓半、一時間)未輝里驛カラ温井嶺口マデ自動車ガアル、乗合一圓(半二回)。 ▲内金剛驛カラ長安寺マテ自動車約一〇分(二軒)乗合一〇錢、七人乗貸切七〇錢。 ▲長安寺ノ旅館ニテ朝食後ユツクリ登山準備ヲナシ探勝ニ向フ。	▲京城見物【朝鮮神宮―博文寺―經學院―昌慶苑―秘苑拜觀―パコ大公園―總督府―景福宮―勤政殿―博物館―商工獎勵館】 ▲上記清津行列車ニハ、毎年六月中旬カラ一〇月末迄ノ日曜・祭日ノ前夜ニ金剛山探勝者ノ便ヲ計リ、同列車ニ三等寢臺車ヲ連絡シテ内金剛驛迄直通セシメテ居ル。	▲下關—釜山間鐵道省連絡船ニテ八時間。 ▲釜山及近郊一帶ハ要塞地帯ニ付撮影等ヲ禁ズ。 ▲釜山京城間急行列車テ七時間五〇分(四五〇軒五)。 ▲釜山京城間急行列車、天眞樓、御成旅館、大東館等(七三三頁参照)。 ▲京城見物【朝鮮神宮―博文寺―經學院―昌慶苑―秘苑拜觀―パコ大公園―總督府―景福宮―勤政殿―博物館―商工獎勵館】 ▲上記清津行列車ニハ、毎年六月中旬カラ一〇月末迄ノ日曜・祭日ノ前夜ニ金剛山探勝者ノ便ヲ計リ、同列車ニ三等寢臺車ヲ連絡シテ内金剛驛迄直通セシメテ居ル。	▲東京—下關間二二時間(一〇九七軒一)。 ▲上記急行列車ニハ、各等寢臺及洋食堂車アリ。

滿鮮周遊旅程案 (東京から一五日間)

日程	地名	發着時刻	記事	備	考
日1第	東京驛	發後 一〇〇〇	下關、三急行、車中泊	▲東京—三ノ宮間普通急行ア一時間三五分(五八七村〇)三等六圓一九錢。 上記下關行急行列車ニハ二、三等寢臺又和食堂車アリ。	
日2第	三ノ宮驛 神戸港	着前 九・三五 發正 午	下大阪商船、大連航路	▲三ノ宮驛カラ汽船發着所マテ約一料、俾賃五〇錢。 ▲神戸—大連間大阪商船ニテ三日間(航路八六〇哩)。 五日間ニ四回位定期往復ス(七七二頁參照)。 「註」九こま丸・しあるとる丸ノ場合ハ神戸發前一二時、門司着前八時、同發前一時、大連着三日目ノ前一二時デアル。	
日3第	門司港	着前 七・〇〇 發正 午	船中		
4日	大連	着前 八・〇〇	下船、見物、宿泊	▲大連市見物(七七二頁參照)。 旅館 大和ホテル(②洋二食付九圓)、春田、東郷其他。	
日5第	大連驛	發後 九・〇〇	新大連、一等車中泊	▲大連—奉天九時間五〇分(三九六村六)普通賃二等一圓一〇錢 上記第一列車ニハ各等寢臺及洋食堂車ガアル。	
日6第	湯崗子 奉天驛	着前 四・三三 着前 四・四六 着前 六・五〇	下車、遊覽、宿泊	▲奉天遊覽後奉天ニテ宿泊又ハ夕刻撫順ニ入ツテ一泊。 ▲奉天(七七八頁參照)。大和ホテル(②洋二食付一〇圓)。 ▲撫順(七七七頁參照)。筑紫館、炭礦ホテル。	
日7第	奉天驛	發後 一〇・二五	新大連、一等車中泊		

日8第	日9第	日10第	日11第	日12第	日13第	日14第
奉天驛	新京驛	奉天驛	安東驛 平壤驛 平壤驛	京城驛	京城驛 釜山棧橋	下關
發後 一〇・二五	着前 六・四〇	發後 一〇・三〇 發後 一〇・〇〇	着前 四・五〇 發前 五・二〇 着前 一〇・一八 發後 一一・一五	着前 七・三五	發後 三・〇〇 發後 一〇・五〇 發後 二・三〇	着前 七・三〇 發前 九・一五
新大連、一等車中泊	下車見物、宿泊	乘大連、一等車中泊	立會ヲ要ス、下車見物、京城行普通列車、車中宿泊	下車、見物、宿泊	各等急行、列急行、連絡船	各等急行、車中泊
	▲撫順炭坑見學。 ▲奉天—新京間八時間一五分(三〇四村八分)三等四・七五 二等八・五五。 上記第一九列車ニハ二、三等寢臺車及洋食堂車ガアル。	▲新京—奉天間六時間半(三〇四村八分)。 ▲奉天—安東—平壤間一時間一八分(五二四村四)急行料三等一圓二錢、二等一圓七錢、一等一圓七錢。 ▲安東—平壤間朝鮮總督府鐵道局線二三八村六三、三等三圓七錢、二等六圓七〇錢。 ▲上記第八列車ニハ(急行のぞみ)各等寢臺及洋食堂車ガアル。	*安東カラハ日本時刻トナル故時計ヲ一時間早メルコト。 ▲平壤見物(七四五頁參照)、平壤見物後夜行列車ニテ出發。 ▲平壤—京城間八時間一〇分(二、三等寢臺車ガアル)。	▲京城遊覽(七三三頁參照)。 ▲旅館 朝鮮ホテル、天真樓、巴城館、山本其他。	▲釜山—釜山(急行のぞみ)七時間五〇分(急行料三等七五錢、二等一圓半)。 ▲釜山附近ハ要塞地帯ニ付寫眞撮影ニハ憲兵隊ノ許可ヲ要ス。 ▲釜山—下關(鐵道省連絡船)八時間。	▲注意 關釜連絡中ニテ日本税關検査アリ。 ▲下關—東京二時間。 ▲各等寢臺及食堂車付東京行急行列車。

第7日	第8日	第9日	第10日	第11日	第12日
大連	旅順 大連	奉天 撫順 奉天	新京 吉林 吉林	新京 吉林	哈爾濱 哈爾濱 新京
發後 九〇〇	着前 六・五〇 發前 七・三〇 着前 八・四〇 發後 一・〇五 着後 一・二二 發後 一・三五	着前 六・五〇 發前 七・三〇 着前 八・四〇 發後 一・〇五 着後 一・二二 發後 一・三五	着後 九・三七	發後 一・二七 着後 三・一〇	發前 八・三〇 着後 二・五三
滯在、見物	旅順往復見物 新京行各等列車 車中一泊	乘換 撫順行見物 下車、見物 奉天行見物 下車、見物 奉天行見物 車中一泊	下車、見物 吉林行見物 下車、宿泊	下車、宿泊 下車、宿泊	滿洲里行見物 宿泊 下車、見物 宿泊
▲見物箇所 油房、華工收容所、大廣場、埠頭、星ヶ浦、支那町(西崗子)、露天市場、滿蒙資源館、工業博物館等。	▲大連—旅順間汽車又ハ乗合自動車共ニ約一時間。 ▲旅順見物(七七五頁参照)。 ▲大連—奉天間九時間五分(三九六頁六)各等寢臺及食堂車アリ。	▲奉天—撫順間汽車一時間二〇分(五六八頁八)二等一圓六〇錢、三等九〇錢。 ▲撫順炭坑見物(七七七頁参照)。 ▲奉天—新京間八時間一五分(三〇四頁八)。 ▲上記列車ニハ二・三等寢臺及洋食堂車ガアル。 ▲「註」奉天前ハ釜釜發吉林後ハ〇着ノ奉天線經由(食堂車及二・三等寢臺付)ノ列車ガアル。四四七頁六、三九二頁二〇、二二〇頁一三・七〇(國幣圓)	▲新京見物 驛—南廣場—日本橋—領事館—滿鐵醫院—公學堂—西公園—驛。以上馬車ニテ一巡約一時間位。馬車賃三人乘四〇錢。(七七九頁参照) ▲新京—吉林(京瀋線)二時間四七分(二七七頁七)新京發七・〇、九・四、一四・五(及七・八五)ノ四回發、康徳元、一、一(改正)普通貨片道(國幣圓)一等五・九〇、二等四・一〇、三等二・三五。 ▲吉林 名古屋館、日清ホテル。 ▲吉林—新京間三時間(實前記)。 ▲吉林發ノ列車ハ六・〇、八・四、三、一、一八、四ノ四回ノミテアル。	▲哈爾濱—昂々溪間(濱州線)六時間三二分(二七〇頁一) ▲新京—哈爾濱間(京瀋線)二四〇軒二、汽車五時間半、賃金三等四・八五、一等七・二五、一等一・一〇五(國幣) ▲哈爾濱(七九一頁参照)。	

第13日	第14日	第15日	第16日	第17日
昂々溪驛 榆樹線 東昂々溪	齊々哈爾驛 齊々哈爾城 三間房驛	洮南驛 洮南驛	四平街驛 奉天驛	安東驛 平壤驛 平壤驛
着後 三・〇三 發後 三・二九	着後 四・一六 着後 四・三〇 發後 一・〇〇 發後 二・四五	着前 五・四三 發後 八・五九	着前 六・一〇 發前 六・四〇 着前 一〇・五〇 發後 二・〇〇	着前 四・五〇 發前 五・三〇 着前 一〇・一八 發後 一・二五
乘換 齊々哈爾行	宿泊 宿泊	下車、遊覽 奉天行各等列車 車中一泊	乘換ナシ 下車見物 釜山行各等列車、車中一泊各等寢臺アリ	稅關検査アリ 日本時刻トナル 下車、見物 釜山行各等列車、車中一泊
▲昂々溪驛カラ榆樹線東昂々溪驛迄約二軒、馬車二角。 ▲東昂々溪(榆樹線)—榆樹屯—齊々哈爾驛間四七分(二七軒三)二等八角五分、三等六角。 ▲齊々哈爾驛カラ齊々哈爾城内迄三軒餘、自動車一臺一圓五角馬車及俾三角。 ▲齊々哈爾城(七八八頁参照)。	▲齊々哈爾驛—三間房—洮南—四平街間(平齊線)五七軒四、二等一圓二角、三等一圓四角五分。 ▲洮南(七八七頁参照)。 ▲寢臺料 二等下段四圓五角、上段三圓。	▲四平街—奉天間四時間(一八九軒三)、三等三圓、二等三圓、一等三圓。 ▲奉天見物(七七八頁参照)。 ▲奉天—安東—平壤間急行(のぞみ)一時間一八分(五一四軒四)急行料三等一圓、二等二圓。	▲安東驛構内ニテ稅關ノ検査アリ、必ず立會ヲ要ス。 ▲安東カラ日本時刻トナル故滿洲タイムヨリ一時間時計ヲ進メル事。 ▲平壤見物(七四五頁参照)、夜行列車ニテ京城へ。 ▲上記列車ニハ二・三等寢臺及洋食堂車アリ。	

日	第	地	發着時刻	記事	備	考
18日	第	京城驛	着前 七・三五	下車、見物泊	京城見物(七三一頁參照)。	
19日	第	京城驛	發後 一〇・〇五	釜山行二、三等車中一泊	京城—釜山間普通第四列車ア一時間半(四五〇料五)。	
20日	第	釜山驛	着前 九・四〇	下車、遊覽	釜山見物後東萊溫泉へ(七三一頁參照)。 [註] 第四列車ハ下關行二・三ノ連絡船ニ接続シテ居ル。	
20日	第	東萊溫泉	着後	宿泊	旅館 蓬萊館、東萊ホテル、鳴戸、荒井等。一泊二圓乃至七圓	
21日	第	東萊溫泉	發後	連絡船	△注意 釜山附近一帶ハ要塞地帯ニ付撮影等ニハ許可ヲ要ス。 釜山—下關八時間(七四七頁參照)。 鐵道省連絡船毎日二回宛定期運航(三千噸級船以上)	
21日	第	釜山	發後 二・〇〇	連絡船		

第22日下關發前九・五(東京行普通急行、各等寢臺及食堂車付)。
第23日東京驛着前七・一〇。

旅行費用概算

項目	金額
東亞遊覽券(東京—青島—大連—四平)	四七〇・〇〇
二等	二六六・七一
三等	一九七・六〇
學生(三等)	一五〇・〇〇
急行寢臺料(急行内地二回、朝鮮一回、二等)	五〇・三〇
寢臺下段九回、連絡船内一回	一五〇・〇〇
三等下段七回、學生上段七回	一〇〇・〇〇
車馬賃及食事料其他(大略)	七〇・〇〇
合計	一、〇〇〇・〇〇

內鮮滿周遊券第五號乙經路 日程案 (二〇日)

日	第	地	發着時刻	記事	備	考
1日	第	東京驛	發後 一〇・〇〇	神戸行二・三等急行車中宿泊	[註] 上記第十九列車ハ日滿連絡國際列車トシテ毎月五ノ十日、廿日、月末ノ東京發ニ限リ敦賀港行ノ二等寢臺車ヲ連結シ、東京—敦賀港間直通運轉ス。	
2日	第	米原驛	着前 七・〇〇	乗換	▲東京—米原—敦賀港間一時間一分(四九七料一)二等一圓四錢、三等五圓五二錢。	
2日	第	敦賀驛	着前 八・五二	港行第五列車	▲敦賀—清津間北日本汽船會社定期船ニ依リ四一時間(滿洲丸)又ハ四五時間(天草丸)使用船	
2日	第	敦賀驛	發前 九・〇五	港行第五列車	滿洲丸(三、〇五四噸、速力一六哩一七、定員特等二、一等一九、二等四二、三等三四一人、北鮮直航、敦賀發一ノ日、歸航清津發六ノ日)	
3日	第	航海中			さいべりや丸(北鮮及浦鹽線、敦賀發六ノ日、清津發歸路一ノ日)。	
3日	第	航海中			同船ハ總噸數三千二百、定員一、二名(五室、特室一)二等五八、三等三三〇名、其他設備ハ滿洲丸ニ略同一デアル)	
3日	第	航海中			運賃 一等四五圓、二等三〇圓、三等一五圓、滿洲丸特別室使用料五〇圓(一等運賃ノ外)	
3日	第	航海中			本船ハ敦賀港驛棧橋ニ横付ケシ、棧橋ニハ北日本汽船代理店及待合所ガアル。	
3日	第	航海中			清津デハ岸壁ニ横付ケトナルガ羅津及雄基ニ於テハ撈船(無料)ニヨリ乗降スル。	

日 6 第	日 5 第			日 4 第		
哈爾濱	濱江驛	三棵樹驛	拉法驛	拉法驛	圖們驛	清津港
	着後 二・八	着後 二・〇五	發前 六・四五	着前 六・一六	着後 九・三〇 發後 一〇・〇〇	着前 七・〇〇
滯在	下車、宿泊	濱北線乘換驛	濱江行列車	拉濱線乘換驛	滿洲時刻トナル 稅關検査アリ 新京行列車 車中宿泊	下船

清津(七四三頁參照)。

▲清津—輪城—會寧—上三峯—南陽—圖們間(滿鐵北鮮線)三時間一〇分(二七三杆五)、二等四圓九六錢、三等二圓七六錢。

○上記列車ニハ各等寢臺及食堂車アリ。

▲圖們—拉法間(京圖線)八時間一六分(三二五杆)、一等一四圓五角、二等一〇圓一角、三等五圓七角。

▲拉法—三棵樹—濱江間(拉濱線)七時間半(二六四杆三)、一等一三圓二角五分、二等七圓九角五分、三等五角三分。

▲哈爾濱(七九一頁參照)。
「註」三棵樹—濱江間ハ經路外ニ付別ニ往復乘車券ヲ要ス、片道一等三角五分、二等二角五分、三等一角五分。

北滿ホテル(三圓—一五圓)、名古屋ホテル(五圓—一〇圓)、其他(二等十圓、三等及學生五圓位)

日 10 第	日 9 第	日 8 第			日 7 第	
新京驛	洮南驛	齊々哈爾驛	齊々哈爾城	北安驛	海倫驛	濱江驛
着後 四・三〇	發後 一・二七 發後 一・四七	發前 六・〇〇	發後 二・〇〇	着後 一〇・五〇	着後 一〇・二八	着後 二・二七
下車、宿泊	乘換 新京行列車	四平街行列車 車中宿泊 二等寢臺アリ	宿泊	下車、遊覽 四平街行列車	北安行列車	北安行列車 下車、遊覽 宿泊

▲濱江—三棵樹—海倫間六時間半(二二六杆三)、一等二・五、二等六・五、三等四・五。

▲海倫(七九〇頁參照)。

海倫ホテル(二泊普通四圓、學生二圓半)(國幣)

▲海倫—北安間四時間餘(一〇六杆)、一等五・〇、二等三・〇、三等二・五。

▲北安(七九〇頁參照)。

▲北安—齊々哈爾間(濱北線)五時間四八分(二二〇杆四)、一等二・五、二等六・五、三等四・五。

▲齊々哈爾驛カラ城内へ三料餘、自動車一五分、一圓五角。
旅館 博來(三、四、五圓)、東洋(同上)、龍沙(四圓—八圓)。

▲齊々哈爾見物(七八八頁參照)。

▲齊々哈爾—洮南—四平街間(平齊線)一四時間半、一等六・〇、二等二・〇、三等一・四五。

▲四平街—新京間二時間半(一一五杆五)、一等五圓一〇錢、二等三圓二五錢、三等一圓八〇錢。

旅館 ヤマトホテル(九圓)、滿洲屋(四圓半)(學生三圓位)。

日 14 第	日 13 第	日 12 第	日 11 第
湯崗子驛 鞍山驛 奉天驛	奉天驛 撫順驛 奉天驛	奉天驛	新京驛
着後 二・三 發後 二・三 着前 八・四 發前 二・〇 着後 五・五 發後 三・五 着前 九・〇 發前 六・〇	着後 五・五 發後 三・五 着前 九・〇 發前 六・〇	着前 六・〇	發後 一・〇
下車、休憩 二等、寢臺付 大連行列車	宿泊 奉天行、見學 撫順行、見學 大連行急行	宿泊 下車、遊覽	大連行、見學 車中宿泊 二等、寢臺アリ
▲奉天—鞍山間急行一時間一七分(八九斤三)、急行料三等二〇錢。 ▲鞍山製鐵所(七七六頁參照)。 ▲鞍山—湯崗子間二一分。 ▲湯崗子溫泉(七七六頁參照)。 ▲湯崗子—大連間七時間四九分(二九二斤八)。 「註」後六・〇七發ノ急行「はと」ナレバ十時半大連ニ着ク、急行料三等五〇錢二等一圓。	▲奉天—撫順間一時間一〇分(五六斤八)、二等二・六〇、三等九〇錢。 ▲撫順炭坑見學(七七七頁參照)。 「註」或ハ第十一日夕刻撫順ニ行キ、撫順一泊セラル、モヨイ。	▲奉天(七七八頁參照)。 旅館 大和ホテル(㊸一〇圓)、大丸、日進館其他(二等五圓、學生三圓位)	▲新京見物(七七九頁參照)。 ▲新京—奉天間普通列車テ八時間一〇分(三〇四斤八)、一等一三圓四〇斤、二等八圓五五錢、三等四圓七五錢。

日 15 第	日 16 第	日 17 第	日 18 第	日 19 第
大連驛	旅順	大連港		門司
着前 七・三〇		發前 一〇・〇〇		着早朝 發後 一・〇〇
下車、遊覽 宿泊	往復 (七七五頁參照)	大阪商船 船中宿泊	船中	(下船)
大連(七七二頁參照)。 旅館 ヤマトホテル(㊸九圓)、春田、東郷、鎮西其他(三等五圓位、學生三圓位)	▲大連—旅順間汽車一時間一〇分(五九斤七)、片道二等一圓七〇錢、三等九五錢(日曜ニハ往復二割引) ▲滿電バスニテ一時間二〇分—三〇分、賃一圓。	▲大連—門司—神戸間大阪商船ニテ四日(八六〇連)一等六五圓二等四五圓、三等一九圓。 大連港出帆後船内ニテ手荷物ノ税關検査アリ。		「註」しあとの丸及たこま丸廣島寄港ノ場合ニ神戸着五日(午前十時トナル)廣島着八四日(日早朝)門司—神戸間ハ船ノ代リニ汽車ニヨルコトモ出來ル。

内鮮滿周遊券第五號乙經路日程案

日	20
東京驛	三ノ宮驛
着 (口)後九・〇〇	發 (イ)前八・五五 (口)後三・三五
歸宅	急行第十列車 特急燕號

▲三ノ宮―東京間五八七軒
 (イ)普通急行ニテ一〇時間五〇分、急行料三等一圓。
 (口)特急燕ニテ八時間三五分、急行料三等二圓。

旅行費用概算

内鮮滿周遊券第五號經路	二等	三等	學生
三棵樹―濱江(往復)	九八・三〇	四八・九〇	四三・九〇
四平街―新京(往復割引)	・六〇	・三六	・三六
奉天―撫順(往復割引)	二・五六	一・四四	・九〇
大連―旅順(往復割引)	二・七二	一・五二	・九四
急行寢臺料(寢臺ハ二等下段五回、三等三回、學生ハ上段)	二九・三〇	八・二六	五・七〇
旅館宿泊料(八泊)(備考欄参照)	六八・〇〇	三八・五〇	二六・〇〇
食事料・車馬賃・雜費(大略)	一〇〇・〇〇	七〇・〇〇	五〇・〇〇
合計	三〇五・〇八	一七一・八六	一二九・六〇

富錦線	60	88	116	172	196			
哈爾濱	42円	54円	78円	47	75	103	159	185
250軒 1.15時	依蘭	12	36	25	63	91	147	171
325軒 1.40時	75	佳木斯	24	29	67	95	151	175
465軒 2.30時	215	140	富錦	18	46	74	130	154
	1.15	0.50		18	46	74	130	154
濱黑線				23	56	112	126	
哈爾濱	47円	88円	255	ハルビン	23	84	108	
280軒 1.35時	北安鎮	41	510	275	子ハル	56	80	
520軒 3.05時	230	大黒河	2.45	1.30				
	1.15		910	675	400	海拉爾	24	
			5.15	4.00	2.30			
齊黑線			1.085	850	575	175	滿洲里	
齊齊哈爾	37円	78円	6.15	5.00	4.30	1.00		
220軒 1.10時	北安鎮	41						
450軒 2.25時	230	大黒河						
	1.15							
錦州線								
奉天	23円							
230軒 1.30時	錦州							
承德線								
錦州	14円	31円	51					
85軒 0.30時	朝陽	17	31					
185軒 1.05時	100	凌源	21	32	47	94		
315軒 1.55時	230	130	承	21	36	85		
	1.25	0.50						
赤峰線								
錦州	14円	39円	90	八面通	15	62		
85軒 0.30時	朝陽	25	0.35	牡丹江		47		
235軒 1.20時	150	赤	2.20	370	280	哈爾濱		
	0.50			2.20	1.45			

滿鐵線主要驛間運賃表

大連	1.45	7.90	10.55	12.90	15.55	14.65	17.45	20.60	22.10	25.80	28.15	30.90	—	11.20	18.45	19.50	27.15	28.25	1
	0.90	5.00	6.70	8.20	8.60	9.30	11.10	13.10	14.05	16.40	17.90	19.65	1.70	7.35	12.25	12.40	17.30	18.00	2
	0.50	2.75	3.70	4.55	4.75	5.15	6.15	7.25	7.80	9.10	9.90	10.90	0.95	4.05	8.75	6.85	9.55	9.95	3
金州	6.40	9.10	11.50	12.10	13.20	16.05	19.20	20.65	24.40	26.70	29.45	2.50	9.75	17.00	18.10	25.75	26.80	1	
	4.10	5.80	7.30	7.70	8.40	10.20	12.20	15.15	15.50	17.00	18.75	2.10	6.45	11.30	11.50	16.40	17.05	2	
	2.25	3.20	4.05	4.25	4.65	5.65	6.75	7.25	8.60	9.40	10.55	1.15	3.55	6.25	6.35	9.05	9.45	3	
熊岳城	2.75	5.05	5.70	6.80	9.65	12.75	14.25	17.95	20.35	23.05	8.95	3.35	10.55	11.65	19.30	20.35	1		
	1.75	3.20	3.65	4.35	6.15	8.10	9.05	11.40	12.95	14.65	6.20	2.35	7.20	7.40	12.30	12.95	2		
	0.95	1.80	2.00	2.40	3.40	4.50	5.00	6.30	7.15	8.10	3.45	1.30	4.00	4.10	6.80	7.20	3		
大石橋	2.40	3.00	4.10	6.95	10.10	11.55	15.25	17.60	20.35	11.60	—	7.90	9.00	16.65	17.70	1			
	1.50	1.90	2.60	4.40	6.40	7.25	9.70	11.20	12.95	7.90	0.65	5.50	5.70	10.60	11.25	2			
	0.85	1.05	1.45	2.45	3.55	4.05	5.40	6.20	7.15	4.35	0.35	3.05	3.15	5.85	6.25	3			
湯崗子	0.65	4.60	7.75	9.20	12.95	15.25	18.00	13.95	3.05	5.55	6.65	14.30	15.35	1					
	0.40	1.10	2.90	4.95	5.85	8.25	9.70	11.45	9.40	2.15	4.05	4.25	9.10	9.75	2				
	0.25	0.60	1.60	2.75	3.25	4.55	5.40	6.35	5.20	1.20	2.25	2.35	5.00	2.40	3				
鞍山	1.10	3.95	7.10	8.60	12.30	14.65	17.40	14.60	3.65	4.90	6.00	13.65	14.70	1					
	0.70	2.50	4.50	5.45	7.80	9.30	11.05	9.80	2.55	3.60	3.80	8.70	9.35	2					
	0.40	1.40	2.50	3.00	4.30	5.15	6.10	5.45	1.40	2.00	2.10	4.80	5.20	3					
遼陽	2.85	6.00	7.50	11.20	13.55	16.30	15.70	4.75	3.80	4.90	12.55	13.60	1						
	1.80	3.80	4.75	7.10	8.60	10.35	10.50	3.25	2.90	3.10	8.00	8.65	2						
	1.00	2.10	2.65	3.95	4.75	5.75	5.80	1.80	1.60	1.70	4.40	4.80	3						
奉天	5.15	4.60	8.35	10.70	13.40	18.50	7.60	—	2.45	11.10	12.15	1							
	2.00	2.95	5.30	6.80	8.55	12.30	5.05	1.60	2.20	7.05	7.75	2							
	1.10	1.65	2.95	3.75	4.75	6.80	2.80	0.90	1.20	3.90	4.36	3							
鐵嶺	1.50	5.20	7.55	10.30	12.65	10.75	4.85	6.55	14.20	15.30	1								
	0.95	3.30	4.80	6.55	14.30	7.05	3.60	4.15	9.05	9.75	2								
	0.55	1.85	2.65	3.65	7.90	3.90	2.00	2.30	5.00	5.40	3								
開原	3.75	6.05	8.80	23.15	12.20	6.35	8.05	15.70	16.75	1									
	2.40	3.65	5.60	15.25	8.00	4.55	5.10	10.00	10.65	2									
	1.30	2.15	3.10	8.45	4.40	2.50	2.85	5.55	5.90	3									
四平街	2.40	5.10	26.85	15.90	10.05	11.75	19.40	20.50	1										
	1.50	3.25	17.60	10.35	6.90	7.50	17.35	13.05	2										
	0.85	1.80	9.75	5.70	3.85	4.15	6.85	7.20	3										
公主嶺	2.75	29.20	18.25	12.45	14.10	21.80	22.85	1											
	1.75	19.10	11.85	8.40	9.00	13.85	14.55	2											
	0.95	10.55	6.55	4.65	5.00	7.65	8.05	3											
下關	51.95	21.00	15.15	16.85	24.50	25.55	1												
	20.35	13.60	10.15	10.70	15.60	16.25	2												
	11.55	7.50	5.60	5.95	8.65	9.00	3												
旅順	12.20	19.45	21.35	29.00	30.10	1													
	8.50	13.40	13.60	18.45	19.15	2													
	4.75	7.40	7.50	10.20	10.60	3													
營口	8.55	9.65	17.30	18.35	1														
	6.15	6.35	11.20	11.90	2														
	3.40	3.50	6.20	6.60	3														
撫順	4.40	12.05	13.15	1															
	3.30	8.20	8.85	2															
	1.85	4.55	4.60	3															
本溪湖	7.65	8.75	1																
	4.85	5.55	2																
	2.70	3.10	3																
五龍背	1.10	1																	
	0.70	1																	
	0.40	3																	
安東	19.96	17.65	18.61	21.76	28.81	1													
	11.34	11.80	12.44	14.54	19.24	2													
	5.72	5.95	6.27	7.32	9.67	3													
博多	8.82	18.75	19.42	20.35	23.38	30.31	3.72												
	2.58	12.52	12.98	13.60	15.62	20.24	2.48												
	1.34	6.31	6.54	6.85	7.86	10.17	1.24												
鹿兒島	13.81	25.00	25.57	26.38	29.17	36.10	13.71												
	9.24	16.70	17.08	17.62	19.48	24.10	9.14												
	4.67	8.40	8.59	8.80	9.79	12.10	4.57												
長崎	9.58	22.15	22.81	23.62	26.44	33.34	9.48												
	6.42	14.80	15.24	15.78	17.66	22.26	6.32												
	3.26	7.35	7.67	7.94	8.88	11.18	3.16												

滿洲內地主要驛間運賃表 (朝鮮通用)

朝鮮內主要驛間旅客運賃表

驛名	釜山	密陽	大邱	金泉	大田	鳥致院	水原	京城	馬山	慶州	上仁川	開城	沙里院	平壤	宣川	鎮南浦	群山	木浦	全州	元山	咸興	城津	清津	會寧	
安東	41.80	59.08	36.30	33.22	29.35	27.72	23.81	22.00	—	—	—	18.75	13.20	10.52	3.61	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26.60	24.87	23.10	21.14	18.68	17.64	15.15	14.00	26.35	25.04	15.04	11.95	8.40	6.70	2.30	8.24	21.82	25.96	21.87	20.36	23.83	30.30	35.52	37.64	
	14.73	13.77	12.79	11.71	10.34	9.77	8.39	7.75	14.59	13.86	8.33	6.61	4.65	3.71	1.28	4.56	12.08	14.37	12.11	11.27	13.20	16.78	19.66	20.84	
會津	36.10	34.36	32.60	30.64	28.67	27.14	24.64	23.66	35.84	34.35	24.55	25.74	29.26	30.97	35.37	32.51	31.31	35.45	31.36	17.31	13.84	7.37	2.64	—	—
	19.99	19.03	18.05	16.96	15.60	15.03	13.65	13.10	19.85	19.2	13.59	14.25	16.20	17.15	19.58	18.00	17.34	19.63	17.37	9.59	7.66	4.08	1.46	—	—
清津	33.93	32.24	30.48	28.52	26.05	25.02	22.52	21.54	33.72	32.4	22.41	23.62	27.14	28.85	33.25	30.39	29.19	33.33	29.24	15.18	11.72	5.25	—	—	—
	18.81	17.85	16.87	15.78	14.42	13.85	12.47	11.92	18.67	17.44	12.41	13.07	15.02	15.97	18.40	16.82	16.16	18.45	16.19	8.41	6.48	2.90	—	—	—
城津	28.73	27.00	25.26	23.27	20.81	19.77	17.31	16.30	28.48	27.8	17.17	18.37	21.90	23.61	28.00	25.15	23.94	28.12	24.00	9.94	6.47	—	—	—	—
	15.91	14.95	13.99	12.89	11.52	10.95	9.58	9.65	15.77	15.06	9.51	10.17	12.13	13.07	15.50	13.92	13.26	15.57	13.29	5.51	3.59	—	—	—	—
咸興	22.26	20.55	18.79	19.80	14.34	13.30	10.84	9.83	22.01	20.72	10.70	11.90	15.43	17.14	21.54	18.63	17.48	21.65	17.55	3.48	—	—	—	—	—
	12.33	11.37	10.41	9.30	7.94	7.37	6.00	5.45	12.19	11.47	5.93	6.59	8.55	9.49	11.92	10.34	9.68	11.99	9.71	1.93	—	—	—	—	—
元山	18.79	17.06	15.32	13.33	10.87	9.83	7.37	6.36	18.54	17.25	7.23	8.43	11.99	13.67	18.06	15.21	14.00	18.18	14.06	—	—	—	—	—	—
	10.41	9.44	8.48	7.38	6.02	5.45	4.08	3.52	10.27	9.55	4.00	4.67	6.64	7.57	10.00	8.42	7.75	10.06	7.79	—	—	—	—	—	—
全州	11.15	9.41	7.65	5.66	3.20	4.26	6.72	7.95	10.87	9.58	8.40	9.94	13.50	15.18	19.58	16.75	1.33	5.55	—	—	—	—	—	—	—
	6.17	5.21	4.24	3.14	1.77	2.36	3.72	4.38	6.02	5.31	4.65	5.51	7.48	8.41	10.84	9.27	7.6	5.07	—	—	—	—	—	—	—
木浦	15.24	13.50	11.74	9.78	7.31	8.35	10.81	11.99	14.98	13.57	12.52	14.06	17.59	19.30	23.69	20.84	5.46	—	—	—	—	—	—	—	—
	8.44	7.48	6.50	5.41	4.05	4.62	5.99	6.64	8.30	7.57	6.95	9.74	10.68	13.12	11.54	3.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—
群山	11.06	9.33	7.56	5.60	3.14	4.18	6.67	7.82	10.81	9.50	8.35	9.89	13.44	15.12											

新興滿洲國は亞細亞大陸の東北、東經一五度二〇分乃至一三五度一〇分、北緯三三度一〇分乃至四三度一〇分、面積約一、三〇〇、〇〇〇平方キロメートル、人口約一、〇〇〇、〇〇〇人、森林は鬱然として山河に君臨し殆ど無盡蔵と稱され、鐵脈は千古の秘鑰を鎖ざして深く地中に埋藏し、天然

四平街	4.65 2.80 1.90	16.05 9.65 6.45	28.60 17.20 11.45	40.10 24.10 16.05	56.75 34.05 22.70	1 2 3
鄭家屯		11.45 6.90 4.60	23.95 14.40 9.60	35.45 21.50 14.20	52.10 31.30 20.85	1 2 3
洮南			12.55 7.55 5.05	24.05 14.45 9.65	40.70 24.45 16.30	1 2 3
齊々哈爾			11.55 6.95 4.65	23.15 16.90 11.30	39.15 24.45 16.30	1 2 3
北安				16.65 10.00 6.70		1 2 3
濱江						等級

京圖・拉濱線主要驛間運賃表 (滿洲國幣建)

(△印ハ異級連絡運賃
拉法一新站、新站一濱江間ハ1等ナシ)

新京	5.90 4.10 2.35	15.60 10.85 6.15	24.30 16.90 9.55	24.25 16.90 9.50	△ 18.05 15.05 9.30	1 2 3
吉林		9.75 6.80 3.80	18.45 12.85 7.25	18.40 12.80 7.20	△ 12.25 10.95 7.00	1 2 3
敦化			8.75 6.10 3.45	8.70 6.05 3.45	△ 14.05 12.25 7.70	1 2 3
圖們			5.70 3.95 2.25	△ 22.10 18.30 11.15		1 2 3
上三峯				△ 21.90 18.25 11.10		1 2 3
濱江						等級

泰山線主要驛間運賃表 (滿洲國幣建)

(△印ハ異級連絡運賃
錦縣一凌源、河北一溝帮子、
大虎山一通遼間ハ1等ナシ)

等級	奉天	錦縣	山海關	通遼	河北	朝陽	凌源
1	10.70						
2	7.15						
3	5.60						
1	18.90	8.30					
2	12.60	5.55					
3	6.30	2.80					
1	△ 15.45	△ 12.45	△ 20.70				
2	11.50	10.80	16.35				
3	5.75	5.40	8.20				
1	△ 10.60	△ 5.70	△ 14.00	△ 12.55			
2	7.95	4.65	10.20	11.65			
3	4.00	2.35	5.10	5.35			
1	△ 14.80	—	△ 12.40	△ 16.55	△ 9.80		
2	11.20	4.10	9.60	14.85	8.75		
3	5.60	2.05	4.80	7.45	4.40		
1	△ 18.30	—	△ 15.90	△ 20.05	△ 13.30	—	
2	14.65	7.60	13.05	18.40	12.25	3.55	
3	7.35	3.80	6.65	9.20	6.15	1.80	

圖們線
 距離(杆) 所要時間
 新京 10円 25円 37円 42円
 100杆 0.30時 吉林 15 27 32
 230杆 1.20時 敦化 12 17
 375東 2.00時 275 125 龍井 5
 425杆 2.15時 325 175 50 圖們 0.50

富錦線
 哈爾濱 42円 54円 78円
 250杆 1.15時 依蘭 12 36
 325杆 1.40時 75 0.25 佳木斯 24
 465杆 2.30時 215 1.15 140 富錦 0.50

濱黑線
 哈爾濱 47円 88円
 280杆 1.35時 北安鎮 41
 520杆 3.05時 230 大黑河 1.15

齊黑線
 齊齊哈爾 37円 78円
 220杆 1.10時 北安鎮 41
 450杆 2.25時 230 大黑河 1.15

錦州線
 奉天 23円
 230杆 1.30時 錦州

承德線
 錦州 14円 31円 53円
 85杆 0.30時 朝陽 17 39
 185杆 1.05時 100 凌源 22
 315杆 1.55時 230 130 承德 0.50

赤峰線
 錦州 14円 39円
 85杆 0.30時 朝陽 25
 235杆 1.20時 150 赤峰 0.50

御搭乗ト御仕度
 ▲長途ノ御搭乗ニハ豫メ辨當、サンドウイツチ等ヲ御用意ノ方ガ御便宜デス。
 ▲御搭乗前ニ化粧室ヲ御用ヲ済マセテ御搭乗下サイ。
 ▲飛行機内デハ喫煙其他火氣ハ一切嚴禁デス。

御荷物
 ▲携帯手荷物ハ手廻日用品ニ限リ1名10斤(2.666貫)迄ハ無料デスガソレ以上ハ規定ノ超過運賃ヲ要シマス。
 ▲手荷物ガ餘リ多イ時ニハオ断リセネバナライ場合ガアリマスカラ成ルベム御手輕ニ願ヒマス。
 ▲發火シ易イ物ヤ他ニ迷惑ヲ及ボス様ナ物ハ攜帶出來セシム。

稅關手續
 滿洲國カラ朝鮮、日本内地方面へ又ハ日本、朝鮮方面カラノ入滿ニ新義州經由飛行サレル旅客手荷物、貨物ハ奉天飛行場稅關吏ノ検査ガアリマスカラ入滿、離滿ニハ奉天飛行場ノ發前着後ニ検査ノタメ御手荷物類ヲ開披シテ頂キマス。

記念スタンプ設置飛行場
 大連・新義州・奉天・新京・哈爾濱・齊々哈爾ノ各飛行場ニハ記念スタンプ設置シテアリス。

●日本航空輸送株式會社本社
 東京市芝區櫻田本郷町7(飛行館二階)
 電話 銀座(57) 5756-5759

●滿洲航空輸送株式會社本社
 奉天商埠地五經路九緯路三號
 電話 5516-5518

10.4.1現在

上段ハ 距離(杆) 下段ハ 所要飛行時間

東京	20円	30円	65円	83円	105円	118円	130円	151円	147円	162円	187円	211円	255円	391円
296	名古屋	10	45	63	85	93	110	131	127	145	173	201	257	281
425	129	大阪	35	53	78	88	100	121	117	135	163	191	247	271
2.40	0.50													
935	639	500	福岡	18	40	55	65	86	82	100	128	156	212	236
5.40	3.50	3.00												
1.175	879	740	240	鞍山	22	35	47	68	64	82	110	138	194	218
7.30	5.40	4.50	1.50											
1.485	1.189	1.050	550	910	京城	13	25	46	42	60	88	116	172	196
9.20	7.30	6.40	3.00	1.50										
1.685	1.389	1.250	750	510	200	平壤	12	33	29	47	75	103	159	183
10.30	8.40	7.50	4.10	3.00	1.10									
1.845	1.549	1.410	910	670	360	160	新義州	25	17	35	63	91	147	171
11.30	9.40	8.50	5.10	4.00	2.10	1.00								
2.118	1.822	1.683	11.83	943	633	433	273	大連	21	39	67	95	151	175
13.10	11.20	10.30	6.50	5.40	3.50	2.40	1.40							
2.055	1.759	1.620	1.120	880	570	370	210	355	奉天	18	46	74	130	154
12.40	11.50	10.40	7.50	5.00	3.10	2.10	1.10	2.00						
2.330	2.034	1.895	1.395	1.155	845	645	485	630	273	新義州	28	56	112	136
14.10	12.20	12.10	9.20	6.30	4.40	3.40	2.40	3.30	1.30					
2.565	2.269	1.250	1.650	1.390	1.080	880	720	865	510	233	ハルビン	23	84	108
15.25	13.35	13.25	11.35	7.45	5.55	4.55	3.55	4.45	2.45	1.15				
2.840	2.544	2.405	1.905	1.665	1.355	1.155	995	1.140	785	510	275	チハハル	56	80
16.55	15.05	14.55	13.05	9.15	7.25	6.25	5.25	6.15	4.15	2.45	1.30			
32.40	2.944	2.805	2.305	2.065	1.755	1.555	1.395	1.540	1.185	910	675	400	海拉爾	24
19.25	17.25	17.25	15.35	11.45	9.55	8.55	7.55	8.45	6.45	5.15	4.00	2.30		
3.415	3.119	2.980	2.480	2.240	1.930	1.730	1.570	1.715	1.360	1.085	850	575	175	滿洲里
20.25	18.35	18.25	16.35	12.45	10.55	9.55	8.55	9.45	7.45	6.15	5.00	4.30	1.00	

富錦線

哈爾濱	42円	54円	78円
250杆 1.15時	依蘭	12	36
325杆 1.40時	75 0.25	佳木斯	24
465杆 2.30時	215 1.15	140	富錦 0.50

濱黑線

哈爾濱	47円	88円
280杆 1.35時	北安鎮	41
520杆 3.05時	230	大黑河 1.15

齊黑線

齊齊哈爾	37円	78円
220杆 1.10時	北安鎮	41
450杆 2.25時	230	大黑河 1.15

錦州線

奉天	23円
230杆 1.30時	錦州

承德線

錦州	14円	31円	53円
85杆 0.30時	朝陽	17	39
185杆 1.05時	100	凌源	22
315杆 1.55時	230	130	承德 0.50

赤峰線

錦州	14円	39円
85杆 0.30時	朝陽	25
235杆 1.20時	150	赤峰 0.50

10.4.1現在

上段ハ 距離(杆) 下段ハ 所要飛行時間

東京	20円	30円	65円	83円	105円	118円	130円	151円	147円	162円	187円	211円	255円	391円
296	名古屋	10	45	63	85	93	110	131	127	145	173	201	257	281
425	129	大阪	35	53	78	88	100	121	117	135	163	191	247	271
2.40	0.50													
935	639	500	福岡	18	40	55	65	86	82	100	128	156	212	236
5.40	3.50	3.00												
1.175	879	740	240	鞍山	22	35	47	68	64	82	110	138	194	218
7.30	5.40	4.50	1.50											
1.485	1.189	1.050	550	910	京城	13	25	46	42	60	88	116	172	196
9.20	7.30	6.40	3.00	1.50										
1.685	1.389	1.250	750	510	200	平壤	12	33	29	47	75	103	159	183
10.30	8.40	7.50	4.10	3.00	1.10									
1.845	1.549	1.410	910	670	360	160	新義州	25	17	35	63	91	147	171
11.30	9.40	8.50	5.10	4.00	2.10	1.00								
2.118	1.822	1.683	11.83	943	633	433	273	大連	21	39	67	95	151	175
13.10	11.20	10.30	6.50	5.40	3.50	2.40	1.40							
2.055	1.759	1.620	1.120	880	570	370	210	355	奉天	18	46	74	130	154
12.40	11.50	10.40	7.50	5.00	3.10	2.10	1.10	2.00						
2.330	2.034	1.895	1.395	1.155	845	645	485	630	273	新義州	28	56	112	136
14.10	12.20	12.10	9.20	6.30	4.40	3.40	2.40	3.30	1.30					
2.565	2.269	1.250	1.650	1.390	1.080	880	720	865	510	233	ハルビン	23	84	108
15.25	13.35	13.25	11.35	7.45	5.55	4.55	3.55	4.45	2.45	1.15				
2.840	2.544	2.405	1.905	1.665										

宮 驛 發 (イ) 前ハ・五 急行第十列車

御 搭 乗 ト 御 仕 事 (イ) 前ハ・五 急行第十列車

▲長途ノ御搭乗ニハ、
▲御搭乗前ニ化粧室ヲ御搭
▲飛行機内デハ喫煙ヲ禁

御 荷 物

▲攜帶手荷物ハ手廻1名
(2.666貫)迄ハ無差
超過運賃ヲ要シマ
▲手荷物ガ餘リ多イ
場合ガアリマス
▲發火シ易イ物ヤ他
帶出來マセン。

税 關 手 続

滿洲國カラ朝鮮、日
鮮方面カラノ入滿ニ
客手荷物、貨物ハ奉
リマスカラ入滿、離
後ニ檢査ノタメ御手

記 念 ス タ ム プ

大連・新義州・奉天
ノ各飛行場ニハ記念
ス。

●日本航空輸送株式
東京市芝區櫻田
電 話

●滿洲航空輸送株式
奉天商埠地五
電 話

京圖・拉濱線主要驛間運賃表 (滿洲國幣建)

(△印ハ異級連絡運賃
拉法—新站、新站—濱江間ハ1等ナシ)

新 京	5.90	15.60	24.30	24.25	△ 18.05	1
	4.10	10.85	16.90	16.90	15.05	2
	2.55	6.15	9.55	9.50	9.30	3
吉 林		9.75	18.45	18.40	△ 12.25	1
		6.80	12.85	12.80	10.95	2
		3.80	7.25	7.20	7.00	3
敦 化			8.75	8.70	△ 14.05	1
			6.10	6.05	12.25	2
			3.45	3.45	7.70	3
上 三 峯				5.70	△ 22.10	1
				3.95	18.30	2
				2.25	11.15	3
濱 江					△ 21.90	1
					18.25	2
					11.10	3

奉天線主要驛間運賃表 (滿洲國幣建)

(△印ハ異級連絡運賃
錦縣—凌源、河北—溝帮子、
大虎山—通遼 間ハ1等ナシ)

等 級	奉 天		錦 縣		山 海 關		通 遼		河 北		朝 陽		凌 源	
	1	10.70		18.90	8.30	15.45	12.45	20.70	10.60	5.70	14.00	12.55	14.80	
	2	7.15		12.60	5.55	11.50	10.80	16.35	7.95	4.65	10.20	11.65	11.20	4.10
3	3.60		6.30	2.80	5.75	5.40	8.20	4.00	2.35	5.10	5.85	5.60	2.05	
1														
2														
3														

滿 洲 國

新興滿洲國は亞細亞大陸の東北、東經一一五度二〇分乃
至一三五度二〇分、北緯三八度四〇分乃至五三度五〇分
我岩手縣乃至北海道と等しく又歐洲の南半部と同一緯度にあるに位し、
東は烏蘇里江を隔て、露領沿海州に連り、西部は中華民國
察哈爾省及外蒙古の沙漠に續き、南部は黃海及渤海に瀕し
北は汪洋たる黑龍江の流れを挾んで西伯利亞の雪原に達し
東南部は圖們江及鴨綠江により朝鮮に劃せられ、西南部は
萬里の長城を境として中華民國河北省に接してゐる。滿洲
はもと支那領土の一部で、支那は行政上之を遼寧(奉天省の
改稱)・吉林・黑龍江及び熱河省の「東北四省」に區分し、
所謂滿蒙の特殊區域をなして居たが、我々國民の神經を刺
戟し、異常の緊張を一般人に強ひた彼の「滿洲事變」を契
機として、之等滿蒙民俗の間に舊來の惡政から脱せんとし
て舊軍閥政府の倒潰運動興り、遂に昭和七年三月新興滿洲
國の成立を見るに至つたところである。

新滿洲國は行政上之を十四省に區分し、國體を立憲共和
制に則り、清朝の遺帝溥儀氏を執政に推戴し國號を大同元
年と改め、國都を長春に奠め、その名も新京と改稱した。
斯くして着々國家造營の歩を進めて來たが大同三年三月一
日皇天の眷命の下るところ國民の總意の歸するところに順
ひ、溥儀執政は帝位に登り、從來の民主制國家を改めて君
主國を樹立し年號も康德と改めた。

滿洲の廣袤幾千里、北滿の極地を除き其殆んどの沃地は

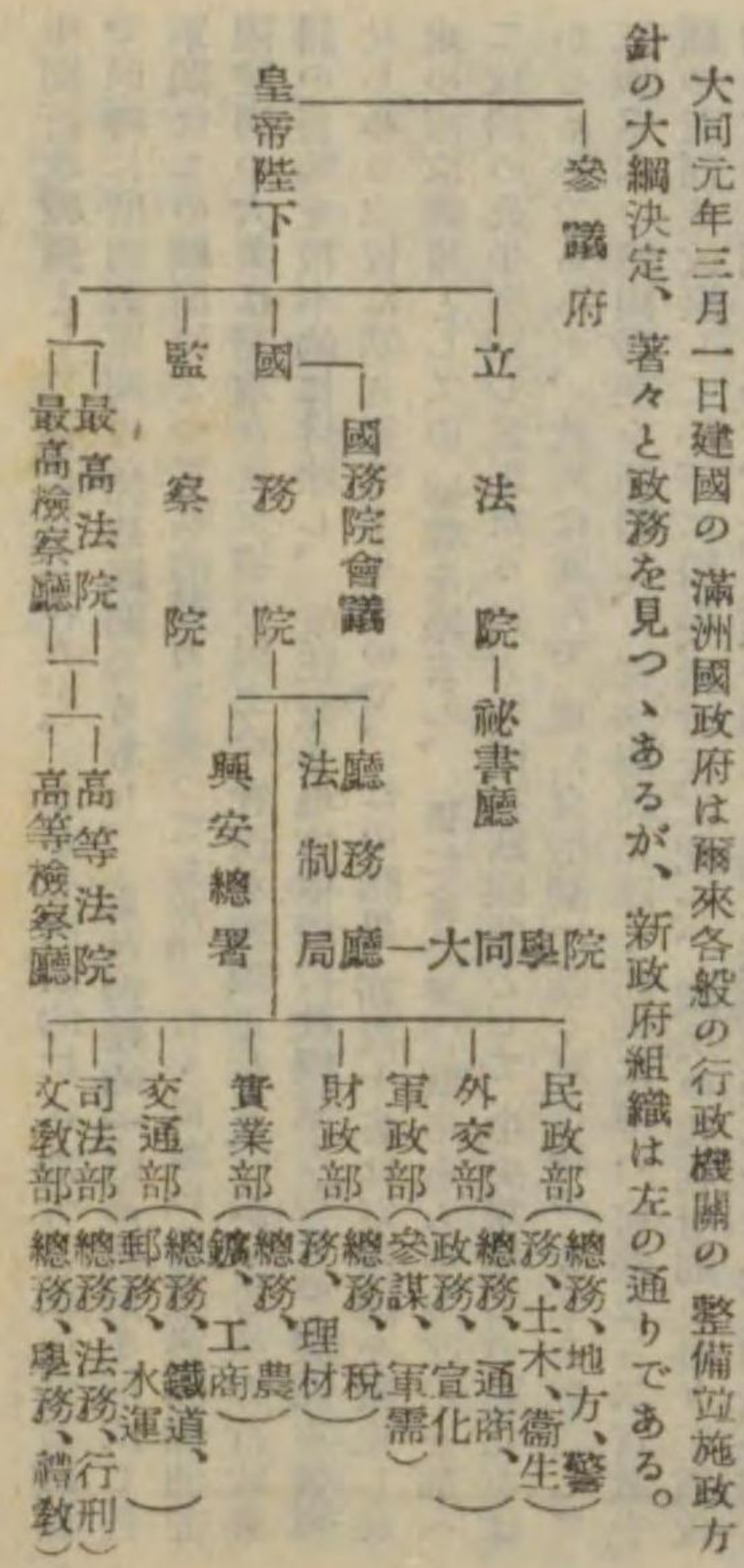
滿 洲 (概説)

耕され未墾地は極めて少く、東部の山岳地帯を除き、
稱され、森林は鬱然として山河に聳臨し殆ど無盡藏と稱さ
る、鑛脈は千古の秘鑰を鎖ざして深く地中に埋藏し、天然
資源の豊富なる事其の片鱗を覗いた丈でも萬人の等しく垂
涎する處である。

滿洲に於ける穀物(大豆、高粱、粟、玉蜀黍、米等)の年産額は
一億五千萬石に及び、全人口三千萬人により消費される額
は、其半數にも充たず年々八千萬石以上を移輸出し、滿洲
は現在の生産能力にて尙現人口の二倍以上を養ふ事が出來
るのである。家畜の飼養も亦よく普及し滿蒙の牛馬・豚・
羊等の總數は一千四百五十萬と註せられて居る。

滿洲は我國の特殊の地位を有する地方で、「滿洲」とは其
の土著民族の興隆を記念すべき國號から轉用されたものと
云はれて居る。

滿洲國政府組織



【本地三、二一四万杆三〇】 屬島二四八万杆一五(周一杆以上五三、以下六六) 本地周圍六九三杆九二九 人口九六一、一四六八

外に滿鐵附屬地面積二九〇万杆〇四、人口三六二、七一八八

【地勢】 滿洲の地勢は略不規則三角形を示し、北東部から南部は山岳地をなし、之等連する諸山脈は何れも一、〇〇〇米内外の高度を示し、中には二、〇〇〇米を超えるものもあり、人跡未踏の密林に蔽はれて居る。中央部及西部の遼河、松花江流域は一般に土地低平で、所謂滿洲平原をなして居る。此の流域一帯は國內を通じて最も豊饒肥沃な地で、殆んど農耕地として開發され、農産品の大部分は實に此の地方から生産されるものである。

河川には平野を灌溉するものは、南は遼河、中央に松花江及びその支流、北部國境に黒龍江など、その他圖們江・烏蘇里江・嫩江・鴨綠江等の諸大水系があつて各地を縦横に環流し、舟筏の便を興へ、各流域には廣大な沃野を展開して農耕灌溉の利を惠んで居る。

地上自ら遼河流域地上を南滿、松花江・黒龍江流域地方を北滿及び興安嶺の區域に分けてゐる。「南滿洲」は日支條約により我國人が幾多の特殊利害關係を有してゐる處で、現在日本人は主として租借地域の「關東州」滿鐵沿線の鐵道附屬地・商埠地等に新都市を建て商戸を構へて各自生業を營んで居る。

▲山脈 北東から西南に走るものを主とし、北西から東南に横はるものを副としてゐる。前者に屬するものは北西部は大興安嶺山脈と、南東部を走る長白山系とで、後者に屬するものには北東部の小興安嶺山脈と、南西部に横はる松嶺・燕山の二山脈とある。

▲湖沼 土地の廣大なる割合に其數極めて少く吉林省の東部と西伯利亞との境界に跨る興凱湖(東西五〇杆南北九〇杆)、吉林省の中部に位する鏡泊湖(東西八杆、南北四〇杆)興安北分省の西北にある呼倫池(一〇杆、二〇杆)興安北分省の西南と外蒙古との境界に横はる貝爾池(七×三二)等に過ぎぬ。然れども西部地方には雨季一時に構成せられる所謂 Plateau 式小沼跡からず、奉天省の北部に構せられる大布蘇諾爾(八×八杆)はその代表的ものである。

終に海岸線を見るに其延長僅かに七〇〇杆にして國土周圍の十一分の一強に過ぎない。然かも黃海沿岸は北東から南西へ略一直線をなし屈曲少く且つ

海岸には二乃至六杆の幅を有する所謂沿岸洲を有し水淺く、ために海岸としての價値に乏しい。然れども渤海沿岸は前者に比して海岸線長の屈曲に富み、既に遼河口には著者の營口港を有し、又連山灣には不凍港葫蘆島を控へて將來を望有視されて居る。

【氣象】 滿洲はアジア大陸の東邊に位し、高原または高漠たる平原からなり海に接する地域少く、氣候は大陸性で、寒暑の差が甚だしい。従つて滿洲は非常に寒いといふ感じを一般に興へてゐるが、内地で想像して居る程凌ぎ難いものではない。殊に内地と違つて家屋が悉く煉瓦造りで、煖房設備が完全してゐるから、どんな住宅でも屋内に居れば恰も春のやうである。又暑熱の度に於ても殆んど内地と變らぬばかりでなく其の期間は七、八月の二ヶ月位で極めて短い。そして氣候の大體性は所謂三寒四溫の循環に表はれてゐる。

一年最高の差奉天、長春に於て六五度乃至七〇度に及び、哈爾濱、齊齊哈爾の如きは七七一八度に達する。即ち奉天最高六月下旬乃至七月上旬に於て三八度に及び、最低二月下旬乃至一月上旬に於て零下三〇度に下る。新京に於ては最高は奉天に似て三八度内外であるのに、最低は更に三四度も低い。哈爾濱、齊齊哈爾に於ては最高最低ともに新京を過ぎ、北するに従つて大陸的氣候の一層劇烈なることが判る。之を日本の福岡、大阪、東京、札幌に於ける最高最低の較差二〇度乃至三〇度なるに比すれば、その差異の如何に甚しきかを知らしめる事が出来る。

氣溫の變化は一日中にも可なり劇しい。晝夜の差二〇度に達すること位は決して珍らしく感じない。此の變化は又、數日の週期をもつて表はれ、特に冬季に於て著しく感ぜられる。所謂三寒四溫である。蓋し氣象は毎日多少づつ、西から東へ移り、通常の状態では僅かの低氣壓と高氣壓とが交互に凡そ三、四日間で交替し、比較的氣壓の部が來た時は溫暖を感じ高氣壓の部が近づくと時は寒冷を覺ゆるのである。此の事實は日本にも當然起るべきであるが、地形上の著しい相違の爲めにその上を流るゝ氣象上の諸要素は自然不規則となるに反し、滿洲の如き大陸の一部、殊に全體として地形上の差異少き處に於ては比較的規則正しく同一に近き氣象が循環するものと考へられる。

更に一つの面白い現象は、滿洲の氣溫の變化が日本のそれに比し常に一箇月早いことである。日本の暑い月は八月、寒い月は二月であるが、滿洲では七月と一月とに來る。之は大陸が海洋より溫度の傳達早く、陸地の輻射熱による

を示すことになる。殊に室内は家屋の構造と冬季採暖法とに關聯して驚くべき乾燥度を示し、濡れたタタリが一時間位でカラ／＼になつたり、濡つた砂糖や菓子に容器の蓋をとつて置くと早く乾くといふやうな現象が見られる。日本内地では思ひもよらぬことである。

滿洲の氣象上の特徴としてもう一つ擧ぐべきことは大氣中に含まれる細菌が比較的多いことである。所謂「もや」が多いのであるが、そのもやは日本の春霞や暮霧と違つて、多くは蒙古地方から風の爲めに吹き送らるゝ、細菌である。その爲めに滿洲の三、四、五月の頃は文字通りの黃塵萬丈を見ることがある。甚しい時になると天日爲めに晦く、晝間は燈火を必要とすることさへある。之を要するに滿洲は寒暖の差劇しく、乾雨雨季の著しい外、一般によく乾燥することである。此の三者は實にその氣象上の特異點である。

平均氣溫(攝氏) (一)零度以下

Table with columns for months (一月 to 十二月) and years (年), listing temperature data for various locations in Manchuria. Locations include 大營新、新開、鄭開、滿洲、哈爾濱、安東、哈爾濱、密山、牡丹、三延太.

大陸の氣溫の方が海洋の輻射熱による日本の氣溫よりは早まるからであらう。滿洲は雨の總量が少いばかりでなく、雨季乾季の兩季節の存在が甚だ著しい。日本各地では一年の半は雨か雪かを見るが普通であるが、南部滿洲では一年平均七〇日、即ち年の五分の一に過ぎない。日本の約半分以下である。それも六、七、八、三ヶ月の雨季に一年の降水量六〇〇耗の四分の三は降つて、残りの九ヶ月にあつては四分の一が降る。東京、大阪、福岡の平均降水量に比して南部滿洲の降水量は半分よりもまだ少い。斯の雨の少いことは北に行くに従つていよいよ劇しく、齊齊哈爾の如きはその最南部滿洲の半にも及ばず、蒙古に近づく時は一層之が甚しい。ゴビの發達する最大原因は茲に在る。

雨の少量なることは惹いて大氣中に含まれる、湿度の低下を示す。就中處に於ては北滿、時に於ては四月と一〇月とが甚しい。毎年の平均溫度は南部で六五%内外、之を日本の年平均七四乃至八三%に比すれば一割以上の乾燥度

滿鐵本線 (連京線)

大連—奉天—新京間は滿洲曠野を縦貫する滿鐵主幹線で、南半を大連奉天間に、北半を奉天—新京間に分けてゐるが、此の兩區間を總稱して連京線と稱する一系の線路で、列車も全部大連—新京間直通運行をなし西伯利亞線と日、滿兩國の鐵道及航路との間に介在し、歐亞交通幹線の一部を形成する重要線路である。

大連

▲神戸から大阪商船で六九時間(四日着)、八六〇哩
▲神戸から同 四五時間(三日着)、六二〇哩
左記十隻にて殆んど毎日大連—神戸間を往復して居る。

Table with columns: 航船名, 總噸數, 航海速度, 定員 (一等, 二等, 三等). Rows include 熱河丸, 吉林丸, 吉野丸, 吉野丸, 吉野丸, 吉野丸, 吉野丸, 吉野丸, 吉野丸, 吉野丸.

一等特別室使用料金
はるか丸(内地大連間) 五〇〇圓
はるびん丸(神戸門司間) 二〇〇圓
うすい丸(内地大連間) 三〇〇圓
うらら丸(神戸門司間) 三〇〇圓

備用船 噸數 速度 定員
一等 二等 三等
一 二 三

旅客運賃表
●大連發の場合には金圓建
●上海發、青島發の場合は銀圓建

Table with columns: 船名, 室番號, 等級, 運賃. Rows include 青島丸, 奉天丸, 大連丸, 大連丸, 大連丸, 大連丸, 大連丸, 大連丸, 大連丸, 大連丸.

○小兒運賃 一二歳未満は半額、四歳未満は一人を限り無賃、其他は四分の一額、但し無賃の小兒に對しては食事又は船床を提供しない。
○往復乗船券 復航運賃二割引、通用期間九〇日。
○手荷物の無賃輸送制限重量 一等一六〇キロ又は四〇才、二等一〇〇キロ又は三〇才、三等七〇キロ又は二〇才。
○青島丸・奉天丸・大連丸特別使用料。
※シツチングルームを使用せず

食 事

一等 洋食
二等 和食
三等 和食

定期發着時刻

大連

Table with columns: 等級, 大連, 門司, 廣島, 神戸. Rows include 1等, 2等, 3等.

Table with columns: 行連大, 行戸神, 港名, 日次, 時刻. Rows include 大連, 門司, 神戸, 大連, 門司, 神戸.

廣島寄港船は神戸發後四時、大連着五日目である。
定期船は滿鐵經營の大連埠頭に繋留す。埠頭と大連驛間は約二杆電車五錢自動車四人乗四〇錢あるが、奥地へ向ふ旅客のため大連驛九時發の新京行特急「あじあ」に聯連出来る様埠頭の船客待合所前から聯絡バス(廿一人乗、無料)が出る、約一〇分。(車内持込の手荷物は一個一〇錢)手荷物の税關検査は大連驛で行はれる、約三〇分。

▲上海—青島—大連間 大連汽船會社便
二日又は三日目毎に相互發、毎月十回乃至十二回の便がある。
往航 第一日大連發前一時 第二日青島着發 第三日午後上海着
復航 第一日上海發前九時 第二日青島着發 第三日正午大連着

▲天津—大連間 大連汽船會社便。
毎月一〇—一三回の定期便がある。
使用料天津丸(二、三五二噸)、長平丸(一、七一八噸)。
賃金一等二〇圓但(天津丸は二三圓)、三等六圓、兩地共金圓建。食事一等洋食。

▲鹿兒島—長崎—大連航路 近海郵船會社便。
毎月三回 千歲丸(三、〇〇〇噸)定期航路
鹿兒島から四日、一等三八圓、二等乙一五圓、甲寢室室二〇圓廣間室一七圓
長崎から三日、一等三二圓、二等乙二二圓、甲寢室室一七圓廣間室一四圓
大連—基隆—高雄航路 大連汽船會社便。
毎月三回 山西丸、山東丸(共に三二七噸)定期航路。
基隆着五日目 一等五〇圓 二等二三圓
高雄着六日目 一等五五圓 二等二五圓

▲日本航空輸送會社飛行便(一週六回、日曜休航)
第一日東京發京城止り(所要九時間五〇分、一、四七五料、一〇五圓)、第二日京城發大連着(所要三時間二〇分、六三三料、四〇圓)、料金東京大連一四五圓、大阪大連一五五圓、福岡大連八〇圓。(航空券は各地所在のツーリスト・ビュロー案内所にて發賣して居る。)

大連市は日本人の建設した最初の近代的都市で、市街の壯麗なる事東洋の「パリ」と稱せられ、遼東半島の咽喉を扼して居る極東貿易港である。市街は大連に沿ふて延び南に丘陵を負ふて居る。明治の末期迄は大廣場を中心とされて居たが、漸次西方に延長して、現在は中央公園、伏見臺一圓が中心地を爲して居る。住宅地域・混合地域・商業地域・工業地域の別があつて、支那人は商工業地帯に於て全然日本人と雜居して居る。街路は東部の大廣場を始め所々に廣場を設け道路を放射し、之を徑に小街を緯織して街路整然、電車亦四通八達して、郊外線は名勝星ヶ浦、老虎

灘及工場地沙河口に通じて居る。人口四二九、〇〇〇、内日本人一二四、三〇〇(昭和九・二)貿易年額約七億圓を突破し滿洲に於ける總額の七割を占めて居る。

〔旅館〕 ヤマトホテル(電三一一)、播磨町大廣場、驛迄一軒六、埠頭迄一軒餘、洋室九六、室代一人室四圓一圓、二人室八圓以上、食事代朝一圓、晝一圓半、夕二圓、②二食付九圓、室代五圓、晝二圓。大改造工事成り面目一新す、星ヶ浦ヤマトホテル(電大連九二二)、洋室三七、室代三圓半、一圓、食事代朝一圓半、晝二圓、夕二圓半。③二食付一〇圓。大連大和ホテルとの間に一日數回フリーパス運轉す、二〇分、遼東ホテル(大連通一六、驛迄五五〇米、港迄一軒六、和室五九、室代三圓乃至一〇圓、洋室三六、室代三圓乃至一五圓、貴賓室一、二五圓、食事代朝一圓及一圓半、晝一圓半及二圓半、夕同上)、花屋ホテル(信濃町五一、驛迄三軒一、港迄二軒二、洋室五、和室一四、朝食付四圓、六圓、七圓)、天満屋ホテル(西通一一五、驛迄一軒、港迄二軒二、洋室二五、和室一四、室代二圓半、四圓三〇錢) ナニワホテル(伊勢町五四、驛迄半軒餘、港迄二軒、洋室三九、室代二圓一五圓)、春田(吉野町一〇、驛四〇〇米、室一六、一泊四、五、六圓)、東郷(信濃町、驛半軒、室一八、四、五、六圓)、鎮西館(信濃町六一、驛六〇〇米、室二〇、同上)、東洋ホテル(伊勢町一六、驛半軒、和室五、一泊同上)、南滿ホテル(東郷町五四、驛六〇〇米、室一九、同上)、東(信濃町二六、驛四〇〇米、室一五、一泊同上)、日本橋ホテル(大連通八七、驛三〇〇米、室一五、(以上一泊四圓、五圓、六圓)、辰巳、大和館、大連ホテル、富士屋(以上一泊三圓、四圓、五圓)、日本館、トキワホテル、名古屋、山岡、三杉、鹿兒島(以上一泊二圓、三圓、四圓)。

〔遊覽順序〕 滿洲資源館—工業博物館—埠頭—油房—華工收容所—大廣場—星ヶ浦—西崗子支那町—露天市場—連鎖商店街—中央公園—老虎灘等で、若し一日ならば其の一部を、二日ならば全部を觀光視察する事が出来る。又

等が陳列されてゐる。入場無無 八時又は九時から四時頃迄、四月一日、祝祭日及年末年始は休み。▲工業博物館 山城町・新興工業の基礎となるべき各種滿洲産原品と、その選別、加工精製機の装置、機器等の實物・見本・模型・資料を蒐集陳列してあり、滿洲工業の概念を得る爲見學の價値がある。

星ヶ浦 市の西南端、後に山を負ひ黄海に面して風景壯大、ホテル・別荘海水浴場・ゴルフリンク等があり東洋一ノ海岸遊園地を成してゐる。〔西崗子市街〕市の西端の華人街で、露天市場(俗に盜人市場)と云ふも此街にある市場と云ふもの下層民衆の慰安機關の總てが集まつてゐるので、支那下層風習を知るによい處である。〔老虎灘〕郊南四軒餘の海邊にある滿洲稀に見る奇勝の地として星ヶ浦と並び稱せられて居る。扁舟を泛べて一日を娯しみ、魚族を漁するに面白い。旗亭に明月園、千勝閣、扇屋等がある。

旅順 大連から汽車一時間半(五九料七二等一圓七〇錢、三等九五錢。毎日曜及祝祭日には二割引往復券を發賣してゐる。外に午前七時から六時迄三〇分毎、その後三回の滿電定期乗合自動車の便もある。所要一時間二〇分、片道一圓。

地は遼東半島の最南端に位し、四周丘陵の別天地にあつて碧水深き海灣に臨み、風光明媚、山索水明の形勝地で、滿洲の公園と稱されて居る。港は東西に分れ東は我海軍要港部に屬し、西は商港となつて居る。市街又新舊に分れ新市街は關東廳其他官衙があり、舊市街は商業區となつて居る。人口二九、六九六(内地人一、一六九、以上昭和九・二)。

滿洲 (旅順)

若し當日日曜日に當るときは旅順の觀光と振替へらるるがよい。

●市内の交通機關 市内の交通機關としては電車・自動車・乗合自動車・露治時代の遺物たる馬車並人力車を擧げることが出来る。電車は全線片道五錢乗合自動車は一區五錢、タクシ―は舊市内大型四人乗五十錢小型三人乗三十錢旅順行乗合自動車は一圓、金州行五十錢、馬車は二人乗一區(十町以内)十四錢(三區以上一區又は未滿を増す毎に十錢を加ふ)半日一圓四十錢、一日二圓八十錢、人力車は馬車の半額である。因に馬車は一臺の料金を三人迄は樂に乗れる。

●通貨 關東州内は汎く日本貨幣、特に朝鮮銀行券が廣く用ひられてゐる。●土産 支那製品(玩具、文房具、反物、茶、素麵、麻雀)菓子、寶石、洋酒硝子並陶磁器、煙草、寫眞機、望遠鏡。

●要塞地帯 大連とその近郊は要塞地帯で、撮影・模寫・測量・模造錄取、航空等は、要塞司令官の許可を要することになつてゐるから、旅行者は特に注意すべきである。

●視察上の便宜を得るには、大連驛鐵道案内所(電話四〇〇六)ジャパン・ツーリスト・ビュロー大連案内所(電話五五五四・四七一三番)が伊勢町と浪速町との角にあり、紀伊町に滿洲文化協會(電三八〇五)他に東公園町滿洲本社内の營業課宣傳係(電二〇二二六五)がある。

Table with columns: 戰蹟名, 往復時間, 馬車賃, 戰蹟案內. Lists various battle sites like 白玉山, 陳列館, 青面砲臺, etc., with their respective travel times and fares.